



取扱書

よくお読みになってご使用ください。
取扱書は車の中に保管しましょう。

COASTER



イラスト目次

イラストから検索

1 安全・安心のために

お客様に必ずお読みいただきたいこと

2 メーターの見方

メーター・警告灯／表示灯の種類・見方など

3 各部の操作

ドア・ドアガラスの開閉や、運転操作前の調整など

4 運転

運転に必要な操作やアドバイス

5 オーディオ

オーディオの使い方など

6 室内装備・機能

室内装備の使い方など

7 お手入れのしかた

車のお手入れ・メンテナンスの方法

8 万一の場合には

故障したときや、緊急時などの対処

9 車両情報

車の仕様など

さくいん

症状から検索

音から検索

アルファベットで検索

五十音で検索

知っておいていただきたいこと	6
本書の見方	10
検索のしかた	11
イラスト目次	12

1 安全・安心のために

1-1. 安全に お使いいただくために	
運転する前に	26
安全なドライブのために	28
シートベルト	30
SRS エアバッグ	34
お子さまの安全のために	41
排気ガスに対する注意	42
1-2. 盗難防止装置	
エンジンイモビライザー システム	43

2 メーターの見方

2. 計器の見方	
警告灯／表示灯	46
計器類	50
マルチインフォメーション ディスプレイ	53

3 各部の操作

3-1. キー	
キー	58
3-2. ドアの開閉、 ロックのしかた	
フロントドア	60
センタードア (グライド式ドア)	62
センタードア (折戸式ドア)	74
トランク	81
観音扉ドア	85
3-3. シートの調整	
運転席	90
助手席／リヤシート	91
ヘッドレスト	93
3-4. ハンドル位置・ミラー	
ハンドル	95
インナーミラー	97
アウターミラー	99
補助ミラー	102
3-5. スライド式 サイドガラスの開閉	
スライド式サイドガラス	104

4 運転

- 4-1. 運転にあたって
 運転にあたって 106
 荷物を積むときの注意 118
- 4-2. 運転のしかた
 エンジン（イグニッション）
 スイッチ 120
 オートマチックトランス
 ミッション 124
 マニュアルトランス
 ミッション 129
 方向指示レバー 130
 パーキングブレーキ 131
 排気ブレーキ 132
 排出ガス浄化装置 133
- 4-3. ランプのつけ方・
 ワイパーの使い方
 ランプスイッチ 138
 オートマチック
 ハイビーム 142
 フォグランプスイッチ 146
 ワイパー＆ウォッシャー
 （フロント） 148
 ワイパー＆ウォッシャー
 （リヤ） 150
- 4-4. 給油のしかた
 給油口の開け方 152
- 4-5. 運転支援装置について
 Toyota Safety Sense 156
 PCS（プリクラッシュ
 セーフティ） 161
 LDA（レーンディパーチャー
 アラート） 171
 運転を補助する装置 180
- 4-6. 運転のアドバイス
 寒冷時の運転 186

5 オーディオ

- 5-1. オーディオの基本操作
 オーディオの種類 192
 AUX 端子 /
 USB 端子について 194
- 5-2. オーディオの使い方
 快適に聞くために 196
- 5-3. ラジオの使い方
 ラジオの使い方 197
 アンテナ 199
- 5-4. CD、MP3 / WMA の
 聞き方
 CD プレーヤーの使い方 200
- 5-5. 外部入力接続機器の
 使い方
 iPod の聞き方 208
 USB メモリーの聞き方 214
 AUX 端子（外部入力接続）
 の使い方 220
- 5-6. マイク／マイクアンプの
 使い方
 マイク／マイクアンプの
 使い方 221
- 5-7. 後席ディスプレイの
 使い方
 後席ディスプレイの
 使い方 222

6 室内装備・機能

6-1. エアコン・

デフォッガーの使い方

フロントヒーター
(マニュアルエアコン)228

クーラー
(マニュアルエアコン)234

リヤヒーター
(マニュアルエアコン)237

オートエアコン239

パワーヒーター247

アイドルアップ248

6-2. 室内灯のつけ方

室内灯一覧249

・フロントパーソナル
ランプ250

・ルームランプ250

6-3. 収納装備の使い方

収納装備一覧251

・カップホルダー252

・ボトルホルダー253

・小物入れ254

・カードホルダー255

ラゲージルーム内の装備256

6-4. その他の室内装備の 使い方

その他の室内装備 258

・サンバイザー/
お客様表示板 258

・アクセサリーソケット 258

・充電用 USB 端子 259

・時計 261

・床洗い用水抜き穴 262

・アームレスト 262

・冷蔵庫 263

・カーテン 265

・運転席ガード
(幼児車) 266

・セパレーターパイプ
(パン) 266

・セパレーターカーテン 267

・アシストグリップ 269

タコグラフ 270

7 お手入れのしかた

7-1. お手入れのしかた

外装の手入れ 276

内装の手入れ 279

7-2. 簡単な点検・部品交換

エンジン点検口 282

AdBlue[®] (尿素水) の
補充 285

ウォッシュ液の補充 292

タイヤについて 294

タイヤ空気圧について 297

エアコンフィルターの
清掃 299

ヒューズの点検・交換 301

電球 (バルブ) の交換 305

燃料・水分離器の排水 319

8 万Oneの場合には

8-1. まず初めに

故障したときは.....	322
非常点滅灯 (ハザードランプ)	323
発炎筒	324
消火器	326
車両を緊急停止するには	328
幼児車では.....	330

8-2. 緊急時の対処法

けん引について.....	332
警告灯がついたときは	337
警告メッセージが 表示されたときは	342
パンクしたときは	346
エンジンが かからないときは	362
バッテリーが あがったときは	363
オーバーヒートした ときは.....	366
スタックしたときは	369
エンストで始動できなく なったときは	371
電動格納式補助ステップが 格納できなくなった ときは.....	372

9 車両情報

9-1. 仕様一覧

メンテナンスデータ (指定燃料・ オイル量など)	374
--------------------------------------	-----

9-2. カスタマイズ機能

ユーザーカスタマイズ 機能一覧.....	383
-------------------------	-----

さくいん

こんなときは (症状別さくいん)	386
車から音が鳴ったときは (音さくいん).....	388
アルファベット順さくいん.....	389
五十音順さくいん	390

知っておいていただきたいこと

本書の内容について

本書はオプションを含むすべての装備の説明をしています。

そのため、お客様の車にはない装備の説明が記載されている場合があります。また、車の仕様変更により、内容がお車と一致しない場合がありますのでご了承ください。

トヨタ販売店で取り付けられた装備（販売店オプション）の取り扱いについては、その商品に付属の取り扱い説明書をお読みください。

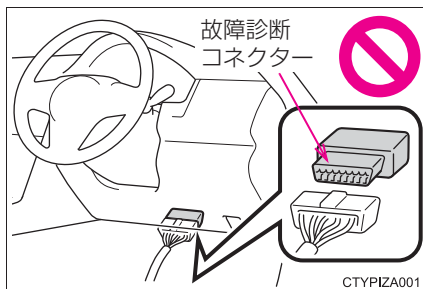
イラストは、記載している仕様などの違いにより、お客様の車の装備と一致しない場合があります。

不正改造について

- トヨタが国土交通省に届け出をした部品以外のものを装着すると、不正改造になることがあります。
- 車高を下げたり、ワイドタイヤを装着するなど、車の性能や機能に適さない部品を装着すると、故障の原因となったり、事故を起こし、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- ハンドルの改造は絶対にしないでください。ハンドルには SRS エアバッグが内蔵されているため、不適切に扱うと、正常に作動しなくなったり、誤ってふくらみ、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 次の場合はトヨタ販売店にご相談ください。
 - ・ タイヤ・ディスクホイール・ホイール取り付けナットの交換
異なった種類や指定以外のものを使用すると、走行に悪影響をおよぼしたり、不正改造になることがあります。
 - ・ 電装品・無線機の取り付け・取りはずし
電子機器部品に悪影響をおよぼしたり、故障や車両火災など事故につながるおそれがあり危険です。
RF 送信機の取り付けについては、P. 9 も参照してください。
- フロントウインドウガラス、運転席のドアガラスおよび助手席のサイドガラスに着色フィルム（含む透明フィルム）などを貼り付けしないでください。視界をさまたげるばかりでなく、不正改造につながるおそれがあります。

故障診断コネクターなどへの電装品取り付けについて

故障診断コネクターなどに、点検整備用の故障診断装置以外の電装品を取り付けないでください。電子機器に悪影響をおよぼしたり、バッテリーがあがったりするなど、思わぬトラブルを招くおそれがあります。



車両データの記録について

本車両には、車両の制御や操作に関するデータなどを記録するコンピューターが装備されており、各機能の作動時や操作状況により、主に次のようなデータを記録します。

- ・ エンジン回転数／電気モーター回転数
- ・ アクセルペダルの操作状況
- ・ ブレーキペダルの操作状況
- ・ 車速
- ・ 運転支援システムの作動状況
- ・ 前方カメラの画像情報

グレード・オプション装備により記録されるデータ項目は異なります。

なお、コンピューターは会話などの音声や車内の映像は記録しません。

● データの取り扱いについて

トヨタはコンピューターに記録されたデータを車両の故障診断・研究開発・品質の向上を目的に取得・利用することがあります。

なお、次の場合を除き、トヨタは取得したデータを第三者へ開示または提供することはありません。

- ・ お車の使用者の同意（リース車は借主の同意）がある場合
- ・ 警察・裁判所・政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
- ・ トヨタが訴訟で使用する場合
- ・ 統計的な処理を行う目的で、使用者や車両が特定されないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

● 記録した画像情報はトヨタ販売店にて消去することが可能です。

また、画像情報を記録する機能を停止することも可能です。ただし、機能を停止するとシステム作動時のデータは残りません。

イベントデータレコーダー

お車には、イベントデータレコーダー（EDR）が装備されています。EDRは、一定の衝突や衝突に近い状態（SRS エアバッグの作動および路上障害物との接触など）が発生した時に車両システムの作動状況に関するデータを記録します。

EDR は車両の動きや安全システムに関するデータを短時間記録するように作られています。ただし、衝突の程度と形態によっては、データが記録されない場合があります。

EDR は次のようなデータを記録します。

- ・ 車両の各システムの作動状況
- ・ アクセルペダルおよびブレーキペダルの操作状況
- ・ 車速

これらのデータは、衝突や傷害が発生した状況を把握するのに役立ちます。

注意：EDR は衝突が発生したときにデータを記録します。通常走行時にはデータは記録されません。また、個人情報（例：氏名・性別・年齢・衝突場所）は記録されません。ただし、事故調査の際に法執行機関などの第三者が、通常の手続きとして収集した個人を特定できる種類のデータと EDR データを組み合わせ使用することがあります。EDR で記録されたデータを読み出すには、特別な装置を車両または EDR へ接続する必要があります。トヨタにくわえ、法執行機関などの特別な装置を所有する第三者が車両または EDR に接続した場合でも情報を読み出すことができます。

● EDR データの情報開示

次の場合を除き、トヨタは EDR で記録されたデータを第三者へ開示することはありません。

- ・ お車の使用者の同意（リース車は借主の同意）がある場合
- ・ 警察・裁判所・政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
- ・ トヨタが訴訟で使用する場合

ただし、トヨタは

- ・ データを車両安全性能の研究に使用することがあります。
- ・ 使用者・車両が特定されないデータを調査目的で第三者に開示することがあります。

RF 送信機の取り付けについて

お車へ RF 送信機を取り付けると、次のようなシステムに影響をおよぼす可能性があります。

- EFI コンピュータ
- Toyota Safety Sense
- ABS (アンチロックブレーキシステム)
- SRS エアバッグ
- シートベルトプリテンショナー

悪影響を防ぐための措置や取り付け方法については、必ずトヨタ販売店にお問い合わせください。

ご希望により、RF 送信機の取り付けに関する詳しい情報（周波数帯域・電力レベル・アンテナ位置・取り付け条件）をトヨタ販売店にてご提供します。

保証および点検について

保証および点検整備については、別冊「メンテナンスノート」に記載していますので、併せてお読みください。

日常点検整備や定期点検整備は、お客様の責任において実施してください。（法律で義務付けられています）

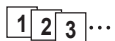
本書の見方



お守りいただかないと、お客様自身と周囲の人々が死亡、または重大な傷害につながるおそれがあることを説明しています。



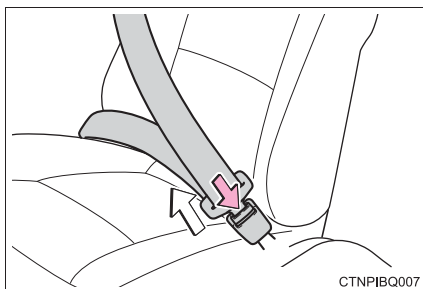
お守りいただかないと、車や装備品の故障や破損につながるおそれがあることを説明しています。



操作・作業の手順を示しています。番号の順に従ってください。

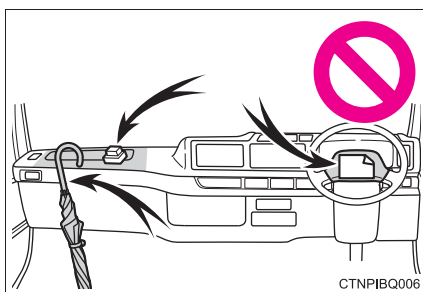
➡ 押す・まわすなど、していただきたい操作を示しています。

➡ フタが開くなど、操作後の作動を示しています。



➡ 説明の対象となるもの・場所を示しています。

⊘ “してはいけません” “このようにしないでください” “このようなことを起こさないでください” という意味です。

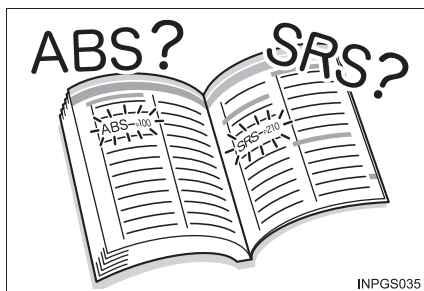


機能や操作方法の説明以外で知っておいていただきたい、知っておくと便利なことを説明しています。

検索のしかた

■ 名称から探す

- ・ 五十音順さくいん 390
- ・ アルファベット順
さくいん 389



■ 取り付け位置から探す

- ・ イラスト目次 12



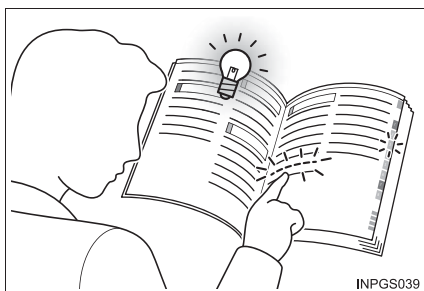
■ 症状や音から探す

- ・ こんなときは
(症状別さくいん) 386
- ・ 車から音が鳴ったときは
(音さくいん) 388



■ タイトルから探す

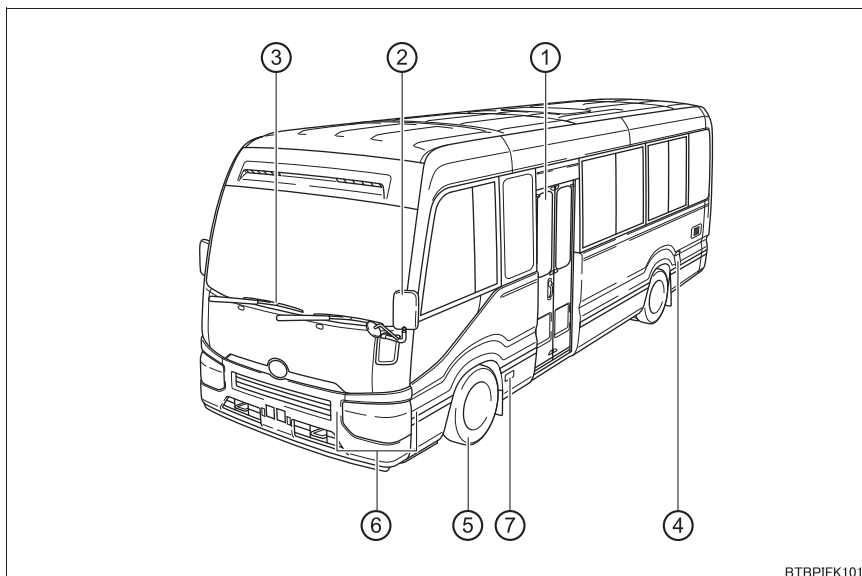
- ・ 目次 2



イラスト目次

■ 外観

▶ フロント



BTBPIFK101

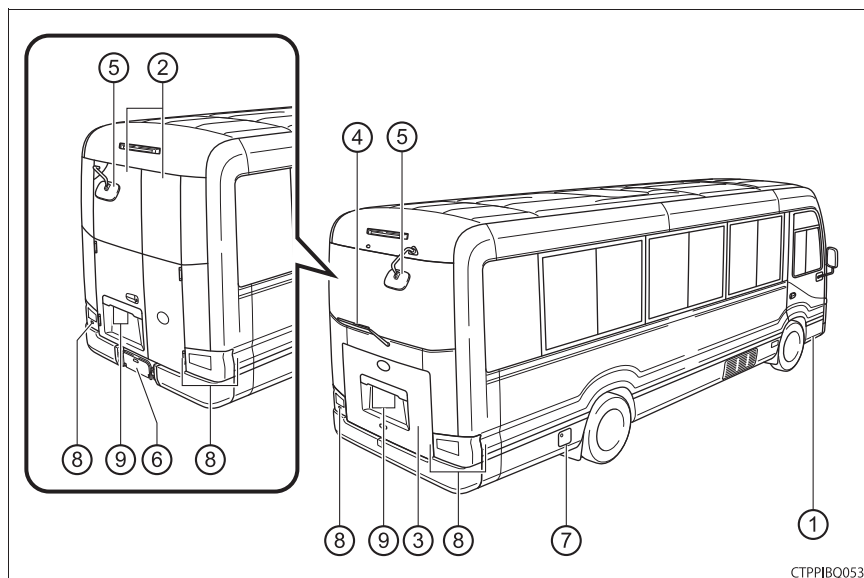
- | | |
|-------------------------|-------------|
| ① センタードア（グライド式ドア／折戸式ドア） | P. 62, 74 |
| 施錠／解錠 | P. 62, 74 |
| 車外から開ける | P. 64, 75 |
| 警告灯 | P. 338 |
| ② アウターミラー | P. 99 |
| 鏡面の角度調整 | P. 99 |
| ミラーの格納 | P. 100 |
| 曇りを取る（ミラーヒーター）★ | P. 230, 241 |
| ③ フロントワイパー | P. 148 |
| 冬季の注意 | P. 186 |
| ④ 給油口 | P. 152 |
| 給油方法 | P. 152 |
| 燃料の種類・燃料タンク容量 | P. 374 |

- ⑤ **タイヤ**.....P. 294
 - サイズ・空気圧.....P. 380
 - 冬用タイヤ・タイヤチェーン.....P. 186
 - 点検・ローテーション.....P. 294
 - パンク時の対処.....P. 346

走行に関わる外装のランプバルブ
(交換要領：P. 305, ワット数：P. 381)

- ⑥ **ヘッドランプ／車幅灯／フロント方向指示灯／
フロントフォグランプ**.....P. 130, 138, 146
- ⑦ **サイド方向指示灯**.....P. 130

▶ リヤ



CTPPBQ053

- | | | |
|---|-----------------|--------|
| ① | フロントドア | P. 60 |
| | 施錠／解錠 | P. 60 |
| | ドアガラスの開閉 | P. 104 |
| | キーでの施錠／解錠 | P. 60 |
| | 警告灯 | P. 338 |
| ② | 観音扉ドア★ | P. 85 |
| | 車外から開ける | P. 86 |
| ③ | トランク★ | P. 81 |
| | 車外から開ける | P. 81 |
| ④ | リヤワイパー | P. 150 |
| | 冬季の注意 | P. 186 |

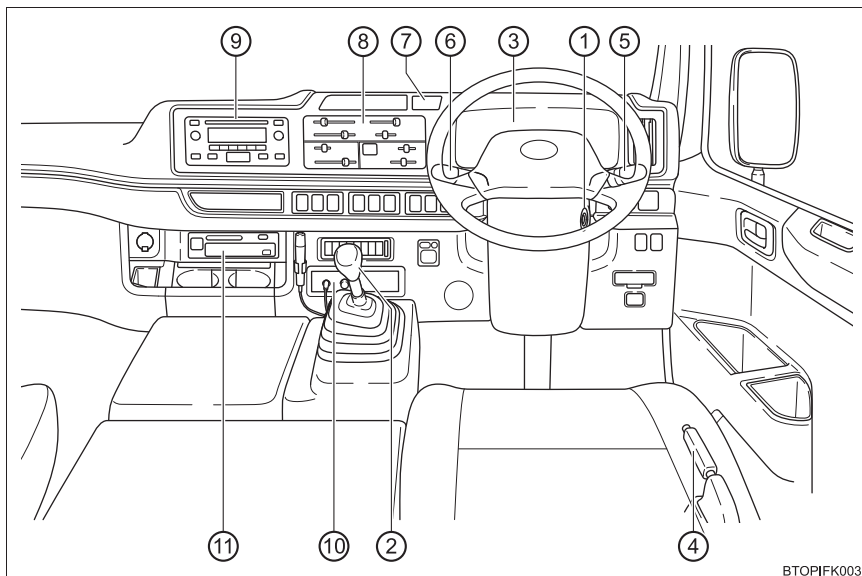
- ⑤ 補助ミラー★.....P. 102
- ⑥ 折りたたみ式バックステップ★P. 87
- ⑦ AdBlue[®] 補給口.....P. 287
補充方法.....P. 287

走行に関わる外装のランプバルブ
(交換要領：P. 305, ワット数：P. 381)

- ⑧ 制動灯／尾灯／リヤ方向指示灯／
リヤフォグランプ★.....P. 130, 138, 147
後退灯
シフトポジションをRにするP. 124, 129
- ⑨ 番号灯.....P. 138

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ インストルメントパネル



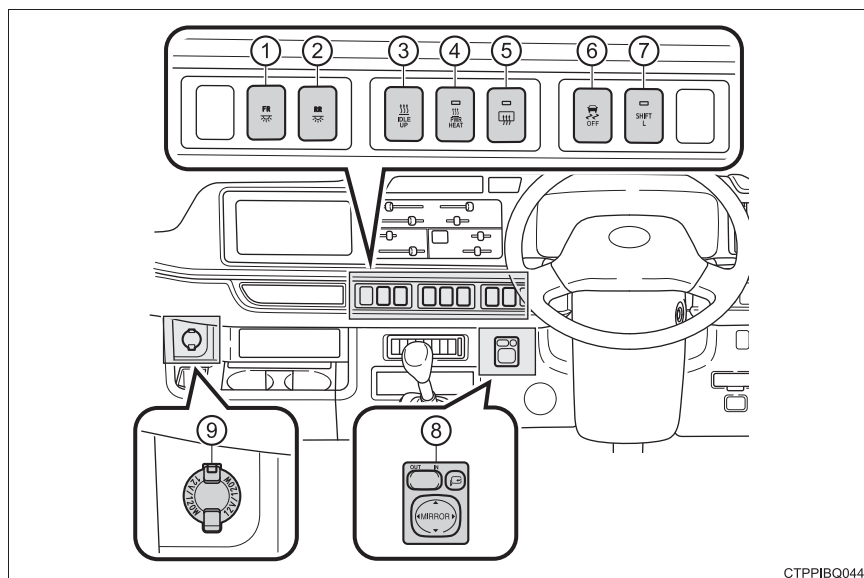
BTOPIFK003

- ① エンジンスイッチP. 120
 エンジンの始動・位置の切りかえP. 120
 エンジンの緊急停止P. 328
 エンジンが始動できないときの対処P. 362
- ② シフトレバーP. 124, 129
 シフトポジションの切りかえP. 124, 129
 けん引時の注意P. 332
 シフトレバーが動かないときの対処P. 127
- ③ メーターP. 50
 見方・明るさの調整P. 50, 51, 54
 警告灯／表示灯P. 46
 警告灯点灯時の対処P. 337
マルチインフォメーションディスプレイP. 53
 警告メッセージ★表示時の対処P. 342

- ④ パーキングブレーキP. 131
 - かける・解除するP. 131
 - 冬季の注意P. 187
 - 警告ブザーP. 337
- ⑤ 方向指示レバーP. 130
 - ランプスイッチP. 138
 - ヘッドランプ・車幅灯・尾灯P. 138
 - フロントフォグランプ/リヤフォグランプ★P. 146
- ⑥ ワイパー&ウォッシャースイッチP. 148
 - 使い方P. 148
 - ウォッシャー液の補充P. 292
 - 排気ブレーキスイッチP. 132
- ⑦ 非常点滅灯スイッチP. 323
- ⑧ マニュアルエアコン（フロントヒーター/
クーラー/リヤヒーター）★ P. 228, 234, 237
 - 操作方法 P. 228, 234, 237
 - オートエアコン★P. 239
 - 操作方法P. 239
 - アイドルアップスイッチP. 248
 - パワーヒータースイッチP. 247
- ⑨ オーディオ★P. 192
- ⑩ マイクアンプ★P. 221
- ⑪ タコグラフ★P. 270

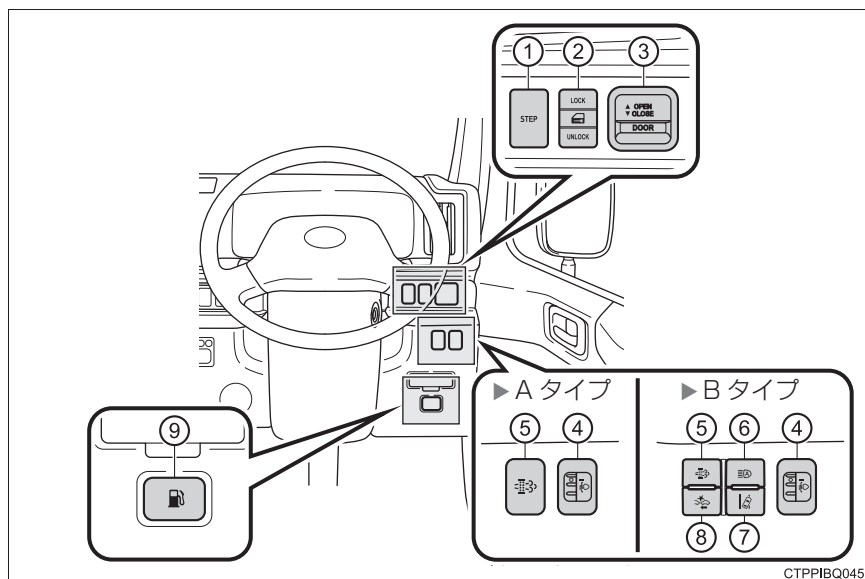
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ スイッチ類



CTPPIBQ044

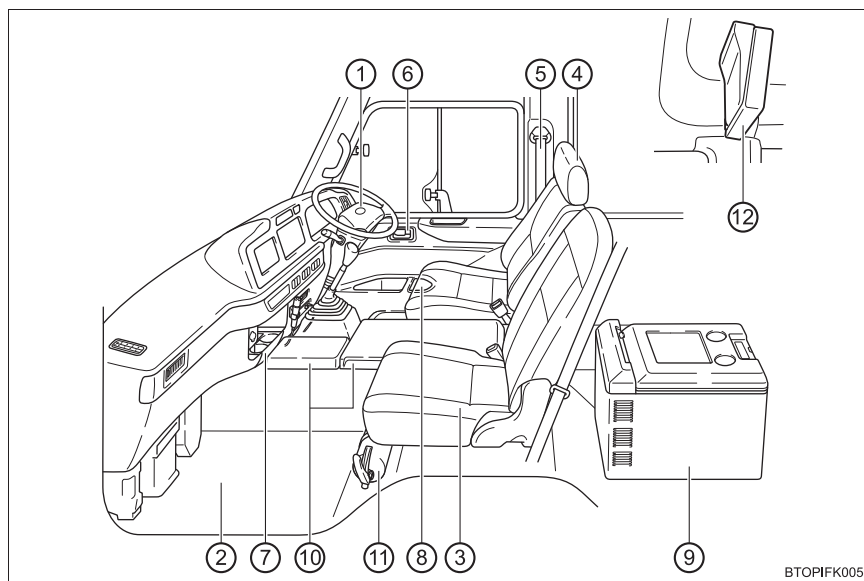
- ① フロントルームランプスイッチP. 250
- ② リヤルームランプスイッチP. 250
- ③ アイドルアップスイッチ★P. 248
- ④ パワーヒータースイッチ★P. 247
換気扇スイッチ★P. 242
- ⑤ リヤウインドウデフォグガースイッチ★P. 230, 241
- ⑥ VSC OFF スイッチP. 181
- ⑦ 1 速固定スイッチ★P. 126
- ⑧ ドアミラースイッチ★P. 99
インナーミラースイッチ★P. 97
- ⑨ アクセサリーソケットP. 258



- ① 電動格納式補助ステップスイッチ★ P. 72
- ② ドアロックスイッチ★ P. 60
- ③ オートドア操作スイッチ★ P. 65, 75
- ④ 手動光軸調整ダイヤル P. 140
- ⑤ 排出ガス浄化装置スイッチ P. 133
- ⑥ オートマチックハイビームスイッチ★ P. 142
- ⑦ LDA (レーンディパーチャーアラート) スイッチ★ P. 171
- ⑧ PCS (プリクラッシュセーフティ) スイッチ★ P. 161
- ⑨ 給油扉オープナー P. 153

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

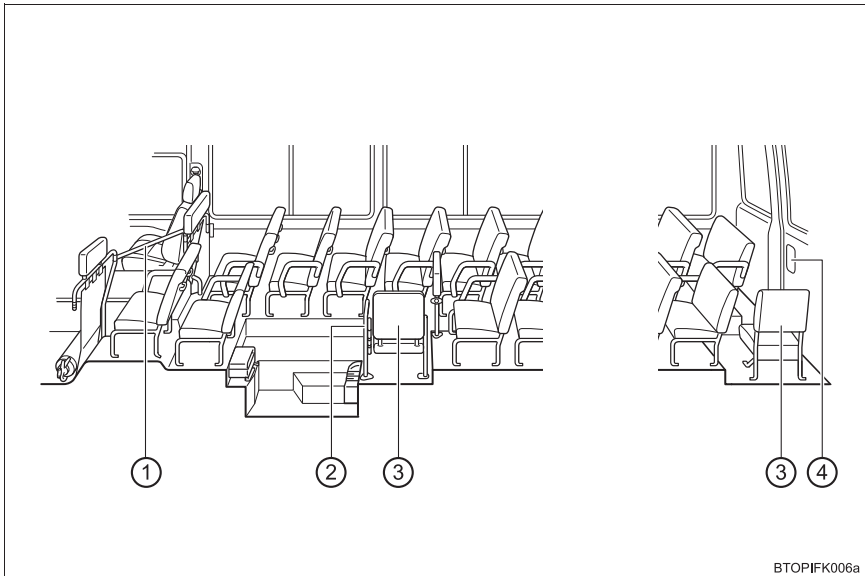
■ 室内



BTOPIFK005

- | | | |
|-------------|-------|--------|
| ① SRS エアバッグ | | P. 34 |
| ② フロアマット | | P. 26 |
| ③ シート | | P. 90 |
| ④ ヘッドレスト★ | | P. 93 |
| ⑤ シートベルト | | P. 30 |
| ⑥ ロックレバー | | P. 60 |
| ⑦ カップホルダー | | P. 252 |
| ⑧ ボトルホルダー | | P. 253 |
| ⑨ 冷蔵庫★ | | P. 263 |
| ⑩ エンジン点検口 | | P. 282 |
| エンジンオイル | | P. 374 |
| ⑪ 消火器★ | | P. 326 |
| ⑫ 後席ディスプレイ★ | | P. 222 |

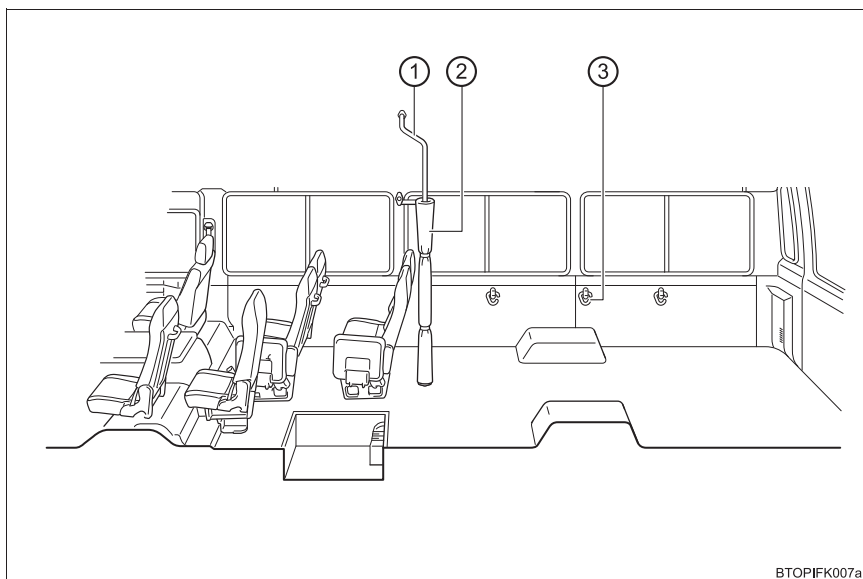
▶ 幼児車



- ① 運転席ガードP. 266
- ② 赤旗P. 331
- ③ 保護者用シート.....P. 92
- ④ 非常ドアP. 330

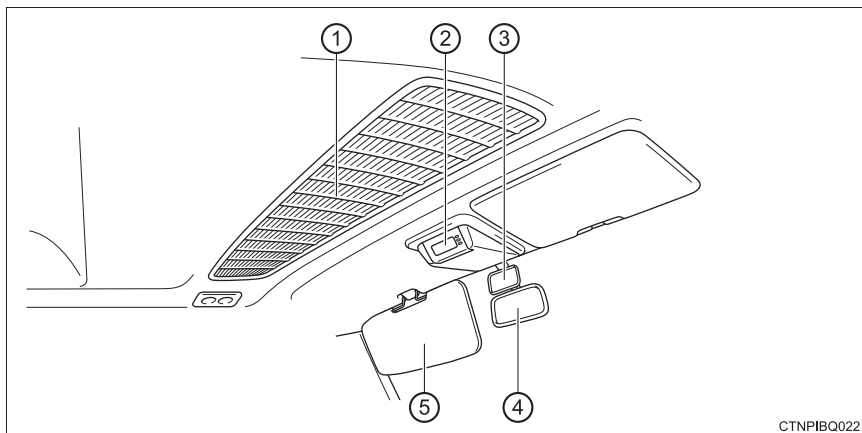
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

▶ バン



BTOPIFK007a

- ① セパレーターバーP. 266
- ② セパレーターカーテン★P. 267
- ③ ロープフックP. 256



CTNPIBQ022

- ① エアフィルター（クーラー用）.....P. 299
- ② 時計P. 261
- ③ 2 段インナーミラー★P. 102
- ④ インナーミラー.....P. 97
- ⑤ サンバイザー ※P. 258

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

※：チャイルドシートをうしろ向きに取り付けないでください。重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。（→ P. 37）



安全・安心のために

～必ずお読みください～

1

1-1. 安全に お使いいただくために	
運転する前に.....	26
安全なドライブのために	28
シートベルト.....	30
SRS エアバッグ.....	34
お子さまの安全のために	41
排気ガスに対する注意	42
1-2. 盗難防止装置	
エンジンイモビライザー システム.....	43

運転する前に

点検整備

日常点検整備や定期点検整備は、お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。適切な時期に点検整備を実施し、車に異常がないことを確認してください。

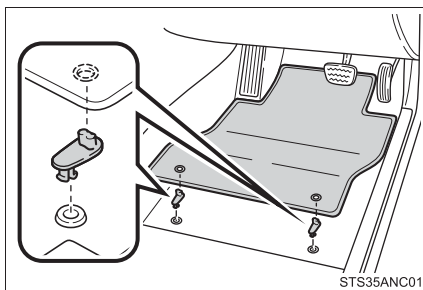
日常点検整備や点検項目などの詳細については、別冊「メンテナンスノート」を参照してください。

異常が見つかった場合は、トヨタ販売店で必ず点検整備を受けてください。

フロアマット

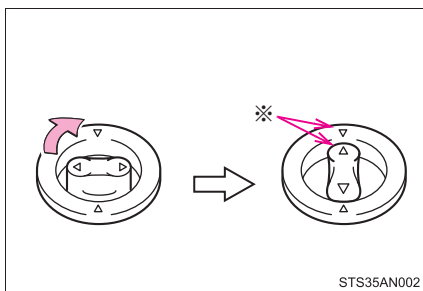
専用のフロアマットを、フロアカーペットの上にしっかりと固定してお使いください。

- 1 固定フック（クリップ）にフロアマット取り付け穴をはめ込む



- 2 固定フック（クリップ）上部のレバーをまわして、フロアマットを固定する

※ △マークを必ず合わせてください。



固定フック（クリップ）の形状はイラストと異なる場合があります。

警告

次のことを必ずお守りください。

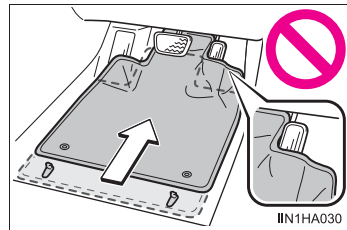
お守りいただかないと、フロアマットがずれて運転中に各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たり車を停止しにくくなるなど、事故の原因になり重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■運転席にフロアマットを敷くとき

- トヨタ純正品であっても、他車種および異なる年式のフロアマットは使用しない
- 運転席専用のフロアマットを使用する
- 固定フック（クリップ）を使って、常にしっかりと固定する
- 他のフロアマット類と重ねて使用しない
- フロアマットを前後逆さまにしたり、裏返して使用しない

■運転する前に

- フロアマットがすべての固定フック（クリップ）で正しい位置にしっかりと固定されていることを定期的を確認し、特に洗車後は必ず確認を行う
- エンジン停止およびシフトレバーが P（オートマチック車）または N（マニュアル車）の状態、各ペダルを奥まで踏み込み、フロアマットと干渉しないことを確認する

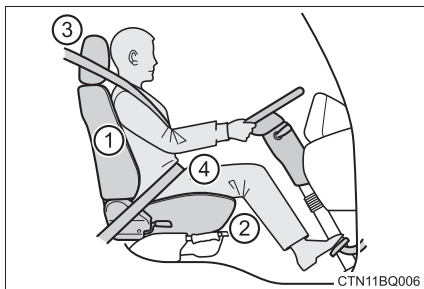


安全なドライブのために

安全に運転するために、走行前にシートやミラーなどを適切に調整してください。

正しい運転姿勢について

- ① まっすぐ座り、運転操作時に体が背もたれから離れないよう、背もたれの角度を調整する
(→ P. 90)
- ② ペダルがしっかりと踏み込め、ハンドルを握ったときにひじが少し曲がるようなシート位置にする
(→ P. 90)
- ③ ヘッドレストの中央が耳のいちばん上のあたりになるようにする
(→ P. 93)
- ④ シートベルトを正しく着用する (→ P. 30)



シートベルトを正しく着用する

すべての乗員は、走行前に必ずシートベルトを正しく着用してください。
(→ P. 30)

ミラーを調整する

後方が確実に確認できるように、インナーミラー・アウターミラーを正しく調整してください。(→ P. 97, 99)

 警告

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 走行中は運転席の調整をしないでください。
運転を誤るおそれがあります。
- 背もたれと背のあいだにクッションなどを入れないでください。
正しい運転姿勢がとれないばかりか、衝突したとき、シートベルトやヘッドレストなどの効果が十分に発揮されないおそれがあります。
- フロントシートの下にもものを置かないでください。(シートアンダートレイ内を除く)
ものが挟まるとシートが固定されず、思わぬ事故や調整機構の故障の原因になります。
- 公道を走行するときは、法定速度や制限速度を遵守してください。
- 他の車や歩行者など、周囲の状況に常に注意を払い、安全運転を心がけてください。
- 飲酒運転は絶対にしないでください。お酒を飲むと注意力と判断力がにぶり、思いがけない事故を引き起こすおそれがあります。また、眠気をもよおす薬を飲んだときも運転を控えてください。
- 運転中に携帯電話を使用したり、装置の調節などをしないでください。周囲の状況などへの注意が不十分になり、大変危険です。ハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を運転中に使用することは法律で禁止されています。
- 長距離ドライブの際は、疲れを感じる前に定期的に休憩してください。
また、運転中に疲労感や眠気を感じたときは、無理に運転せず、すみやかに休憩してください。

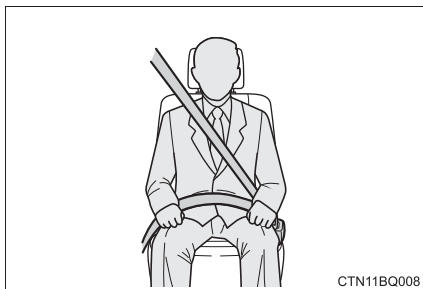
シートベルト

走行前にすべての乗員は必ずシートベルトを正しく着用してください。

正しく着用する

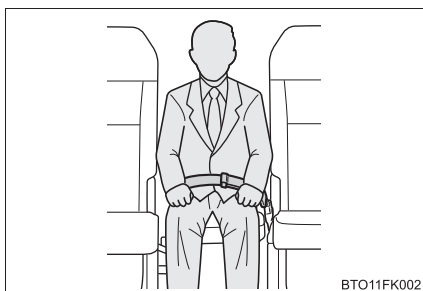
◆ 3点式シートベルト

- 肩部ベルトを肩に十分かける
首にかかったり、肩からはずれないようにしてください。
- 腰部ベルトを必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させる
- 背もたれを調整し、上体を起こし、深く腰かけて座る
- ねじれがないようにする



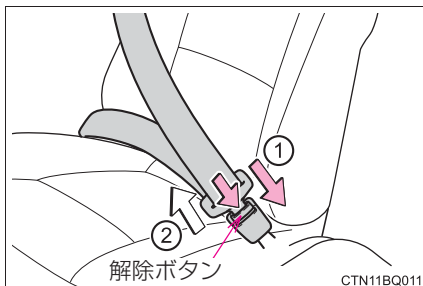
◆ 2点式シートベルト

- 腰部ベルトを必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させる
- 背もたれを調整し、上体を起こし、深く腰かけて座る
- ねじれがないようにする



着け方・はずし方

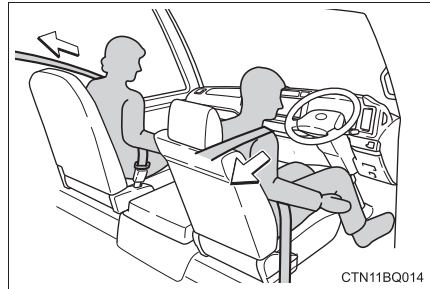
- ① ベルトを固定するには、“カチッ”と音がするまでプレートをバックルに挿し込む
- ② ベルトを解除するには、解除ボタンを押す



シートベルトプリテンショナー（運転席・助手席★）

前方から強い衝撃を受けたとき、シートベルトを引き込むことで適切な乗員拘束効果を確認します。

前方からの衝撃が弱いときや、横やうしろからの衝撃、横転のときは通常は作動しません。



知識

■ シートベルトロックの解除方法

急停止や衝撃があったときベルトがロックされます。急に体を前に倒したり、シートベルトをすばやく引き出してもロックする場合があります。一度ベルトを巻きもどし、ゆっくり動かせば、ベルトを引き出すことができます。

■ お子さまのシートベルトの使い方

この車のシートベルトは、シートベルトを装着するのに十分な、大人の体格を持った人用に設計されています。

シートベルトが正しい位置で着用できるお子さまの場合は、シートベルトの着用のしかたに従ってください。（→ P. 30）

■ シートベルトプリテンショナーについて

シートベルトプリテンショナーは、一度しか作動しません。玉突き衝突などで連続して衝撃を受けた場合でも、一度作動したあとは、その後の衝突では作動しません。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告

急ブレーキや事故の際のけがを避けるため、次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■シートベルトの着用について

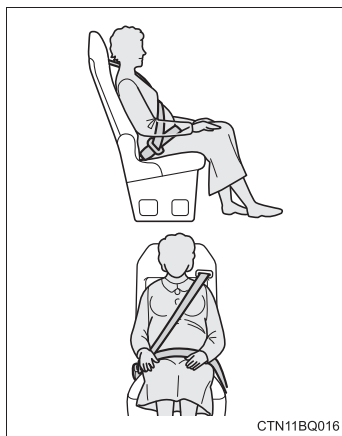
- 全員がシートベルトを着用する
- シートベルトを正しく着用する
- シートベルトは一組につき一人で使用する
お子さまでも一組のベルトを複数の人で使用しない
- お子さまはリヤシートに座らせてシートベルトを着用させる
- 背もたれは必要以上に倒さず、上体を起こし、シートに深く座る
- 肩部ベルトを腕の下に通して着用しない
- 腰部ベルトはできるだけ低い位置に密着させ着用する

■妊娠中の女性の場合

医師に注意事項を確認の上、必ず正しく着用してください。(→ P. 30)

通常の着用のしかたと同じように、腰部ベルトが腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにお腹のふくらみの下に、肩部ベルトは確実に肩を通し、お腹のふくらみを避けて胸部にかかるように着用してください。

ベルトを正しく着用していないと、衝突したときなどに、母体だけでなく胎児までが重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



 **警告****■ 疾患のある方の場合**

医師に注意事項を確認の上、必ず正しく着用してください。

■ お子さまを乗せるとき

お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。万一ベルトが首に巻き付いた場合、窒息など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

誤ってそのようになってしまい、バックルもはずせない場合は、ハサミなどでシートベルトを切断してください。

■ プリテンショナー付シートベルトについて（運転席・助手席★）

シートベルトプリテンショナーが作動すると、SRS エアバッグ／プリテンショナー警告灯が点灯します。その場合はシートベルトを再使用することができないため、必ずトヨタ販売店で交換してください。

■ シートベルトの損傷・故障について

- ベルトやプレート・バックルなどは、シートやドアに挟むなどして損傷しないようにしてください。
- シートベルトが損傷したときは、シートベルトを修理するまでシートは使用しないでください。
- プレートがバックルに確実に挿し込まれているか、シートベルトがねじれていないかを確認してください。うまく挿し込めない場合はただちにトヨタ販売店に連絡してください。
- もし重大な事故にあったときは、明らかな損傷が見られない場合でも、シート・シートベルトを交換してください。
- プリテンショナー付シートベルトの取り付けや取りはずし・分解・廃棄などは、トヨタ販売店以外でしないでください。
不適切に扱うと、正常に作動しなくなるおそれがあります。

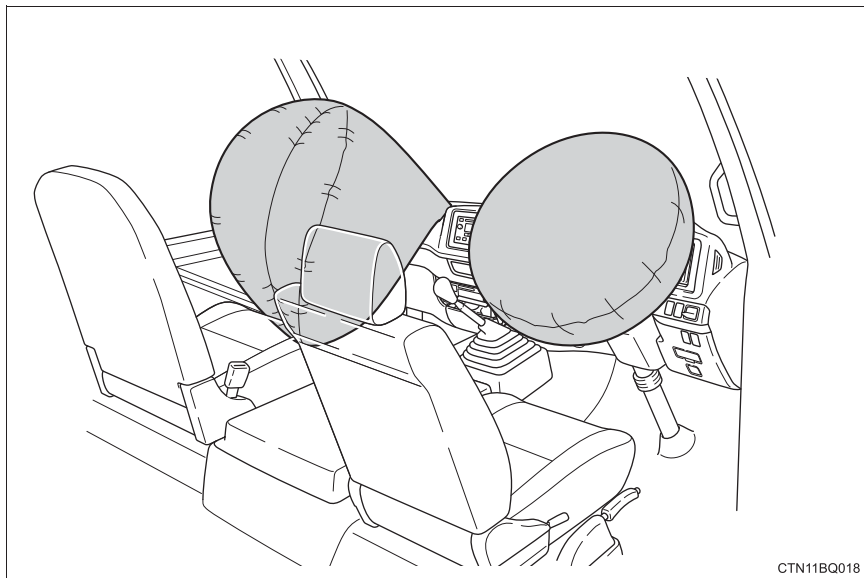
■ チャイルドシートの取り付けについて

すべてのシートに、シートベルトでチャイルドシートを取り付けることはできません。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

SRS エアバッグ

SRS エアバッグは乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときにふくらみ、シートベルトが体を拘束する働きと併せて乗員への衝撃を緩和させます。



CTN11BQ018

◆ フロント SRS エアバッグ

運転席 SRS エアバッグ／助手席 SRS エアバッグ★
(運転者と助手席乗員の頭や胸などへの衝撃を緩和)

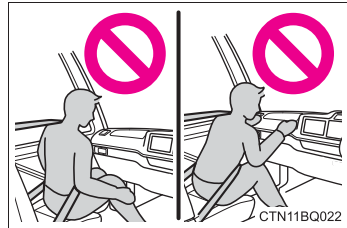
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告**■ SRS エアバッグについて**

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

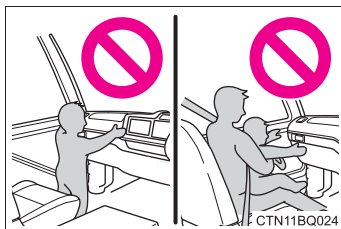
- 運転者と乗員すべてがシートベルトを正しく着用してください。
SRS エアバッグはシートベルトを補助するためのものです。
- 助手席 SRS エアバッグは強い力でふくらむため、特に乗員がエアバッグに近付きすぎると、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。乗員が SRS エアバッグのふくらむ場所に近い場合は特に危険です。シートの背もたれを調整して、シートをできるだけ SRS エアバッグから離し、まっすぐに座ってください。
- お子さまがシートにしっかり座っていないと、SRS エアバッグのふくらむ衝撃で重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- シートの縁に座ったり、ダッシュボードにもたれかかったりしない



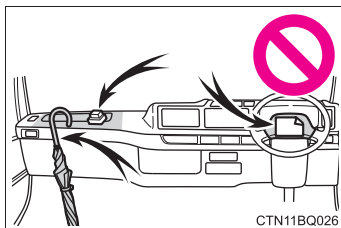
警告

■SRSエアバッグについて

- お子さまを助手席SRSエアバッグの前に立たせたり、ひざの上に抱いたりしない
- 運転者および助手席乗員は、ひざの上に何も持たない



- ダッシュボード・ハンドルのパッド部分などには何も取り付けたり、置いたりしない



- SRSエアバッグシステム構成部品の周辺は、強くたたくなど過度の力を加えないでください。
SRSエアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- SRSエアバッグがふくらんだ直後は、構成部品が熱くなっているため、ふれないでください。
- SRSエアバッグがふくらんだあとに、もし呼吸が苦しく感じたら、ドアやドアガラスを開けて空気を入れるか、安全を確認して車外に出てください。
皮膚の炎症を防ぐため、残留物はできるだけ早く洗い流してください。
- SRSエアバッグが収納されているパッド部に傷が付いていたり、ひび割れがあるときは、そのまま使用せずトヨタ販売店で交換してください。

警告

■ SRS エアバッグについて

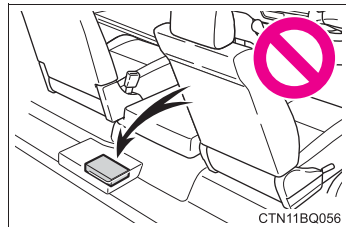


- チャイルドシートをうしろ向きに取り付けしないでください。
うしろ向きに取り付けていると、事故などで助手席 SRS エアバッグがふくらんだとき、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 助手席側のサンバイザー、または天井に同内容のラベルが貼られています。併せて参照してください。

■ SRS エアバッグコンピューターについて

エンジン点検口後方の SRS エアバッグコンピューターカバーの下に SRS エアバッグのコンピューターが装着されています。必ず次のことをお守りください。お守りいただかないと SRS エアバッグが正常に作動しなくなったり、誤ってふくらむなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

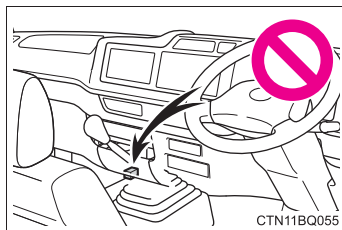
- SRS エアバッグコンピューターカバーを蹴ったり、強い衝撃を与えたりしない
- SRS エアバッグコンピューターカバーや周辺部に液体をかけない
- SRS エアバッグコンピューターカバーを取りはずそうとしない
- SRS エアバッグコンピューターカバーにひび割れ、欠けなど破損があるときは、そのまま使用せずトヨタ販売店で交換してください。



警告**■ SRS エアバッグセンサーについて**

インストルメントパネルの奥、カップホルダー近くに SRS エアバッグのセンサーが装着されています。必ず次のことをお守りください。お守りいただかないと SRS エアバッグが正常に作動しなくなったり、誤ってふくらむなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- SRS エアバッグセンサーに強い衝撃を与えたりしない
- 周辺部に液体をかけない

**■ 改造・廃棄について**

トヨタ販売店への相談なしに、次の改造・廃棄をしないでください。SRS エアバッグが正常に作動しなくなったり、誤ってふくらむなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- SRS エアバッグの取りはずし・取り付け・分解・修理
- ハンドル・インストルメントパネル・ダッシュボード・SRS エアバッグコンピューターカバー周辺の修理・取りはずし・改造
- フロントフェンダー・フロントバンパーなどの修理・改造
- グリルガード（ブルバー・カンガルーバーなど）・除雪装置・ウインチなどの取り付け
- サスペンションの改造
- CD プレーヤー・無線機などの電化製品の取り付け

知識

■ SRS エアバッグが作動すると

- SRS エアバッグは高温のガスにより非常に速い速度でふくらむため、すり傷、やけど、打撲などを受けることがあります。
- 作動音と共に白いガスが発生します。
- エアバッグモジュールの各部品（ハンドルのハブ・エアバッグカバー・インフレーター）が数分間熱くなることがあります。エアバッグそのものも熱くなります。
- フロントウインドウガラスが破損することがあります。

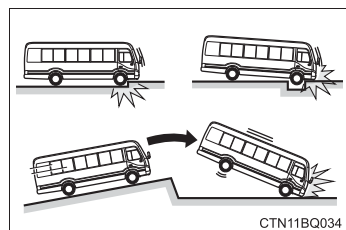
■ SRS エアバッグが作動するとき

- SRS エアバッグは、衝撃の強さが設定値（移動も変形もしない固定された壁に、車速約 20 ～ 30km/h で正面衝突した場合の衝撃の強さに相当する値）以上の場合に作動します。
ただし、次のような場合はエアバッグが作動する車速は設定値より高くなります。
 - ・ 駐車している車や標識のような衝撃によって移動や変形するものに衝突した場合
 - ・ もぐり込むような衝撃の場合（例えば、車両前部がもぐり込む、下に入り込む、トラックの下敷きになるなど）
- 衝突条件によってはシートベルトプリテンショナーのみ作動する場合があります。

■ 衝突以外で作動するとき

次のような状況で、車両下部に強い衝撃を受けたときも、SRS エアバッグが作動する場合があります。

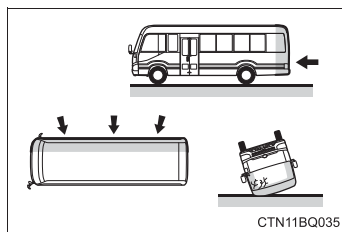
- 縁石や歩道の端など、固いものにぶつかったとき
- 深い穴や溝に落ちたり、乗りこえたとき
- ジャンプして地面にぶつかったり、道路から落下したとき



■ SRS エアバッグが作動しないとき

SRS エアバッグは、側面や後方からの衝撃・横転、または低速での前方からの衝撃では、通常は作動しません。ただし、それらの衝撃が前方への減速を十分に引き起こす場合には、SRS エアバッグが作動することがあります。

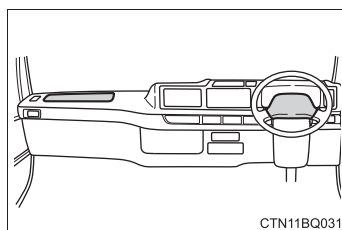
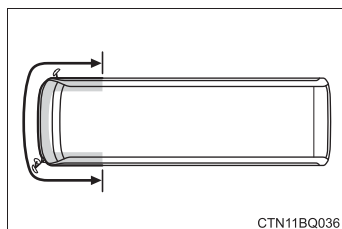
- 側面からの衝突
- 後方からの衝突
- 横転



■ トヨタ販売店に連絡が必要な場合

次のような場合には、できるだけ早くトヨタ販売店へご連絡ください。

- いずれかの SRS エアバッグがふくらんだとき
- SRS エアバッグはふくらまなかったが、事故で車両の前部を衝突したとき、または破損・変形などがあるとき
- ハンドルのパッド部分・ダッシュボードの助手席 SRS エアバッグ付近が傷付いたり、ひび割れたり、その他の損傷を受けたとき



お子さまの安全のために

お子さまを乗せるときは、次のことをお守りください。

- お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。
- 運転装置にふれるのを防ぐため、お子さまはリヤシートに乗せることをおすすめします。
- 小さなお子さまには、センタードア・トランク★・観音扉ドア★やシートなど、体を挟まれるおそれがある装備類を操作させないでください。

警告

お子さまを車の中に残したままにしないでください。車内が高温になって熱射病や脱水症状になり、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

また、お子さまが車内の装置を操作し、ドアガラスなどに挟まれたり、発炎筒などでやけどしたり、運転装置を動かして、思わぬ事故につながるおそれがあります。危険です。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

排気ガスに対する注意

排気ガスには吸引すると人体に有害な物質が含まれています。

警告

排気ガスには無色・無臭で有害な一酸化炭素（CO）が含まれているため、次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、排気ガスが車内に侵入し、多量の排気ガスが眠気を招き事故の原因となるほか、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 走行中の留意事項

トランク★または観音扉ドア★を閉じてください。

トランク★または観音扉ドア★が閉じているのに車内で排気ガス臭がするときは、スライド式サイドガラスを開けて空気を入れかえ、すみやかにトヨタ販売店で点検整備を受けてください。

■ 駐車するとき

- 車庫内など換気が悪い場所や囲まれた場所では、エンジンを停止してください。
- 長時間エンジンをかけたままにしないでください。
やむを得ないときは、開かれた場所に車を止め、排気ガスが車内に入ってこないことを確認してください。
- 降雪時や雪が積もった場所では、エンジンをかけたままにしないでください。
まわりに積もった雪で排気ガスが滞留して、車内に侵入するおそれがあります。

■ 排気管について

排気管は定期的に点検する必要があります。排気管等の腐食などによる穴や亀裂、および継ぎ手部の損傷、また、排気音の異常などに気付いた場合は、必ずトヨタ販売店で点検を受けてください。

(P. 133 も併せて参照してください)

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

エンジンモビライザーシステム

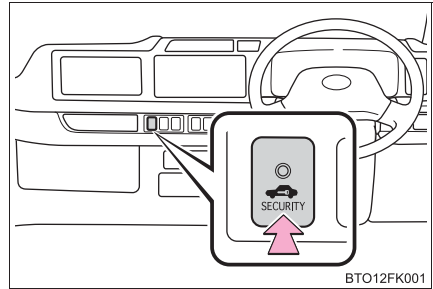
キーに信号発信機が内蔵してあり、あらかじめ登録されたキー以外ではエンジンを始動できません。

車両から離れる場合は、車内にキーを残さないでください。

このシステムは車両盗難の防止に寄与する機能であり、すべての車両盗難に対する完全なセキュリティを保証するものではありません。

キーをエンジンスイッチから抜くと、システムの作動を知らせるためにインジケーターが点滅します。

登録されたキーをエンジンスイッチに挿し込むとシステムが解除され、インジケーターが消灯します。



知識

■ メンテナンスについて

エンジンモビライザーシステムのメンテナンスは不要です。

■ システムが正常に作動しないとき

- キーが金属製のものに接したり、覆われているとき
- キーが他の車両のセキュリティシステム用キー（信号発信機内蔵キー）と重なっているときや接近しているとき

⚠ 注意

■ エンジンモビライザーシステムを正常に作動させるために

システムの改造や取りはずしをしないでください。
システムが正常に作動しないおそれがあります。

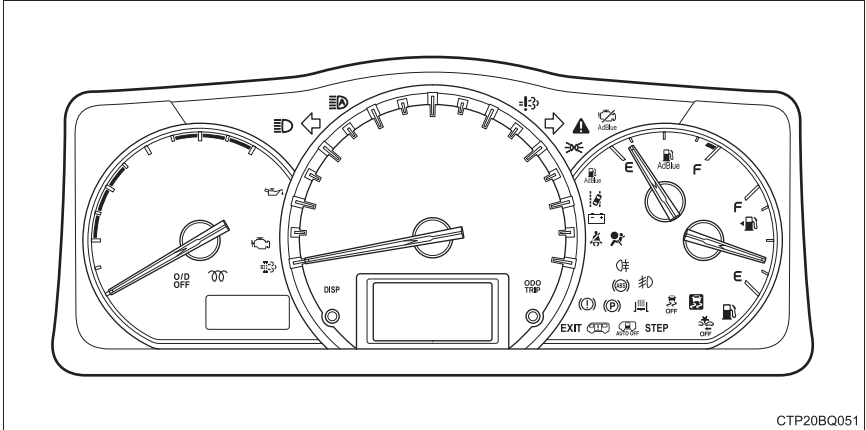
メーターの見方

2

2. 計器の見方	
警告灯／表示灯.....	46
計器類.....	50
マルチインフォメーション ディスプレイ.....	53

警告灯 / 表示灯

メーターの警告灯・表示灯でお車の状況をお知らせします。



警告灯

万一のシステム異常などを警告します。(→ P. 337)

※ 	ブレーキ警告灯／ バキューム警告灯 (→ P. 337)		排出ガス浄化装置警告灯 (→ P. 338) (点滅)
※ 	充電警告灯 (→ P. 337)		燃料残量警告灯 (→ P. 338)
※ 	油圧警告灯 (→ P. 338)		AdBlue [®] 残量警告灯 (→ P. 338) (黄色)
※ 	エンジン警告灯 (→ P. 337)		AdBlue [®] 品質異常警告灯 (→ P. 338)
	オーバードライブ OFF 表示灯★ (→ P. 337) (点滅)		AdBlue [®] 噴射異常警告灯 (→ P. 338)
※ 	SRS エアバッグ／ プリテンショナー警告灯 (→ P. 337)		運転席シートベルト 非着用警告灯 (→ P. 338)
※ 	ABS 警告灯 (→ P. 337)	※ 	スリップ表示灯 (→ P. 339)
	センタードア開放警告灯 (→ P. 338)		LDA 表示灯★ (→ P. 339) (黄色)
	非常ドア開放警告灯★ (→ P. 338)	※ 	PCS 警告灯★ (→ P. 339) (点滅 または 点灯)
	パーキングブレーキ未解除 警告灯 (→ P. 337)	※ 	マスターウォーニング★ (→ P. 339)

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

※ 作動確認のためにエンジンスイッチを“ON”にすると点灯し、数秒後またはエンジンをかけると消灯します。点灯しない場合や点灯したままのときはシステム異常のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

表示灯

システムの作動状況を表示します。

	方向指示表示灯 (→ P. 130)		※1 VSC OFF 表示灯 (→ P. 182)
	尾灯表示灯 (→ P. 138)		※1 スリップ表示灯 (→ P. 181) (点滅)
	ハイビーム表示灯 (→ P. 139)		LDA 表示灯★ (→ P. 171) (緑色)
	オートマチックハイビーム 表示灯★ (→ P. 142)		※2 LDA 表示灯★ (→ P. 174) (黄色)
	フロントフォグランプ 表示灯 (→ P. 146)		LDA 表示灯★ (→ P. 174) (黄色 点滅)
	リヤフォグランプ表示灯★ (→ P. 147)		※1, 2 PCS 警告灯★ (→ P. 161)
	排気ブレーキ作動表示灯 (→ P. 132)		電動格納補助ステップ 表示灯★ (→ P. 72)
	オーバードライブ OFF 表示灯★ (→ P. 125)		オートドア作動切りかえ表 示灯★ (→ P. 65, 76)
	※1 予熱表示灯★ (→ P. 120)		

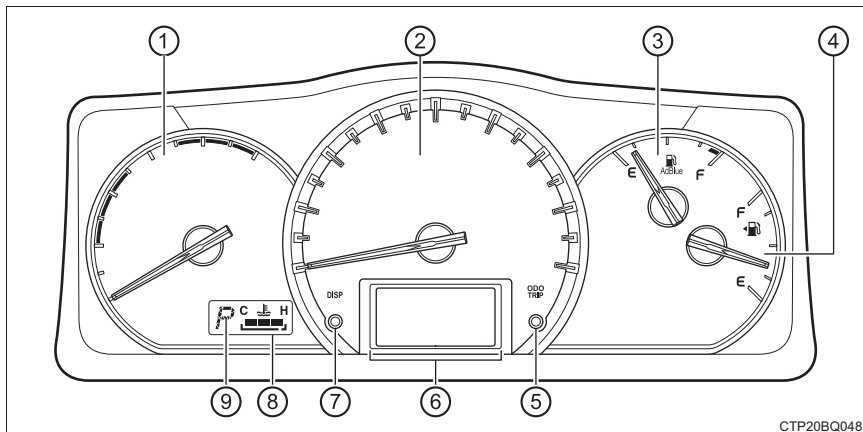
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

- ※¹ 作動確認のためにエンジンスイッチを“ON”にすると点灯し、数秒後に消灯します。点灯しない場合や点灯したままのときは、システム異常のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。
- ※² システムがOFFのときに点灯します。

 **警告****■安全装置の警告灯が点灯しないときは**

ABSやSRSエアバッグなどの安全装置の警告灯が、エンジンスイッチを“ON”にしても点灯しない場合や点灯したままの場合は、事故にあったときに正しく作動せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

計器類



CTP20BQ048

① タコメーター

毎分のエンジン回転数を示します。

② スピードメーター

車両の走行速度を示します。

③ AdBlue[®] 残量計

AdBlue[®] 残量を示します。次の場合、実際の残量が正しく表示されないことがあります。

- ・ 少量補給（約 10L 以下）を行ったとき
- ・ 坂道など傾いた場所に停車したとき
- ・ 坂道やカーブを走行したとき

④ 燃料計

燃料残量を示します。次の場合、実際の燃料残量が正しく表示されないことがあります。

- ・ 少量給油（約 5L 以下）を行ったとき
- ・ 坂道など傾いた場所に停車したとき
- ・ 坂道やカーブを走行したとき

⑤ オドメーター／トリップメーターボタン

→ P. 51

⑥ マルチインフォメーションディスプレイ

走行に関する様々な情報を表示します。（→ P. 53）

⑦ DISP ボタン

情報表示を切りかえます。(→ P. 53)

⑧ 水温計

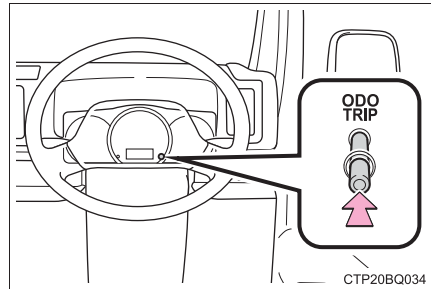
エンジン冷却水の温度を示します。

⑨ シフトポジション表示 (オートマチック車)

選択されているシフトポジションを表示します。

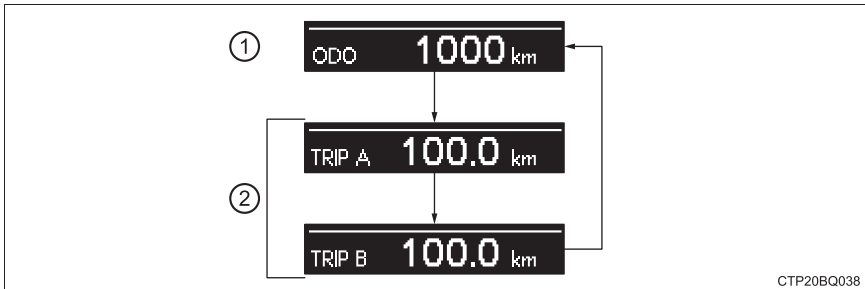
オドメーター／トリップメーターの表示切りかえ

オドメーター／トリップメーターボタンを押すごとに切りかわります。



CTP20BQ034

オドメーター／トリップメーター



CTP20BQ038

① オドメーター

走行した総距離を表示します。

② トリップメーター A* /トリップメーター B*

リセットしてからの走行距離を表示します。区間距離は、トリップ A・トリップ B の2種類で使い分けることができます。

* リセットしたい方を表示させたまま、ボタンを押し続けると0にもどります。

 知識■ **メーター・ディスプレイの作動条件**

エンジンスイッチが“ON” のとき

■ **燃料計と航続可能距離について**

燃料計と航続可能距離は連動しています。少量給油後に燃料計と航続可能距離の表示が更新されない場合、次の操作を行うことで表示を更新することができます。

- 1 車両を平坦な場所に停車させる
- 2 オドメーター／トリップメーターボタンを押してオドメーター／トリップメーターの表示をオドメーター表示に切りかえる
- 3 エンジンスイッチを“LOCK” にする
- 4 オドメーター／トリップメーターボタンを押したまま、エンジンスイッチを“ON” にする
- 5 そのまま約 5 秒間オドメーター／トリップメーターボタンを押し続け、オドメーターが点滅を開始したら手をはなす
オドメーターが約 5 秒間点滅したあと、通常の表示にもどれば、更新は終了です。

■ **バッテリー端子の脱着をしたとき**

バッテリー端子の脱着を行うと、トリップメーターはリセットされます。

■ **外気温度表示について**

次の場合は、正しい外気温度が表示されなかったり、温度表示の更新が遅くなったりすることがありますが、故障ではありません。

- 停車しているときや、低速走行（約 20km/h 以下） のとき
- 外気温度が急激に変化したとき（車庫・トンネルの出入り口付近など）

 **注意**■ **エンジンや構成部品への損傷を防ぐために**

- タコメーターの針がレッドゾーン（エンジンの許容回転数をこえている範囲）に入らないようにしてください。
- 水温計の目盛りが H のレッドゾーンに入り警告ブザーが鳴ったときは、オーバーヒートのおそれがあるので、ただちに安全な場所に停車してください。完全に冷えたあと、エンジンを確認してください。（→ P. 366）

マルチインフォメーションディスプレイ

表示内容


マルチインフォメーションディスプレイは、外気温や走行に関するさまざまな情報を表示します。

- ドライブインフォメーション
(→ P. 54)

航続可能距離や走行時間など、走行に関する情報を表示します。

- 外気温

− 40℃～ 50℃のあいだで表示します。

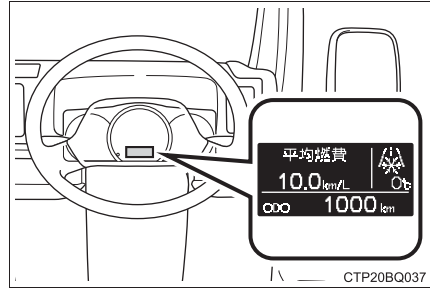
外気温度が 3℃以下となった場合に凍結している恐れがあることを知らせる為、が 10 回点滅したあと、点灯します。

- トリップインフォメーション (→ P. 51)

- ・ オドメーター
- ・ トリップメーター A / トリップメーター B

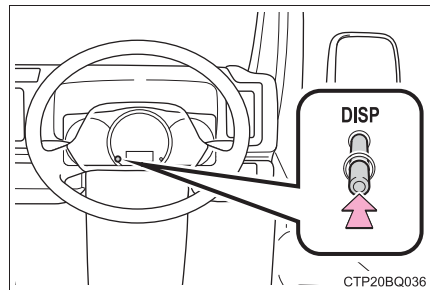
- 警告メッセージ

車両に異常が発生した場合に、内容・対処法などのメッセージを表示します。
(→ P. 342)



表示切りかえ

表示を切りかえるには、DISP ボタンを押します。



ドライブインフォメーションの機能

■ 平均燃費

リセットしてからの平均燃費を表示します。

- ・ リセットするには、平均燃費の表示中に DISP ボタンを押し続けます。
- ・ 表示される平均燃費は、参考として利用してください。

■ 平均車速

エンジン始動後の平均車速を表示します。

- ・ 表示される平均車速は、参考として利用してください。

■ 走行時間

エンジン始動後の走行時間を表示します。

- ・ 表示される走行時間は、参考として利用してください。

■ 航続可能距離

現在の燃料残量で走行できるおよその距離を表示します。

- ・ 運転履歴から学習した燃費と現在の燃料残量から算出した走行可能な距離を表示します。使用環境（気象、渋滞など）や運転方法（急発進、エアコンの使用など）に応じて燃費がかわるため、実際の走行できる距離とは異なります。
- ・ 燃料給油量が少量（約 5L 以下）のとき、表示が更新されないことがあります。この場合、燃料計の表示とともに更新することができます。（→ P. 52）

■ LDA（レーンディパーチャーアラート）

→ P. 175

■ 排出ガス浄化装置堆積モニター

→ P. 135

■ メーター照度調整表示

メーター照度調整を表示します。

DISP ボタンを押し続けると照度を 5 段階に調整できます。

■ 設定

機能の設定を変更することができます。

→ P. 383

 知識

■ マルチインフォメーションディスプレイの作動条件

エンジンスイッチが “ON” のとき

■ バッテリー端子の脱着をしたときは

バッテリー端子の脱着を行うと、トリップメーターのデータはリセットされま
す。

■ 外気温表示について

次の場合は、正しい外気温度が表示されなかったり、温度表示の更新が遅くなっ
たりすることがありますが、故障ではありません。

- 停車しているときや、低速走行（約 20km/h 以下） のとき
- 外気温度が急激に変化したとき（車庫・トンネルの出入り口付近など）

■ 外気温度表示で “--- °C” が表示されたときは

システム異常のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

 注意

■ 低温時の画面表示について

画面の温度が極めて低いときは、画面表示の切りかえが遅れる場合があります
ので、車内を暖めてください。

各部の操作**3**

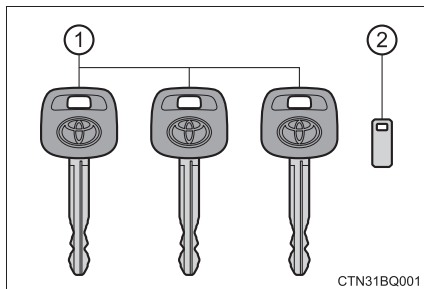
3-1. キー	
キー	58
3-2. ドアの開閉、 ロックのしかた	
フロントドア	60
センタードア (グライド式ドア)	62
センタードア (折戸式ドア)	74
トランク	81
観音扉ドア	85
3-3. シートの調整	
運転席	90
助手席/リヤシート	91
ヘッドレスト	93
3-4. ハンドル位置・ミラー	
ハンドル	95
インナーミラー	97
アウターミラー	99
補助ミラー	102
3-5. スライド式 サイドガラスの開閉	
スライド式サイドガラス	104

キー

キーについて

お客様へ次のキーをお渡しします。

- ① キー
- ② キーナンバープレート



 知識

■ キーの構成について

車の仕様により、ここで説明している内容とキーの枚数・組み合わせが異なる場合があります。

■ キーを紛失したとき

キーナンバープレートに打刻されたキーナンバーと残りのキーから、トヨタ販売店でトヨタ純正品の新しいキーを作ることができます。

キーナンバープレートは車の中以外の安全な場所（財布の中など）に保管してください。

 注意

■ キーの故障を防ぐために

- 落としたり、強い衝撃を与えたり、曲げたりしない
- 温度の高いところに長時間放置しない
- めらしたり超音波洗浄器などで洗ったりしない
- キーに金属製または磁気を帯びた製品を取り付けたり、近付けたりしない
- 分解しない
- キー表面にシールなどを貼らない
- テレビやオーディオ・電磁調理器などの磁気を帯びた製品や、低周波治療器などの電気医療機器の近くに置かない

フロントドア

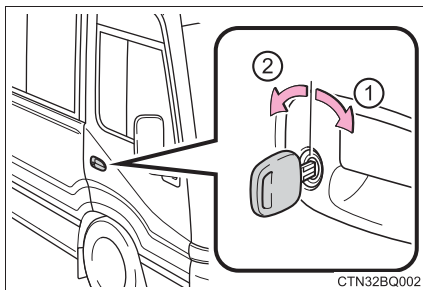
車外からの施錠・解錠

◆ キー

- ① ドアを施錠する
- ② ドアを解錠する

次のドアが装着されている場合は、キーを操作すると、連動して施錠・解錠することができます。

- ・ グライド式ドア（ワンマンバス仕様車をのぞく）
- ・ 観音扉ドア



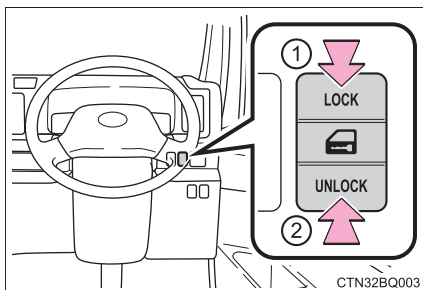
車内からの施錠・解錠

◆ ドアロックスイッチ★

- ① ドアを施錠する
- ② ドアを解錠する

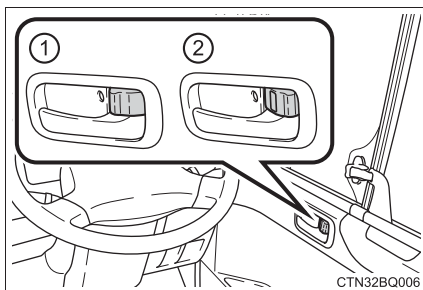
次のドアが装着されている場合は、スイッチを操作すると、連動して施錠・解錠することができます。

- ・ グライド式ドア
- ・ 観音扉ドア



◆ ロックレバー

- ① ドアを施錠する
- ② ドアを解錠する



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

キーを使わずに外側からフロント席を施錠するときは

- 1 ロックレバーを施錠側にする
- 2 ドアハンドルを引いたままドアを閉める

警告**■ 事故を防ぐために**

運転中は次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、不意にドアが開き、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- すべてのドアを確実に閉め、施錠する
- 走行中はドア内側のドアハンドルを引かない

■ ドアを開閉するときは

傾斜した場所・ドアと壁などのあいだが狭い場所・強風など、周囲の状況を確認し、予期せぬ動きにも対処できるよう、ドアハンドルを確実に保持してドアを開閉してください。

センタードア（グライド式ドア）★

グライド式ドアは次の方法で施錠・解錠および開閉することができます。また、オートドア装着車は、車内のスイッチを使ってグライド式ドアを自動開閉することもできます。

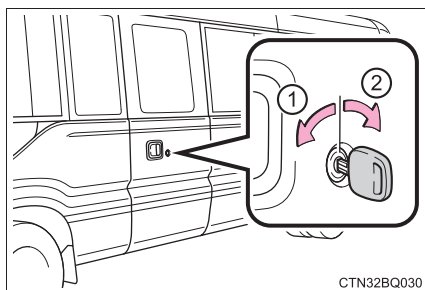
車外からの施錠・解錠

◆ キー（フロントドア）

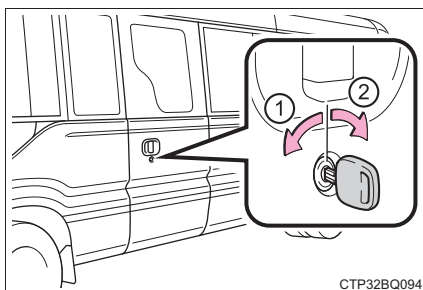
→ P. 60

◆ キー（グライド式ドア）

▶ マニュアルドア装着車



▶ オートドア装着車



- ① ドアを施錠する
- ② ドアを解錠する

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

車内からの施錠・解錠

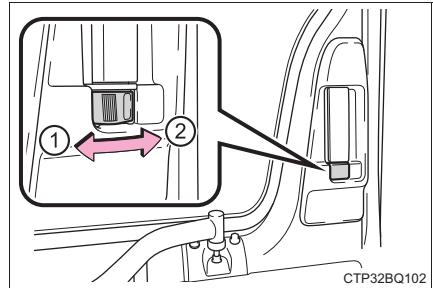
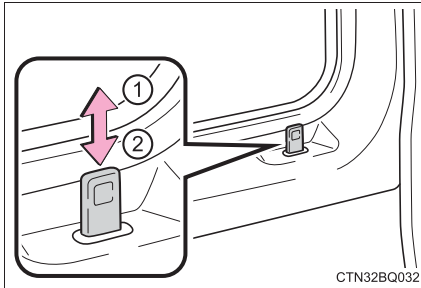
◆ ドアロックスイッチ★

→ P. 60

◆ ロックボタン

▶ マニュアルドア装着車

▶ オートドア装着車



① ドアを解錠する

② ドアを施錠する

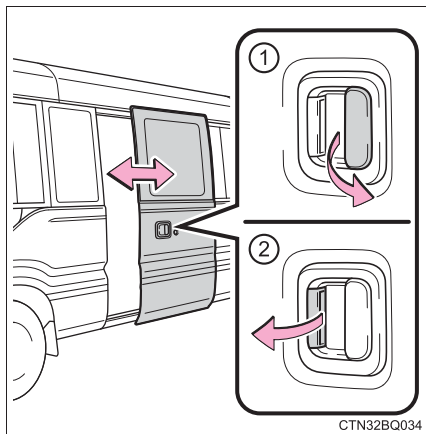
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

グライド式ドアの開閉

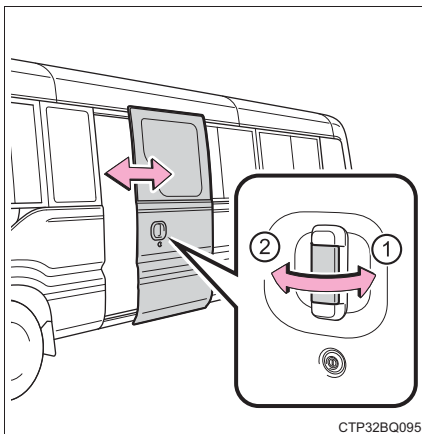
◆ ドアハンドルによる開閉

■ 車外ドアハンドル

▶ マニュアルドア装着車



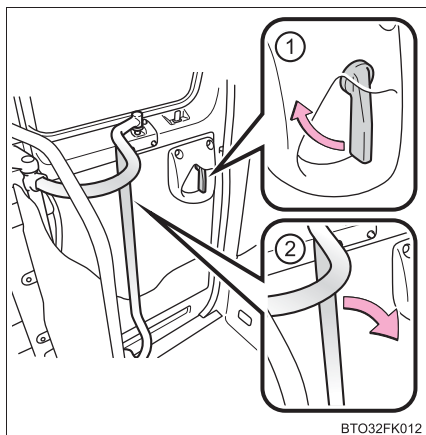
▶ オートドア装着車



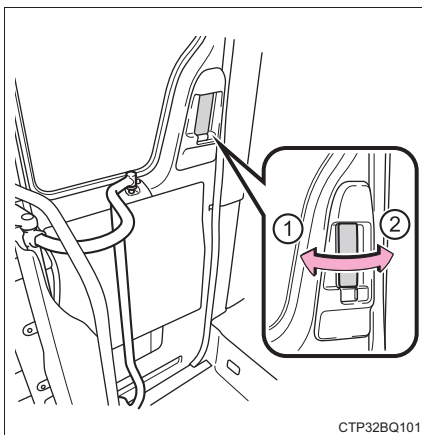
- ① 開く
- ② 閉じる

■ 車内ドアハンドル

▶ マニュアルドア装着車



▶ オートドア装着車



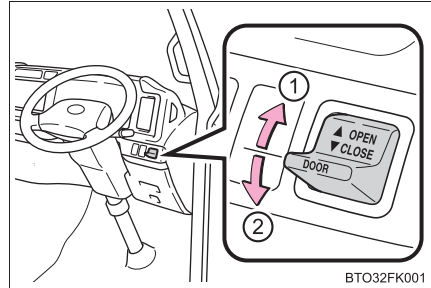
- ① 開く
- ② 閉じる

◆ オートドア操作スイッチ（オートドア装着車）

スイッチを押し続ける

- ① 開く
- ② 閉まる

スイッチから手を離すと、その位置で停止します。

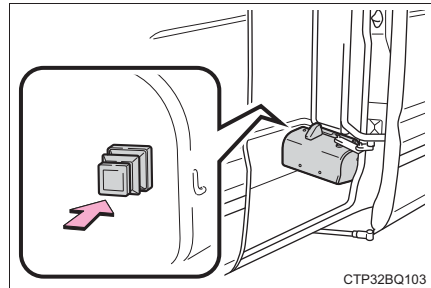


BTO32FK001

オートドア作動の切りかえ（オートドア装着車）

オートドアユニット側面にあるオート作動スイッチを押して、オートドアの作動を切りかえる

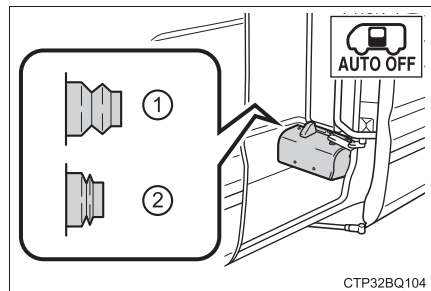
スイッチを押すごとに切りかわります。



CTP32BQ103

- ① オート作動 ON
- ② オート作動 OFF

オート作動 OFF の位置にすると、メーター内の表示灯が点灯します。
通常時は、オート作動 ON の位置で使ってください。



CTP32BQ104

キーを使わずに外側からグライド式ドアを施錠するときは

- 1 ロックボタンを施錠側にする
- 2 ドアを閉める

 **知識****■ アクセルインターロック（オートドア装着車）**

センタードアが開いているときは、アクセルペダルが固定されます。

■ オートドアの作動条件（オートドア装着車）

次の条件をすべて満たしているときに、自動で開閉できます

- エンジンスイッチが“ON” のとき
- シフトレバーがPの時（ワンマンバス仕様車）
- 停車しているとき

■ オートドアについて（オートドア装着車）

- 開閉し始めるとき、ブザーが鳴ります。
- 傾斜した場所では、開閉ができないことがあります。その場合は、手動で開閉してください。
- オートドアが開閉している最中にスイッチを離して途中で停止した場合、スイッチを再操作してもドアを全閉にできないことがあります。その場合は、一度全開させた後で、閉操作をしてください。
- オートドアが開いているときにシフトレバーをP以外にすると、ブザーがなります。（ワンマンバス仕様車）

■ グライド式ドアイージークローザー（オートドア装着車）

グライド式ドアが半ドア状態になったとき、イージークローザーが作動し、グライド式ドアが自動で完全に閉まります。

- エンジンスイッチの位置、またはモードに関係なく作動します。
- オートドア装着車では、オートドア作動スイッチがOFFの時でも作動します。
- 車内や車外のドアハンドルを引いたままドアを閉めたときは、イージークローザーが作動しないことがあります。
- イージークローザーの作動中でも、車内または車外のドアハンドルを引いてドアを開けることができます。

■ 挟み込み防止機能（オートドア装着車）

グライド式ドアをオートドア操作で開閉しているときに、センサーが異物の挟み込みを感知すると、グライド式ドアが反転作動し、少し戻った位置で停止します。

■ ステップランプ

センタードアを開けると点灯します。

警告

■ 走行中の警告

走行中は次のことをお守りください。

お守りいただかないと、思いもよらずドアが開き、外に投げ出されるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 走行前にドアを軽くゆさぶり、確実に施錠されていることを確認する
- 走行中は車内のドアハンドルを操作しない

■ お子さまを乗せているときは

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- お子さまを車内に残さないでください。
誤って閉じ込められた場合、熱射病などを引き起こすおそれがあります。
- お子さまにはセンタードアの開閉操作をさせないでください。
不意にセンタードアが作動したり、閉めるときに手・頭・首などを挟んだりするおそれがあります。

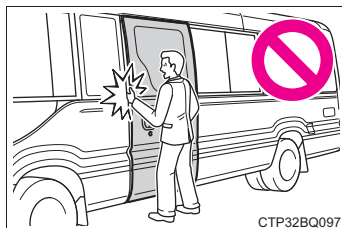
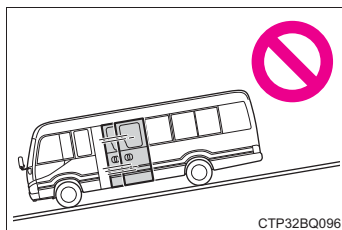
警告

■ グライド式ドアの操作にあたって

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、体を挟むなどして重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- センタードアを開閉するときは、十分に周囲の安全を確かめてください。
- 坂道、ドアと壁などの間が狭い場所、強風など周囲の状況を確認し、予期せぬ動きにも対処できるよう、ドアレバーやアームを確実に保持してドアを開閉してください。
- スライド式サイドガラスを開けた状態でセンタードアを開閉するときは、窓から手・足・顔などを出さないでください。
- 人がいるときは、安全を確認し動かすことを知らせる「声かけ」をしてください。
- 半開状態ではセンタードアが静止しないため、必ず全開にしてください。傾斜した場所での停車時にドアが開いていると、突然動き出すおそれがあります。
- 坂道ではセンタードアの開閉スピードが速くなります。ドアが体にあたりたり挟んだりしないよう、注意してください。
- 下り坂での停車時に乗り降りするときは、センタードアを全開にしておいてください。また、途中でドアハンドルを操作しないでください。ドアが突然動き出すおそれがあります。
- センタードアを閉めるときは、指などを挟まないよう十分注意してください。



警告

■ グライド式ドア（イージークローザー）について（オートドア装着車）

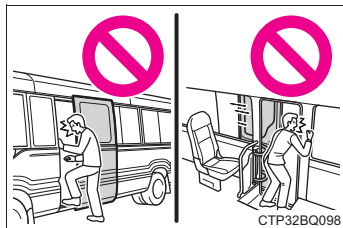
- グライド式ドアが半ドア状態になったとき、イージークローザーが作動し、グライド式ドアが自動で完全に閉まります。また作動し始めるまでに数秒かかります。指などを挟まないように注意してください。骨折など重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- オートドア装着車では、オート作動スイッチが OFF の時でも作動するため、指などの挟み込みには十分注意してください。

■ オートドアについて（オートドア装着車）

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

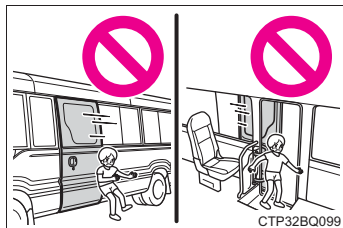
- 車内の操作スイッチで開閉するときは、車両が確実に停車し、パーキングブレーキがかかっていることを確認してください。
- オートドア作動中に乗り降りしないでください



- 開閉するときは、十分に周囲の安全を確かめてください。

- 人がいるときは、作動させる前に安全を確認し、動かすことを知らせる「声かけ」をしてください。

また、車外および車内のオートドア付近にもたれたいる人がいるときは、オートドアを作動させないでください。



- 万一、走行中にセンタードア開放警告灯（→ P. 338）が点灯し、ブザーが鳴ったときは、センタードアが確実に閉まっていません。停車して、センタードアを確実に閉めてください。

 **警告****■ オートドアについて（オートドア装着車）**

- 自動開閉中にオート作動スイッチを OFF にすると、作動が停止し手動操作に切りかわります。この場合、傾斜した場所では、センタードアが急に開いたり閉じたりするおそれがあるので、十分注意してください。
- 傾斜した場所では、開いたあとにセンタードアが閉まる場合があります。ドアは必ず全開で停止していることを確認してください。
- 自動開閉中に作動条件を満たさなくなったときは、作動が停止し手動操作に切りかわる場合があります。この場合、傾斜した場所では、センタードアが急に開いたり閉じたりするおそれがあるので、十分注意してください。
- 次のような場合、システムが異常と判断し自動作動が停止することがあります。この場合、手動操作に切りかわり、急にセンタードアが閉まるなどして思わぬ事故につながるおそれがあるため、十分に注意してください。
 - ・ 自動作動中、障害物に干渉したとき
 - ・ エンジン停止時でオートドアが作動しているときに、エンジンスイッチを“ON” にしたりエンジンを始動したりして、バッテリー電圧が急に低下したとき
- スライド式サイドガラスを開けた状態で自動開閉するときは、窓から手・足・顔などを出さないでください。

■ 挟み込み防止機能（オートドア装着車）

次のことを必ずお守りください。

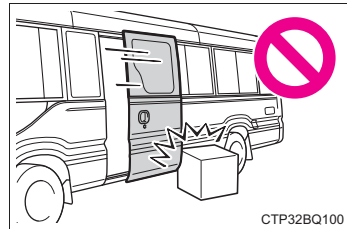
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 挟み込み防止機能を故意に作動させようとして、体の一部を挟んだりしないでください。
- 挟み込み防止機能は、グライド式ドアが完全に閉まる直前に異物を挟むと作動しない場合があります。指などを挟まないように注意してください。
- 挟み込み防止機能は、挟まれるものの形状や挟まれ方によっては作動しない場合があります。指などを挟まないように注意してください。

⚠ 注意

■ センタードアについて

- オートドア装着車：ドア全開時は、ドアが不用意に動かないよう固定されます。手動で閉める場合はドアロックを解錠してから車外・車内のドアハンドルを使用して固定状態を解除し、ドアを閉めてください。（オートドア作動 ON 時にドアハンドル以外の部分を持って閉めようとする、ドアの制御により閉めにくい場合があります。）
- センタードアを開閉する前に、センタードアが安全に開閉できるように車外および車内のセンタードア付近の状態を必ず確認してください。
- センタードアを開けるときは縁石や壁などにあたらないように注意してください。センタードアを損傷するおそれがあります。



■ アクセルインターロック（オートドア装着車）

ドアが開いているときに、アクセルペダルを踏まないでください。また、アクセルペダルを踏んでいるときに、ドアの開閉をしないでください。アクセルインターロック装置の故障の原因およびリンク系の故障の原因になります。

■ オートドアについて（オートドア装着車）

- バッテリーあがりを防ぐため、エンジン回転中に行ってください。
- オートドア作動切りかえ表示灯が点灯したときは、他の乗員が誤ってオート作動スイッチを OFF の状態にしていなかったか確認してください。

■ グライド式ドアイージークローザー について

- イージークローザー作動は、無理な力をかけないでください。
- ドアの開け閉めをくり返すとイージークローザーが作動しないことがあります。この場合、一度ドアを開け、少し時間をおいてから閉め直すと作動します。

電動格納式補助ステップ★

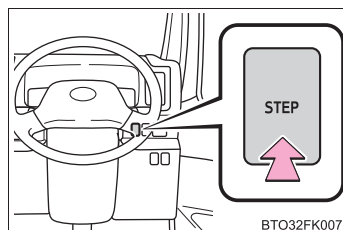
次の条件をすべて満たしているときに、オートドア操作スイッチを操作すると、ドアの開閉に連動してステップが作動します。（作動中はブザーが鳴り続けます。）

- エンジンスイッチが“ON” のとき
- 車両が停止しているとき
- STEP スイッチが ON のとき（スイッチが押し込まれているとき）
 - ・ 格納作動は、STEP スイッチの状態にかかわらず、オートドア操作スイッチの閉作動と連動して格納されます。

知識

■ STEP スイッチ

ON/OFF の切りかえ



■ 電動格納式補助ステップについて

- ステップが出ているときにセンタードアを手動で全閉にすると、ステップが自動的に格納されます。
- ステップの作動中に、人や異物の挟み込みなどにより異常を感知すると、その位置でステップが停止します。
- ステップが出ているときは、メーター内の表示灯が点灯します。（→ P. 48）

■ 電動格納式補助ステップが格納できないときは

ステップが出た状態のまま自動で格納することができないときは、手動で格納することができます。（→ P. 372）

■ アクセルインターロック

ステップが出ているときは、アクセルペダルが固定されます。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 **警告****■ 電動格納式補助ステップについて**

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ステップを操作する前に、運転者はステップが安全に操作できるようにステップ付近の状態を必ず確認してください。
- ステップ作動中は、指や手を挟まないよう十分注意してください。また、お子さまには操作をさせないでください。

 **注意****■ バッテリーあがりを防ぐために**

エンジン回転中に行ってください。

■ アクセルインターロック

ステップが出ているときに、アクセルペダルを踏まないでください。また、アクセルペダルを踏んでいるときに、ステップの操作をしないでください。アクセルインターロック装置の故障の原因およびリンク系の故障の原因になります。

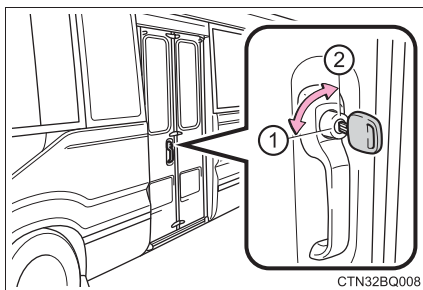
センタードア（折戸式ドア）★

折戸式ドアは次の方法で施錠・解錠および開閉することができます。
また、オートドア装着車は、車内のスイッチを使って折戸式ドアを自動開閉することもできます。

車外からの施錠・解錠

◆ キー

- ① ドアを施錠する
- ② ドアを解錠する



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

折戸式ドアの開閉

◆ ドアハンドルによる開閉

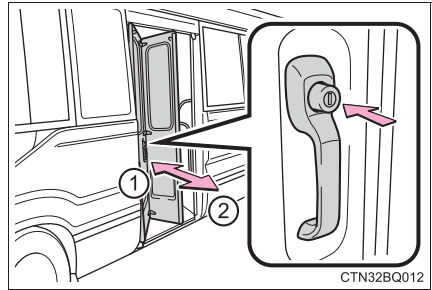
▶ 車外ドアハンドル

① 開く

ドアハンドルのボタンを押してドアを押します

② 閉じる

ドアの先端を横に押しながら、ドアハンドルを手前に引きます



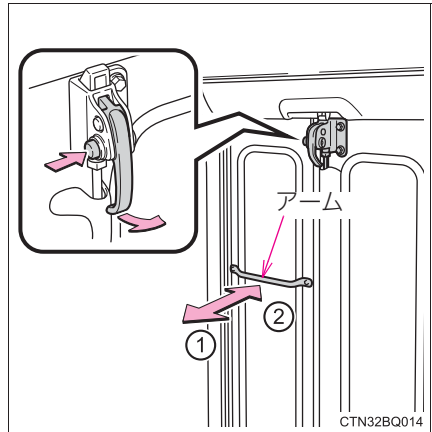
▶ 車内ドアハンドル

① 開く

ロックボタンを押しながらドアハンドルを引きます

② 閉じる

アームを持ってドアを押します



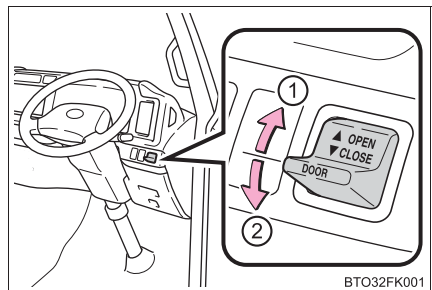
◆ オートドア操作スイッチ (オートドア装着車)

スイッチを押し続ける

① 開く

② 閉まる

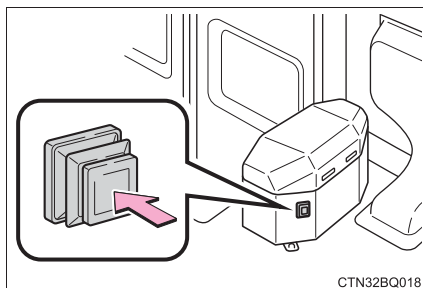
スイッチから手を離すと、その位置で停止します。



オートドア作動の切りかえ（オートドア装着車）

オートドアユニット裏側にあるキャンセルスイッチを押して、オートドアの作動を切りかえる

スイッチを押すごとに切りかわりません。

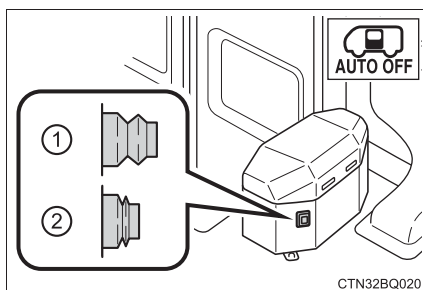


① ON（自動作動）

② OFF（手動作動）

OFF（手動操作）にすると、手動で開閉することができます。

OFF（手動操作）の位置にすると、メーター内の表示灯が点灯します。



知識

■ アクセルインターロック（オートドア装着車・幼児車）

センタードアが開いているときは、アクセルペダルが固定されます。

■ オートドアの作動条件（オートドア装着車）

次の条件をすべて満たしているときに、自動で開閉できます

- エンジンスイッチが“ON” のとき
- 停車しているとき
- シフトレバーがPのとき（シフトロック解除ボタンカバー装着車のオートマチック車）

■ 挟み込み防止機能（オートドア装着車）

折戸式ドアをオートドア操作で開閉しているときに、センサーが異物の挟み込みを感知すると、折戸式ドアが反転作動し、少し戻った位置で停止します。

■ オートドアについて（オートドア装着車）

- 開閉し始めるとき、ブザーが鳴ります。
- 傾斜した場所では、開閉ができないことがあります。その場合は、手で開閉してください。
- 停車中は、キャンセルスイッチの状態に関係なく、ドアハンドルの操作でドアを開閉できます。
ただし、ドアが全開のときにキャンセルスイッチが ON（自動作動）の状態になっていると、ドアハンドルでドアを閉めようとしても、ブレーキ制御がかかるため、ドアは閉めにくくなります。ドアを閉めるときは、キャンセルスイッチを手動の状態にしてから閉めてください。
- 駐車時などで、センタードアが施錠されている状態のときは、車外からドアを開けることはできません。

■ ステップランプ

センタードアを開けると点灯します。

警告

■ 走行中の警告

走行中は次のことをお守りください。

お守りいただかないと、思いもよらずドアが開き、外に投げ出されるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 走行前にドアを軽くゆさぶり、確実に施錠されていることを確認する
- 走行中は車内のドアハンドルを操作しない

■ お子さまを乗せているときは

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- お子さまを車内に残さないでください。
誤って閉じ込められた場合、熱射病などを引き起こすおそれがあります。
- お子さまにはセンタードアの開閉操作をさせないでください。
不意にセンタードアが作動したり、閉めるときに手・頭・首などを挟んだりするおそれがあります。

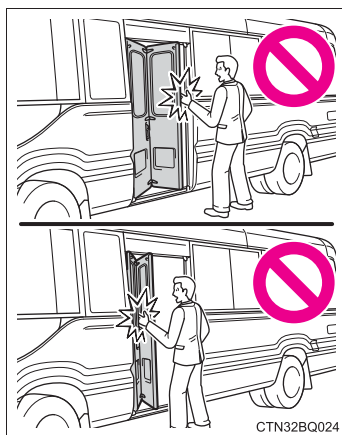
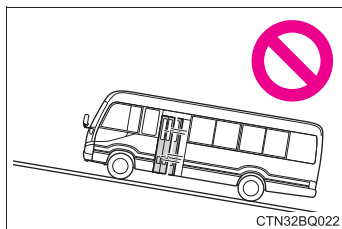
警告

■折戸式ドアの操作にあたって

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、体を挟むなどして重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- センタードアを開閉するときは、十分に周囲の安全を確かめてください。
- 坂道、強風など周囲の状況を確認し、予期せぬ動きにも対処できるよう、注意してドアを開閉してください。
- 人がいるときは、安全を確認し動かすことを知らせる「声かけ」をしてください。
- 半開状態ではセンタードアが静止しないため、必ず全開にしてください。傾斜した場所での停車時にドアが開いていると、突然動き出すおそれがあります。
- 坂道ではセンタードアの開閉スピードが速くなります。ドアが体にあたったり挟んだりしないよう、注意してください。
- 上り坂での停車時に乗り降りするときは、センタードアを全開にしておいてください。また、途中でドアハンドルを操作しないでください。ドアが突然動き出すおそれがあります。
- センタードアを閉めるときは、指などを挟まないよう十分注意してください。



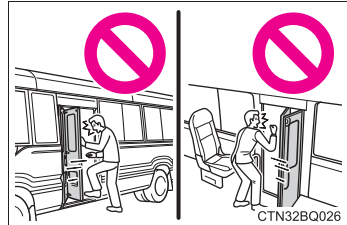
⚠ 警告

■ オートドアについて（オートドア装着車）

次のことを必ずお守りください。

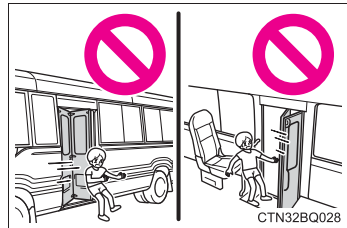
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 車内の操作スイッチで開閉するときは、車両が確実に停車し、パーキングブレーキがかかっていることを確認してください。
- オートドア作動中に乗り降りしないでください



- 開閉するときは、十分に周囲の安全を確かめてください。

- 人がいるときは、作動させる前に安全を確認し、動かすことを知らせる「声かけ」をしてください。
また、車外および車内のオートドア付近にもたれたいる人がいるときは、オートドアを作動させないでください。



- 万一、走行中にセンタードア開放警告灯（→ P. 338）が点灯し、ブザーが鳴ったときは、センタードアが確実に閉まっています。
停車して、センタードアを確実に閉めてください。
- 自動開閉中にキャンセルスイッチを OFF にすると、ブザーが鳴り、作動が停止し手動操作に切りかわります。この場合、傾斜した場所では、センタードアが急に開いたり閉じたりするおそれがあるので、十分注意してください。
- 傾斜した場所では、開いたあとにセンタードアが閉まる場合があります。ドアは必ず全開で停止していることを確認してください。
- 自動開閉中に作動条件を満たさなくなったときは、ブザーが鳴り、作動が停止し手動操作に切りかわる場合があります。この場合、傾斜した場所では、センタードアが急に開いたり閉じたりするおそれがあるので、十分注意してください。

 **警告****■ オートドアについて（オートドア装着車）**

● 次のような場合、システムが異常と判断し自動作動が停止することがあります。この場合、手動操作に切りかわり、急にセンタードアが閉まるなどして思わぬ事故につながるおそれがあるため、十分に注意してください。

- ・ 自動作動中、障害物に干渉したとき
- ・ エンジン停止時でオートドアが作動しているときに、エンジンスイッチを“ON” にしたりエンジンを始動したりして、バッテリー電圧が急に低下したとき

■ 挟み込み防止機能（オートドア装着車）

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 挟み込み防止機能を故意に作動させようとして、体の一部を挟んだりしないでください。
- 挟み込み防止機能は、折戸式ドアが完全に閉まる直前に異物を挟むと作動しない場合があります。指などを挟まないように注意してください。
- 挟み込み防止機能は、挟まれるものの形状や挟まれ方によっては作動しない場合があります。指などを挟まないように注意してください。

 **注意****■ センタードアについて**

センタードアを開閉する前に、センタードアが安全に開閉できるように車外および車内のセンタードア付近の状態を必ず確認してください。

■ アクセルインターロック（オートドア装着車・幼児車）

ドアが開いているときに、アクセルペダルを踏まないでください。また、アクセルペダルを踏んでいるときに、ドアの開閉をしないでください。アクセルインターロック装置の故障の原因およびリンク系の故障の原因になります。

■ オートドアについて（オートドア装着車）

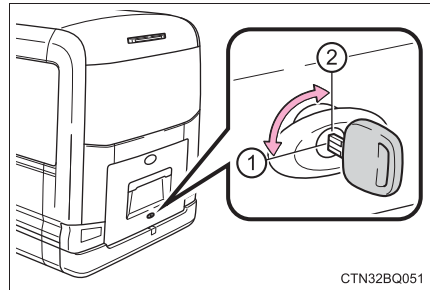
- バッテリーあがりを防ぐため、エンジン回転中に行ってください。
- オートドア作動切りかえ表示灯が点灯したときは、他の乗員が誤ってキャンセルスイッチをOFF（手動作動）の状態にしていなかったか確認してください。

トランク★

トランクは次の方法で施錠・解錠、および開閉することができます。

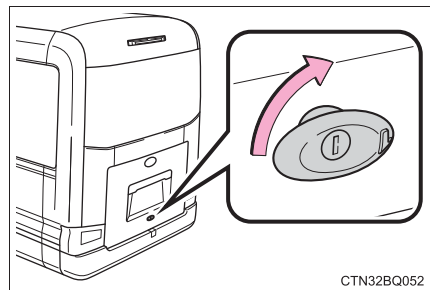
施錠・解錠

- ① 施錠
- ② 解錠



車外からトランクを開ける

ハンドルを右にまわして、トランクを持ち上げる



知識

■ トランクランプ

トランクを開けたとき、トランクランプが点灯します。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 **警告**

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 走行する前に

- 走行前にトランクを軽くゆさぶり、確実に施錠されていることを確認してください。
完全に閉まっていないと走行中に突然開き、車外のものにあたったり、荷物が投げ出されたりして思わぬ事故につながるおそれがあります。
また、排気ガスが車内に侵入し、重大な健康障害や死亡につながるおそれがあります。
- トランクの中でお子さまを遊ばせないでください。
誤って閉じ込められた場合、熱射病や窒息などを引き起こすおそれがあります。
- お子さまにはトランクの開閉操作をさせないでください。
不意にトランクリッドが開いたり、閉めるときに手・頭・首などを挟んだりするおそれがあります。

■ 走行中の留意事項

トランク内には絶対に人を乗せないでください。

急ブレーキ・急旋回をかけたときや衝突したときなどに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

警告

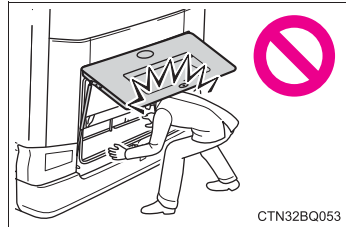
■ トランクの使用にあたって

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、体を挟むなどして重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

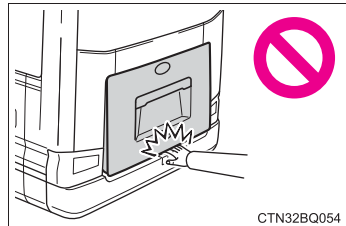
- トランクを開ける前に、トランクリッド上の雪や氷などの重量物を取り除いてください。開いたあとに重みでトランクリッドが突然閉じるおそれがあります。
- トランクを開閉するときは、十分に周囲の安全を確かめてください。
- 人がいるときは、安全を確認し動かすことを知らせる「声かけ」をしてください。
- 強風時の開閉には十分注意してください。
トランクリッドが風にあおられ、勢いよく開いたり閉じたりするおそれがあります。

- 半開状態で使用すると、トランクリッドが突然閉じて重大な傷害を受けるおそれがあります。特に傾斜地では、平坦な場所よりもトランクの開閉がしにくく、急にトランクが開いたり閉じたりするおそれがあります。必ずトランクが全開で静止していることを確認して使用してください。



CTN32BQ053

- トランクを閉めるときは、トランクリッドで指などを挟まないよう十分注意してください。
- トランクは必ず外からトランクリッド上面を軽く押して閉めてください。トランクグリップで直接トランクを閉めると、手や腕を挟むおそれがあります。



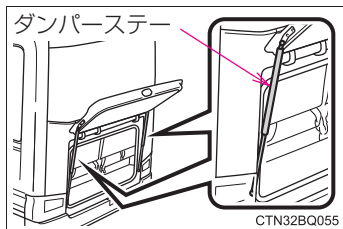
CTN32BQ054

- トランクリッドにトヨタ純正品以外のアクセサリ用品を取り付けしないでください。トランクリッドの重量が重くなると、開いたあとに突然閉じるおそれがあります。

⚠ 注意**■ ダンパーステアについて**

トランクにはトランクを支えるためのダンパーステアが取り付けられています。ダンパーステアの損傷や作動不良を防ぐため次のことをご守りください。

- ビニール片・ステッカー・粘着材などの異物をステアのロッド部（棒部）に付着させない
- ロッド部を軍手などでふれない
- トランクにトヨタ純正品以外のアクセサリ用品を付けない
- ステアに手をかけたり、横方向に力をかけたりしない



観音扉ドア★

観音扉ドアは次の方法で施錠・解錠、および開閉することができます。

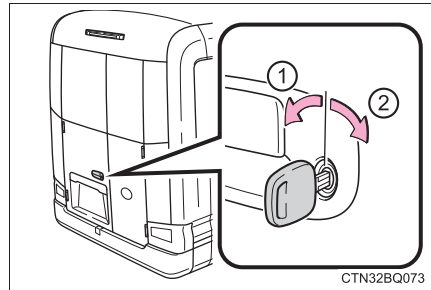
車外からの施錠・解錠

◆ キー（フロントドア）

→ P. 60

◆ キー（観音扉ドア）

- ① ドアを施錠する
- ② ドアを解錠する



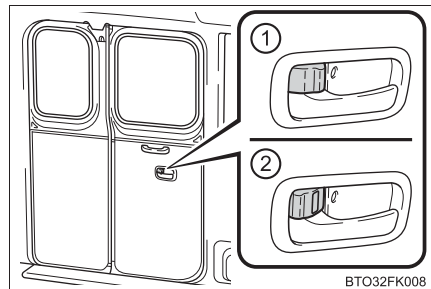
車内からの施錠・解錠

◆ ドアロックスイッチ

→ P. 60

◆ ロックレバー

- ① ドアを施錠する
- ② ドアを解錠する

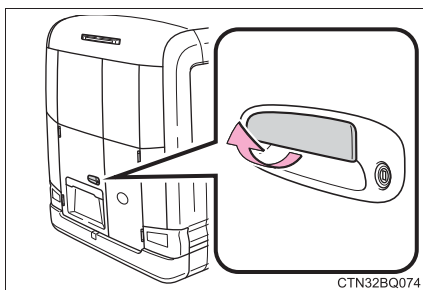


★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

観音扉ドアを開けるには

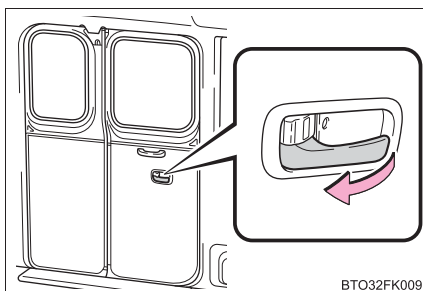
◆ 助手席側ドア（車外ドアハンドル）

ドアハンドルを引いて開ける



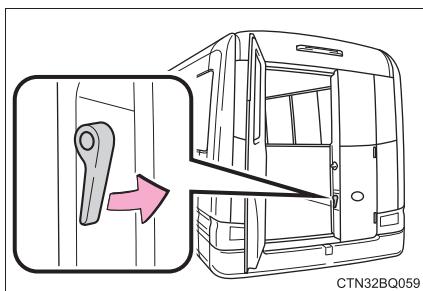
◆ 助手席側ドア（車内ドアハンドル）

ドアハンドルを引いて開ける



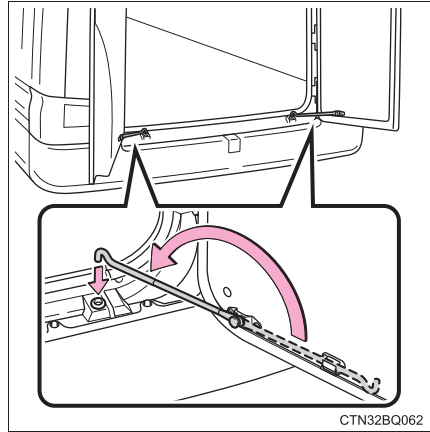
◆ 運転席側ドア

助手席側ドアを開け、ドアレバーを引いて開ける



バックドアオープントッパー★

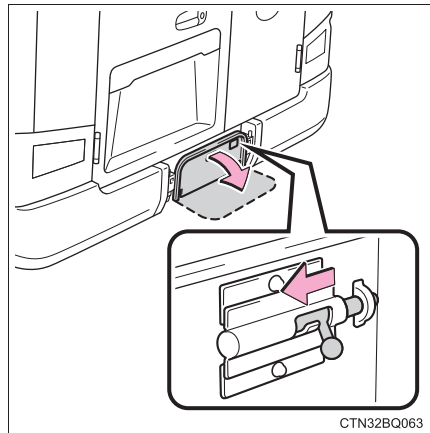
左右のステーをバンパー上部のステー穴に挿し込み、観音扉ドアを固定する



折りたたみ式バックステップ★

レバーを左に動かし、ステップを手前に倒す

- 格納するときはステップを持ち上げ、レバーを右に動かします。
- 走行中は、ステップを折りたたんでおいてください。



キーを使わずに外側から観音扉ドアを施錠するときは

- 1 運転席側のドアを閉める
- 2 ロックレバーを施錠側にする
- 3 ドアハンドルを引いたまま助手席側のドアを閉める

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 知識

■ 非常ドアについて（幼児車）

→ P. 330

 警告

■ 走行中の警告

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 走行中は観音扉ドアを閉じてください。

開けたまま走行すると、観音扉ドアが車外のものにあたり荷物が投げ出されたりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

また、排気ガスが車内に侵入し、重大な健康障害や死亡につながるおそれがあり危険です。走行前に観音扉ドアを軽くゆさぶり、確実に施錠されていることを必ず確認してください。

- 走行前に観音扉ドアを軽くゆさぶり、確実に施錠されていることを確認してください。

観音扉ドアが完全に閉まっていないと、走行中に観音扉ドアが突然開き、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

■ お子さまを乗せているときは

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

お子さまには観音扉ドアの開閉操作をさせないでください。

不意に観音扉ドアが動いたり、閉めるときに手・頭・首などを挟んだりするおそれがあります。

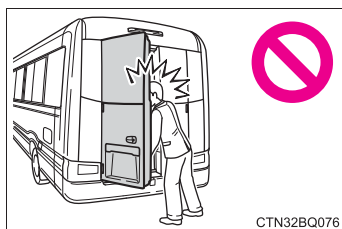
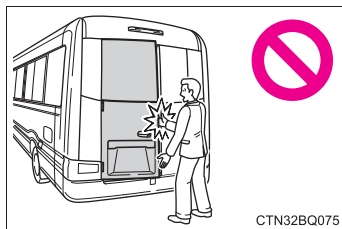
警告

■ 観音扉ドアの操作にあたって

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、体を挟むなどして重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 観音扉ドアを開閉するときは、十分に周囲の安全を確かめてください。
- 人がいるときは、安全を確認し、動かすことを知らせる「声かけ」をしてください。
- 強風時の開閉には十分注意してください。
観音扉ドアが風にあおられ、勢いよく開いたり閉じたりするおそれがあります。
- 半開状態で使用すると、観音扉ドアが突然閉じて重大な傷害を受けるおそれがあります。特に傾斜した場所では、平坦な場所よりも観音扉ドアの開閉がしにくく、急に観音扉ドアが開いたり閉じたりするおそれがあります。必ず観音扉ドアが全開で静止していることを確認して使用してください。
- 観音扉ドアを閉めるときは、指などを挟まないよう十分注意してください。



- 観音扉ドアを開けて駐停車するときは、車両後方に停止表示板または停止表示灯を置いてください。観音扉ドアを開けていると非常点滅灯などが見えなくなるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

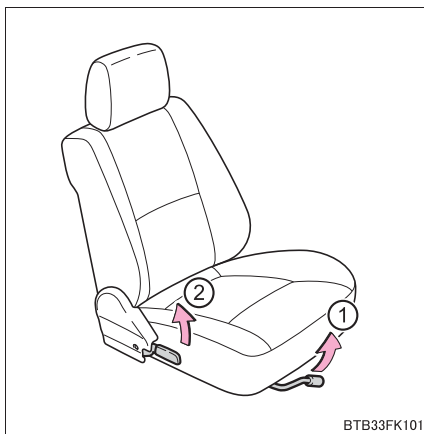
■ 閉めるときは

必ず運転席側ドアを閉めたあとに、助手席側ドアを閉めてください。助手席側ドアを閉めたあとに運転席側ドアを閉めると、運転席側ドアが助手席側ドアのガラスにあたり、ガラスやドアを損傷するおそれがあります。

運転席

調整のしかた

- ① 前後位置調整
- ② リクライニング調整



警告

■シートを調整するとき

- 同乗者がシートにあたってけがをしないように注意してください。
- シートの下や動いている部分に手を近付けないでください。指や手を挟み、重大な傷害を受けるおそれがあります。

■リクライニング調整について

- 背もたれは必要以上に倒さないでください。必要以上に倒しすぎると、事故のときに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けたり肩部ベルトが首にかかるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- シート調整後は、シートがきちんと固定されていることを確認してください。

助手席／リヤシート

調整のしかた

リクライニング角度の調整★

▶ 1人席

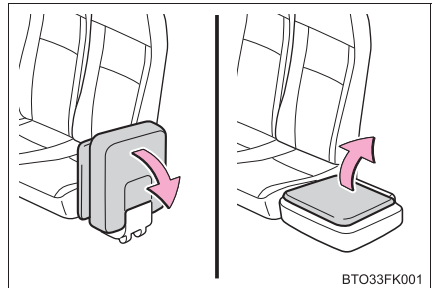


▶ 2人席



補助シート★

補助シートを倒し、背もたれを起こす



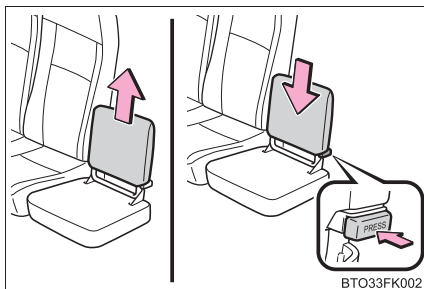
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

◆ シートバック上下スライド式補助シート★

高さを2段階に調整することができます。

- 上げるときはそのまま引き上げる
- 下げるときは、ボタンを押したまま下げる

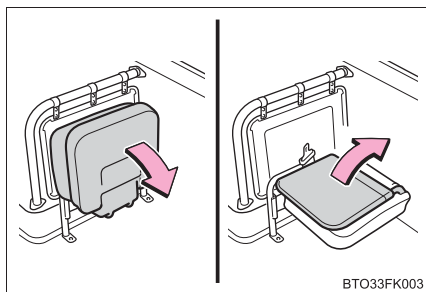
補助シートをもとにもどすときは、背もたれを一番下の位置にしてからもどしてください。



BTO33FK002

保護者用シート（幼児車）

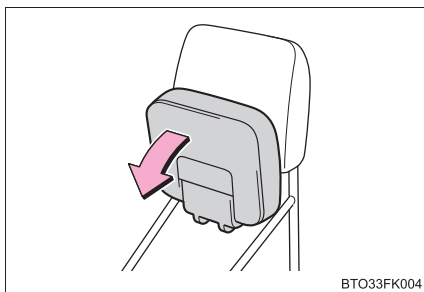
▶ センタードア後部



BTO33FK003

シートを倒し、背もたれを起こす

▶ 最後部シート



BTO33FK004

シートクッションを倒す

非常ドア（→ P. 330）を使用するときは、シートクッションを持ち上げてください。

⚠ 警告

■ シート調整について

- 背もたれは必要以上に倒さないでください。
必要以上に倒しすぎると、事故のときに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けたり肩部ベルトが首にかかるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- シート調整後は、シートがきちんと固定されていることを確認してください。

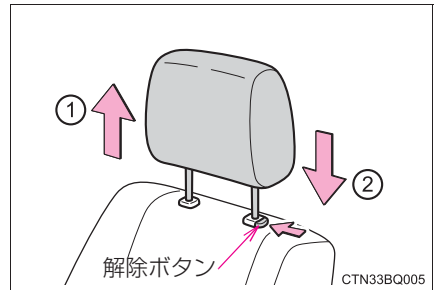
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

ヘッドレスト

▶ 分割式ヘッドレスト（運転席）

- ① 上げる
- ② 下げる

下げるときは、解除ボタンを押しながら操作します。



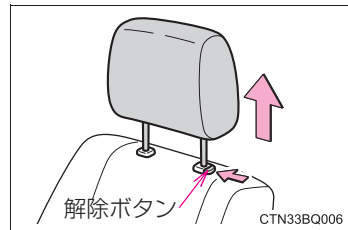
▶ 一体式ヘッドレスト（運転席を除く）

ヘッドレストの調整・取りはずしはできません。

知識

■ヘッドレストを取りはずすとき

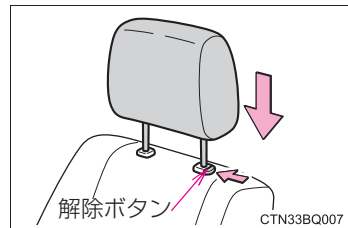
解除ボタンを押しながら取りはずします。



■ヘッドレストを取り付けるとき

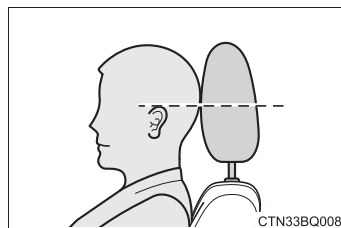
ヘッドレストを取り付け穴に合わせて、ロック位置まで押し下げてください。

さらに下げるときは、解除ボタンを押しながら操作してください。



■ヘッドレストの高さについて

必ずヘッドレストの中心が両耳のいちばん上のあたりになるよう調整してください。



⚠ 警告

■ヘッドレストについて

次のことをお守りください。

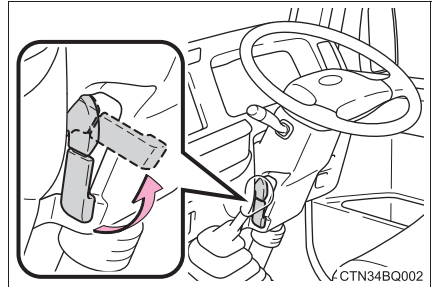
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ヘッドレストは、それぞれのシート専用のものを使用する
- ヘッドレストを正しい位置に調整する
- ヘッドレストを調整したあとは、ヘッドレストを押し下げて固定されていることを確認する
- ヘッドレストをはずしたまま走行しない

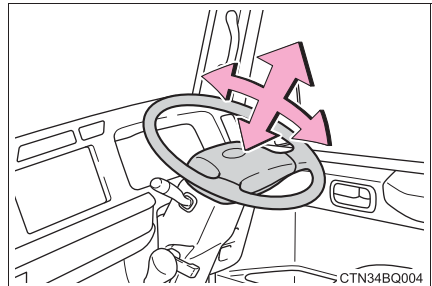
ハンドル

調整のしかた

- 1 ハンドルを持ち、レバーを引き上げる

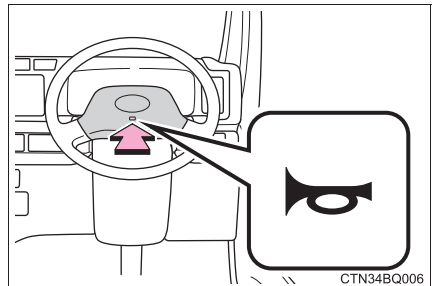


- 2 ハンドルを上下前後に動かし、適切な位置にする
位置が決定したら、レバーを押し下げてハンドルを固定してください。



ホーン（警音器）

ハンドルの  周辺部を押すとホーンが鳴ります。



知識

■ ハンドル位置を調整したあとは

ハンドルが確実に固定されていることを確認してください。
固定が不十分だと、ホーンが鳴らない場合があります。

 **警告****■ 走行中の警告**

走行中はハンドル位置の調整をしないでください。
運転を誤り、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ ハンドル位置を調整したあとは

ハンドルが確実に固定されていることを確認してください。
固定が不十分だとハンドルの位置が突然変わり、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

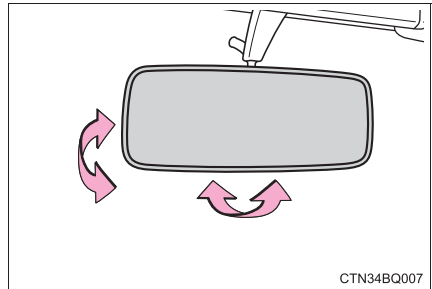
インナーミラー

後方を十分に確認できるようにミラーの位置を調整することができます。

調整のしかた

- ▶ 手動調整ミラー装着車・2段インナーミラー装着車

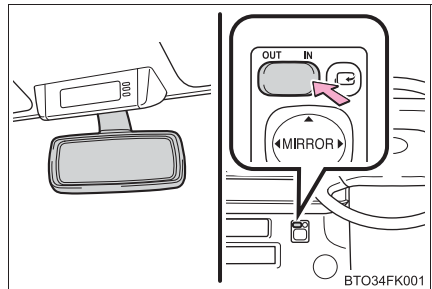
インナーミラー本体を持って、調整する



- ▶ 電動リモコンインナーミラー装着車

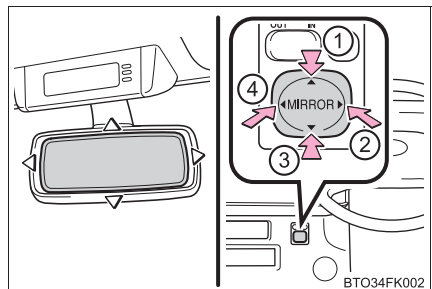
スイッチで鏡面の角度調整をします。

- 1 メインスイッチを右側 (IN) にする



- 2 ミラーの鏡面を調整するには、スイッチを押す

- ① 上
- ② 右
- ③ 下
- ④ 左



 **警告**

走行中はミラーの調整をしないでください。
運転を誤って、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

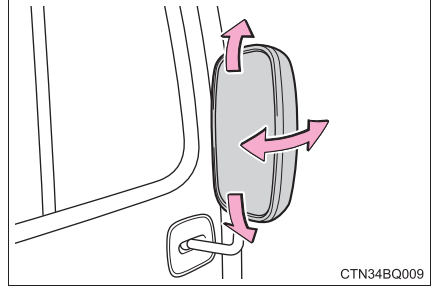
アウターミラー

調整のしかた

▶ 運転席側ミラー

ミラー全体を手で動かして調整する

調整後は運転席に座って、後方確認が十分できることを確認してください。

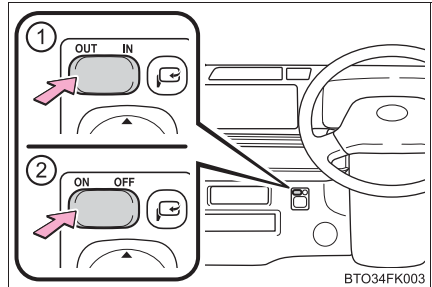


▶ 助手席側ミラー

スイッチで鏡面の角度調整をします。

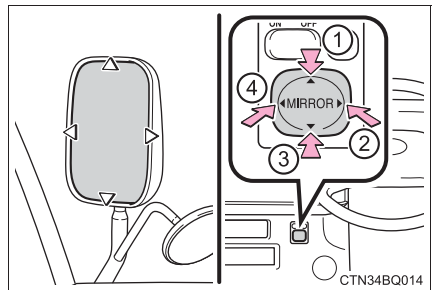
1 メインスイッチを押す

- ① OUT (電動リモコンインナミラー装着車)
- ② ON (電動リモコンインナミラー非装着車)



2 ミラーの鏡面を調整するには、スイッチを押す

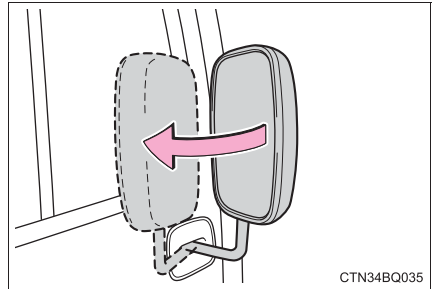
- ① 上
- ② 右
- ③ 下
- ④ 左



アウターミラーを格納する

▶ 運転席側ミラー

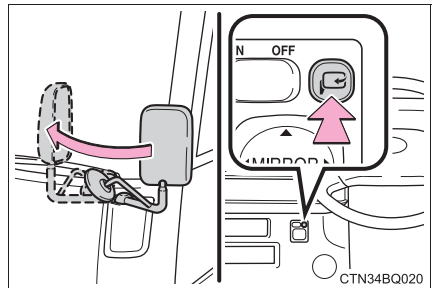
手で後方に押しつけて格納する



▶ 助手席側ミラー

ボタンを押してアウターミラーを格納する

もう一度押すと、もとの位置にもどります。



知識

■ 作動条件 (助手席側ミラー)

エンジンスイッチが “ACC” または “ON” のとき

■ ミラーが曇ったとき (ミラーヒーター装着車)

リヤウインドウデフォグガーを作動させると、ミラーヒーターが同時に作動し、曇りを取ることができます。(→ P. 230, 241)

 **警告****■ 走行中の留意事項**

走行中は次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、運転を誤って重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ミラーの調整をしない
- ミラーを格納したまま走行しない
- 走行前に必ず、運転席側および助手席側のミラーをもとの位置にもどして、正しく調整する

■ ミラーが動いているとき（助手席側ミラー）

手をふれないでください。

手を挟んでけがや、ミラーの故障などの原因になるおそれがあります。

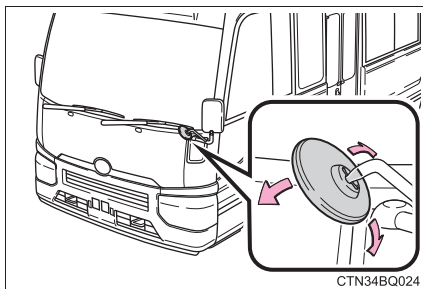
■ ミラーヒーターが作動しているとき（ミラーヒーター装着車）

鏡面が熱くなるのでふれないでください。

補助ミラー

フロントアンダーミラー

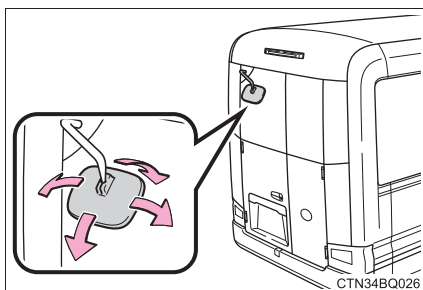
発進時またはごく低速時に、車両前面を確認するときに役立ちます
ミラー全体を手で動かして調整する



リヤアンダーミラー★

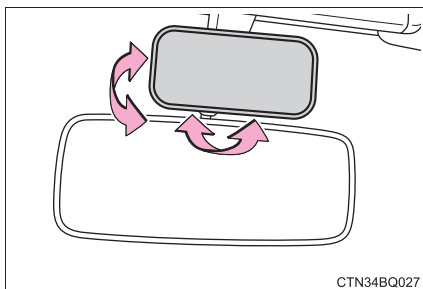
後退時の視界確保に貢献します
ミラー全体を手で動かして調整する

調整後は運転席に座って、後方確認が十分できることを確認してください。



2段インナーミラー（幼児車★）

客席の状態を確認するときに役立ちます
ミラー全体を手で動かして調整する



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

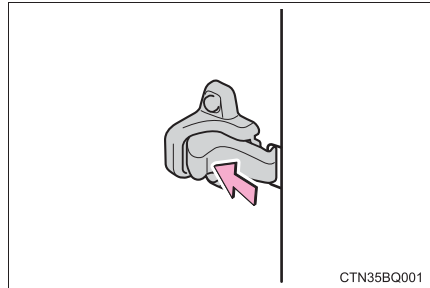
 **注意****■ 補助ミラーについて**

- 補助ミラーの鏡面部に汚れが付着しているときは、やわらかい布などを使用して汚れをふき取ってください。
- 車両直前・直左部や後方の確認は直接確認するか、インナーミラー・アウトターミラーなども併用し十分注意して行ってください。

スライド式サイドガラス★

開けるときは、ノブを押してロック
をはずし、ガラスをスライドさせる

操作後は、ガラスが確実に固定された
ことを確認してください。



⚠ 警告

■ スライド式サイドガラスを開閉するときは

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- サイドガラスを開閉するときは、乗員の手・腕・頭・首などを挟んだり巻き込んだりしないようにしてください。特にお子さまへは手などを出さないよう声かけをしてください。
- お子さまには、サイドガラスの操作をさせないでください。サイドガラスに挟まれたり巻き込まれたりするおそれがあります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

運転

4

4-1. 運転にあたって		4-4. 給油のしかた	
運転にあたって	106	給油口の開け方	152
荷物を積むときの注意	118	4-5. 運転支援装置について	
4-2. 運転のしかた		Toyota Safety Sense	156
エンジン（イグニッション）		PCS（プリクラッシュ	
スイッチ	120	セーフティ）	161
オートマチックトランス		LDA（レーンディパーチャー	
ミッション	124	アラート）	171
マニュアルトランス		運転を補助する装置	180
ミッション	129	4-6. 運転のアドバイス	
方向指示レバー	130	寒冷時の運転	186
パーキングブレーキ	131		
排気ブレーキ	132		
排出ガス浄化装置	133		
4-3. ランプのつけ方・			
ワイパーの使い方			
ランプスイッチ	138		
オートマチック			
ハイビーム	142		
フォグランプスイッチ	146		
ワイパー & ウォッシャー			
（フロント）	148		
ワイパー & ウォッシャー			
（リヤ）	150		

運転にあたって

安全運転を心がけて、次の手順で走行してください。

エンジンをかける

→ P. 120

発進する

▶ オートマチック車

- 1 ブレーキペダルを踏んだまま、シフトレバーを D にする (→ P. 124)
- 2 パーキングブレーキを解除する (→ P. 131)
- 3 ブレーキペダルから徐々に足を離し、アクセルペダルをゆっくり踏み発進する

▶ マニュアル車

- 1 クラッチペダルを踏んだまま、シフトレバーを操作する (→ P. 129)
- 2 パーキングブレーキを解除する (→ P. 131)
- 3 クラッチペダルから徐々に足を離し、同時にアクセルペダルをゆっくり踏み発進する

停車する

▶ オートマチック車

- 1 シフトレバーは D のまま、ブレーキペダルを踏む
- 2 必要に応じて、パーキングブレーキをかける
長時間停車する場合は、シフトレバーを P または N にします。(→ P. 124)

▶ マニュアル車

- 1 クラッチペダルを踏んだまま、ブレーキペダルを踏む
- 2 必要に応じて、パーキングブレーキをかける
長時間停車する場合は、シフトレバーを N にします。(→ P. 129)

駐車する

▶ オートマチック車

- 1 シフトレバーはDのまま、ブレーキペダルを踏む
- 2 パーキングブレーキをかけて (→ P. 131)、シフトレバーを P にする (→ P. 124)
- 3 エンジンスイッチを “ LOCK ” にしてエンジンを停止する
- 4 キーを携帯していることを確認し、ドアを施錠する
坂道の途中で駐車をする場合は、必要に応じて輪止めを使用してください。
(→ P. 350)

▶ マニュアル車

- 1 クラッチペダルを踏んだまま、ブレーキペダルを踏む
- 2 シフトレバーを N にする (→ P. 129)
- 3 パーキングブレーキをかける (→ P. 131)
- 4 エンジンスイッチを “ LOCK ” にしてエンジンを停止する
- 5 キーを携帯していることを確認し、ドアを施錠する
坂道の途中で駐車をする場合は、必要に応じてシフトレバーを 1 速または R にし、輪止めを使用してください。(→ P. 350)

上り坂の発進のしかた

▶ オートマチック車

- 1 パーキングブレーキをしっかりかけ、シフトレバーを D にする
- 2 アクセルペダルをゆっくり踏む
- 3 車が動き出す感触を確認したら、パーキングブレーキを解除し、発進する

▶ マニュアル車

- 1 パーキングブレーキをしっかりかけ、シフトレバーを操作する
- 2 アクセルペダルを軽く踏み、同時にクラッチペダルから徐々に足を離す
- 3 車が動き出す感触を確認したら、パーキングブレーキを解除し、発進する

 知識

■ 雨の日の運転について

- 雨の日は視界が悪くなり、またガラスが曇ったり、路面がすべりやすくなった
りするので、慎重に走行してください。
- 雨の降りはじめは路面がよりすべりやすいため、慎重に走行してください。
- 雨の日の高速走行などでは、タイヤと路面のあいだに水膜が発生し、ハンドル
やブレーキが効かなくなるおそれがあるので、スピードは控えめにしてくださ
い。

■ 走行中のエンジン回転数について（オートマチック車）

次の場合、走行中にエンジン回転数が高くなる場合があります。これは走行状況
に合わせてシフトアップの制限、またはシフトダウンの実施を自動的に行うため
で、急加速を示すものではありません。

- 車両が上り坂、または下り坂を走行していると判断したとき
- アクセルペダルを離れたとき

■ 運転者標識の取り付け

磁石式の初心運転者標識や高齢運転者標識などを樹脂バンパーやアルミボデー
部に取り付けることはできません。

■ オーバーヒートについて

次のようなきびしい走行状況ではオーバーヒートになるおそれがあります。

- 暑い日に長い上り坂を走行する
- 高速走行直後に急減速や急停止をする

■ エンジン停止前のアイドリング運転について

ターボ装置の損傷を防ぐため、高速走行・登坂走行直後は、アイドリング運転を
行ってからエンジンを停止してください。

走行状況		アイドリング運転時間
市街地などの一般走行		不要
高速走行	約 80km/h 定速	約 20 秒
	約 100km/h 定速	約 1 分
山岳ドライブウェイなど急な登坂、 または 100km/h 以上の連続走行		約 2 分

警告

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■発進するとき（オートマチック車）

エンジンがかかったまま停車しているときは、常にブレーキペダルを踏んでください。クリーブ現象で車が動き出すのを防ぎます。

■運転するとき

- 踏み間違いを避けるため、ブレーキペダルとアクセルペダルの位置を十分把握した上で運転してください。
 - ・ アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏むと、車が急発進して思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
 - ・ 後退するときは体をひねった姿勢となるため、ペダルの操作がしにくくなります。ペダル操作が確実にできるよう注意してください。
 - ・ 車を少し移動させるときも正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。
 - ・ ブレーキペダルは右足で操作してください。左足でのブレーキ操作は緊急時の反応が遅れるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 燃えやすいものの上を走行したり、可燃物付近に車を止めたりしないでください。排気管や排気ガスは高温になり、可燃物が近くにあると火災につながるおそれがあり危険です。
- 通常走行時は、走行中にエンジンを停止しないでください。走行中にエンジンを停止してもハンドルやブレーキの操作は可能ですが、操作力補助がなくなり、ハンドルとブレーキの操作が困難になります。安全を確認した上で、すみやかに道路脇に停車してください。
なお、通常の方法で車両を停止することができないような緊急時は、P. 328を参照してください。
- 急な下り坂では、エンジンブレーキを使用してスピードを下げてください。フットブレーキを連続して使いすぎると、ブレーキが過熱して正常に機能しなくなります。（→ P. 125, 132）

 **警告**

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 運転するとき

- 走行中はハンドル・シート・アウターミラー・インナーミラーの調整をしないでください。運転を誤るおそれがあります。
- すべての乗員は頭や手、その他の体の一部を車から出さないようにしてください。
- オフロード走行をしないでください。
やむを得ずオフロードを走行するときは、慎重に運転してください。
- 渡河などの水中走行はしないでください。
電装品のショートやエンジンの破損など、重大な車両故障の原因になるおそれがあります。
- シートの上や付近に荷物を置いて走行しないでください。
急ブレーキをかけたときや、旋回しているときなどに荷物が飛び出したりして乗員にあたったり、荷物を破損したり、荷物に気をとられたりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

警告

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ すべりやすい路面を運転するとき

- 急ブレーキ・急加速・急ハンドルはタイヤがスリップし、車両の制御ができなくなるおそれがあります。
- 急激なアクセル操作、シフト操作によるエンジンブレーキやエンジン回転数の変化は、車が横すべりするなどのおそれがあります。
- 水たまり走行後は、ブレーキペダルを軽く踏んでブレーキが正常に働くことを確認してください。ブレーキパッドがぬれるとブレーキの効きが悪くなったり、ぬれていない片方だけが効いたりしてハンドルをとられるおそれがあります。

■ シフトレバーを操作するとき

- オートマチック車ではシフトレバーを前進側のシフトポジションに入れたまま惰性で後退したり、Rに入れたまま惰性で前進することは絶対にやめてください。
エンジンが停止し、ブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが重くなったりして、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。
- 車両が動いているあいだは、シフトレバーをPに入れしないでください。
トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。(オートマチック車)
- 車両が前進しているあいだは、シフトレバーをRに入れしないでください。
トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
- 車両が後退しているあいだは、シフトレバーを前進側のシフトポジションに入れないでください。
トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
- 走行中にシフトレバーをNにすると、トランスミッションとエンジンの動力伝達が解除され、エンジンブレーキが効かなくなります。
- アクセルペダルを踏み込んだまま操作しないように気を付けてください。
シフトレバーがP(オートマチック車)またはN以外にあると、車が急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

 **警告**

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 継続的にブレーキ付近から警告音（キーキー音）が発生したとき

できるだけ早くトヨタ販売店で点検を受け、ブレーキパッドを交換してください。必要なときにパッドの交換が行われないと、ディスクローターの損傷につながる場合があります。

パッドやローターなどの部品は、役割を果たすと共に摩耗していきます。摩耗の限界をこえて走行すると故障を引き起こすばかりでなく、事故につながるおそれがあり危険です。

■ 停車するとき

● 空ぶかしをしないでください。

シフトレバーがP（オートマチック車）またはN以外にあると、車が急発進して思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

● 車が動き出すことによる事故を防ぐため、エンジン回転中は常にブレーキペダルを踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。

● 坂道で停車するときは、前後に動き出して事故につながるのを防ぐため、常にブレーキペダルを踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。

● 停車中に空ぶかしをしないでください。

排気管が過熱し、可燃物が近くにあると火災につながるおそれがあり危険です。

 **警告**

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 駐車するとき

- 炎天下では、メガネ・ライター・スプレー缶・炭酸飲料の缶などを車内に放置しないでください。放置したまましていると、次のようなことが起こるおそれがあり危険です。
 - ・ライターやスプレー缶からガスがもれたり、出火する
 - ・プラスチックレンズ・プラスチック素材のメガネが、変形またはひび割れを起こす
 - ・炭酸飲料の缶が破裂して車内を汚したり、電気部品がショートする原因になる
- ライターを車内に放置したままにしないでください。ライターを車内に落としたままにしておくと、荷物を押し込んだりシートを動かしたときにライターの操作部が誤作動し、火災につながるおそれがあり危険です。
- ウインドウガラスなどには吸盤を取り付けしないでください。また、インストルメントパネルやダッシュボードの上に芳香剤などの容器を置かないでください。
吸盤や容器がレンズの働きをして、車両火災につながるおそれがあり危険です。
- シルバー色などの金属蒸着フィルムを曲面ガラスに貼った場合は、ドアやウインドウを開けたまま放置しないでください。
直射日光が曲面ガラスの内側に反射し、レンズの働きをして火災につながるおそれがあり危険です。
- 車から離れるときは、必ずパーキングブレーキをかけ、シフトレバーをP(オートマチック車)にしてエンジンを停止し、施錠してください。
エンジンがかかっているあいだは、車から離れないでください。
パーキングブレーキをかけずにシフトレバーをP(オートマチック車)にした状態では、車が動き思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- エンジン回転中または停止直後は排気管にふれないでください。
やけどをするおそれがあります。(→ P. 133)

 **警告**

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 仮眠するとき

必ずエンジンを停止してください。

エンジンをかけたまま仮眠すると、無意識にシフトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、事故やエンジンの異常過熱による火災が発生するおそれがあります。さらに、風通しの悪い場所に停めると、排気ガスが車内に侵入し、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ ブレーキをかけるとき

- ブレーキがぬれているときは、普段よりも注意して走行してください。
ブレーキがぬれていると、制動距離が長くなり、ブレーキのかかりに、左右の違いが出るおそれがあります。また、パーキングブレーキがしっかりとかからないおそれもあります。
- ブレーキ倍力装置が機能しないときは、他の車に近付いたりしないでください。また、下り坂や急カーブを避けてください。
この場合ブレーキは作動しますが、通常よりも強く踏む必要があります。また、制動距離も長くなります。ただちにブレーキの修理を受けてください。
- 万一エンジンが停止したときは、ブレーキペダルをくり返し踏まないでください。ペダルを踏むたびに、ブレーキのアシスト力の蓄えを使い切ってしまう。
- ブレーキシステムは2つの独立したシステムで構成されており、一方の油圧システムが故障しても、もう一方は作動します。この場合、ブレーキペダルを通常より強く踏む必要があり、制動距離が長くなります。ただちにブレーキの修理を受けてください。

 **注意****■ 運転しているとき（オートマチック車）**

- 運転中にアクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏まないでください。アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏むと、エンジン出力を抑制する場合があります。
- 坂道で停車するために、アクセルペダルを使ったり、アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだりしないでください。

■ 運転しているとき（マニュアル車）

- 運転中にアクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏まないでください。アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏むと、エンジン出力を抑制する場合があります。
- クラッチペダルを確実に踏み込んでいない状態で、シフトレバーを操作しないでください。シフト後、クラッチペダルを一気に離す操作をしないでください。クラッチやトランスミッションが損傷するおそれがあります。
- クラッチの損傷を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ・ クラッチペダルに足を乗せたまま走行しない
 - ・ 坂道発進など、必要以上に半クラッチのままで走行しない
- 車両が完全に停止してから R にいれてください。
クラッチ・トランスミッション・ギヤに損傷を受けるおそれがあります。

■ 駐車するとき（オートマチック車）

必ずパーキングブレーキをかけシフトレバーを P にしてください。パーキングブレーキをかけシフトレバーを P にしておかないと、車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込んだときに急発進するおそれがあります。

■ 部品の損傷を防ぐために

- パワーステアリングポンプの損傷を防ぐため、ハンドルをいっぱいにもわした状態を長く続けないでください。
- ディスクホイールなどの損傷を防ぐため、段差などを通過するときは、できるだけゆっくり走行してください。

 **注意****■ターボ装置の故障を防ぐために**

- 高負荷走行直後は、エンジンを停止しないでください。必ずアイドルリング運転を行い、ターボ装置などを冷却してからエンジンを停止してください。(→ P. 108)
- 排気管・エアクリーナーなどには純正部品または同等品をお使いください。
- 排気管の改造は絶対にしないでください。
- エンジンが冷えているときは、空ぶかしや急加速は絶対に行わないでください。
- 定期的なオイル交換を必ず行ってください。(→ P. 375)

■クラッチがずべていると感じたら（マニュアル車）

できるだけ早くトヨタ販売店で点検を受けてください。
クラッチをつないだ状態でアクセルペダルを踏み込んでも加速できない場合、クラッチがずべている可能性があり走行不能になるおそれがあります。

■走行中にタイヤがパンクしたら

次のようなときはタイヤのパンクや損傷が考えられます。ハンドルをしっかりと持って徐々にブレーキをかけ、スピードを落としてください。

- ハンドルがとられる
- 異常な音や振動がある
- 車両が異常に傾く

タイヤがパンクした場合の対処法は P. 346 を参照してください。

 **注意****■冠水路走行に関する注意**

大雨などで冠水した道路では、次のような重大な損傷を受けるおそれがあるため、走行しないでください。

- エンストする
- 電装品がショートする
- 水を吸い込んだエンジン破損

万一、冠水した道路を走行し、水中に浸かってしまったときは必ずトヨタ販売店で次の点検をしてください。

- ブレーキの効き具合
- エンジン・トランスミッション・クラッチ・ディファレンシャルなどのオイルやフルードの量および質の変化
- プロペラシャフト・各ベアリング・各ジョイント部などの潤滑不良

荷物を積むときの注意

安全で快適なドライブをするために、荷物を積むときは次のことをお守りください。

警告

■ 積んではいけないもの

次のようなものを積むと引火するおそれがあり危険です。

- 燃料が入った容器
- スプレー缶

■ 荷物を積むときは

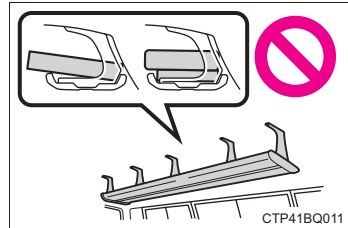
次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、クラッチペダル（マニュアル車のみ）・ブレーキペダル・アクセルペダルを正しく操作できなかったり、荷物が視界をさえぎったり、荷物が乗員に衝突したりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- できるだけ荷物は荷室に積んでください。
- 次の場所には荷物を積まないでください。
 - ・ 運転席足元
 - ・ 助手席・リヤシート（荷物を積み重ねる場合）
 - ・ インstrumentパネル
 - ・ ダッシュボード
- 室内に積んだ荷物はすべてしっかりと安定させてください。
- シート以外の場所には、絶対に人を乗せて走行しないでください。乗員は、適切にシートベルトを着用させ、座席に座らせてください。お守りいただかないと、急ブレーキや衝突の際に、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

警告**■ 荷物棚に荷物を積むときは（荷物棚装着車）**

重い荷物や棚からはみ出るような荷物を置いたり、荷物を積み重ねたりしないでください。

発進時やコーナリング時、ブレーキをかけたときなどに荷物が飛び出し、けがをするおそれがあります。

**■ 荷物の重量・荷重のかけ方について**

- 荷物を積み過ぎないでください。
- 荷重を不均等につけないようにしてください。


これはタイヤに負担をかけるだけでなく、ハンドル操作性やブレーキ制御の低下により思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

エンジン（イグニッション）スイッチ

エンジンのかけ方


▶ オートマチック車

- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認する
- 2 シフトレバーがPの位置にあることを確認する
- 3 ブレーキペダルをしっかりと踏む
- 4 エンジンスイッチをまわす

寒冷地仕様車は、“ON”の位置までまわし、（予熱表示灯）が点灯後消灯したら“START”の位置にまわします。

▶ マニュアル車

- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認する
- 2 シフトレバーがNの位置にあることを確認する
- 3 クラッチペダルとブレーキペダルをしっかりと踏む
- 4 エンジンスイッチをまわす

寒冷地仕様車は、“ON”の位置までまわし、（予熱表示灯）が点灯後消灯したら“START”の位置にまわします。

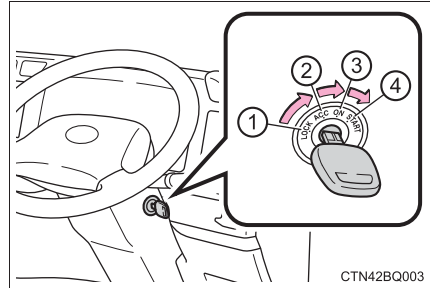
エンジンスイッチの位置の切りかえ

- ① “ LOCK ” (OFF)
 - ・ステアリングロックがかかります。
 - ・キーを抜き挿しすることができます。
(オートマチック車は、シフトレバーの位置がPのとき、キーを抜き挿しできます)
- ② “ ACC ”

アクセサリソケットなどの電装品が使用できます。
- ③ “ ON ”

すべての電装品が使用できます。
- ④ “ START ”

エンジンが始動できます。

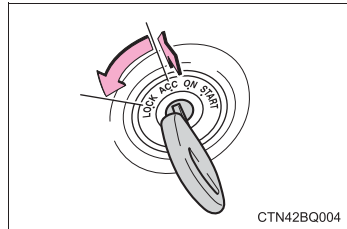


CTN42BQ003

知識

■キーを“ACC”から“LOCK”にまわすには

- ① シフトレバーがP (オートマチック車) またはN (マニュアル車) の位置にあることを確認する
- ② キーを押し込みながら “ LOCK ” までまわす



CTN42BQ004

■エンジンが始動しないときは

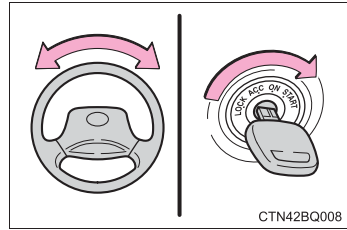
エンジンイモビライザーシステムが解除されていない可能性があります。

(→ P. 43)

トヨタ販売店へご連絡ください。

■ステアリングロックを解除するには

ハンドルを左右に動かしながら、エンジンスイッチをまわしてください。



CTN42BQ008

■キー抜き忘れ警告ブザー

キーが挿してあり、エンジンスイッチが“ACC”または“LOCK”のとき、運転席ドアを開けると警告音が鳴ります。

■バキューム警告ブザー

エンジンスイッチを“ON”にしたとき、バキューム警告ブザーが鳴ることがありますが、エンジンをかけて鳴り止めば異常ではありません。(→P. 341)

■極寒時のエンジン始動について

極寒時は約30秒を限度に、エンジンが始動するまでエンジンスイッチをまわし続けてください。約30秒スターターをまわしても始動しないときは、エンジンスイッチを“ACC”にもどし、約20秒以上待ってから再始動してください。

▲ 警告

■エンジンを始動するときは

必ず運転席に座って行ってください。このとき決してアクセルペダルは踏まないでください。思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■走行中の警告

走行中はエンジンスイッチを“LOCK”にしないでください。緊急時、走行中にエンジンを停止したい場合には“ACC”にしてください。ただし、緊急時以外は走行中にエンジンスイッチにふれないでください。走行中にエンジンが停止すると思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。(→P. 328)

 **注意****■ バッテリーあがりを防止するために**

エンジンがかかっているときは、エンジンスイッチを “ ACC ” または “ ON ” にしたまま長時間放置しないでください。

■ エンジンを始動するとき

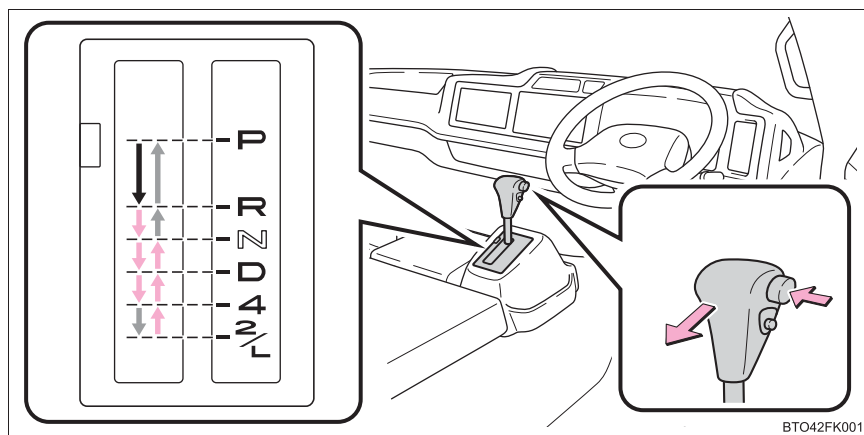
- 一度に 30 秒以上スターターをまわさないでください。
- エンジンが冷えた状態で空ぶかししないでください。
- もしエンジンが始動しにくかったり、ひんぱんにエンストする場合は、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

■ 予熱表示灯について（寒冷地仕様車）

- 予熱表示灯が消灯してからエンジンを始動してください。消灯する前に始動操作を行うと、バッテリーの寿命に悪影響をおよぼします。
- 予熱表示灯の点灯時間は、エンジンが冷えていると長くなります。

オートマチックトランスミッション★

シフトレバーの動かし方



← エンジンスイッチが “ ON ” の状態で、ブレーキペダルを踏んだままシフトレバーのボタンを押して操作します。

← シフトレバーのボタンを押して操作します。

P と D のあいだの操作は、ブレーキペダルを踏み、車を完全に止めてから行ってください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

シフトポジションの使用目的

シフトポジション	目的
P	駐車またはエンジン始動・停止
R	後退
N	動力が伝わらない状態
D	通常走行*
4	下り坂走行
2 / L	急な下り坂走行

* 燃費向上や騒音の低減のために、通常は D ポジションを使用してください。

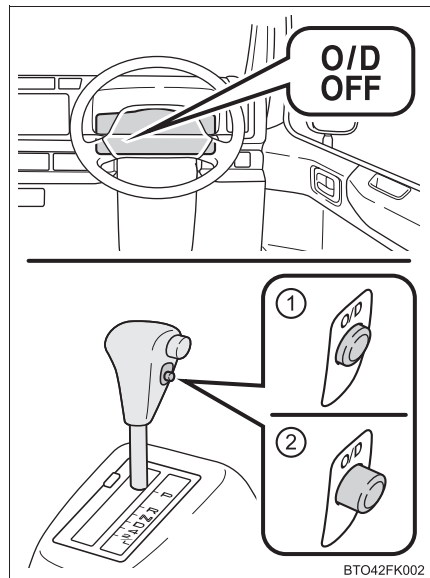
オーバードライブスイッチ

オーバードライブを ON にしておくとギヤが 6 速まで入り、燃費性能や静寂性を高めます。

OFF にすると 6 速まで入らなくなり、下り坂での軽いエンジンブレーキや登り坂での不要な変速を防ぐ効果があります。

- ① ON
- ② OFF

OFF にすると、メーター内の表示灯が点灯します



BT042FK002

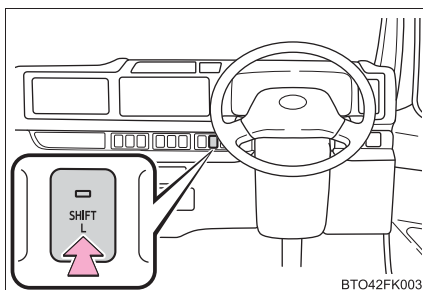
1 速固定スイッチ

シフトレバーを 2 / L の位置で走行しているときにスイッチを押すと、1 速に入り強めのエンジンプレーキがかかります。

1 速固定スイッチを押す

1 速固定スイッチが ON のとき、スイッチの表示灯が点灯します。

もう一度押すと、解除されます。



知識

■ リバース警告ブザー

シフトレバーを R に入れるとブザーが鳴り、R にあることを運転者と車外の人に知らせます。

■ シフトロックシステム

シフトロックシステムは、発進時のシフトレバーの誤動作を防ぐシステムです。エンジンスイッチが “ON” でブレーキペダルを踏んだ状態でなければ、シフトレバーを P からシフトできません。

■ シフトレバーを 2 / L で走行しているとき

2 速で走行しているときにエンジンプレーキがかかります。さらに強めのエンジンプレーキが必要な場合は、1 速固定スイッチを ON にしてください。

■ 1 速固定スイッチについて

シフトレバーを 2 / L 以外にしたときは、1 速固定スイッチが解除されます。

■シフトレバーをPからシフトできないとき

ブレーキペダルを踏んでいることを確認してください。

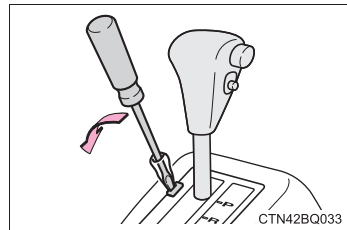
ブレーキペダルを踏んだ状態でシフトレバーがシフトできない場合、シフトロックシステムなどの故障が考えられます。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

ただし、一時的な処置として、次の方法でシフトレバーをシフトすることができます。

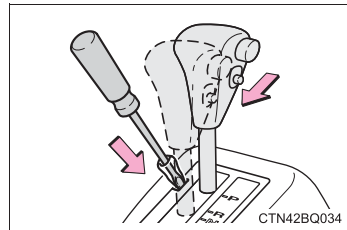
シフトロック解除のしかた：

- 1 パーキングブレーキをかける
- 2 エンジンスイッチを“LOCK”にする
- 3 ブレーキペダルを踏む
- 4 マイナスドライバーなどを使ってカバーをはずす（シフトロック解除ボタンカバー装着車）

傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端に布などを巻いて保護してください。



- 5 ドライバーの先などでシフトロック解除ボタンを押す
ボタンを押しているあいだは、レバーをシフトできます。



 **警告****■ すべりやすい路面では**

急なアクセル操作や、シフト操作を行わないでください。エンジブレーキ力の急激な変化が、横すべりやスピンの原因になりますので注意してください。

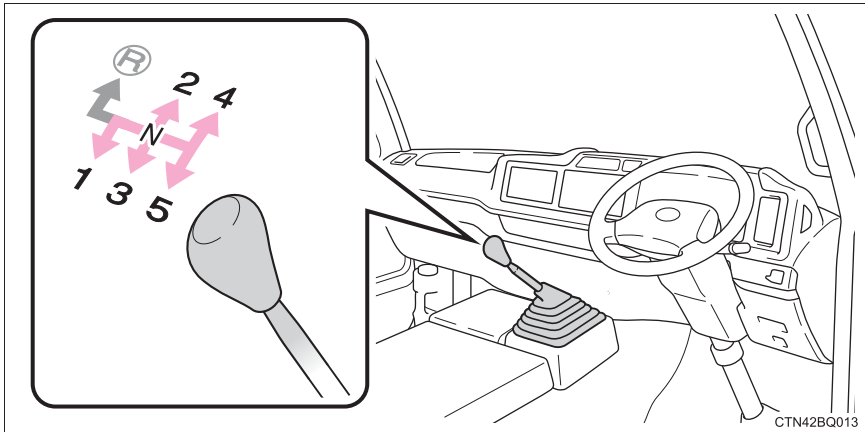
■ シフトロック解除時の事故を防ぐために

シフトロック解除ボタンを押すときは、必ずパーキングブレーキをかけブレーキペダルを踏んでください。

誤ってアクセルペダルを踏んでいると、シフトロック解除ボタンを押してシフトレバーを操作したときに、車が急発進して思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

マニュアルトランスミッション★

シフトレバーの動かし方



- 1 クラッチペダルをしっかりと踏む
- 2 シフトレバーをゆっくり操作する
シフト操作は一段ずつ行ってください。
- 3 クラッチペダルから徐々に足を離す。
誤操作を防ぐため、1 速から R へは直接入れることができません。
いったん N にしてから R に入れます。

⚠ 注意

■ 損傷を防ぐために

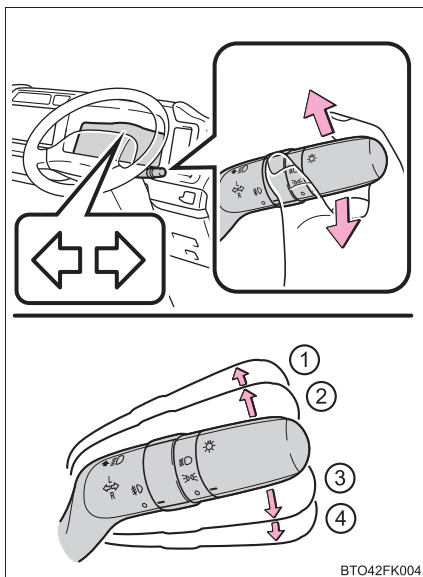
- R へシフトするとき、車が停止した状態でおこなってください。
- 変速時以外は、シフトレバーから手を離してください。
- エンジンを過回転させないよう、シフト操作は一段ずつ行ってください。
- クラッチペダルを一気に離す操作はしないでください。クラッチやトランスミッションを損傷させるおそれがあります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

方向指示レバー

操作のしかた

- ① 左折
- ② 左側へ車線変更
(レバーを途中で保持)
レバーを離すまで、左側方向指示灯が点滅します。
- ③ 右側へ車線変更
(レバーを途中で保持)
レバーを離すまで、右側方向指示灯が点滅します。
- ④ 右折



BTO42FK004

知識

■ 作動条件

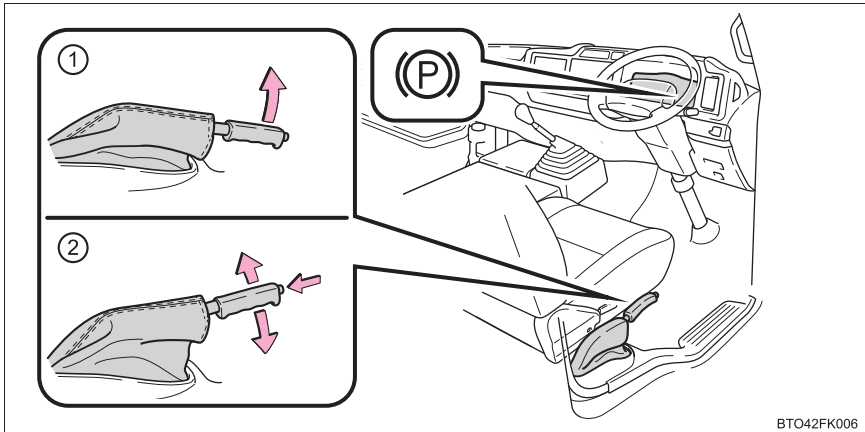
エンジンスイッチが“ON”のとき

■ 表示灯の点滅が異常に速くなったときは

方向指示灯の電球が切れていないか確認してください。

パーキングブレーキ

操作のしかた



- ① パーキングブレーキをかけるには、ブレーキペダルを踏みながら、パーキングブレーキレバーをいっぱいまで引く
- ② パーキングブレーキを解除するには、レバーを少し引上げ、ボタンを押しながら完全に下までもどす

知識

- 駐車するとき
→ P. 107
- 冬季のパーキングブレーキの使用について
→ P. 186
- パーキングブレーキ未解除走行時警告ブザー
→ P. 337

⚠ 注意

■ 走行前の注意

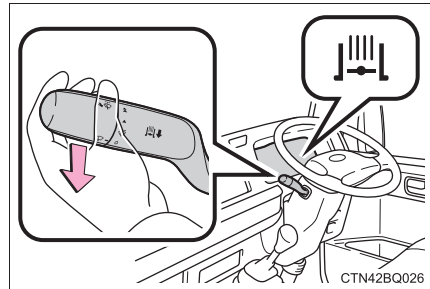
パーキングブレーキを完全に解除してください。
パーキングブレーキをかけたまま走行すると、ブレーキ部品が過熱し、ブレーキの効きが悪くなったり、早く摩耗したりするおそれがあります。

排気ブレーキ

降坂時などにやや強めのエンジンブレーキを効かすことができます。

レバーを下げる

作動表示灯が点灯し、作動待機状態であることを知らせます。



知識

■ 排気ブレーキについて

- 作動待機状態で走行中にアクセルペダルから足を離すと、排気ブレーキが作動します。
- 次のとき排気ブレーキは作動しません。
 - ・ クラッチペダル（マニュアル車）またはアクセルペダルを踏んだ
 - ・ シフトレバーをNにした
 - ・ ABS が作動した
- スリップしやすい冰雪路などでは、排気ブレーキが自動的に解除される場合があります。
- レバーをもどすと解除されます（作動表示灯が消灯します）。
- 排出ガス浄化のため、車両が信号待ちなどで停車したときにアイドル回転数が上がり、排気ブレーキが作動します。
- アイドリング状態で長時間放置すると、白煙防止のためアイドル回転数が上がり、排気ブレーキが作動することがあります。
- オートマチック車では、排気ブレーキを作動させると車速などに応じてシフトダウンすることがあります。

排出ガス浄化装置

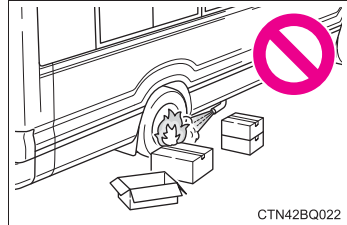
排出ガス浄化装置内のフィルターに捕集したススが一定量堆積すると、自動的にススを燃焼（再生）処理します。

警告

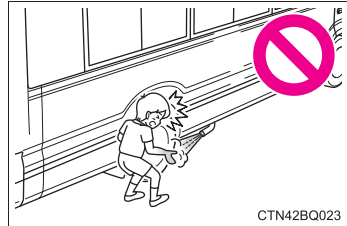
■ ススの燃焼（再生）処理中は

次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、高温になった排気管・排気ガスによりやけどなどの重大な傷害を受けたり、火災などが発生するおそれがあり危険です。

- 排気管周辺に燃えやすいものを置かない



- 排気管周辺に人がいないことを確認する



- 車庫内など囲まれた場所ではススの燃焼処理を行わない
- 燃焼処理中は排気管・排気ガスにふれない

 **注意****■ 排出ガス浄化装置の故障を防ぐために**

次のことをお守りください。お守りいただかないと、排出ガス浄化装置やエンジンなどの損傷につながるおそれがあります。

- 排出ガス浄化装置警告灯が点滅したまま長時間走行しない
- 指定以外の燃料を補給しない
- 指定の規格に相当する品質以外のエンジンオイルを使用しない
- 排気管の改造をしない
- 排気管の腐食や亀裂、異音の発生などが無いが定期的に点検する
異常が発見された場合は、すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。

◆ 燃焼（再生）処理について

- 一般走行では数百 km[※] 走行するごとに、自動で捕集したススの燃焼処理が行われます。
- ススが規定量以上になったとき、スイッチ操作で燃焼処理を行うことができます。
※ 気候や走行状況等により異なります。


◆ 排出ガス浄化装置について

排出ガス浄化装置には、次のような特徴があります。



- 燃焼処理中はアイドル回転数が上がる
- 排気ガスの臭いが従来のディーゼル車とは異なる
- 始動時や燃焼処理中に、排気管から白い煙（水蒸気）が出る場合がある
- 燃焼処理中は作動音（シューという音）が出る場合がある
- 燃焼処理中は加速が悪くなる場合がある


排出ガス浄化装置堆積モニターについて

メーター内の表示で、ススの堆積量を確認することができます。

ススが堆積して目盛りがいっぱいになる前に、メーター内の  (排出ガス浄化装置警告灯) が点滅します。点滅を確認したら、必ずススの燃焼 (再生) 処理をしてください。(→ P. 136)

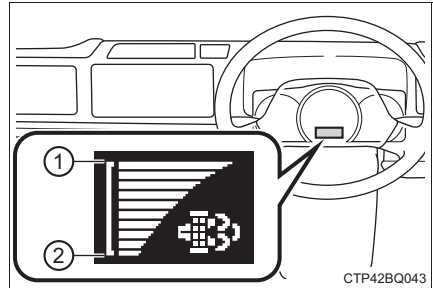
① 多い

目盛りがいっぱいになると、メーター内の  (エンジン警告灯) が点灯し、 (排出ガス浄化装置警告灯) が消灯します。


万一、 (エンジン警告灯) が点灯したときは、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。(→ P. 137)

② 少ない

ススの堆積量が一定量未満のときは、いちばん下の目盛りも表示されません。



排出ガス浄化装置警告灯が点滅したときは

メーター内の  (排出ガス浄化装置警告灯) が 10 秒以上点滅したときは、次の手順で燃焼処理を行ってください。

- 1 車を安全な場所に停車する
- 2 パーキングブレーキを確実にかけ、シフトレバーをオートマチック車は P、マニュアル車は N にする

エンジンは停止しないでください。

また、排気管の周辺に可燃物等がないことを確認してください。(→ P. 133)

- 3 排出ガス浄化スイッチを押す

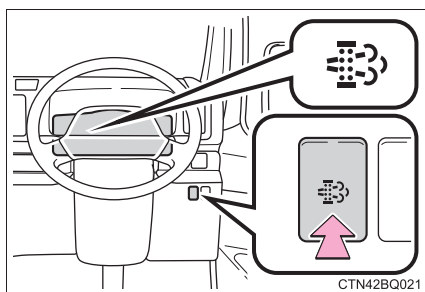
メーター内の排出ガス浄化装置警告灯が点滅から点灯にかわり、アイドリング回転数が上がります。

燃焼（再生）処理が終了するまでに、約 15 ～ 30 分* 程度の時間が必要です。

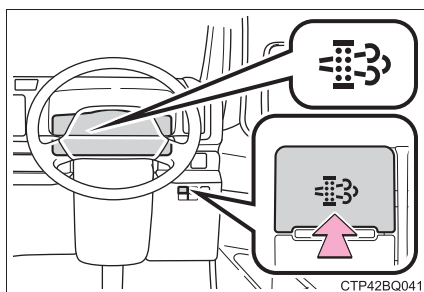
排出ガス浄化装置警告灯が消灯して、アイドリング回転数がかもともどれば終了です。

* 外気温により異なります。

▶ A タイプ



▶ B タイプ



知識

■ 燃焼処理について

- 排出ガス浄化スイッチを押したあとは、オートマチック車はアクセルペダルを、マニュアル車はアクセルペダル・クラッチペダルを踏まないでください。ペダルを踏むと処理が中断されます。処理が中断されてしまった場合は、すみやかに燃焼処理をやり直してください。
- 走行直後など排気管の温度が高いときに行うと、エンジンが冷えているときよりも早く処理が終了します。

■ エンジンオイルについて

必ず指定の規格に相当する品質のオイルをご使用ください。(→ P. 374)

■ 排出ガス浄化装置警告灯について

- 走行距離が短い運転が連続したときや、ひんぱんなアイドリングストップを行った場合などに、通常より早く排出ガス浄化装置警告灯が点滅する場合があります。
- 点滅が約 10 秒で消灯すればクリーニングモードであることを示し、自動的にススの燃焼（再生）処理を行います。ただし、排出ガス浄化スイッチを押して燃焼（再生）処理を行うこともできます。

注意

■ 排出ガス浄化装置警告灯が点滅したとき

- 点滅が開始してから、約 150km 走行以内に排出ガス浄化スイッチを押して、燃焼処理をしてください。
- 排出ガス浄化装置警告灯が点滅したまま走行を続けると、エンジン警告灯が点灯し、排出ガス浄化装置警告灯が消灯します[※]。そのまま放置すると、排出ガス浄化装置やエンジンが損傷するおそれがあるため、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

※ このときは、排出ガス浄化スイッチが機能しなくなります。



ランプスイッチ

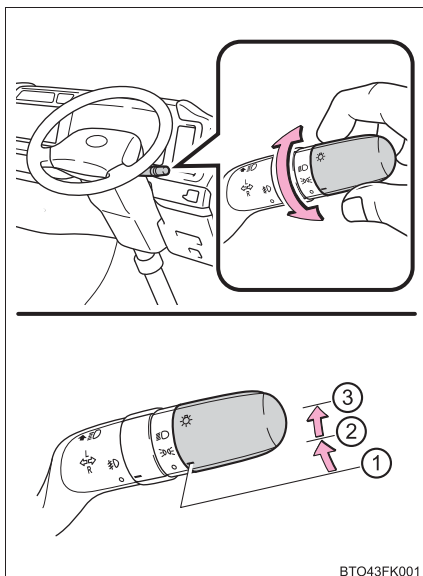
自動★または手動でヘッドランプなどを点灯できます。

操作のしかた

次のように  スイッチを操作すると、ランプが点灯します。

▶ Aタイプ




- ① ○ 消灯
- ②  車幅灯・尾灯・番号灯・リヤホイール灯を点灯
- ③  上記ランプとヘッドランプを点灯

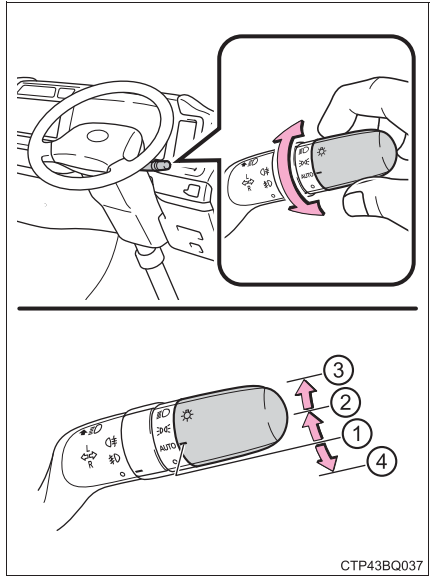


BTO43FK001

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

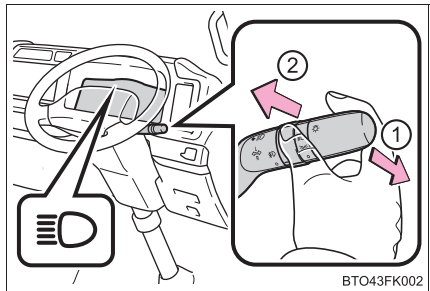
▶ Bタイプ

- ① **AUTO** ヘッドランプ・車幅灯などを自動点灯・消灯
(エンジンスイッチが“ON” のとき)
- ②  車幅灯・尾灯・番号灯・リヤホイール灯を点灯
- ③  上記ランプとヘッドランプを点灯
- ④  消灯



ハイビームにする

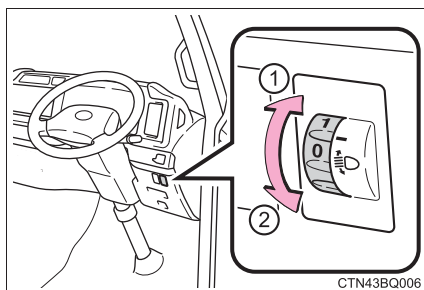
- ① ランプ点灯時ハイビームに切りかえ
レバーをもとの位置へもどすとロービームにもどります。
- ② レバーを引いているあいだ、ハイビームを点灯
ランプが消灯していても、ハイビームが点灯します。レバーを離すと、ロービームにもどる、または消灯します。



手動光軸調整ダイヤル

乗車人数や荷物の量などによる車の姿勢の変化に合わせて、ヘッドランプの光軸を調整することができます。

- ① 上向きに調整
- ② 下向きに調整



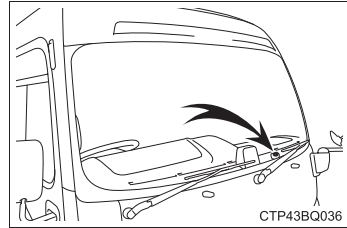
■ 目盛り設定の目安

乗員や荷室の積載条件			ダイヤル位置	
運転者のみ乗車時			0	
運転者のみ 乗車時で、かつ 最大積載時	バス	超ロングボディ車	1.5	
		ロングボディ車	下記以外	1.5
			幼児車かつ マニュアル車	1.5
			幼児車かつ オートマチック車	1.5
		標準ボディ車	1.5	
	バン	1.5		




知識


■ ライトセンサー（ランプ自動点灯・消灯システム装着車）

センサーの上にものを置いたり、センサーをふさぐようなものをフロントウインドウガラスに貼らないでください。周囲からの光がさえぎられると、自動点灯・消灯機能が正常に働かなくなります。



■ ランプ消し忘れ防止機能★

ランプ点灯時、エンジンスイッチを“ACC”または“LOCK”にして運転席ドアを開けると、ヘッドランプと尾灯などが消灯します。再びランプを点灯する場合は、エンジンスイッチを“ON”にするか、一度ランプスイッチを  にもどし、再度  または  の位置にします。

ただし、ランプスイッチを  にもどし、再度ランプを点灯させ、エンジンスイッチからキーを抜いて運転席ドアを開けた場合は、ランプ類の消し忘れを防止するブザーが鳴ります。

■ カスタマイズ機能

お車に装備されている機能の一部は、設定を変更することができます。
(→ P. 383)

注意

■ バッテリーあがりを防止するために

エンジンを停止した状態でランプ類を長時間点灯しないでください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

オートマチックハイビーム★

オートマチックハイビームは、フロントウインドウガラスに設置されたカメラセンサーにより前方車両のランプや街路灯などの明るさを判定し、自動的にハイビームとロービームを切りかえます。

⚠ 警告


■ 安全にお使いいただくために

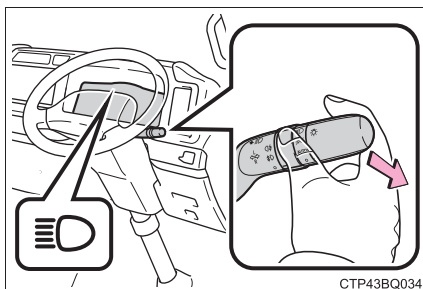
オートマチックハイビームを過信しないでください。運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、安全運転を心がけ、必要に応じて手動でハイビームとロービームを切りかえてください。

■ オートマチックハイビームの誤操作を防ぐために

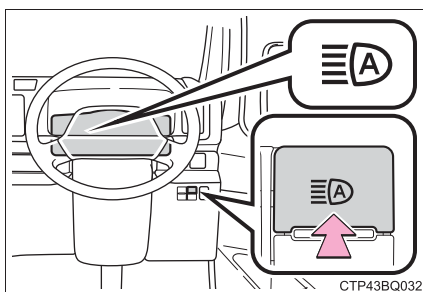
荷物を積み過ぎないでください。

オートマチックハイビームの使い方

- 1 ランプスイッチを **AUTO** または  にし、レバーを前方へ押す



- 2 オートマチックハイビームスイッチを押す
オートマチックハイビームが作動すると、オートマチックハイビーム表示灯が点灯します。



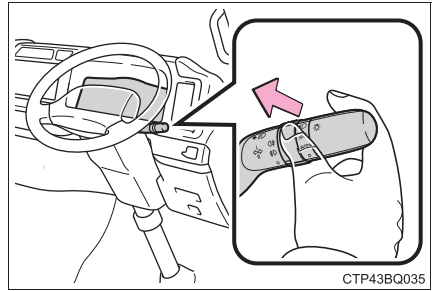
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

手動切りかえのしかた**■ ロービームへの切りかえ**

レバーをもとの位置にもどす

オートマチックハイビーム表示灯が
消灯します。

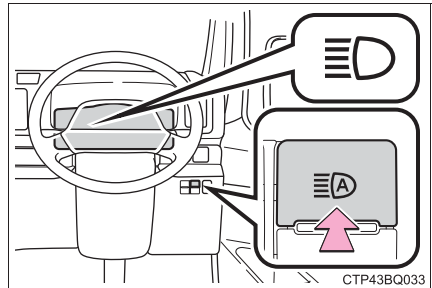
オートマチックハイビームにもどす
には、再度レバーを前方に押しします。

**■ ハイビームへの切りかえ**

オートマチックハイビームス
イッチを押す

オートマチックハイビーム表示灯が
消灯し、ハイビーム表示灯が点灯し
ます。

オートマチックハイビームにもどす
には、再度スイッチを押します。



 知識**■ ハイビームとロービームの自動切りかえ条件**

次の条件をすべて満たすと、ハイビームを点灯します。

- ・ 車速が約 30km/h 以上
- ・ 車両前方が暗い
- ・ 前方にランプを点灯した車両がない
- ・ 前方の道路沿いの街路灯の光が少ない

次の条件のいずれかのときはロービームが点灯します。

- ・ 車速が約 25km/h 以下
- ・ 車両前方が明るい
- ・ 前方車両がランプを点灯している
- ・ 前方の道路沿いの街路灯の光が多い

■ カメラセンサーの検知について

- 次の状況では、ハイビームが自動でロービームに切りかわらない場合があります。
 - ・ 見通しの悪いカーブで対向車と突然すれ違ったとき
 - ・ 他車が前方を横切ったとき
 - ・ 連続するカーブや中央分離帯、街路樹などで前方車両が見え隠れするとき
 - ・ 前方車両が離れた車線から接近してきたとき
 - ・ 前方車両が無灯火のとき
- 前方車両のフォグランプにより、ハイビームがロービームに切りかわる場合があります。
- 街路灯や信号・広告などの照明、または標識・看板などの反射物によりハイビームがロービームに切りかわる場合や、ロービームが継続する場合があります。
- 次の原因により、ハイビームとロービームの切りかえのタイミングが変化する場合があります。
 - ・ 前方車両のランプの明るさ
 - ・ 前方車両の動きや向き
 - ・ 前方車両のランプが片側のみ点灯しているとき
 - ・ 前方車両が二輪車のとき
 - ・ 道路の状態（勾配やカーブ、路面状況など）
 - ・ 乗車人数や荷物の量
- 従って、ハイビームとロービームが運転者の感覚に合わず切りかわる場合があります。
- 自転車などの軽車両は検知しない場合があります。

- 次の状況では、周囲の明るさが正確に検知されず、ハイビームが歩行者や前方車両などの迷惑になる場合や、ロービームが継続する場合があります。このような場合は、手動でハイビームとロービームを切りかえてください。
 - ・ 悪天候時（霧・雪・砂嵐・大雨など）
 - ・ フロントウインドウガラスが汚れているときや、曇っているとき
 - ・ フロントウインドウガラスにひび割れや破損があるとき
 - ・ カメラセンサーが変形しているときや、汚れているとき
 - ・ カメラセンサーが極端に高温になっているとき
 - ・ 周囲にヘッドランプや尾灯などに似た光があるとき
 - ・ 前方車両のランプが無灯火のときや、ランプに汚れや変色があったり光軸がずれているとき
 - ・ 急激な明るさの変化が連続するとき
 - ・ 起伏や段差が多い道路を走行しているとき
 - ・ カーブが多い道路を走行しているとき
 - ・ 車両前方に標識やミラーのように光を強く反射するものがあるとき
 - ・ コンテナなど、先行車両の後部が光を強く反射するとき
 - ・ 自車のヘッドランプが破損または汚れているとき
 - ・ パンクやけん引などにより車両が傾いているとき
 - ・ ハイビームとロービームをひんぱんに切りかえているとき
 - ・ ハイビームの使用に問題がある、またはほかの運転者・付近の歩行者の迷惑になると思われるとき

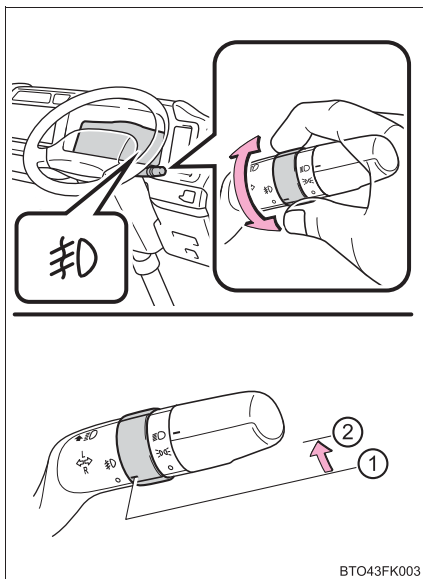
フォグランプスイッチ

雨や霧などの悪天候下での視界を確保します。

操作のしかた

▶ フロントフォグランプ

- ① ○ 消灯する
- ② ㊦ 点灯する



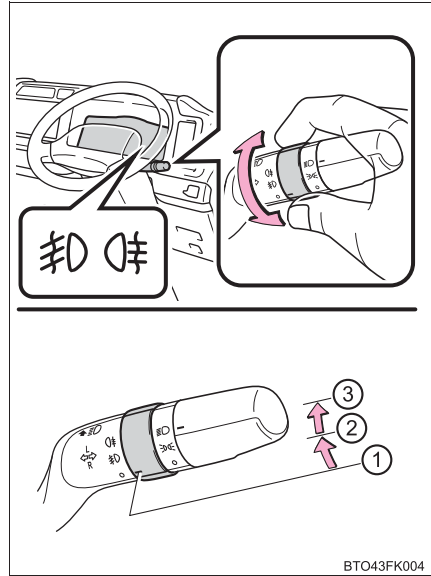
BTO43FK003

▶ フロント&リヤフォグランプ★

- ① ○ 消灯する
- ② ㊦ フロントフォグランプを点灯する
- ③ ㊦ リヤフォグランプを点灯する

手を離すと㊦の位置までもどり
ます。

再度操作すると消灯します。



BTO43FK004

知識

■点灯条件

フロントフォグランプ：ヘッドランプまたは車幅灯が点灯しているときに使用できます。

リヤフォグランプ：フロントフォグランプが点灯しているときに使用できます。


■リヤフォグランプについて

- リヤフォグランプが点灯しているときは、メーター内の表示灯が橙色に点灯します。
- 雨や霧、雪などで視界が悪いときに後続車に自分の車の存在を知らせるために使用します。
視界が悪いとき以外に使用すると後続車の迷惑になる場合があります。必要なき以外は使用しないでください。

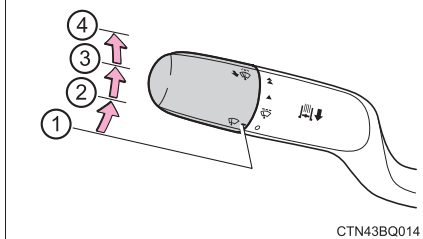
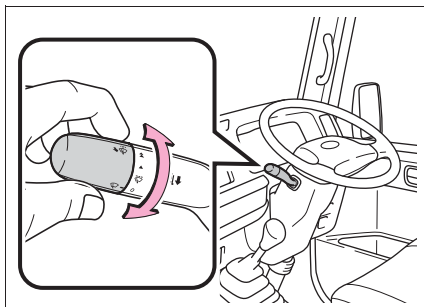
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。


ワイパー & ウォッシャー（フロント）

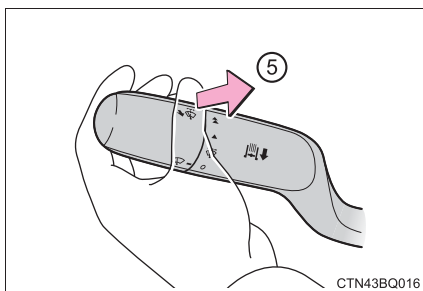
操作のしかた

次のように  レバーを操作すると、ワイパーまたはウォッシャーが作動します。

- ① ○ 停止
- ②  間欠作動
- ③ ▲ 低速作動
- ④ ▲▲ 高速作動



- ⑤  ウォッシャー液を出す
レバーを手前に引くとワイパーと連動してウォッシャーが作動します。



知識

■ 作動条件

エンジンスイッチが “ON” のとき

■ ウォッシャー液が出ないときは

ウォッシャー液量が不足していないのにウォッシャー液が出ないときは、ノズルのつまりを点検してください。

⚠ 警告**■ ウォッシャー使用時の警告**

寒冷時はフロントウインドウガラスが暖まるまでウォッシャー液を使用しないでください。ウォッシャー液がフロントウインドウガラスに凍りつき、視界不良を起こして思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

⚠ 注意**■ フロントウインドウガラスが乾いているときは**

ワイパーを使わないでください。
ガラスを傷付けるおそれがあります。

■ ウォッシャー液が出ないときは


ウォッシャースイッチを操作し続けしないでください。
ポンプが故障するおそれがあります。



■ ノズルがつまったときは

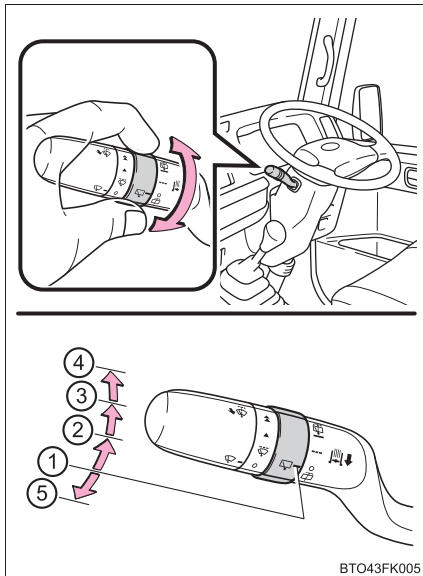
ピンなどで取り除かないでください。
ノズルが損傷するおそれがあります。

ワイパー&ウォッシャー（リヤ）★

操作のしかた

次のように  スイッチを操作すると、リヤワイパーが作動します。

- ① ○ 停止
- ② --- 間欠作動
- ③ — 通常作動
- ④  ウォッシャー液を出す
ワイパーが連動して作動します。
- ⑤  ウォッシャー液を出す



知識

■ 作動条件

エンジンスイッチが “ON” のとき

■ ウォッシャー液が出ないときは

ウォッシャー液量が不足していないのにウォッシャー液が出ないときは、ノズルのつまりを点検してください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 **注意****■ リヤガラスが乾いているときは**

ワイパーを使わないでください。
ガラスを傷付けるおそれがあります。

■ ウォッシャー液が出ないときは

ウォッシャースイッチを操作し続けしないでください。
ポンプが故障するおそれがあります。

■ ノズルがつまったときは

ピンなどで取り除かないでください。
ノズルが損傷するおそれがあります。

給油口の開け方

給油する前に

- すべてのドアとサイドガラスを閉め、エンジンスイッチを“LOCK”にしてください。
- 燃料の種類を確認してください。

知識

■ 燃料の種類

超低硫黄軽油 (S10ppm 以下)

警告

■ 給油するときは

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと火災を引き起こすなど、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 給油前にボデーなどの金属部分にふれて体の静電気を除去してください。除去したあとは給油が完了するまで、車内にもどったり、他の人やものにふれないでください。また、給油口に静電気を除去していない人を近付けないでください。

静電気を帯電した人が給油口に近付くと、放電による火花で燃料に引火するおそれがあります。

- キャップはツマミ部分を持ち、ゆっくりと開けてください。また、キャップをゆるめたときに、“シュー”という音がある場合は、その音が止まるまでキャップを保持してください。

すぐに開けると、気温が高いときなどに、給油口から燃料が噴き出るおそれがあります。

- 気化した燃料を吸わないようにしてください。
燃料の成分には、有害物質を含んでいるものもあります。
- 喫煙しないでください。
- 給油口にノズルを確実に挿入してください。
- 継ぎ足し給油をしないでください。
- 正常に給油できない場合は、スタンドの係員を呼んで指示に従ってください。

⚠ 注意**■ 給油するとき**

指定の軽油を使用してください。

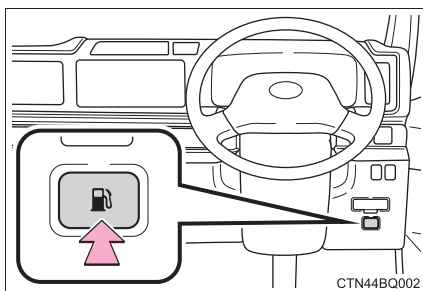
指定以外の軽油や、他の燃料（粗悪ガソリン・灯油・高濃度バイオ混合ガソリン）を使用したり、燃料をこぼしたりしないでください。

次のような状態になるおそれがあります。

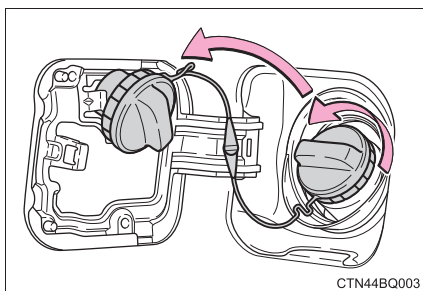
- エンジンの始動性が悪くなる
 - エンジンからの異音や振動など（ノッキング）が発生する
 - エンジン出力が低下する
 - 排気制御システムが正常に機能しない
 - 燃料系部品が損傷する
 - 塗装が損傷する
 - 排出ガス浄化装置が正常に機能しない
- 指定以外の軽油を補給すると、白煙が発生し続ける場合があります。また、排出ガス浄化装置の故障につながるおそれがあります。

給油口の開け方

- 1 給油扉オープナーを押して、給油扉を開ける



- 2 キャップをゆっくりまわして開け、ハンガーにかける

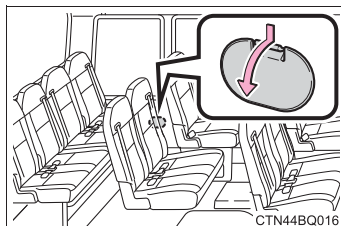


知識

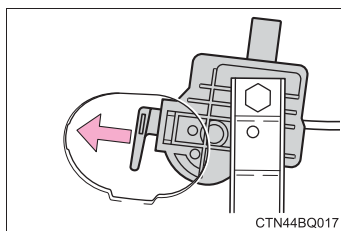
■ 給油扉が開かないとき

給油口オープナーを押しても給油扉が開かないときは、次の方法で開けることができます。

- 1 最後部座席足元（最後席シート搭載車）またはラゲージルーム（最後席シート非搭載車）のカバーを取りはずす



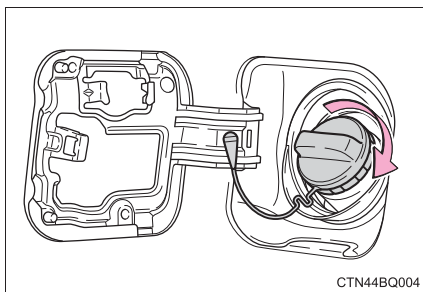
- 2 レバーを引き、給油扉が開いたことを確認する



給油口の閉め方

キャップを“カチッ”と音がするまでまわして閉める

手を離すと、キャップが逆方向に少しもどります。



 **警告****■ キャップが正常に閉まらないとき**

必ずトヨタ販売店へご連絡ください。

正常に閉まらないキャップをそのまま使用したり、純正品以外のキャップを使用すると、火災などを引き起こし、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

Toyota Safety Sense ★

Toyota Safety Sense は、次の運転支援装置によって運転者を補助し、安全で快適なドライブを支援します。

◆ PCS (プリクラッシュセーフティ)

→ P. 161

◆ LDA (レーンディパーチャーアラート)

→ P. 171

◆ オートマチックハイビーム

→ P. 142

 警告

■ Toyota Safety Sense について

Toyota Safety Sense は運転者の安全運転を前提としたシステムであり、事故被害や運転負荷の軽減に寄与することを目的としています。

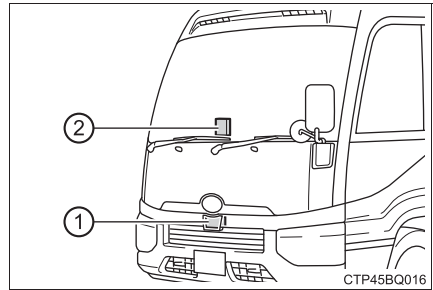
本システムは認識性能・制御性能に限界があります。システムを過信せず、運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、安全運転を心がけてください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

前方センサー

フロントグリルとフロントウインドウガラスにある 2 種類のセンサーにより、各運転支援装置に必要な情報を認識します。

- ① レーダー
- ② 前方カメラ



⚠ 警告

■ レーダーセンサーの故障や誤作動を防ぐために

次のことをお守りください。

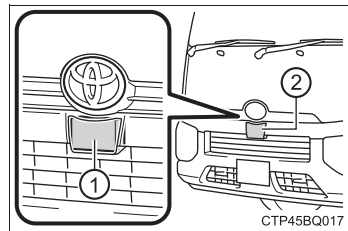
お守りいただかないと、レーダーが正常に作動せず、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- レーダーとレーダー専用カバーは常にきれいにしておく

- ① レーダー
- ② レーダー専用カバー

レーダー前面やレーダー専用カバー前後面に汚れ・水滴・雪などが付着した場合は、取り除いてください。

お手入れをする際は、レーダーやレーダー専用カバーを傷付けないよう、やわらかい布を使ってください。



- レーダーやレーダー専用カバー周辺にアクセサリーを付けたり、ステッカー（透明なものを含む）などを貼ったりしない
- レーダー周辺への強い衝撃を避ける
レーダー・フロントグリル・フロントバンパーに強い衝撃を受けた際は、必ずトヨタ販売店で点検を受けてください。
- レーダーを分解しない
- レーダーやレーダー専用カバーを改造したり、塗装したりしない

警告

- 次のようなときは、レーダーの再調整が必要です。詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

- ・ レーダー・フロントグリルを脱着や交換したとき
- ・ フロントバンパーを交換したとき

■ 前方カメラの故障や誤作動を防ぐために

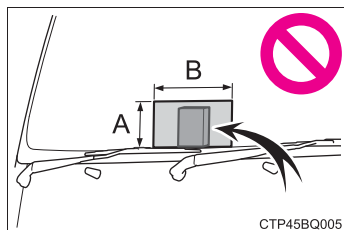
次のことをお守りください。

お守りいただかないと、前方カメラが正常に作動せず、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- フロントウインドウガラスは常にきれいにしておく

- ・ フロントウインドウガラス外側に汚れ・油膜・水滴・雪などが付着した場合は、取り除いてください。
- ・ フロントウインドウガラスにガラスコーティング剤を使用していても、前方カメラ前部に水滴などが付着した場合は、ワイパーでふき取ってください。
- ・ フロントウインドウガラス内側の前方カメラ取り付け部が汚れた場合は、トヨタ販売店にご相談ください。

- フロントウインドウガラスの前方カメラ前部（図に示す範囲内）にステッカー（透明なものを含む）などを貼り付けない
A: フロントウインドウガラス下端から前方カメラ上端より上約 1cm まで
B: 約 20cm（前方カメラ中心から左右約 10cm）



- 前方カメラ前部のフロントウインドウガラスが曇ったり、結露したり、凍結したりした場合は、エアコンの機能を使用する（フロントウインドウガラスの曇りを取るには：→ P. 229, 241）
- 前方カメラ前部のフロントウインドウガラスの水滴をワイパーが正しくふき取れないときは、ワイパーゴムまたはワイパーブレードを交換する

 警告

- フロントウインドウガラスにフィルムを貼らない
- フロントウインドウガラスに傷・ひびなどが生じた場合は、そのまま放置せずに交換する
フロントウインドウガラスの交換後は、前方カメラの再調整が必要です。詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。
- 前方カメラに液体をかけない
- 前方カメラに強い光を照射しない
- 前方カメラのレンズを汚したり、傷を付けたりしない
フロントウインドウガラス内側を掃除するときは、ガラスクリーナーがレンズに付着しないようにしてください。また、レンズにはふれないでください。レンズに汚れ・傷がある場合は、トヨタ販売店にご相談ください。
- 前方カメラに強い衝撃を加えない
- 前方カメラの取り付け位置や向きを変更したり、取りはずしたりしない
- 前方カメラを分解しない
- インstrumentパネルなどの前方カメラ周辺部品を改造しない
- フロントグリル・フロントバンパーに、前方カメラの視界をさえぎる可能性のあるアクセサリを取り付けない
詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。
- ヘッドランプなどのランプ類を改造しない

 知識

■ レーダーセンサーの取り扱い

レーダーセンサーは電波法の基準に適合しています。センサーに印字されているマークはその証明ですので消さないでください。また、製品を分解・改造すると罰せられることがあります。必ず日本国内でご使用下さい。

■ マルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージが表示されたとき

前方センサーが一時的に作動しない、または異常があるおそれがあります。

- 次の状況が改善されると警告メッセージが消え、作動可能状態になります。対処を行っても警告メッセージが表示されたままの場合はトヨタ販売店にご相談ください。

状況	対処法
前方センサー周辺に汚れや付着物（曇り、結露、凍結などを含む）があるとき	<ul style="list-style-type: none"> ・ 汚れや付着物を取り除く ・ 前方カメラ周辺の汚れや付着物の場合は、ワイパーやエアコンの機能などを使用する (フロントウインドウガラスの曇りを取るには：→ P. 229, 241)
炎天下や極寒の環境など、前方カメラ周囲の温度などが作動条件外のとき	炎天下での駐車時など、前方カメラが高温のときは、エアコンでカメラ周囲の温度を下げる 特に駐車時に太陽光を反射するサンシェードなどをフロントウインドウガラスに使用すると前方カメラが高温になりやすくなります。
	極寒での駐車時など、前方カメラが低温のときは、エアコンで前方カメラ周囲の温度を上げる
フロントウインドウガラスの前方カメラ前部にステッカーが貼り付けられているときなど、前方カメラの前方がさえぎられているとき	ステッカーを剥がすなど、前方カメラの視界がさえぎられないようにする

- 次のときは周囲の環境が前方センサーの作動可能状態になれば警告メッセージが消えます。
周囲の環境が改善されたり、しばらく走行したりしても警告メッセージが表示されたままの場合はトヨタ販売店にご相談ください。
 - ・ 炎天下や極寒の環境など、レーダー周囲の温度などが作動条件外のとき
 - ・ 暗闇・逆光・雪・霧など、前方カメラが周囲の状況を認識できないとき

PCS (プリクラッシュセーフティ) ★

<標準>

進路上の車両や歩行者を前方センサーで検出し、衝突の可能性が高いとシステムが判断したときに、警報やブレーキ力制御により運転者の衝突回避操作を補助します。また、衝突の可能性がさらに高まったと判断したときは、自動的にブレーキを作動させることで、衝突回避を支援、あるいは衝突被害の軽減に寄与します。

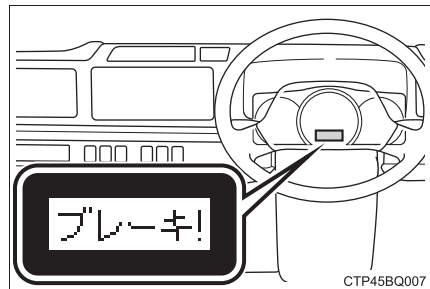
<歩行者被害軽減>

進路上の車両や歩行者を前方センサーで検出し、衝突の可能性が高いとシステムが判断したときに、警報やブレーキ力制御により運転者の衝突回避操作を補助します。また、衝突の可能性がさらに高まったと判断したときは、自動的にブレーキを作動させることで、衝突回避（対車両のみ）を支援、あるいは衝突被害の軽減に寄与します。

必要に応じて、プリクラッシュセーフティのON/OFFや、警報タイミングを切りかえることができます。（→P. 164）

◆ 衝突警報

衝突の可能性が高いとシステムが判断したとき、“ピピピ…”とブザー音が鳴り、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージを表示し、回避操作をうながします。



◆ プリクラッシュブレーキアシスト

衝突の可能性が高いとシステムが判断したとき、ブレーキペダルが踏まれる強さに応じてブレーキ力を増強します。

◆ プリクラッシュブレーキ

衝突の可能性が高いとシステムが判断したときに衝突警報を行い、さらに衝突の可能性が高まったと判断したときは、ブレーキが自動でかかり、衝突回避を支援、あるいは衝突速度の低減に寄与します。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 **警告****■安全にお使いいただくために**

- 安全運転を行う責任は運転者にあります。常に周囲の状況を把握し、安全運転に努めてください。
プリクラッシュセーフティを日常のブレーキ操作のかわりには絶対に使用しないでください。本システムはあらゆる状況で衝突を回避または衝突の被害を軽減するものではありません。システムに頼ったり、安全を委ねる運転をしたりすると思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- プリクラッシュセーフティは衝突回避を支援、あるいは衝突被害の軽減に寄与することを目的としていますが、その効果はさまざまな条件により異なります。そのため、常に同じ性能を発揮できるものではありません。
次の項目をお読みいただき、システムを過信せず安全運転に努めてください。
 - ・ 衝突の可能性がなくてもシステムが作動するおそれがあるとき：→P. 166
 - ・ システムが正常に作動しないおそれがあるとき：→P. 168
- お客様ご自身でプリクラッシュセーフティの作動テストを行わないでください。対象（マネキンや段ボールで作動対象を模した物など）や状況によってはシステムが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■プリクラッシュブレーキについて

- プリクラッシュブレーキが作動したときは、強いブレーキがかかります。
- プリクラッシュブレーキの作動により車両が停止したときは、約 2 秒後にプリクラッシュブレーキが解除されます。必要に応じて運転者自らブレーキをかけてください。
- プリクラッシュブレーキは運転者の操作状態によっては作動しません。運転者がアクセルペダルを強く踏んでいたり、ハンドルを操作したりしていると、場合によっては運転者の回避操作とシステムが判断し、プリクラッシュブレーキが作動しない場合があります。
- プリクラッシュブレーキ作動中に、アクセルペダルを強く踏んだり、ハンドルを操作したりすると、場合によっては運転者の回避操作とシステムが判断し、プリクラッシュブレーキの作動が解除されます。
- ブレーキペダルを踏んでいるときは、運転者の回避操作とシステムが判断し、プリクラッシュブレーキの作動開始タイミングが遅れる場合があります。

 **警告****■プリクラッシュセーフティを OFF にするとき**

次のときは、システムを OFF にしてください。
システムが正常に作動せず、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- けん引されるとき
- けん引するとき
- トラック・船舶・列車などに積載するとき
- 車両をリフトで上げ、エンジンを始動しタイヤを空転させるとき
- 点検でシャシーダイナモやフリーローラーなどを使用するとき
- 事故などにより、フロントバンパーやフロントグリルに強い衝撃が加わったとき
- 事故や故障で自車の走行が不安定なとき
- オフロード走行やスポーツ走行をするとき
- タイヤの空気圧が適正でないとき
- 著しく摩耗したタイヤを装着しているとき
- メーカー指定のサイズ以外のタイヤを装着しているとき
- タイヤチェーンを装着しているとき
- 応急用タイヤやタイヤパンク応急修理キットを使用しているとき
- 車両に前方センサーをさえぎるような装備品（除雪装置など）を一時的に取り付けているとき

プリクラッシュセーフティの設定変更

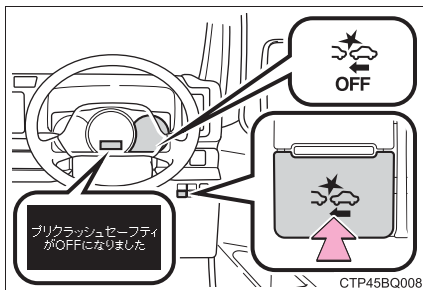
■ プリクラッシュセーフティを OFF にする

PCS スイッチを 3 秒以上押す

PCS 警告灯が点灯し、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

システムを ON にするには、もう一度 PCS スイッチを押します。

エンジンスイッチが “ON” になるとシステムは ON になります。



■ プリクラッシュセーフティの警報タイミングを変更する

PCS スイッチを押すと、マルチインフォメーションディスプレイに現在の警報タイミングが表示され、表示された状態で PCS スイッチを押すごとに、次のように警報タイミングが切りかわります。

エンジンスイッチを OFF にしても選択した警報タイミングは継続します。

① 遠い

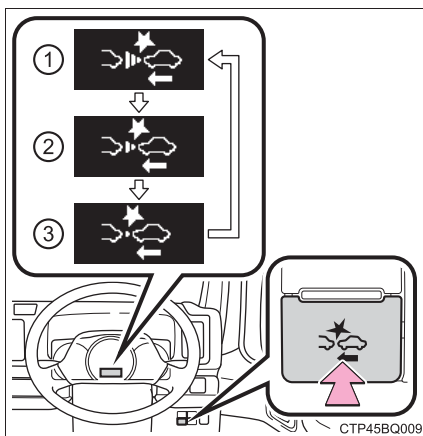
「中間」より警報タイミングが早くなる

② 中間

初期設定

③ 近い

「中間」より警報タイミングが遅くなる



 知識

■ システムの作動条件

プリクラッシュセーフティが ON で、前方の車両や歩行者と衝突の可能性が高いとシステムが判断したときに作動します。

各機能の作動速度は次のとおりです。

● 衝突警報

- ・ 自車速度約 10 ～ 180km/h（検出対象が歩行者のときは、自車速度約 10 ～ 80km/h）
- ・ 自車から見た前方の車両や歩行者との相対速度約 10km/h 以上

● プリクラッシュブレーキアシスト

- ・ 自車速度約 30 ～ 180km/h（検出対象が歩行者のときは、自車速度約 30 ～ 80km/h）
- ・ 自車から見た前方の車両や歩行者との相対速度約 30km/h 以上

● プリクラッシュブレーキ

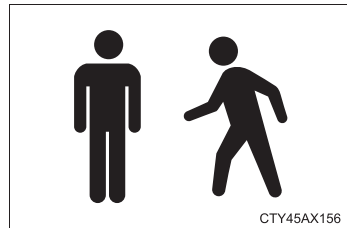
- ・ 自車速度約 10 ～ 180km/h（検出対象が歩行者のときは、自車速度約 10 ～ 80km/h）
 - ・ 自車から見た前方の車両や歩行者との相対速度約 10km/h 以上
- ただし、次のときシステムは作動しません。

- バッテリー端子を脱着したあと、しばらく走行するまでのあいだ
- シフトレバーが R のとき
- VSC が OFF のとき（衝突警報のみ作動可能状態になります）

■ 歩行者検出について

対象となる歩行者の大きさ・輪郭・動きなどから検出します。

周囲の明るさや、歩行者の動き・姿勢・角度などによっては、歩行者を検出できず、システムが正常に作動しないおそれがあります。（→ P. 169）



■ プリクラッシュブレーキの作動解除

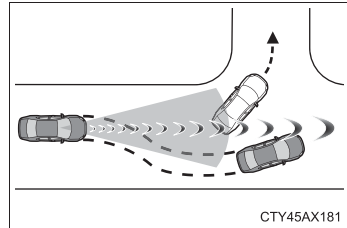
プリクラッシュブレーキ作動中に次の操作をすると、プリクラッシュブレーキの作動が解除されます。

- アクセルペダルを強く踏み込む
- ハンドルを大きくきる、またはすばやく操作する

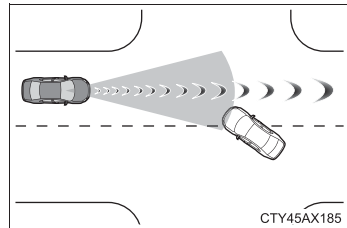
■衝突の可能性がなくてもシステムが作動するおそれがあるとき

- 例えば次のような状況では、システムが衝突の可能性があると判断し、作動するおそれがあります。

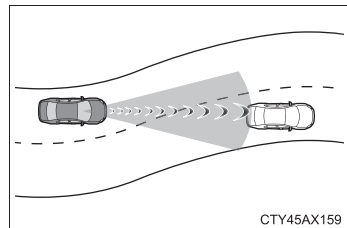
- ・ 車両や歩行者のすぐそばを通過するとき
- ・ 車線を変更して先行車を追いこすとき
- ・ 車線変更している先行車を追い抜くとき
- ・ 右左折する先行車を追いこすとき



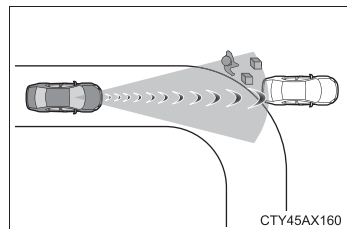
- ・ 右左折待ちの対向車とすれ違うとき



- ・ 隣の車線の前方向車両との位置関係がずれる道（曲がりくねった道など）を走行するとき

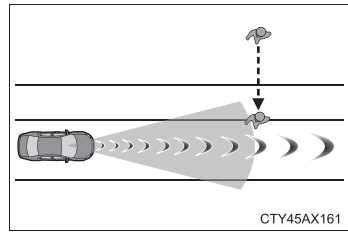


- ・ 前方車両に急接近したとき
- ・ 路面にうねり・凹凸があるときなど、車両姿勢が変化しているとき
- ・ 道路脇の構造物（ガードレール・電柱・木・壁など）に近付いたとき
- ・ カーブ入り口の道路脇に車両・歩行者・構造物が存在するとき

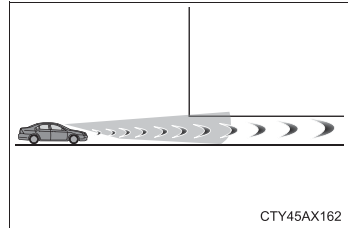


- ・ 道路脇が構造物に囲まれた狭い道（狭いトンネル・鉄橋など）を走行するとき
- ・ 路上または道路脇に金属物（マンホール・鉄板など）・段差・突起物があるとき

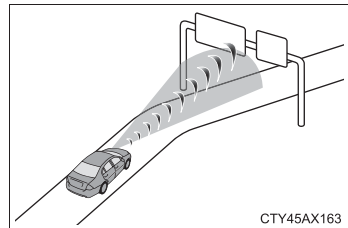
- ・横断する歩行者が車両のすぐそばに近付いたとき



- ・道路上方に構造物（天井の低いトンネル・道路標識など）がある場所を走行するとき

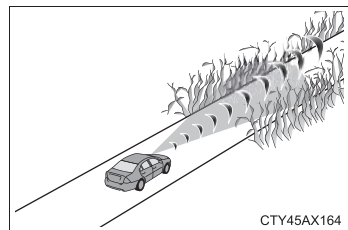


- ・上り坂で道路上方に構造物（看板など）がある場所を走行するとき



- ・ETCゲートや駐車場のゲートなどの開閉バーに急速に接近したとき
- ・洗車機を使用するとき

- ・車両に覆い被さるような障害物（生い茂った草・垂れ下がった枝・垂れ幕など）がある場所を走行するとき

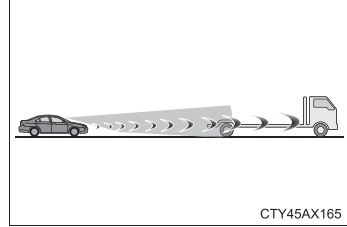


- ・前方車両から水・雪・土埃などの巻き上げがあるとき
- ・車両前方に水蒸気や煙などがあるとき
- ・路面または壁面に車両や歩行者との区別が付きにくい模様・ペイントがあるとき
- ・電波の反射が強い物体（大型トラック・ガードレールなど）の横を走行するとき
- ・テレビ塔・放送局・発電所など、強い電波やノイズが発生する場所の近くを走行するとき

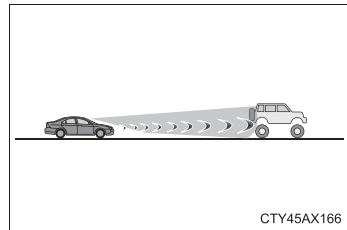
■ システムが正常に作動しないおそれがあるとき

- 例えば次のような状況では、前方センサーが対象となる車両を検出できず、システムが正常に作動しないおそれがあります。

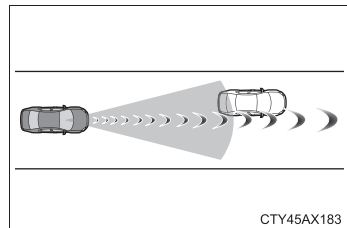
- ・ 前方から自車に向かって車両が近付いてくるとき
- ・ 前方車両がオートバイ・自転車のとき
- ・ 車両の側面または前面に近付いたとき
- ・ 先行車の後端面積が小さいとき（空荷のトラックなど）
- ・ 先行車の後端が低い位置にあるとき（低床トレーラーなど）



- ・ 前方車両の荷台から荷物がはみ出しているとき
- ・ 前方車両の最低地上高が極端に高いとき

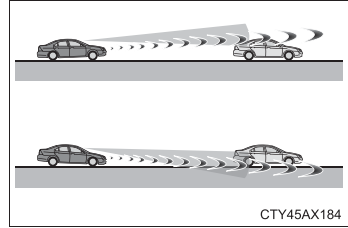


- ・ 前方車両が特殊な形状のとき（トラクター・サイドカーなど）
- ・ 前方車両が太陽光などを強く反射しているとき
- ・ 車両が横から割り込んできたり、飛び出してきたりしたとき
- ・ 前方車両が急な動きをしたとき（急ハンドル・急加速・急減速など）
- ・ 自車が車線変更を行い、変更した車線の先行車に急接近したとき
- ・ 前方車両と自車の中心がずれているとき



- ・ 悪天候（雨・霧・雪・砂嵐など）のとき
- ・ 前方車両から水・雪・土埃などの巻き上げがあるとき
- ・ 車両前方に水蒸気や煙などがあるとき
- ・ 周囲の明るさが急激に変化する場所を走行するとき（トンネルの出入り口など）

- ・強い光（太陽光や対向車のヘッドランプ光など）がカメラセンサーに直接あたっているとき
- ・薄暗いとき（朝方・夕方など）、および夜間やトンネル内
- ・エンジンを始動したあと、走行を開始してしばらくのあいだ
- ・右左折中および右左折後の数秒間
- ・カーブ走行中およびカーブを曲がりきってからの数秒間
- ・自車が横すべりしているとき
- ・車両姿勢が変化しているとき



- ・ホイールアライメントがずれているとき
 - ・ワイパーブレードがカメラセンサーの視界をさえぎっているとき
 - ・ふらつき運転をしているとき
 - ・過度な高速走行をしているとき
 - ・坂道を走行しているとき
 - ・前方センサーの向きがずれているとき
- 例えば次のような状況では、制動力が十分に得られず、システムの性能を発揮できないおそれがあります。
- ・ブレーキ性能が十分に発揮できない場合（ブレーキ部品が極度に冷えている・過熱している・ぬれているなど）
 - ・車両の整備状態（ブレーキ部品・タイヤの摩耗や空気圧など）が良好でないとき
 - ・砂利道やすべりやすい路面を走行しているとき
- 例えば次のような歩行者は、前方センサーが検出できず、システムが正常に作動しないおそれがあります。
- ・身長が約 1m 以下、または約 2m 以上の歩行者
 - ・合羽・ロングスカートなどを着用して、全身の輪郭があいまいな歩行者
 - ・大きな荷物を抱えていたり、傘をさしていたりして、体の一部が隠れている歩行者
 - ・前かがみになっている、またはしゃがんでいる歩行者
 - ・ベビーカー・車いす・自転車などを押している歩行者
 - ・集団でいる歩行者
 - ・白っぽい服を着ていて、極端に明るく見える歩行者
 - ・夜間やトンネル内など、暗闇にいる歩行者
 - ・服装の色合いや明るさなどが背景に溶け込んでいる歩行者
 - ・壁際や車両・フェンス・ガードレールなどのそばにいる歩行者
 - ・路面の金属物（マンホール・鉄板など）上にいる歩行者
 - ・歩く速度が速い歩行者

- ・ 歩く速度を急激に変化させている歩行者
- ・ 物陰から飛び出してきた歩行者
- ・ 車両の側端（ドアミラーなど）すれすれの位置にいる歩行者

■VSCを停止したとき

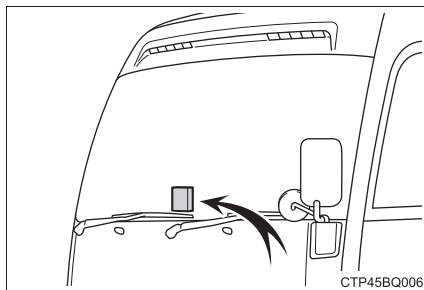
- VSCの作動を停止（→P. 182）したときは、プリクラッシュブレーキアシスト・プリクラッシュブレーキの作動も停止します。
- PCS 警告灯が点灯し、マルチインフォメーションディスプレイに「VSCがOFFの為プリクラッシュブレーキも停止します」が表示されます。

LDA(レーンディパーチャーアラート※)★

機能概要

白(黄)線が整備された道路を走行中、車線からの逸脱の可能性を運転者に警告します。

LDAは、フロントウィンドウガラス下部のカメラセンサーで、白(黄)線を認識します。

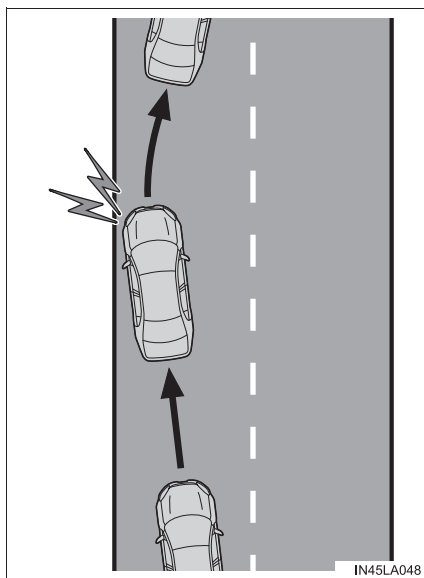


LDAに含まれる機能

◆ 車線逸脱警報機能

車両が車線から逸脱する可能性がある場合に、マルチインフォメーションディスプレイの表示および、警報ブザーにより注意をうながします。

警報ブザーが鳴ったときは、まわりの道路状況を確認の上、ハンドルを慎重に操作して、白(黄)線内の中央付近にもどってください。

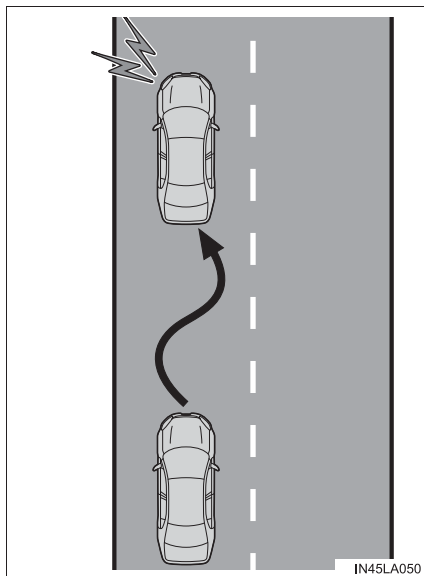


※：車線逸脱警報

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

◆ ふらつき警報機能

車両がふらついて走行しているとき、または車線から何度かはみだしそうになった場合に、警報ブザーおよびマルチインフォメーションディスプレイの表示により注意をうながします。



 **警告****■ LDA をお使いになる前に**

LDA を過信しないでください。LDA は自動で運転する装置でも前方への注意を軽減する装置でもないため、運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、ハンドル操作で進路を修正し、安全運転を心がけてください。また、長時間の運転などによる疲労時は適切に休憩をとってください。

適切な運転操作をしなかったり、注意を怠ったりすると、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

■ 誤作動を防ぐために

LDA を使用しないときは、LDA スイッチでシステムを OFF にしてください。

■ LDA を使用してはいけない状況

次の状況では、LDA を使用しないでください。

システムが適切に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- 応急用タイヤ・タイヤチェーンなどを装着しているとき
- 路側物に白（黄）線と見間違えるような構造物や模様があるとき（ガードレール・縁石・反射ポールなど）
- 雪道を走行しているとき
- 雨・雪・霧・砂ぼこりなどで白（黄）線が見えにくいとき
- 道路の修復で、アスファルト修復跡や白（黄）線の跡などが残っているとき
- 工事によって規制された車線・仮設の車線を走行しているとき
- 工事区間を走行しているとき

■ LDA の故障、または誤作動を防ぐために

- ヘッドランプを改造したり、ランプの表面にステッカーなどを貼ったりしないでください。
- サスペンションなどを改造しないでください。交換が必要な場合は、トヨタ販売店にご相談ください。
- グリルの上には、何も取り付けたり置いたりしないでください。また、グリルガード（ブルバー・カンガルーバーなど）を取り付けたりしないでください。
- フロントウインドウガラスの修理が必要な場合は、トヨタ販売店にご相談ください。

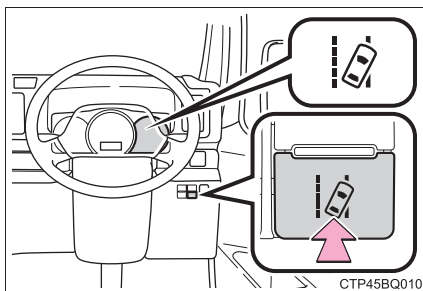
設定のしかた

LDAスイッチを押すごとにLDAのON/OFFが切りかわります。

LDAをONにするとLDA表示灯が緑色に点灯し、マルチインフォメーションディスプレイを運転支援機能情報に切りかえる(→P. 53)と車線逸脱警報機能情報が表示されます。

LDAをOFFにするとLDA表示灯が黄色に点灯します。

エンジンスイッチを“ON”にするたびにLDAはONになります。



マルチインフォメーションディスプレイ表示

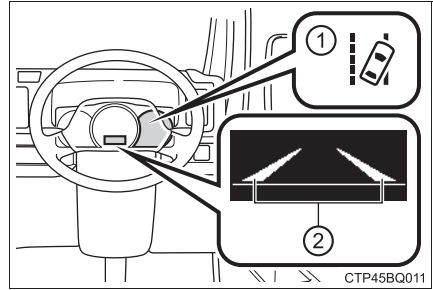
① LDA 表示灯

表示灯の点灯状態で、システムの作動状況をお知らせします。

緑色に点灯：車線逸脱監視中

黄色に点滅：車線逸脱警報中

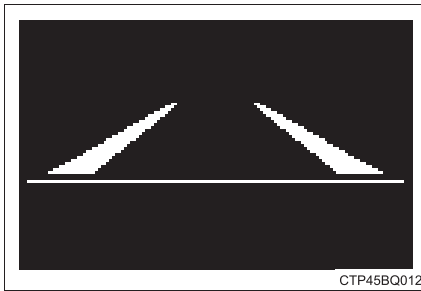
黄色に点灯：LDA OFF 時、LDA 異常時または LDA 一時使用不可時



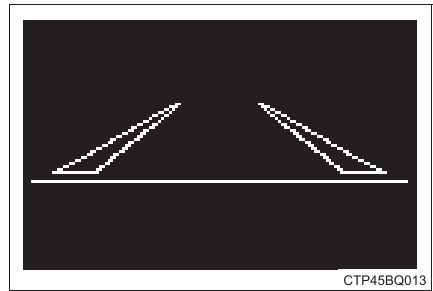
② 車線逸脱警報機能表示

マルチインフォメーションディスプレイを運転支援機能情報に切りかえると表示されます。

▶ 白線表示の内側が白いとき



▶ 白線表示の内側が黒いとき



システムが白（黄）線を認識していることを示しています。車両が車線から逸脱した場合、逸脱している側の白線表示が点滅します。

システムが白（黄）線を認識できていない、またはシステムが一時的に解除されていることを示しています。

知識

■各機能の作動条件

●車線逸脱警報機能

次の条件をすべて満たしたとき作動します。

- ・ LDA を ON にしているとき
- ・ 車速が約 50km/h 以上のとき
- ・ システムが白（黄）線を認識しているとき
- ・ 車線の幅が約 3m 以上のとき
- ・ 方向指示レバーを操作していないとき
- ・ 直線路または半径が約 150m よりゆるいカーブを走行しているとき
- ・ システムの異常が検知されていないとき（→ P. 178）

●ふらつき警報機能

次の条件をすべて満たしたとき作動します。

- ・ マルチインフォメーションディスプレイの「設定」画面で「ふらつき検知」を「有」に設定しているとき（→ P. 383）
- ・ 車速が約 50km/h 以上のとき
- ・ 車線の幅が約 3m 以上のとき
- ・ システムの異常が検知されていないとき（→ P. 178）

■機能の一時解除

作動条件（→ P. 176）が満たされなくなった場合、一時的に機能が解除されますが、ふたたび作動条件が満たされると、自動的に復帰します。

■車線逸脱警報機能について

外部の騒音やオーディオの音などにより、警報ブザーが聞きとりにくい場合があります。

■ふらつき警報機能について

ふらつき警報機能の作動中に、車両がふらついて走行しているとシステムが判断したとき、ブザーと同時にマルチインフォメーションディスプレイに休憩をうながすメッセージと図に示すシンボルが表示され注意喚起を行います。



車両の状態や路面状況によっては注意喚起が行われない場合があります。

■白（黄）線が片側しかないとき

白（黄）線が認識できていない方向への車線逸脱警報は作動しません。

■機能が正常に作動しないおそれのある状況

次のような状況では、カメラセンサーが白（黄）線を正しく検知できず、各機能が正しく作動しないおそれがあります。

- 白（黄）線に平行するような影がある、または白（黄）線が影の中にあるとき
- 料金所や検札所の手前や交差点など、白（黄）線がない場所を走行するとき
- 白（黄）線がかすれている、またはキャッツアイ（道路釘）や置き石などがあるとき
- 白（黄）線が砂ぼこりなどで見えない、または見えにくくなっているとき
- 雨天・雨上がり・水たまりなどぬれた路面を走行しているとき
- 車線が黄色のとき（白線にくらべて認識率が低下することがあります）
- 白（黄）線が縁石等の上に引かれているとき
- コンクリート路のような明るい路面を走行しているとき
- 照り返しなどにより明るくなった路面を走行しているとき
- トンネルの出入口など明るさが急変する場所を走行しているとき
- 対向車のヘッドランプ光・太陽光などがカメラに入射しているとき
- 分岐・合流路などを走行しているとき
- 坂道を走行しているとき
- 左右に傾いた道路やうねった道路を走行しているとき
- 舗装されていない道路や荒れた道路を走行しているとき
- 急カーブを走行しているとき
- 車線の幅が極端に狭いとき、または広いとき
- 重い荷物の積載やタイヤ空気圧の不足などで、車両が著しく傾いているとき
- 先行車との車間距離が極端に短くなったとき
- 走行中の路面状況（悪路・道路の継ぎ目など）により、車両が上下に大きく揺れているとき
- 夜間にヘッドランプのレンズが汚れて照射が弱いときや、光軸がずれているとき
- 車線変更をした直後、または交差点を通過した直後

■警告メッセージ

次のメッセージがマルチインフォメーションディスプレイに表示され、LDA 表示灯が黄色で点灯した場合は、対処方法に従って適切に対処してください。

警告メッセージ	警告内容・対処方法
LDA 故障 販売店で 点検してください	システムが正常に作動しなくなっているおそれがある → トヨタ販売店で点検を受けてください。
前方カメラ 一時使用不可 ガラスの汚れや曇りを 取ってください	カメラセンサーの前のフロントウインドウガラスの汚れ・雨滴・結露・氷雪などが付着している → いったん LDA を OFF にして、汚れ・雨滴・結露・氷雪などを取り除いてから、再度 LDA を ON にしてください。
前方カメラ 一時使用不可 しばらくお待ちください	カメラセンサーの作動条件(温度など)が満たされていない → カメラセンサーの作動条件(温度など)が満たされると、LDA は使用可能になります。いったん LDA を OFF にして、しばらく待ってから、再度 LDA を ON にしてください。
LDA 現在利用できません	カメラセンサー以外のセンサーの異常によりシステムが一時停止している → いったん LDA を OFF にして、警告メッセージの内容に対処したあと、しばらくしてから再度、LDA を ON にしてください。

その他の警告メッセージが表示されたときは、表示された画面の指示に従ってください。

■ カスタマイズ機能

次の設定を変更できます。

機能	設定内容
車線逸脱警報機能	警報感度
ふらつき警報機能	機能の ON/OFF
	警報感度

設定変更のしかたは、P. 383 を参照してください。

運転を補助する装置

走行の安全性や運転性能を確保するため、走行状況に応じて次の装置が自動で作動します。ただし、これらの装置は補助的なものなので、過信せずに運転には十分に注意してください。

◆ ABS（アンチロックブレーキシステム）

急ブレーキ時やすべりやすい路面でのブレーキ時にタイヤのロックを防ぎ、スリップを抑制します。

◆ ブレーキアシスト

急ブレーキ時などに、より大きなブレーキ力を発生させます。

◆ VSC（ビークルスタビリティコントロール）

急なハンドル操作や、すべりやすい路面で旋回するときに横すべりを抑え、車両の姿勢維持に寄与します。

◆ TRC（トラクションコントロール）

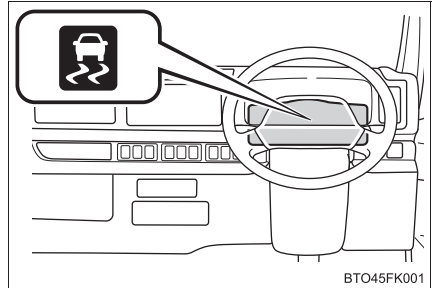
すべりやすい路面での発進時や加速時にタイヤの空転を抑え、駆動力確保に貢献します。

◆ ヒルスタートアシストコントロール

上り坂で発進するときに、車が後退するのを緩和します。


TRC・VSC が作動しているとき


TRC・VSC が作動しているときは、スリップ表示灯が点滅します。




TRC を停止するには

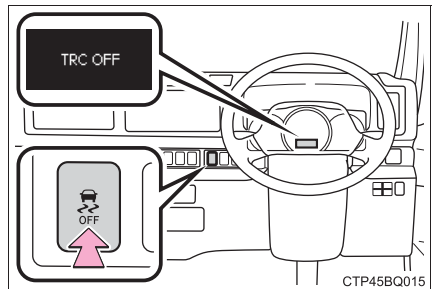
ぬかるみや砂地、雪道などから脱出するときに、TRC が作動していると、アクセルペダルを踏み込んでもエンジンの出力が上がらず、脱出が困難な場合があります。

このようなときに  を押すことにより、脱出しやすくなる場合があります。

TRC を停止するには  を押す


マルチインフォメーションディスプレイに「TRC OFF」と表示されます。

もう一度  を押すと、システム作動可能状態にもどります。



 知識


■ TRC と VSC を停止するには

TRC と VSC を停止するには、停車時に  を押し 3 秒以上保持する

VSC OFF 表示灯が点灯し、マルチインフォメーションディスプレイに「TRC OFF」と表示されます。*

もう一度  を押すと、システム作動可能状態にもどります。

* PCS (プリクラッシュセーフティ) 装着車は、プリクラッシュブレーキアシスト・プリクラッシュブレーキも停止します。PCS 警告灯が点灯し、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。(→ P. 170)

■  を押さなくてもマルチインフォメーションディスプレイに「TRC OFF」が表示されたとき

TRC が一時的に作動できない状態になっています。表示が継続する場合はトヨタ販売店にご相談ください。

■ ヒルスタートアシストコントロールの作動条件

次のときシステムが作動します。

- オートマチック車: シフトレバーの位置が P または N 以外 (前進または後退での上り坂発進時)
- マニュアル車: 前進での上り坂発進時にシフトレバーの位置が R 以外のとき、または後退での上り坂発進時にシフトレバーの位置が R のとき
- 車両停止状態
- アクセルペダルを踏んでいない
- パーキングブレーキがかかっていない

■ ヒルスタートアシストコントロールの自動解除

次のいずれかのときシステムが解除されます。

- オートマチック車: シフトレバーを P または N のシフト位置にした
- マニュアル車: 前進での上り坂発進時にシフトレバーの位置を R にしたとき、または後退での上り坂発進時にシフトレバーの位置を R 以外にしたとき
- アクセルペダルを踏んだ
- パーキングブレーキをかけた
- ブレーキペダルから足を離して最大 2 秒経過した

■ ABS・ブレーキアシスト・TRC・VSC・ヒルスタートアシストコントロールの作動音と振動

- エンジン始動時や発進直後、ブレーキペダルをくり返し踏んだときなどに、エンジンルームから作動音が聞こえることがあります。異常ではありません。
- 上記のシステムが作動すると、次のような現象が発生することがありますが、異常ではありません。
 - ・ 車体やハンドルに振動を感じる
 - ・ 車両停止後もモーター音が聞こえる
 - ・ ABS の作動時に、ブレーキペダルが小刻みに動く
 - ・ ABS の作動終了後、ブレーキペダルが少し奥に入る

■ TRC や VSC の自動復帰について

TRC や VSC を作動停止にしたあと、次のときはシステム作動可能状態にもどります。

- エンジンスイッチを “ LOCK ” にしたとき
- (TRC のみを作動停止にしている場合) 車速が高くなったとき

ただし、TRC と VSC の作動を停止している場合は、車速による自動復帰はありません。

 **警告****■ ABS の効果を発揮できないとき**

- タイヤのグリップ性能の限界をこえたとき(雪で覆われた路面を過剰に摩耗したタイヤで走行するときなど)
- 雨でぬれた路面やすべりやすい路面での高速走行時に、ハイドロプレーニング現象が発生したとき

■ ABS が作動することで、制動距離が通常よりも長くなる可能性があるとき

ABS は制動距離を短くする装置ではありません。特に次の状況では、常に速度を控えめにして前車と安全な車間距離をとってください。

- 泥・砂利の道路や積雪路を走行しているとき
- タイヤチェーンを装着しているとき
- 道路のつなぎ目など、段差をこえたとき
- 凹凸のある路面や石だたみなどの悪路を走行しているとき

■ TRC や VSC の効果を発揮できないとき

すべりやすい路面では、TRC や VSC が作動していても、車両の方向安定性や駆動力が得られないことがあります。車両の方向安定性や駆動力を失うような状況では、特に慎重に運転してください。

■ ヒルスタートアシストコントロールの効果を発揮できないとき

- ヒルスタートアシストコントロールを過信しないでください。急勾配の坂や凍った路面では、ヒルスタートアシストコントロールが効かないことがあります。
- ヒルスタートアシストコントロールはパーキングブレーキのように車を長時間駐車するための機能ではありませんので、同機能を坂道での駐停車のために使用しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

■ スリップ表示灯が点滅しているときは

TRC・VSC が作動中であることを知らせています。常に安全運転を心がけてください。無謀な運転は思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。表示灯が点滅したら特に慎重に運転してください。

■ TRC や VSC を OFF にするときは

TRC や VSC は駆動力や車両の方向安定性を確保しようとするシステムです。そのため、必要なとき以外は TRC・VSC を作動停止状態にしないでください。TRC や VSC を作動停止状態にしたときは、路面状況に応じた速度で、特に慎重な運転を心がけてください。

 **警告****■ タイヤまたはホイールを交換するときは**

6 輪とも指定されたサイズで、同じメーカー・ブランド・トレッドパターン（溝模様）のタイヤを使用し、推奨された空気圧にしてください。（→ P. 380）異なったタイヤを装着すると、ABS・TRC・VSC など、運転を補助するシステムが正常に作動しません。

タイヤ、またはホイールを交換するときは、トヨタ販売店に相談してください。

■ タイヤとサスペンションの取り扱い

問題があるタイヤを使用したり、サスペンションを改造したりすると、運転を補助するシステムに悪影響をおよぼし、システムの故障につながるおそれがあります。

寒冷時の運転

寒冷時に備えて、準備や点検など正しく処置していただいた上で適切に運転してください。

冬の前の準備

- 次のものはそれぞれ外気温に適したものをお使いください。
 - ・ エンジンオイル
 - ・ 冷却水
 - ・ ウォッシャー液
 - ・ 燃料
- バッテリーの点検を受けてください。
- 冬用タイヤ（6 輪）やタイヤチェーン（後部タイヤ用）を使用してください。

タイヤは 6 輪とも同一サイズで同一銘柄のものを、タイヤチェーンはタイヤサイズに合ったものを使用してください。
（タイヤについて：→ P. 294）

運転する前に

状況に応じて次のことを行ってください。

- ドアやワイパーが凍結したときは無理に開けたり動かしたりせず、ぬるま湯をかけるなどして氷を解かし、すぐに水分を十分にふき取ってください。
- 外装ランプ・車両の屋根・タイヤの周辺やブレーキ装置に雪や氷が付いているときは、取り除いてください。
- 乗車する前に靴底に付いた雪をよく落としてください。

運転するとき

ゆっくりスタートし、車間距離を十分にとって控えめな速度で走行してください。

駐車するとき

- パーキングブレーキをかけると、ブレーキ装置が凍結して解除できなくなるおそれがあります。パーキングブレーキはかけずに、シフトレバーをオートマチック車は P、マニュアル車は下り坂では R、上り坂では 1 速に入れて駐車し、必ず輪止めをしてください。(→ P. 350) 輪止めをししないと、車が動き思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- オートマチック車：パーキングブレーキをかけずに駐車するときは、シフトレバーを P に入れた状態でシフトレバーが動かないこと※を確認してください。
※ ブレーキペダルを踏まないで P からシフトするときにロックがかかります。シフトできる場合は、シフトロックシステムなどの故障が考えられます。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

知識

■ タイヤチェーンについて

取り付け・取りはずし・取り扱い方法については次の指示に従ってください。

- 安全に作業できる場所で行う
- 後 4 輪に取り付ける
- タイヤチェーンに付属の取り扱い説明書に従う
- 取り付け後 0.5 ~ 1.0km 走行したら締め直しを行う

■ 寒冷地用ワイパーブレードについて

- 降雪期に使用する寒冷地用ワイパーブレードは、雪が付着するのを防ぐために金属部分をゴムで覆ってあります。トヨタ販売店で各車指定のブレードをお求めください。
- 高速走行時は、通常のワイパーブレードよりガラスがふき取りにくくなる場合があります。その場合には速度を落としてください。

■燃料について

軽油は外気温が低温になると凍結し、燃料配管のつまりなどの故障の原因となります。寒冷地へ行くときは、現地に着くまでに燃料残量を半分以下にしておき、現地に着いたら寒冷地用燃料を補給してください。

使用燃料	使用限界温度の目安 [※]
JIS 2 号軽油	- 5℃
JIS 3 号軽油	- 12℃
JIS 特 3 号軽油	- 19℃

※ 環境や使用状況により異なります。

警告

■冬用タイヤ装着時の警告

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、車両のコントロールが不能となり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 指定サイズのタイヤを使用する
- 空気圧を推奨値に調整する
- 装着する冬用タイヤの最高許容速度や制限速度をこえる速度で走行しない
- 冬用タイヤを装着する際は、必ず 6 輪とも装着する

■タイヤチェーン装着時の警告

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、安全に車を運転することができずに、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 装着したチェーンに定められた制限速度、もしくは 30km/h のどちらか低い方をこえる速度で走行しない
- 路面の凹凸や穴を避ける
- 急加速・急ハンドル・急ブレーキやシフト操作による急激なエンジブレーキの使用は避ける
- カーブの入り口手前で十分減速して車のコントロールを失うのを防ぐ

 **注意****■ タイヤチェーンの使用について**

トヨタ純正タイヤチェーンのご使用をおすすめします。
トヨタ純正品以外のタイヤチェーンの中には、使用すると車体にあたり、走行のさまたげとなるおそれがあるものもあります。
詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

■ フロントウインドウガラスに付いた氷を除去するときは

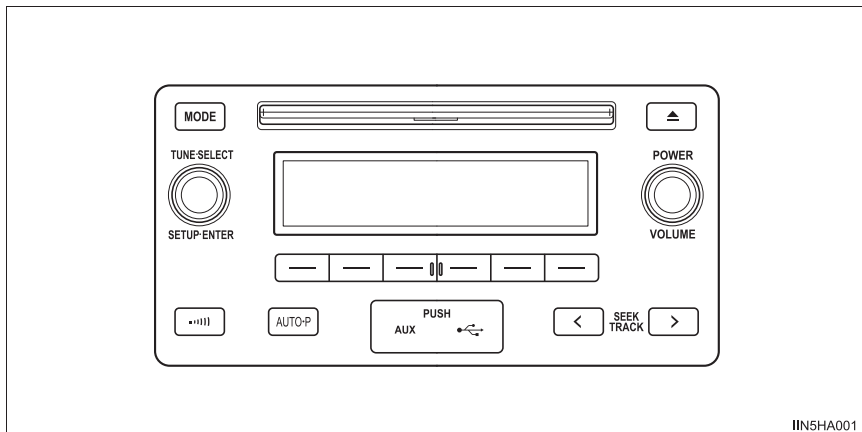
たたいて割らないでください。
ウインドウガラスの内側（車内側）が割れるおそれがあります。

オーディオ

5

- 5-1. オーディオの基本操作
 - オーディオの種類..... 192
 - AUX 端子 /
USB 端子について..... 194
- 5-2. オーディオの使い方
 - 快適に聞くために..... 196
- 5-3. ラジオの使い方
 - ラジオの使い方..... 197
 - アンテナ 199
- 5-4. CD、MP3 /
WMA の聞き方
 - CD プレーヤーの使い方..... 200
- 5-5. 外部入力接続機器の
使い方
 - iPod の聞き方 208
 - USB メモリーの聞き方 214
 - AUX 端子（外部入力接続）
の使い方..... 220
- 5-6. マイク / マイクアンプの
使い方
 - マイク / マイクアンプの
使い方..... 221
- 5-7. 後席ディスプレイの
使い方
 - 後席ディスプレイの
使い方..... 222

オーディオの種類★



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 知識

■ 携帯電話の使用

オーディオを聞いているときに、車内または車の近くで携帯電話を使用した場合、オーディオのスピーカーから雑音が聞こえることがあります。

 注意

■ バッテリーあがりを防ぐために

エンジン停止中にオーディオを長時間使用しないでください。

■ オーディオの取り扱いについて

オーディオに飲み物などをこぼさないように注意してください。

AUX 端子 / USB 端子について★

ポータブルオーディオプレーヤーなどの機器を接続して、車両のスピーカーで聞くことができます。

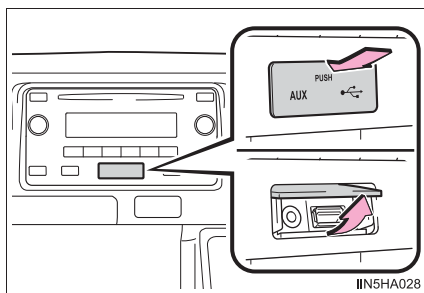
“MODE” ボタンを押して “iPod” / “USB” / “AUX” を選択してください。

ポータブルオーディオプレーヤーなどとの接続

■ iPod

フタを開けて iPod を接続する

iPod の電源が入らない場合は、電源を入れます。



■ USB メモリー

フタを開けて USB メモリーを接続する

接続した機器の電源が入らない場合は、電源を入れます。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ ポータブルオーディオプレーヤー

フタを開けてポータブルオーディオプレーヤーを接続する

接続したポータブルオーディオプレーヤーの電源が入らない場合は、電源を入れます。

警告

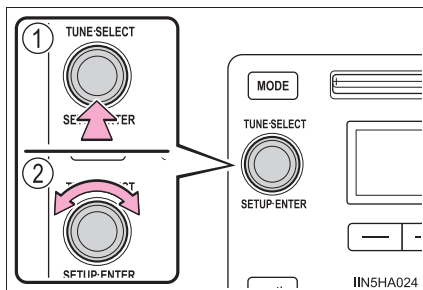
■ 走行中の警告

運転中に接続した機器を操作しないでください。

快適に聞くために

音質や音量バランスの設定を変更することができます。

- ① “SETUP” メニューを表示する
／モードを選択する
- ② 音質と音量バランスの設定を変更する (→ P. 196)
最適な音質と音量バランスで聞くために設定を変更することができます。



設定を変更するには


■ 調整モードの切りかえ

- ① “TUNE・SELECT” ダイアルを押す
- ② “TUNE・SELECT” ダイアルをまわして調整したいモードを選ぶ
“BASS”、“TREBLE”、“FADER”、“BALANCE” の設定を変更できます。
- ③ “TUNE・SELECT” ダイアルを押す

■ 音質・音量バランスの調整

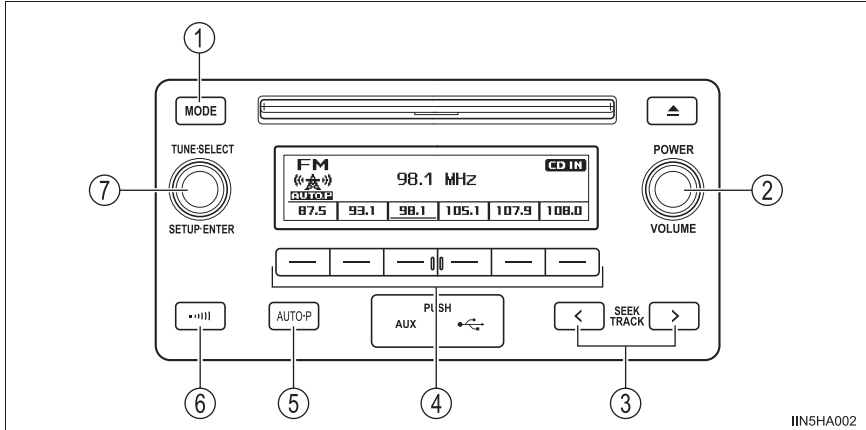
“TUNE・SELECT” ダイアルをまわして、音質・音量バランスのレベルを調整します。

調整モード	表示	レベル	左にまわす	右にまわす
前後音量 バランス	FADER	R7～F7	後側大	前側大
低音*	BASS	－5～5	弱	強
高音*	TREBLE	－5～5		
左右音量 バランス	BALANCE	L7～R7	左側大	右側大

* 音質レベルは、ラジオまたは CD プレーヤーなど、それぞれで調整できます。
前の画面に戻るには、“TUNE・SELECT” ダイアルまたは  (BACK) を押します。

ラジオの使い方


ラジオを聞くために“AM” または“FM” が表示されるまで“MODE” ボタンを押してください。



- ① AM / FM の切りかえ
- ② 電源の ON / OFF : 押す
音量調節 : まわす
- ③ 周波数の検索
- ④ 選局
- ⑤ 放送局の自動設定
- ⑥ 交通情報
- ⑦ “TUNE・SELECT” ダイヤル
周波数の調整

放送局を記憶させる

■ 手動設定

- 1 “TUNE・SELECT” ダイアルをまわす、または “SEEK / TRACK” ボタンの “>” (高い周波数)、または “<” (低い周波数) を押して、お好みの放送局を探す
- 2 記憶させたいスイッチ  を “ピッ” と音が鳴るまで押し続ける

■ 自動設定

“AUTO・P” ボタンを “ピッ” と音が鳴るまで押し続ける

受信感度のよい周波数が低い順に 6 局まで記憶されます。記憶が終了すると、“ピッピッ” と音が鳴ります。




交通情報を受信する

 を押す

もう一度押すと解除されます。

知識

■ 交通情報について

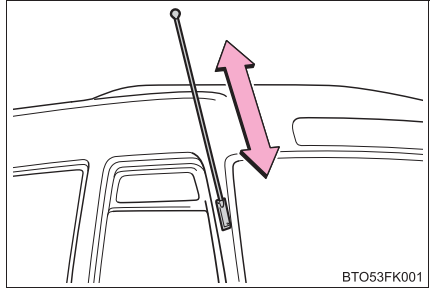
- 新車時は、1620kHz にセットしてあります。
- AM ラジオモードのとき、 を “ピッ” と音が鳴るまで押し続けると、その周波数を変更することができます。
-  を押してラジオ受信しているときは、“TUNE・SELECT” ダイアル・“SEEK / TRACK” ボタン・ ・“AUTO・P” ボタンを操作しても周波数は切りかわりません。

■ 受信感度について

- 車の向きにより、アンテナの向きもかわるため、電波の強さがかわったり、障害物や電車、信号機などの影響により良好な受信状態を保つことが難しい場合があります。
- 放送局を自動設定しているとき、自動選局や自動記憶ができないことがあります。
- ピラーアンテナについては、P. 199 を参照してください。

アンテナ

ラジオ使用時は、いっぱいまで引き出してください。



注意

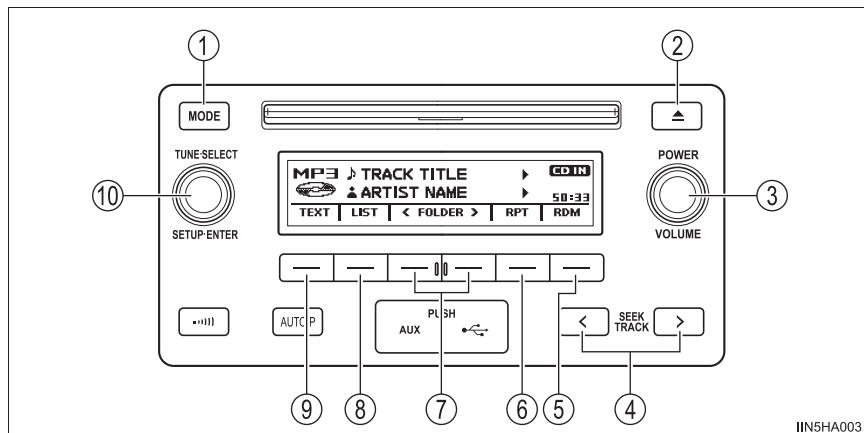
■ アンテナの損傷を防ぐために

次のようなときはアンテナを格納してください。

- 車庫の天井などにアンテナがあたるとき
- カーカバーをかけるとき
- 自動洗車機で洗車するとき

CD プレーヤーの使い方

ディスクを挿入し、ディスクを再生するために“MODE”を押してください。



IIN5HA003

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|
| ① モードの切り替え／再生 | ⑥ リPEAT再生 |
| ② CD の取り出し | ⑦ フォルダの選択 (MP3 / WMA のみ) |
| ③ 電源の ON / OFF : 押す
音量調節 : まわす | ⑧ 曲・ファイル・フォルダリストの表示 |
| ④ 選曲／ファイルの選択／早もどし／早送り | ⑨ 表示の切り替え |
| ⑤ ランダム再生／前の画面にもどる | ⑩ “TUNE・SELECT”ダイヤル
選曲／ファイルの選択 |

CD または MP3 / WMA ディスクを挿入する

CD または MP3 / WMA ディスクを 1 枚、挿入する

CD または MP3 / WMA ディスクを取り出す

 を押して CD または MP3 / WMA ディスクを取り出す

CD プレーヤーの使い方


■ 曲を選ぶ

“TUNE・SELECT” ダイアルをまわす、または“SEEK / TRACK” ボタンの“>”（次曲）か“<”（前曲）を押して、聞きたい曲の番号を表示させる

■ リストから曲を選ぶ

1  (LIST) を押して、リストを表示する

2 “TUNE・SELECT” ダイアルをまわして曲を選び、“TUNE・SELECT” ダイアルを押して曲を再生する

前の画面に戻るには  (BACK) を押します。

■ 早もどし・早送りする

早もどしするときは“SEEK / TRACK” ボタンの“<”を、早送りするときは“SEEK / TRACK” ボタンの“>”を押し続ける

■ リピート (RPT) 再生する

 (RPT) を押す


もう一度押すまで同じ曲が再生されます。

■ ランダム (RDM) 再生する

 (RDM) を押す

もう一度押すまで無作為な順序で曲が再生されます。



■ 表示を切りかえる

 (TEXT) を押すごとに、アルバムのタイトルを表示または非表示にする

表示に続きがある場合は、▶が表示されます。

続きを表示するにはボタンを押し続けます。


MP3 / WMA ディスクの聞き方**■ フォルダを選ぶ**

 (< FOLDER) (前フォルダ) または  (> FOLDER) (次フォルダ) を押して聞きたいフォルダを選ぶ

■ フォルダのリストからフォルダまたはファイルを選ぶ

①  (LIST) を押して、リストを表示する

② “TUNE・SELECT” ダイアルをまわしてフォルダまたはファイルを選び、“TUNE・SELECT” ダイアルを押してフォルダまたはファイルを決定する

前の画面に戻るには  (BACK) を押します。

■ 最初のフォルダにもどる

 (< FOLDER) を “ピッ” と音が鳴るまで押し続ける


■ ファイルを選ぶ

“TUNE・SELECT” ダイアルをまわす、または “SEEK / TRACK” ボタンの “<” (前曲) または “>” (次曲) を押して、聞きたいファイルを探す


■ 早もどし・早送りする

早もどしするときは “SEEK / TRACK” ボタンの “<” を、早送りするときは “SEEK / TRACK” ボタンの “>” を押し続ける

■ ランダム (RDM) 再生する

 (RDM) を押すごとに、次のようにモードが切りかわる
フォルダランダム → ディスクランダム → 解除


**■ リPEAT (RPT) 再生する**


 (RPT) を押すごとに、次のようにモードが切りかわる
ファイルリピート → フォルダリピート※ → 解除



※ ランダム (RDM) 再生時以外

■ 表示を切りかえる

 (TEXT) を押すごとに、アルバムのタイトルを表示または非表示にする

表示に続きがある場合は、 が表示されます。
続きを表示するにはボタンを押し続けます。

知識

■ 表示について

記録されている内容によっては、正しく表示されなかったり、表示自体されないことがあります。

■ エラー表示

エラーメッセージが表示されたときは、次の表を参照して処置をしてください。
処置をしても直らないときは、トヨタ販売店にご相談ください。

表示	エラーの内容	処置
“CD CHECK”	・ ディスクが汚れている ・ 裏表逆になっている	・ ディスクの汚れをとる ・ ディスクを正しい向きで入れる
“ERROR”	プレーヤー内部に異常がある	ディスクを取り出す
“WAIT”	プレーヤーの温度異常を検出すると、自動的にプレーヤーの機能が停止します。	しばらくしてから “MODE” ボタンを押してください。 再生されないときは、トヨタ販売店にご相談ください。
“NO SUPPORT”	ディスク内に MP3 / WMA ファイルが収録されていない	ディスクを取り出す

■ 再生可能な CD

次のマークの付いたディスクが再生できます。
記録状態やディスクの特性・傷・汚れ・劣化により再生できないことがあります。



コピープロテクト機能付 CD などは使用できません。

■ CD プレーヤー保護機能

プレーヤー内部を保護するため、使用中に異常が生じたときは自動的に再生を停止します。

■ CDをプレーヤー内部に挿入したまま、またはプレーヤーから飛び出した状態のまままで長時間放置すると

CD が傷付き使用できなくなるおそれがあります。

■ レンズクリーナー

レンズクリーナーを使用しないでください。使用すると、プレーヤーが故障するおそれがあります。

■ MP3 / WMA ファイルについて

MP3 (MPEG Audio LAYER3) は、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

MP3 を使用すれば、もとのファイルを約 1/10 のサイズに圧縮することができます。

WMA (Windows Media Audio) は、Microsoft Corporation の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも小さいサイズに圧縮することができます。

使用できる MP3 / WMA ファイルの規格やそれを記憶したメディア、フォーマットには制限があります。

● 再生可能な MP3 ファイルの規格について

- ・ 対応規格

MP3 (MPEG1 LAYER3、MPEG2 LSF LAYER3)

- ・ 対応サンプリング周波数

MPEG1 LAYER3 : 32、44.1、48 (kHz)

MPEG2 LSF LAYER3 : 16、22.05、24 (kHz)

- ・ 対応ビットレート

MPEG1 LAYER3 : 32 - 320 (kbps)

MPEG2 LSF LAYER3 : 8 - 160 (kbps)

※ VBR に対応しています。

- ・ 対応チャンネルモード : ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル

●再生可能な WMA ファイルの規格について

- ・ 対応規格
WMA Ver.7、8、9
- ・ 対応サンプリング周波数
32、44.1、48 (kHz)
- ・ 対応ビットレート
Ver.7、8 : CBR48 - 192 (kbps)
Ver.9 : CBR48 - 320 (kbps)
※ 2ch 再生のみ対応しています。

●使用できるメディアについて

MP3 / WMA ファイルの再生に使用できるメディアは CD-R および CD-RW です。

CD-R、CD-RW の状態によっては再生できないことがあります。また、ディスクに傷や指紋を付けた場合、再生できないことや、音飛びすることがあります。

●使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるメディアのフォーマットは次のとおりです。

- ・ ディスクフォーマット: CD-ROM Mode1 および Mode2、CD-ROM XA、Mode2 Form1 および Form2
- ・ ファイルフォーマット: ISO9660 レベル 1、レベル 2 (Romeo, Joliet)
上記フォーマット以外で書き込まれた MP3 / WMA ファイルは正常に再生できなかつたり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されないことがあります。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

- ・ 最大ディレクトリ階層: 8 階層
- ・ 最大フォルダ名 / ファイル名文字数: 半角 32 文字 (全角文字で記録された情報をこのオーディオで表示することはできません)
- ・ 最大フォルダ数: 192 (ルート含む)
- ・ ディスク内最大ファイル数: 255

●ファイル名について

MP3 / WMA と認識し再生するファイルは、MP3 / WMA の拡張子 “.mp3” または “.wma” が付いたものだけです。

- マルチセッションについて
マルチセッションに対応しており、MP3 / WMA ファイルを追加したディスクの再生が可能です。ただし、ファーストセッションのみ再生します。
- ID3 タグ / WMA タグについて
MP3 ファイルには、ID3 タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを記録することができます。
ID3 Ver.1.0、1.1、ID3 Ver.2.2、2.3 のタグに対応しています。(文字数は ID3 Ver.1.0、1.1 に準拠します)
WMA ファイルには、WMA タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3 タグと同様に曲のタイトル、アーティスト名を記録することができます。
- MP3 / WMA の再生について
MP3 / WMA ファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初の MP3 / WMA ファイルを再生します。
ディスク内のチェックを早く終わらせるために、MP3 / WMA ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
音楽データと MP3、または WMA 形式のデータが混在しているディスクは、音楽データのみ再生できます。
- 拡張子について
MP3 / WMA 以外のファイルに “.mp3” または “.wma” の拡張子が付いていると、MP3 / WMA ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損することがあります。
- 再生について
 - ・ 安定した音質で再生するために、MP3 の場合、128kbps の固定ビットレート、44.1 kHz のサンプリング周波数を推奨します。
 - ・ CD-R、CD-RW はディスクの特性により再生できないことがあります。
 - ・ MP3 / WMA は市場にフリーウェアなど多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質が劣化したり再生開始時にノイズが発生したりするおそれがあります。また、再生できないことがあります。
 - ・ ディスクに MP3 / WMA 以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できないことがあります。
 - ・ Microsoft、Windows、Windows Media は米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標および商標です。

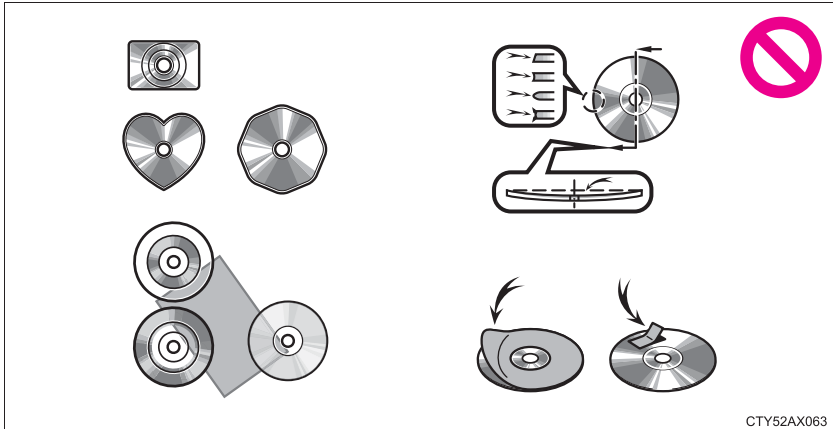
⚠ 注意

■ 使用できない CD・アダプター

次のような CD を使用しないでください。

また、8cmCD アダプター・DualDisc・プリンタブルディスク（ラベル面印刷に対応したディスク）も使用しないでください。

使用すると、プレーヤーが故障したり、CD の出し入れができなくなるおそれがあります。



- 直径 12cm の円形以外の CD
- 低品質または変形している CD
- 記録部分が透明または半透明の CD
- セロハンテープ・シール・CD-R 用ラベルなどを貼った CD や、はがしたあとのある CD

■ CD プレーヤーの取り扱いについて

次のことをお守りいただかないと、CD が聞けなくなったり、CD プレーヤーが正常に動かなくなるおそれがあります。

- CD 挿入口に CD 以外のものを入れない
- CD プレーヤーにオイルを塗ったりしない
- CD は直射日光を避けて保管する
- CD プレーヤーを分解しない

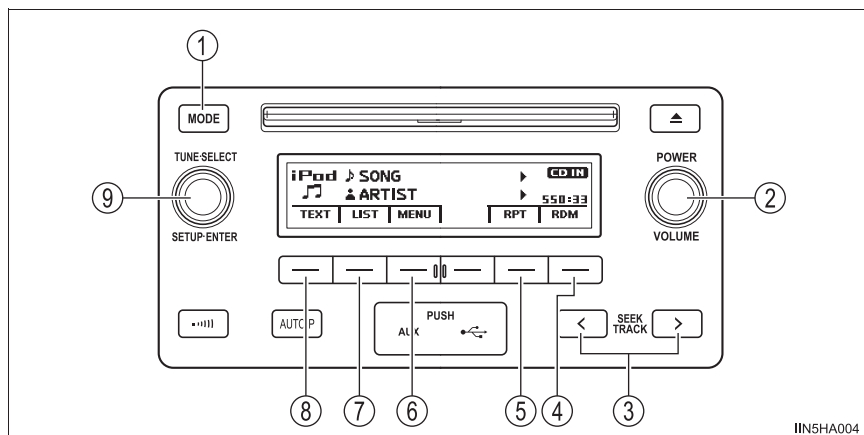
iPod の聞き方

USB 端子に接続した iPod の音楽ファイルを再生することができます。“MODE” ボタンを“iPod”が表示されるまで押してください。

iPod を接続する


→ P. 194

基本操作



- | | |
|-------------------------------|---------------------------------------|
| ① モードを切りかえる／再生 | ⑥ 選曲リストを表示する／再生 |
| ② 電源の ON / OFF：押す
音量調節：まわす | ⑦ 再生中のリストを表示する |
| ③ 選曲／早もどし／早送り | ⑧ 表示を切りかえる |
| ④ ランダム再生／前の画面にもどる | ⑨ “TUNE・SELECT” ダイアル
選曲リストを選択する／選曲 |
| ⑤ リピート再生 | |



選曲リストを選ぶ

- 1  (MENU) を押し、選曲リストを表示する
- 2 “TUNE・SELECT” ダイアルを右にまわして、選曲リストを変更する
選曲リストは次のように変更されます。
“Playlists” → “Artists” → “Albums” → “Songs” →
“Podcasts” → “Genres” → “Composers” → “Audiobooks”
- 3 “TUNE・SELECT” ダイアルを押し、聞きたい曲を選ぶ

■ 選曲リストの構造

選曲リスト	第1選択	第2選択	第3選択	第4選択
“Playlists”	プレイリスト を選ぶ	曲を選ぶ	—	—
“Artists”	アーティスト を選ぶ	アルバムを 選ぶ	曲を選ぶ	—
“Albums”	アルバムを 選ぶ	曲を選ぶ	—	—
“Songs”	曲を選ぶ	—	—	—
“Podcasts”	Podcasts を 選ぶ	エピソードを 選ぶ	—	—
“Genres”	ジャンルを 選ぶ	アーティスト を選ぶ	アルバムを 選ぶ	曲を選ぶ
“Composers”	作曲家を選ぶ	アルバムを 選ぶ	曲を選ぶ	—
“Audiobooks”	オーディオ ブックを選ぶ	チャプターを 選ぶ	—	—



■ リストを選ぶ

- 1 “TUNE・SELECT” ダイアルをまわして、選曲リストの第1選択を選ぶ
- 2 “TUNE・SELECT” ダイアルを押し、聞きたいリストを決定する
選択項目が表示されます。
- 3 聞きたい曲などを選ぶために同じ手順を繰り返す
1つ前のリストに戻るには  (BACK) を押します。
聞きたい曲などを再生するには  (PLAY) を押します。

曲を選ぶ

“TUNE・SELECT”ダイヤルをまわす、または“SEEK / TRACK”ボタンの“<”（前曲）か“>”（次曲）を押して、聞きたい曲を探す


再生中のリストから曲を選ぶ

- 1  (LIST) を押して、再生中のリストを表示する
- 2 “TUNE・SELECT”ダイヤルをまわして、曲を選ぶ
- 3 “TUNE・SELECT”ダイヤルを押して、曲を再生する
一つ前の画面に戻るには  (BACK) を押します。



早もどし・早送りする

早もどしするときは“SEEK / TRACK”ボタンの“<”を、早送りするときは“SEEK / TRACK”ボタンの“>”を押し続ける


リピート (RPT) 再生する


 (RPT) を押す
もう一度押すまで同じ曲が再生されます。

ランダム (RDM) 再生する

 (RDM) を押すごとに、次のようにモードが切りかわる
トラックランダム → アルバムランダム → 解除


表示を切りかえる

 (TEXT) を押すごとに、アルバムのタイトルを表示または非表示にする

表示に続きがある場合は、 が表示されます。
続きを表示するにはボタンを押し続けます。

 知識

■ iPod について



- 「Made for iPod」 「Made for iPhone」 とは、iPod/iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって設定された電子アクセサリであることを示します。
- アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。このアクセサリを iPod あるいは iPhone と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
- iPhone、iPod、iPod classic、iPod nano、iPod touch は、米国およびその他の国々で登録されている Apple Inc. の商標です。

■ iPod の機能について

- iPod が接続されている状態で、他モードより iPod モードに切り替えたとき、前回、最後に再生していた曲から再生されます。
- 接続している iPod によって、特定の機能が使用できない場合があります。接続を解除して、再び接続するといくつかの誤作動が解消することがあります。
- iPod を接続している間、iPod 自体で操作することができません。車載機のオーディオから操作してください。

■ iPod に問題が起きたとき

iPod を使用しているときに問題が起きた場合は、接続を解除して再び接続をしてから iPod をリセットしてください。
リセットの方法は、iPod の説明書を参照してください。

■ 表示について

→ P. 203

■エラー表示

エラーメッセージが表示されたときは、次の表を参照して処置をしてください。処置をしても直らないときは、トヨタ販売店にご相談ください。

表示	エラーの内容
"ERROR"	iPod または接続に問題がある
"NO SONGS"	iPod に音楽データがない
"NO PLAYLIST"	選曲リストに音楽データがない
"UPDATE YOUR iPod"	iPodのソフトウェアバージョンが対応していません。 iPodのソフトウェアバージョンを最新版にアップグレードしてください。

■使用できるモデル

本機は下記の iPod[®]、iPod nano[®]、iPod classic[®]、iPod touch[®]、iPhone[®]を使用することができます。

●Made for

- ・ iPod touch (第 5 世代)
- ・ iPod touch (第 4 世代)
- ・ iPod touch (第 3 世代)
- ・ iPod touch (第 2 世代)
- ・ iPod touch (第 1 世代)
- ・ iPod classic
- ・ iPod with video
- ・ iPod nano (第 7 世代)
- ・ iPod nano (第 6 世代)
- ・ iPod nano (第 5 世代)
- ・ iPod nano (第 4 世代)
- ・ iPod nano (第 3 世代)
- ・ iPod nano (第 2 世代)
- ・ iPod nano (第 1 世代)
- ・ iPhone 5
- ・ iPhone 4S
- ・ iPhone 4
- ・ iPhone 3GS
- ・ iPhone 3G
- ・ iPhone

使用できるモデルに該当していても、機種やソフトウェアバージョン、個体差などにより使用できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

- 最大リスト数：9999
- 最大曲数：65535
- リスト内最大曲数：65535

警告

■ 走行中の警告

運転中に iPod を操作しないでください。

注意

■ iPod や USB 端子の故障を防ぐために

- 炎天下など、車室内が高温になるため、iPod を車室内に放置しないでください。
- iPod が接続されているときに、iPod の上に乗ったり、物を上に置かないでください。
- USB 端子に異物などを入れないでください。

USB メモリーの聞き方

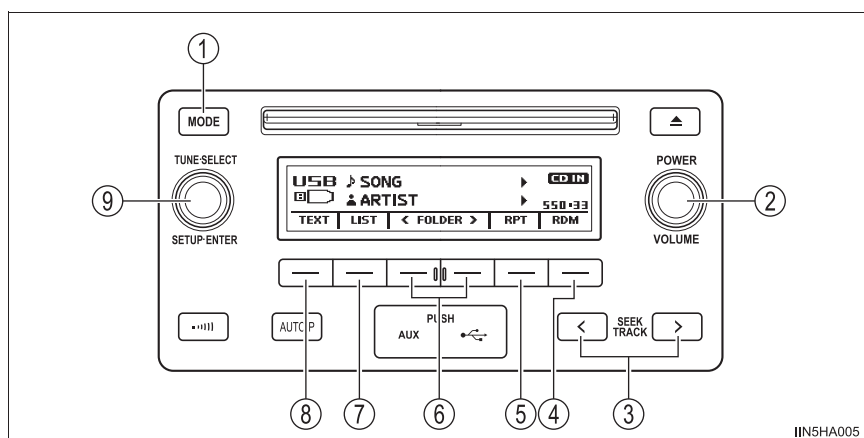
USB 端子に接続した USB メモリーを再生することができます。

“MODE” ボタンを “USB” が表示されるまで押してください。

USB メモリーを接続する

→ P. 194

基本操作





IIN5HA005


- | | |
|-------------------------------|---------------------------------|
| ① モードを切りかえる／再生 | ⑥ フォルダの選択 |
| ② 電源の ON / OFF：押す
音量調節：まわす | ⑦ フォルダリストを表示する |
| ③ ファイルの選択／早もどし／早送り | ⑧ 表示の切りかえ |
| ④ ランダム再生／前の画面にもどる | ⑨ “TUNE・SELECT” ダイアル
ファイルの選択 |
| ⑤ リピート再生 | |


フォルダを選ぶ

■ フォルダを選ぶ

 (< FOLDER) (前フォルダ) または  (> FOLDER) (次フォルダ) を押して聞きたいフォルダを選ぶ

■ フォルダリストからフォルダまたはファイルを選ぶ

①  (LIST) を押して、フォルダリストを表示する

② “TUNE・SELECT” ダイアルをまわして、または “TUNE・SELECT” ダイアルを押して聞きたいフォルダまたはファイルを選ぶ
前の画面に戻るには  (BACK) を押します。

■ 最初のフォルダにもどる

 (< FOLDER) を “ピッ” と音が鳴るまで押す


ファイルを選ぶ

“TUNE・SELECT” ダイアルをまわす、または “SEEK / TRACK” ボタンの “<” (前ファイル) か “>” (次ファイル) を押して、聞きたいファイルを選ぶ

早もどし・早送りする


早もどしするときには “SEEK / TRACK” ボタンの “<” を、早送りするときには “SEEK / TRACK” ボタンの “>” を押し続ける

ランダム (RDM) 再生する

 (RDM) を押すごとに、次のようにモードが切りかわる
フォルダランダム → ディスクランダム → 解除



リピート (RPT) 再生する

 (RDM) を押すごとに、次のようにモードが切りかわる
ファイルリピート → フォルダリピート* → 解除



* ランダム (RDM) 再生時以外

表示を切りかえる

“TEXT” ボタンを押すごとに、アルバムのタイトルを表示または非表示にする

表示に続きがある場合は、▶が表示されます。
続きを表示するにはボタンを押し続けます。

知識

■ USB メモリーの機能について

- 接続している USB メモリーによって、USB メモリー自体を使用できなかったり、特定の機能が使用できない場合があります。接続を解除して、再び接続するといくつかの誤作動が解消することがあります。
- 接続を解除して再び接続しても操作できない場合は、メモリーを初期化してください。

■ 表示について

→ P. 203

■ エラー表示

エラーメッセージが表示されたときは、次の表を参照して処置をしてください。処置をしても直らないときは、トヨタ販売店にご相談ください。

表示	エラーの内容
“ERROR”	USB メモリーまたは接続に問題がある
“NO MUSIC”	MP3 / WMA ファイルが USB メモリーに入っていない

■ USB メモリーについて

● 再生可能な機器の規格について

USB メモリーで再生できるファイルの規格は MP3 / WMA です。

● 使用できる機器のフォーマットについて

使用できる機器のフォーマットは次のとおりです。

- ・ USB コミュニケーションフォーマット：USB2.0 FS (12mbps)
- ・ ファイルフォーマット：FAT12/16/32 (Windows)
- ・ 通信クラス：Mass storage class

上記フォーマット以外で書き込まれた MP3 / WMA ファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されないことがあります。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

- ・ 最大ディレクトリ階層：8 階層
- ・ 最大フォルダ数：999（ルート含む）
- ・ 最大ファイル数：9999
- ・ フォルダ内最大ファイル数：255

● MP3 / WMA ファイルについて

MP3 (MPEG Audio LAYER3) は、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

MP3 を使用すれば、もとのファイルを約 1/10 のサイズに圧縮することができます。

WMA (Windows Media Audio) は、Microsoft Corporation の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも小さいサイズに圧縮することができます。

使用できる MP3 / WMA ファイルの規格やそれを記憶したメディア、フォーマットには制限があります。

● 再生可能な MP3 ファイルの規格について

- ・ 対応規格
MP3 (MPEG1 LAYER3、MPEG2 LSF LAYER3)
- ・ 対応サンプリング周波数
MPEG1 LAYER3：32、44.1、48 (kHz)
MPEG2 LSF LAYER3：16、22.05、24 (kHz)
- ・ 対応ビットレート
MPEG1 LAYER3：32 – 320 (kbps)
MPEG2 LSF LAYER3：8 – 160 (kbps)
※VBR に対応しています。
- ・ 対応チャンネルモード：ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル

● 再生可能な WMA ファイルの規格について

- ・ 対応規格
WMA Ver.7、8、9
- ・ 対応サンプリング周波数
32、44.1、48 (kHz)
- ・ 対応ビットレート
Ver.7、8：CBR48 – 192 (kbps)
Ver.9：CBR48 – 320 (kbps)
※2ch 再生のみ対応しています。

● ファイル名について

MP3 / WMA と認識し再生するファイルは、MP3 / WMA の拡張子 “.mp3” または “.wma” が付いたものだけです。

● ID3 タグ / WMA タグについて

MP3 ファイルには、ID3 タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを記録することができます。

ID3 Ver.1.0、1.1、ID3 Ver.2.2、2.3 のタグに対応しています。(文字数は ID3 Ver.1.0、1.1 に準拠します)

WMA ファイルには、WMA タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3 タグと同様に曲のタイトル、アーティスト名を記録することができます。

● MP3 / WMA の再生について

- ・ MP3 / WMA ファイルが収録されている機器を接続すると、最初に USB メモリー機器内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初の MP3 / WMA ファイルを再生します。
ファイルのチェックを早く終わらせるために、MP3 / WMA ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- ・ USB 機器を接続すると USB メモリーモードに切り替わり、最初のフォルダ内の最初のファイルを再生します。同じ USB 機器の接続を解除して再び接続すると (収録されている内容に変更がないとき)、USB メモリーは最後に再生したところから再生されます。

● 拡張子について

MP3 / WMA 以外のファイルに “.mp3” または “.wma” の拡張子が付いていると、再生されずにスキップします。

● 再生について

- ・ 安定した音質で再生するために、MP3 の場合、128kbps の固定ビットレート、44.1kHz のサンプリング周波数を推奨します。
- ・ MP3 / WMA は市場にフリーウェアなど多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質が劣化したり再生開始時にノイズが発生したりするおそれがあります。また、再生できないことがあります。
- ・ Microsoft、Windows、Windows Media は米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標および商標です。

 **警告****■ 走行中の警告**

運転中に USB メモリーを操作しないでください。

 **注意****■ USB メモリーや USB 端子の故障を防ぐために**

- 炎天下など、車室内が高温になるため、USB メモリーを車室内に放置しないでください。
- USB メモリーが接続されているときに、USB メモリーの上に乗ったり、物の上に置かないでください。
- USB 端子に異物などを入れないでください。

AUX 端子（外部入力接続）の使い方

ポータブルオーディオプレーヤーを車両のスピーカーから聞くことができます。

“MODE” ボタンを “AUX” が表示されるまで押してください。

ポータブルオーディオプレーヤーなどとの接続

→ P. 195

知識

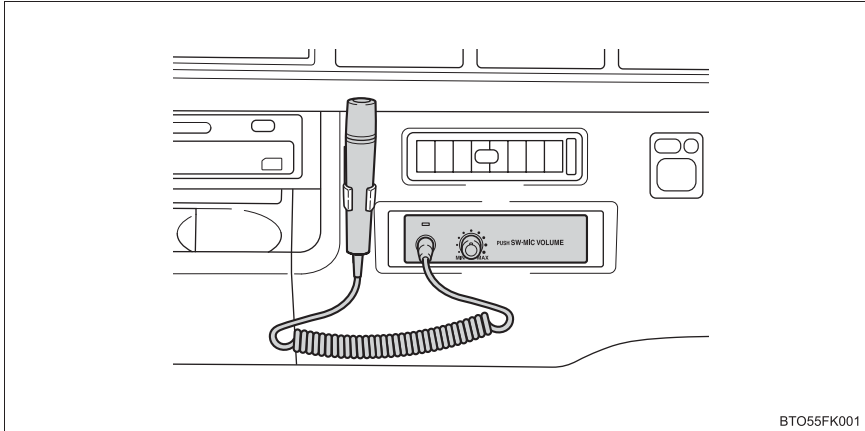
■ ポータブルオーディオの操作について

音量の調整をするときは、車両のオーディオで調整してください。

その他の操作は、ポータブルオーディオで行ってください。

マイク／マイクアンプの使い方★

マイクをマイクアンプの挿し込み口に挿し込んで使用してください。



マイクアンプの使い方

■ 電源の ON / OFF

スイッチを押して、電源の ON と OFF を切りかえる

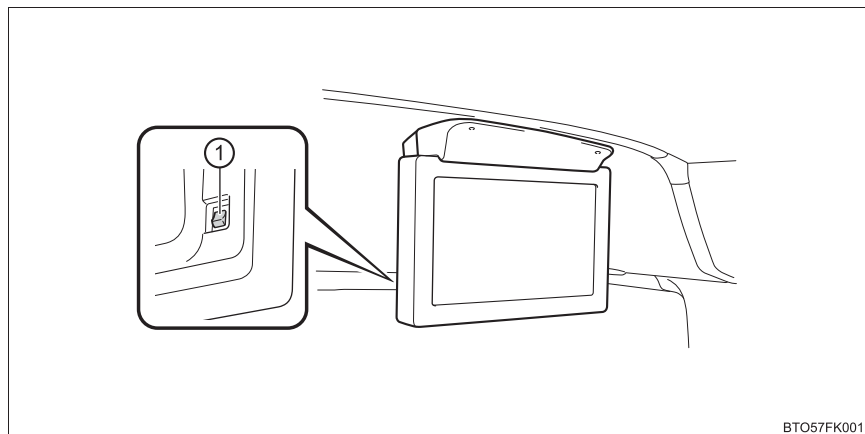
■ 音量の調整

音量を大きくするときはずまみを右に、小さくするときには左にまわす

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

後席ディスプレイの使い方★

販売店オプションのナビゲーションシステムに表示されているオーディオの映像を、後席ディスプレイに表示させることができます。



BT057FK001

- ① 電源の ON / OFF

後席ディスプレイの手入れ

後席ディスプレイはやわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布に付けてふき取り、乾いた布で仕上げてください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

こんなときは

次のようなときは、映像が映りにくくなることがありますが、異常ではありません。

症状	車両の状態
<ul style="list-style-type: none"> ・ 揺れる ・ 雑音が入る ・ 2重3重になる (ゴースト) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビルとビルの間を走行または停車しているとき ・ 飛行機が飛んでいるとき、電車の近くを走行しているとき ・ 送電線の付近を走行しているとき ・ 山や木立の影に入ったとき
<ul style="list-style-type: none"> ・ 雑音が入る ・ モニターの映りがだんだん悪くなり、雑音が入る ・ 色が出たり、消えたりする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山影または、放送局から遠いところにいるとき ・ トンネル付近を走行しているとき
<ul style="list-style-type: none"> ・ 画面に斑点が出る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車・バイク・高圧線・ネオンサインなどの近くを走行しているとき
<ul style="list-style-type: none"> ・ 色縦模様が出たり色が消える 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ラジオ放送・アマチュア無線局の送信アンテナの近くを走行しているとき ・ カー無線を取り付けると、画面に色縦模様が出たり、雑音が出ることがあります。

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作違いで故障と間違えることがありますので、次の表にもとづき、まず確認してください。

処置をしても直らない場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

症状	考えられること	処置
画面に小さい斑点や輝点がある	液晶モニター特有の現象です。液晶パネルは非常に高密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。

 知識

■ 作動条件

エンジンスイッチが“ON” のとき

■ 後席ディスプレイについて

- 使用しないときは、電源スイッチを OFF にしてください
- 液晶モニターは、斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりします。
- モニターを見ているときに、車内または車の近くでデジタル式携帯電話を使用した場合、モニターのスピーカーからノイズ（雑音）が聞こえることがありますが、異常ではありません。
- 太陽の光などの外光が画面にあたると、画面が見にくくなります
- 偏光レンズを使用したサングラスなどを装着すると、画面が暗く見えたり、見にくくなったりします。
- モニターに磁石類を近付けると、画面の色が乱れる原因となります。

■ きれいな映像・音声を楽しむためには

- 後席ディスプレイの電源が入っていると、ラジオに雑音が入ることがあります。ラジオを聞くときはモニターの電源を OFF にしてください
- AV システムの近くで無線機・電話などを使用すると、雑音や誤作動の原因となることがあります。詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

 警告

■ 後席ディスプレイの手入れについて

樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。部品変形により故障し、火災などの原因となるおそれがあります。

 **注意****■ バッテリーあがりを防ぐために**

エンジン停止中に長時間使用しないでください。

■ 後席ディスプレイについて

● 走行中に操作するときは、安全に十分な配慮をして操作してください。

● 安全運転をさまたげないように適度な音量でお聞きください。

■ 後席ディスプレイの手入れについて

水をかけないでください。故障の原因となります。

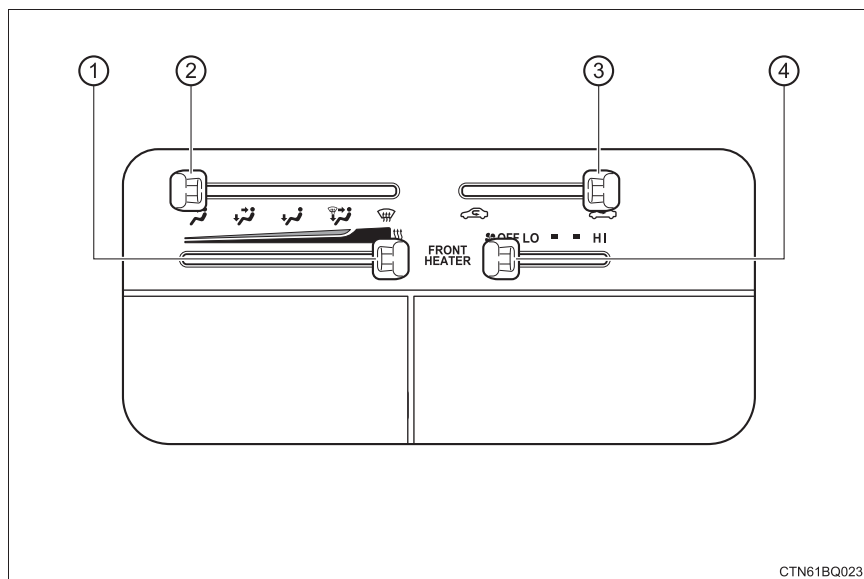
室内装備・機能

6

- 6-1. エアコン・
デフォグガーの使い方
- フロントヒーター
(マニュアルエアコン) 228
 - クーラー
(マニュアルエアコン) 234
 - リヤヒーター
(マニュアルエアコン) 237
 - オートエアコン 239
 - パワーヒーター 247
 - アイドルアップ 248
- 6-2. 室内灯のつけ方
- 室内灯一覧 249
 - ・フロントパーソナル
ランプ 250
 - ・ルームランプ 250
- 6-3. 収納装備の使い方
- 収納装備一覧 251
 - ・カップホルダー 252
 - ・ボトルホルダー 253
 - ・小物入れ 254
 - ・カードホルダー 255
 - ラゲージルーム内の装備 256
- 6-4. その他の室内装備の
使い方
- その他の室内装備 258
 - ・サンバイザー/
お客様表示板 258
 - ・アクセサリーソケット 258
 - ・充電用 USB 端子 259
 - ・時計 261
 - ・床洗い用水抜き穴 262
 - ・アームレスト 262
 - ・冷蔵庫 263
 - ・カーテン 265
 - ・運転席ガード
(幼児車) 266
 - ・セパレーターパイプ
(パン) 266
 - ・セパレーターカーテン 267
 - ・アシストグリップ 269
 - タコグラフ 270

フロントヒーター（マニュアルエアコン）★

操作パネルについて



CTN61BQ023

- ① 温度調整レバー
- ② 吹き出し口切りかえレバー
- ③ 内外気切りかえレバー
- ④ ファン調整レバー

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ 温度を調整する

設定温度を上げるときは温度調整レバーを右に、下げるときは左に動かす

■ 風量を切りかえる

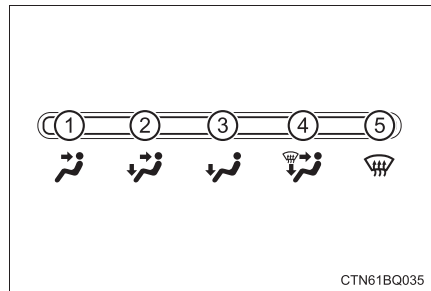
風量を増やすときはファン調整レバーを右に、減らすときは左に動かす

送風を止めるときは、OFF の位置にします。

■ 吹き出し口を切りかえる

吹き出し口切りかえレバーを動かす


- ① 上半身に送風
- ② 上半身と足元に送風
- ③ 足元に送風
- ④ 足元に送風・フロントウインドウガラスの曇りを取る
- ⑤ フロントウインドウガラスの曇りを取る




その他の機能


■ 内気循環／外気導入を切りかえるには

内外気切りかえレバーを動かす

内気循環にするには、レバーの位置を  にします。

外気導入にするには、レバーの位置を  にします。

■ フロントガラスの曇りを取るには

吹き出し口切りかえレバーを  の位置に合わせる

内気循環にしている場合は、外気導入にしてください。

風量を強くし、設定温度を上げると、より早く曇りを取ることができます。

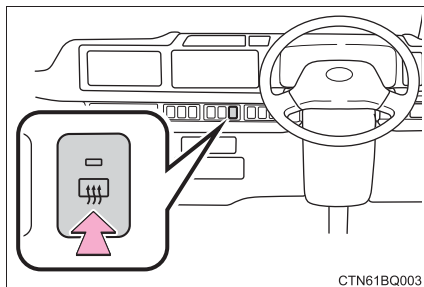
■ リヤウインドウデフォグラー★ & ミラーヒーター★

リヤウインドウの曇りを取るときや、アウターミラーから雨滴や霜を取るときに使用ください。

ON/OFF

ON にするとスイッチの表示灯が点灯します。

リヤウインドウデフォグラーとミラーヒーターは、しばらくすると自動的に OFF になります。



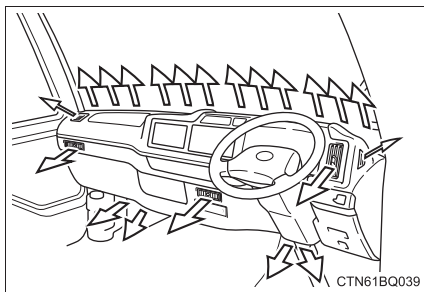
CTN61BQ003

吹き出し口について

■ 吹き出し口の位置

吹き出し口の切りかえ設定により、風が出る位置 ※ や風量が変わります。

※ 吹き出し口の数・位置などは車両により異なります。



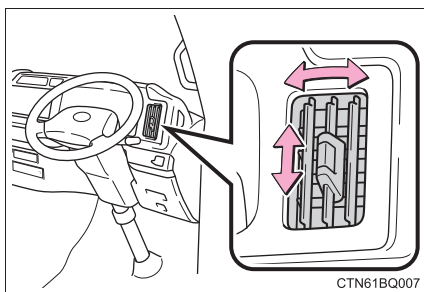
CTN61BQ039

■ 風向き調整と吹き出し口の開閉

▶ 運転席側吹き出し口

風向きを調整するには、ノブを上または左右に動かす

閉めるときは、ノブをいっぱいまで下に動かします。



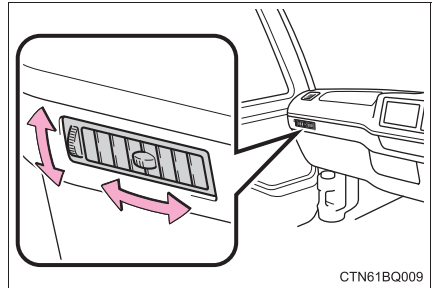
CTN61BQ007

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

▶ 助手席側吹き出し口

風向きを調整するには、ノブを上下または左右に動かす

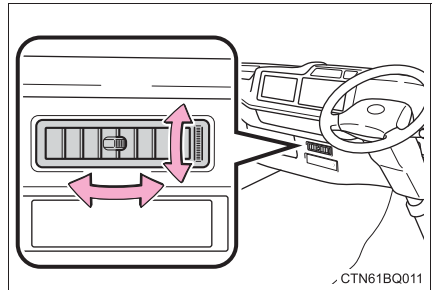
閉めるときは、ノブをいっぱいまで左に動かします。



▶ 中央側吹き出し口

風向きを調整するには、ノブを上下または左右に動かす

閉めるときは、ノブをいっぱいまで右に動かします。



 知識**■ ガラスの曇りについて**

- 車室内の湿度が高いときはガラスが曇りやすくなります。その場合は、クーラー（→ P. 234）を作動させると、吹き出し口から除湿された風が出るため、効果的に曇りを取ることができます。
- クーラーを ON から OFF にすると、ガラスが曇りやすくなります。
- 内気循環を使うとガラスが曇る場合があります。

■ 内気循環／外気導入について

トンネルや渋滞などで、汚れた外気を車内に入れたくないときや、外気温度が高いときに冷房効果を高めたい場合は、内気循環にすると効果的です。


■ 換気とエアコンの臭いについて

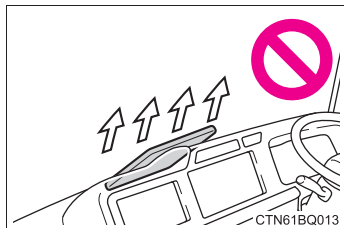
- 車室外の空気を車室内に取り入れたいときは、外気導入にしてください。
- エアコン使用中に、車室内外のさまざまな臭いがエアコン装置内に取り込まれて混ざり合うことにより、吹き出し口からの風に臭いがすることがあります。
- エアコン始動時に発生する臭いを抑えるために、駐車時は外気導入にしておくことをおすすめします。

■ エアコンフィルターについて

→ P. 299

警告**■フロントウインドウガラスの曇りを防止するために**

- 外気の湿度が非常に高いときにエアコンを低い設定温度で作動させているときは、吹き出し口切りかえレバーを  の位置に合わせないでください。外気とガラスの温度差でガラスの外側が曇り、視界をさまたげる場合があります。
- フロントウインドウガラスの曇り取りをさまたげないために、吹き出し口を遮るようなものを置かないでください。送風が遮られ、曇りが取れにくくなる場合があります。

**■リヤウインドウデフォグラー&ミラーヒーター作動中の警告（ミラーヒーター装着車）**

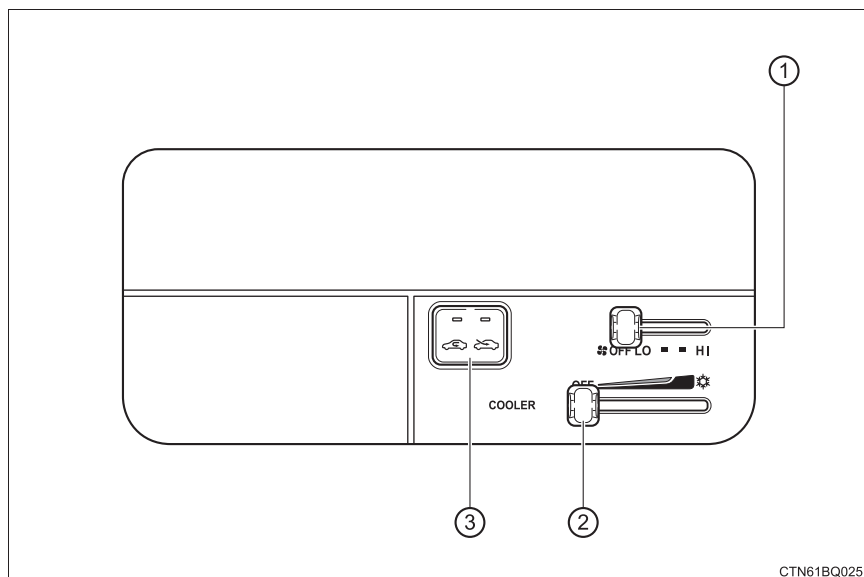
アウターミラーの表面が非常に熱くなります。やけどをするおそれがあるのでふれないでください。

注意**■バッテリーあがりを防ぐために**

エンジン停止中は、フロントヒーターを必要以上に使用しないでください。

クーラー（マニュアルエアコン）★

操作パネルについて



- ① ファン調整レバー
- ② 温度調整レバー
- ③ 内外気切りかえスイッチ

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ 温度を調整する

設定温度を下げるときは温度調整レバーを右に、上げるときは左に動かす

クーラー（冷房・除湿）の作動を停止するときは、OFF の位置にします。

■ 風量を切りかえる

風量を増やすときはファン調整レバーを右に、減らすときは左に動かす

送風を止めるときは、OFF の位置にします。

その他の機能

■ 内気循環／外気導入を切りかえるには

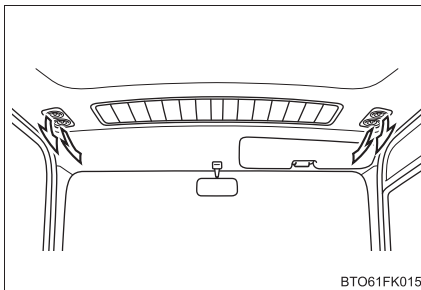
内外気切りかえスイッチを押す

スイッチを押すたびに内気循環／外気導入が切りかわります。
選択しているほうの表示灯が点灯します。

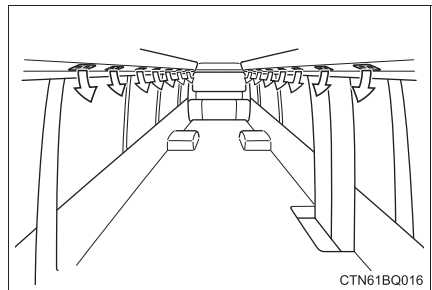
吹き出し口について

■ 吹き出し口の位置

▶ フロント吹き出し口



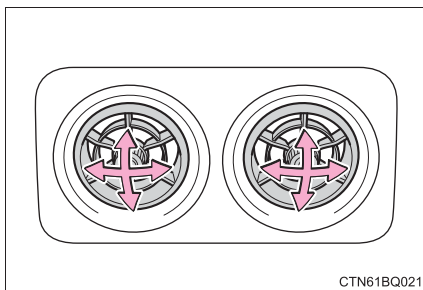
▶ リヤ（客室）吹き出し口※



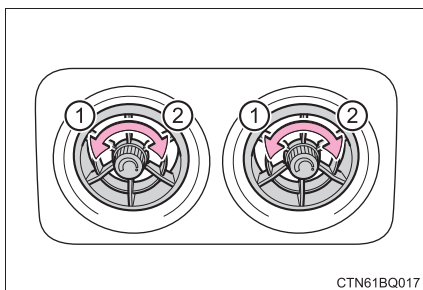
※ 吹き出し口の数・位置などは車両により異なります。

■ 吹き出し口の調整・開閉

風向きを調整するには、ノブを上
下または左右に動かす



- ① 開く
- ② 閉じる



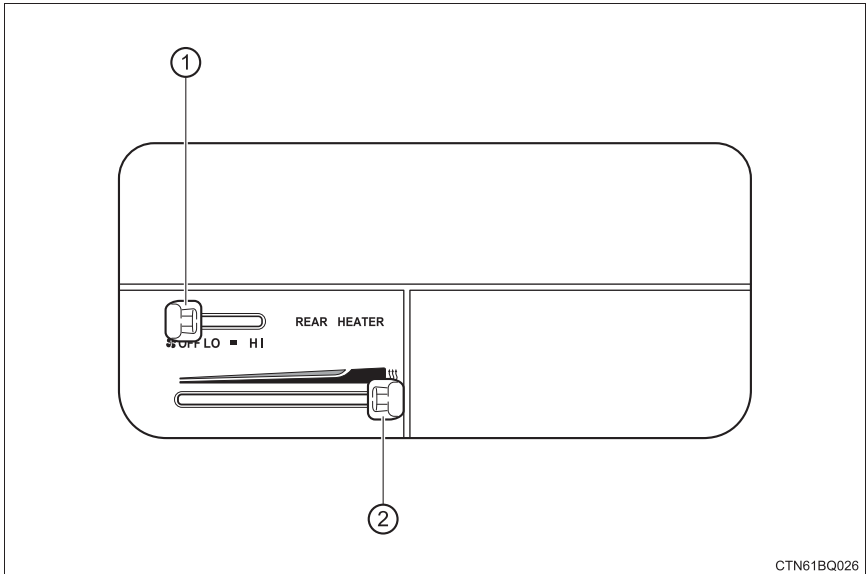
⚠ 注意

■ バッテリーあがりを防ぐために

エンジン停止中は、必要以上にクーラーを使用しないでください。

リヤヒーター（マニュアルエアコン）★

操作パネルについて



- ① ファン調整レバー
- ② 温度調整レバー

■ 温度を調整する

設定温度を上げるときは温度調整レバーを右に、下げるときは左に動かす

■ 風量を切りかえる

風量を増やすときはファン調整レバーを右に、減らすときは左に動かす

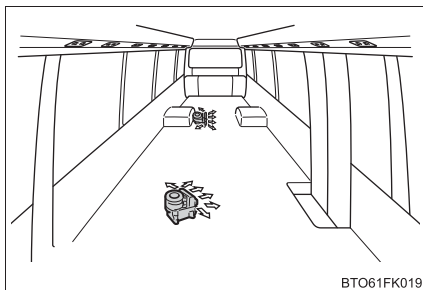
送風を止めるときは、OFF の位置にします。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

吹き出し口について

■ 吹き出し口の位置※

※ 吹き出し口の数・位置などは車両により異なります。



⚠ 注意

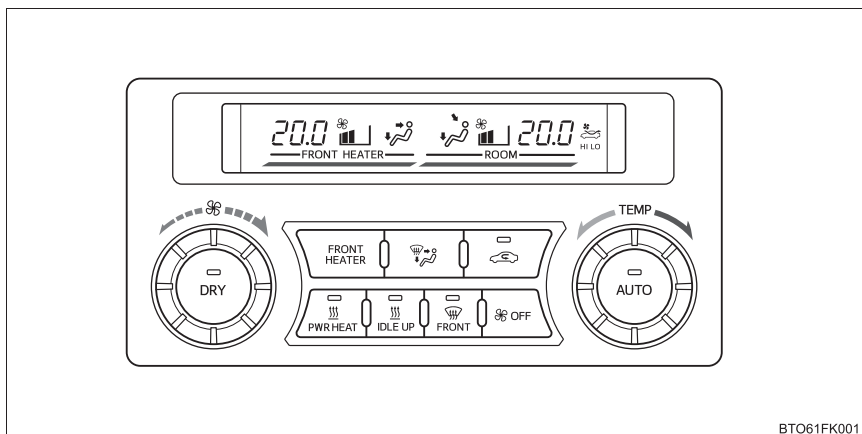
■ バッテリーあがりを防ぐために

エンジン停止中は、必要以上にリヤヒーターを使用しないでください。

オートエアコン★

設定温度に合わせて吹き出し口と風量を自動で調整します。

エアコン操作について




BTO61FK001

■ 温度を調整する

設定温度を上げるときは  を右に、下げるときは左にまわす

除湿機能の ON・OFF を切りかえるには DRY スイッチ★を押します。

■ 風量を切りかえる

風量を増やすときは  を右に、減らすときは左にまわす

送風を止めるときは、OFF スイッチを押します。

風量が最弱のときに左にまわすと、送風が止まります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

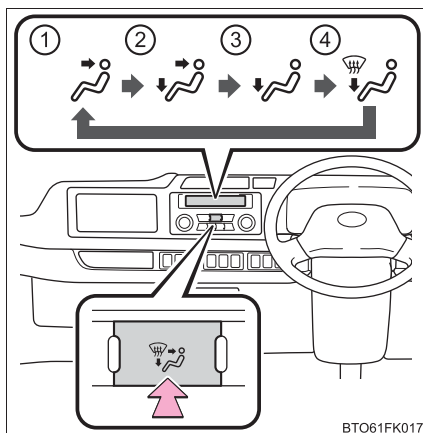
■ 吹き出し口を切りかえる

 を押す

押すたびに吹き出し口が切りかわります。

- ① 上半身に送風 ※
- ② 上半身と足元に送風 ※
- ③ 足元に送風
- ④ 足元に送風・フロントウィンドウガラスの曇りを取る (FRONT HEATER のみ)

※ FRONT HEATER 側と ROOM 側で表示が異なります。



■ 運転席と助手席のみを個別に設定する

FRONT HEATER スイッチを押し、運転席と助手席の設定温度・風量・吹き出し口を設定する

操作選択バーが、エアコン操作パネルの FRONT HEATER 側下部に表示され個別に設定することができます。

数秒間操作を行わないと、ROOM 側の操作に切りかわります。

AUTO スイッチを押すと室内の設定と同じになり、操作選択バーが、エアコン操作パネルの ROOM 側下部に表示されます。

オート設定で使用する

- 1 AUTO スイッチを押す
- 2 温度を設定する

■ オート設定時の作動表示灯について

風量や吹き出し口を切りかえると、AUTO スイッチの作動表示灯が消灯しますが、操作した機能以外のオート設定は継続します。

その他の機能

■ 内気循環／外気導入を切りかえるには



を押す


スイッチを押すたびに内気循環／外気導入が切りかわります。
内気循環を選択しているときは、表示灯が点灯します。

■ フロントガラスの曇りを取るには



を押す

フロント側の風量と吹き出し口が切りかわり、除湿機能★が作動します。内気循環にしている場合は、外気導入にしてください。(自動的に外気導入に切りかわることがあります。)

風量を強くし、設定温度を上げると、より早く曇りを取ることができます。曇りが取れたら再度を押すと前のモードにもどります。

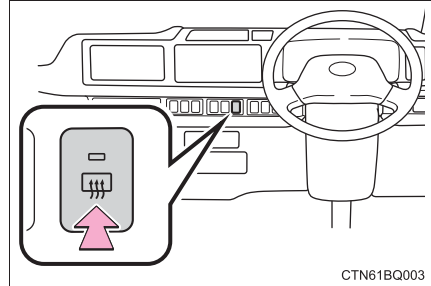
■ リヤウインドウデフォグガー★ & ミラーヒーター★

リヤウインドウの曇りを取るときや、アウターミラーから雨滴や霜を取るときに使用ください。

ON/OFF

ON にするとスイッチの表示灯が点灯します。

リヤウインドウデフォグガーとミラーヒーターは、しばらくすると自動的に OFF になります。



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

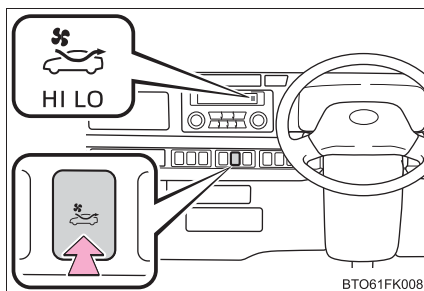
■ 換気扇スイッチ★

換気扇スイッチを押す

作動状態がエアコン操作パネルに表示されます。

押すごとに HI → LO → OFF の順に切りかわります。

内気循環時に作動させると、外気導入に切りかわります。



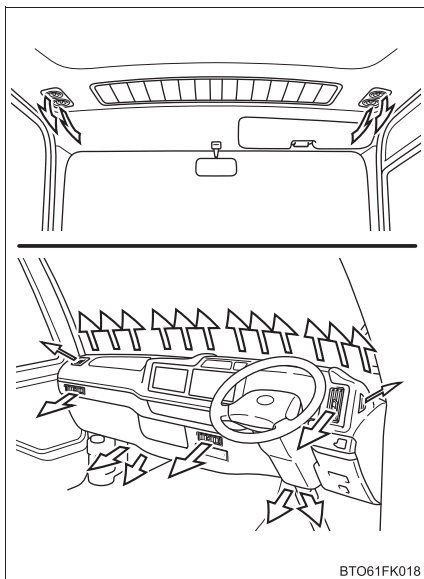
吹き出し口について

■ 吹き出し口の位置

▶ フロント吹き出し口

吹き出し口の切りかえ設定により、風が出る位置 ※ や風量が変わります。

※ 吹き出し口の数・位置などは車両により異なります。

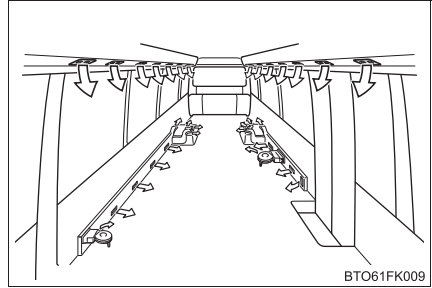


★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

▶ リヤ（客室）吹き出し口

吹き出し口の切りかえ設定により、風が出る位置[※]や風量が変わります。

[※] 吹き出し口の数・位置などは車両により異なります。

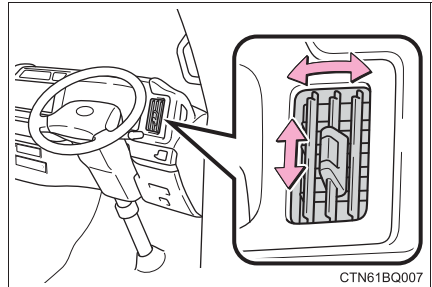


■ 風向きの調整と吹き出し口の開閉

▶ 運転席側吹き出し口

風向きを調整するには、ノブを上下または左右に動かす

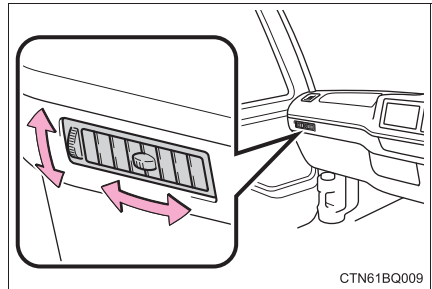
閉めるときは、ノブをいっぱいまで下に動かします。



▶ 助手席側吹き出し口

風向きを調整するには、ノブを上下または左右に動かす

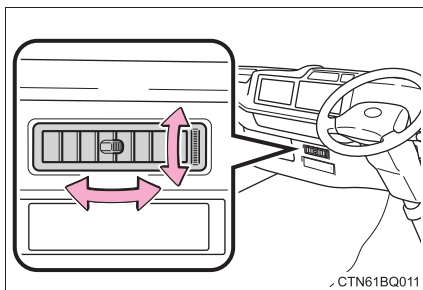
閉めるときは、ノブをいっぱいまで左に動かします。



▶ 中央側吹き出し口

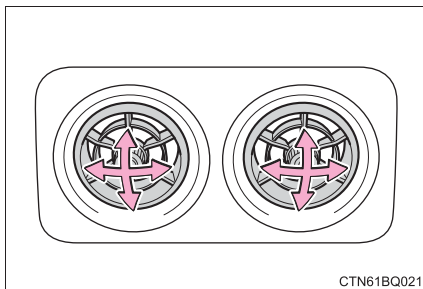
風向きを調整するには、ノブを上下または左右に動かす

閉めるときは、ノブをいっぱいまで右に動かします。

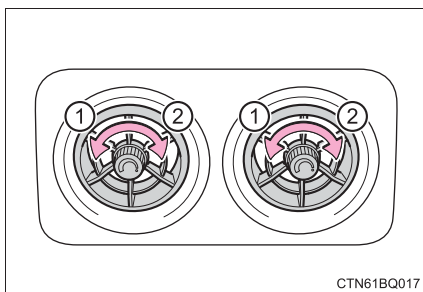


▶ リヤ（客室）吹き出し口

風向きを調整するには、ノブを上下または左右に動かす



- ① 開く
- ② 閉じる



 知識**■ オート設定の作動について**

風量は温度設定と外気の状態により自動で調整されるため、AUTO スイッチを押した直後、温風や冷風の準備ができるまでしばらく送風が停止する場合があります。

■ ガラスの曇りについて

- 車室内の湿度が高いときはガラスが曇りやすくなります。その場合は、DRY スイッチ★を ON にすると、吹き出し口から除湿された風が出るため、効果的に曇りを取ることができます。
- DRY スイッチ★を ON から OFF にすると、ガラスが曇りやすくなります。
- 内気循環を使うとガラスが曇る場合があります。
- 降雨時など湿度の高いときに湿った外気を除湿・暖房しながら導入し、窓の曇りをおさえます。(リヒート機能★)

■ 内気循環／外気導入について

- トンネルや渋滞などで、汚れた外気を車内に入れたくないときや、外気温度が高いときに冷房効果を高めたい場合は、内気循環にすると効果的です。
- 設定温度や室内温度などにより、自動的に切りかわる場合があります。

■ 外気温度が 0℃ 近くまで下がったとき

DRY スイッチ★を押しても除湿機能が働かない場合があります。

■ 換気とエアコンの臭いについて

- 車室外の空気を車室内に取り入れたいときは、外気導入にしてください。
- エアコン使用中に、車室内外のさまざまな臭いがエアコン装置内に取り込まれて混ざり合うことにより、吹き出し口からの風に臭いがすることがあります。
- エアコン始動時に発生する臭いを抑えるために、駐車時は外気導入にしておくことをおすすめします。
- エアコン始動時に発生する臭いを抑えるために、オート設定での使用時にはエアコン始動直後、しばらく送風が停止する場合があります。

■ エアコンフィルターについて


→ P. 299

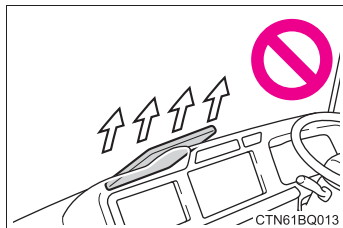
■ 換気扇について（換気扇装着車）

エンジンスイッチが“ON” のとき使用できます。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告**■ フロントウインドウガラスの曇りを防止するために**

- 外気の湿度が非常に高いときにエアコンを低い設定温度で作動させているときは、を押さないでください。外気とガラスの温度差でガラスの外側が曇り、視界をさまたげる場合があります。
- フロントウインドウガラスの曇り取りをさまたげないために、吹き出し口を遮るようなものを置かないでください。送風が遮られ、曇りが取れにくくなることがあります。

**■ リヤウインドウデフォグラー&ミラーヒーター作動中の警告（ミラーヒーター装着車）**

アウターミラーの表面が非常に熱くなります。やけどをするおそれがあるのでふれないでください。

注意**■ バッテリーあがりを防ぐために**

エンジン停止中は、エアコンを必要以上に使用しないでください。

■ 換気扇について（換気扇装着車）

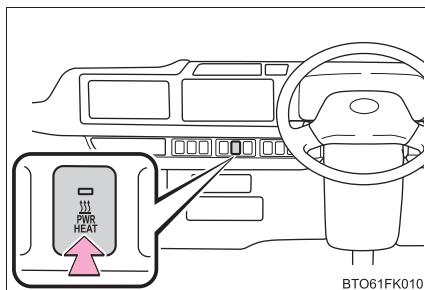
トンネル内や車庫内などの囲まれた場所や、換気の悪い場所で換気扇を使用すると、排気ガスが車内に入るおそれがあるため、内気循環に切りかえてください。

パワーヒーター★

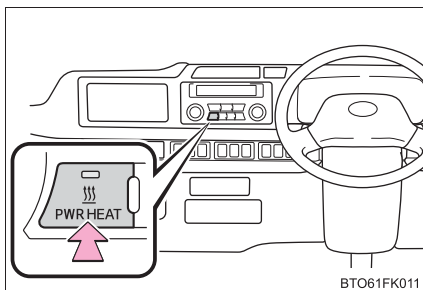
車両の暖房機能を補助し、より強い暖房にすることができます。

パワーヒーターを使用するには

▶ マニュアルエアコン



▶ オートエアコン



パワーヒータースイッチを押す

作動時は、作動表示灯が点灯します。

知識

■ 作動条件

エンジン回転中のみ使用できます。

■ パワーヒーターの異常について

次のときはスイッチを一度 OFF にしてから、再度 ON にしてください。
それでも作動しないときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

- マニュアルエアコン：スイッチを押しても表示灯が点灯しない
- オートエアコン：スイッチを押したら表示灯が短い間隔で点滅する。長い間隔で点滅しているときは掃気状態であり、異常ではありません。

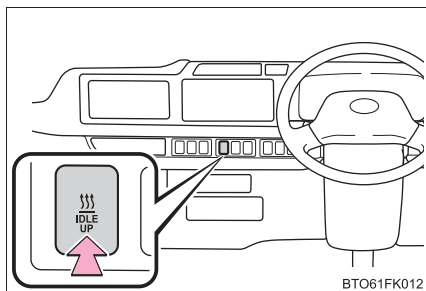
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

アイドルアップ

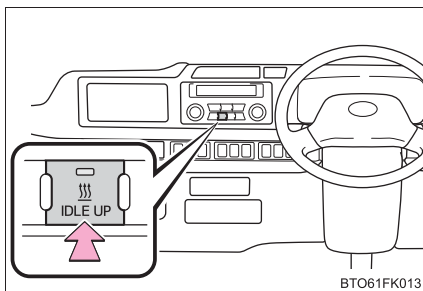
停車中にアイドル回転を上げ、暖房効果を高めます。

アイドルアップを使用するには

▶ マニュアルエアコン



▶ オートエアコン



アイドルアップスイッチを押す

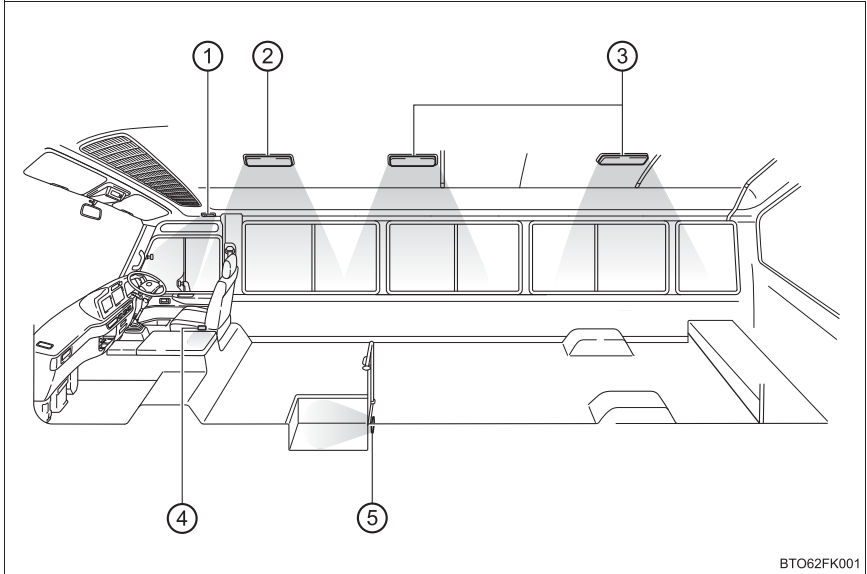
作動時は、作動表示灯が点灯します。(オートエアコンのみ)

知識

■ アイドルアップについて

- アイドルアップ作動中にエンジンスイッチを OFF にしても、作動状態は記憶しています。
- エンジン冷却水が暖まると、アイドル回転数は通常状態にもどります。

室内灯一覧



BTO62FK001

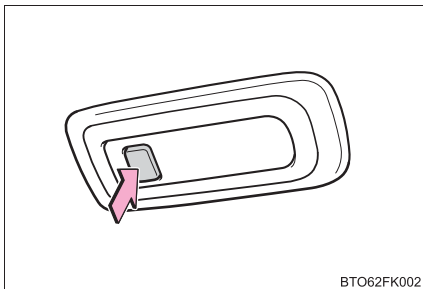
- ① フロントパーソナルランプ★ (→ P. 250)
- ② フロントルームランプ (→ P. 250)
- ③ リヤルームランプ (→ P. 250)
- ④ ドアカーテシランプ★
- ⑤ ステップランプ (→ P. 67, 77)

仕様により、装着位置・装着数が異なります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

フロントパーソナルランプ★

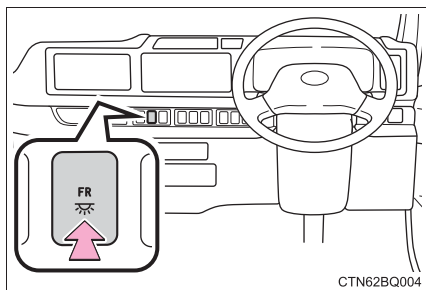
ランプを点灯・消灯する



BT062FK002

ルームランプ

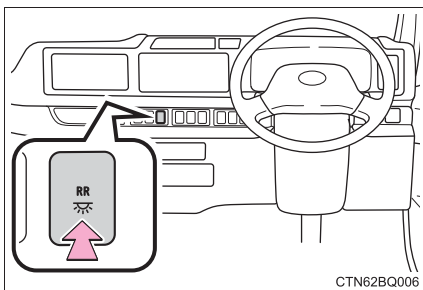
▶ フロント側



CTN62BQ004

ランプを点灯・消灯する

▶ リヤ側



CTN62BQ006

ランプを点灯・消灯する

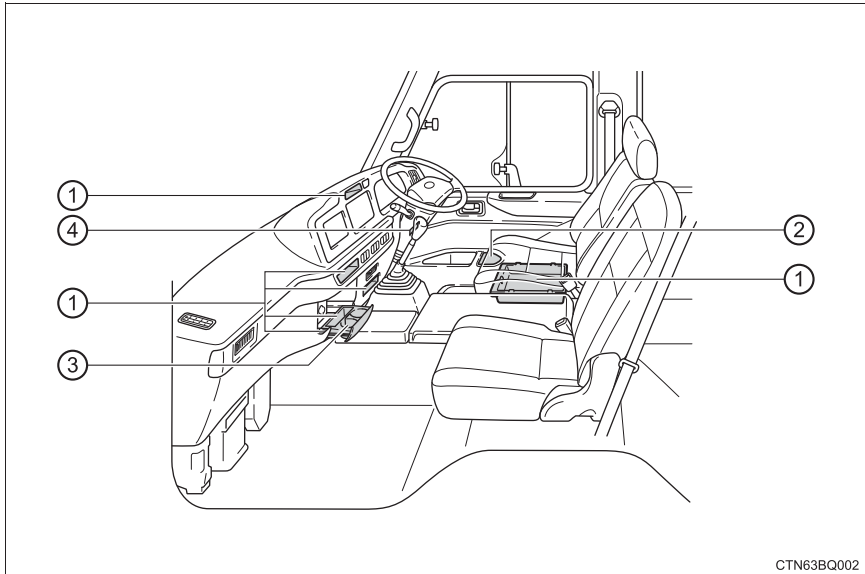
観音扉ドアを開けると、スイッチがOFFでも点灯します。★

⚠ 注意

バッテリーあがりを防ぐために、エンジンが停止した状態で、長時間ランプ類を点灯しないでください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

収納装備一覧



CTN63BQ002

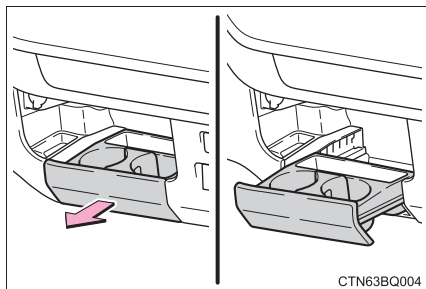
- ① 小物入れ (→ P. 254) ③ カップホルダー (→ P. 252)
 ② ボトルホルダー (→ P. 253) ④ カードホルダー (→ P. 255)

警告

- メガネ・ライターやスプレー缶を収納装備内に放置したままにしないでください。
 放置したまましていると、次のようなことが起こるおそれがあり危険です。
 - ・ 室温が高くなったときの熱や、他の収納物との接触などにより、メガネが変形やひび割れを起こす
 - ・ 室温が高くなったときにライターやスプレー缶が爆発したり、他の収納物との接触でライターが着火したりスプレー缶のガスがもれるなどして火災につながる
- 収納装備を使わないときは、フタを必ず閉じてください。
 急ブレーキや急旋回時などに、開いたフタに体があたったり、収納していたものが飛び出したりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

カップホルダー

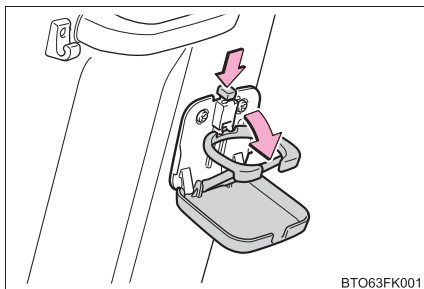
▶ フロント



CTN63BQ004

使用するときには、手前にいっぱいまで引き出す

▶ 後部座席（最後列を除く）★



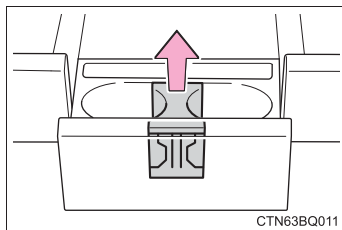
BTO63FK001

使用するときには、ボタンを押して開く

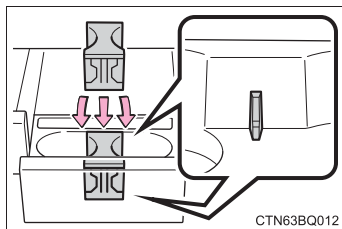
もどすときは、フタの先端を引き上げ、ロックするまで押し付けます。

知識

- フロントカップホルダー内を清掃するために、仕切りを取りはずすことができます。
- フロントカップホルダーの仕切りの位置を左右に動かすことができます。



CTN63BQ011



CTN63BQ012

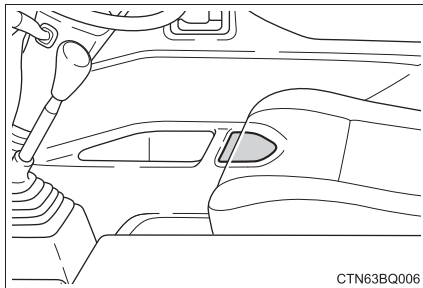
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告

- カップホルダーにはカップや缶以外のものを置かないでください。急ブレーキや事故により落ちてけがをするおそれがあります。やけどを防ぐために温かい飲み物にはフタを閉めておいてください。
- カップホルダーを使わないときは、必ずもとにもどしておいてください。急ブレーキ時などに、カップホルダーが体にあたり、収納していたものが飛び出したりして、思わぬ事故につながりけがをするおそれがあります。

注意

- カップホルダーに手をついたり、足で踏んだりしないでください。
- フロントカップホルダーは、必ずいっぱいまで引き出して使用してください。中間位置で使用すると、走行中にカップホルダーが動いて、飲み物がこぼれるおそれがあります。

ボトルホルダー**知識**

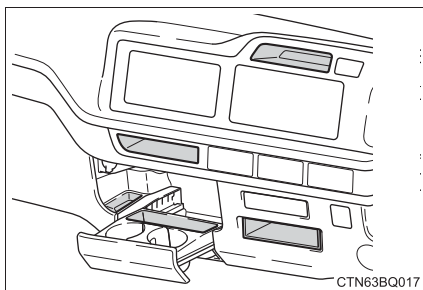
- ペットボトルのフタを必ず閉めてから収納してください。
- ペットボトルの大きさ・形によっては収納できないことがあります。

注意

ボトルホルダーには、ジュースなどが入っている紙コップ・ガラス製のコップなどを収納しないでください。ジュースなどがこぼれたり、ガラス製品が割れたりするおそれがあります。

小物入れ

- ▶ A タイプ (シートアンダートレイ) ▶ B タイプ
イ)

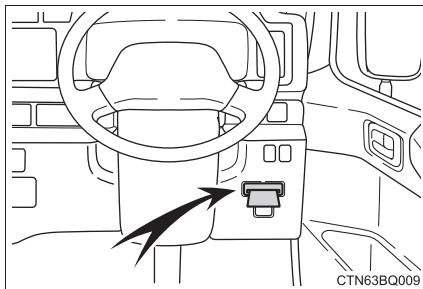


ツマミを引いてトレイを引き出す

警告

- フロントシートの下 (シートアンダートレイ内を除く) に物を置かないください。物が挟まってシートが固定されず、思わぬ事故につながりけがをする恐れがあります。(A タイプ)
- フタのないトレイには、転がりやすいものや、凹面からはみ出るようなものを置かないください。
急ブレーキ時などに収納していたものが飛び出すなどして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。(B タイプ)

カードホルダー



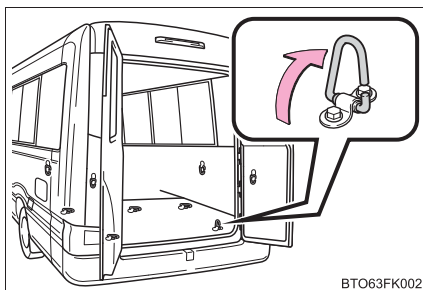
ラゲージルーム内の装備

ロープフック★

フックを起こして使用してください。

フックを使って荷物を固定することができます。

車両によりロープフックの位置や数は異なります。



BT063FK002

⚠ 警告

ロープフックを使用しないときは、けがをしないように必ずもとの位置にもどしておいてください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

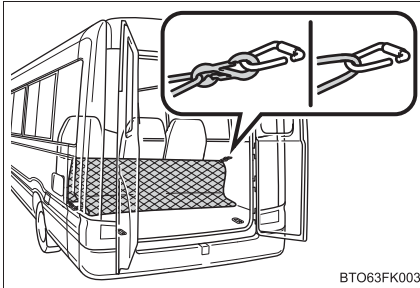
ラゲージルームセパレーター（最後席シート非搭載車）

ラゲージルームセパレーターとロープフック（→ P. 256）を使用して、荷室と客室を仕切ったり、荷物を固定したりすることができます。

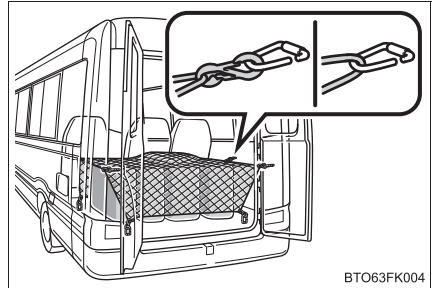
ラゲージルームセパレーターのフックだけでなく、ネットを直接ロープフックにかけることもできます。

■ 使用例

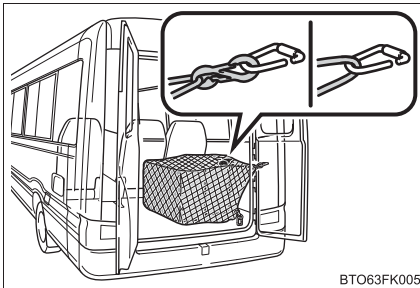
- ▶ 荷室と客室を仕切る



- ▶ 大量の荷物を固定する



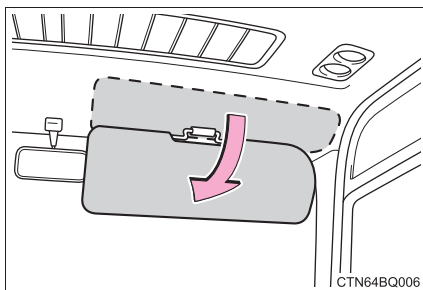
- ▶ 少量の荷物を固定する



その他の室内装備

サンバイザー／お客様表示板★

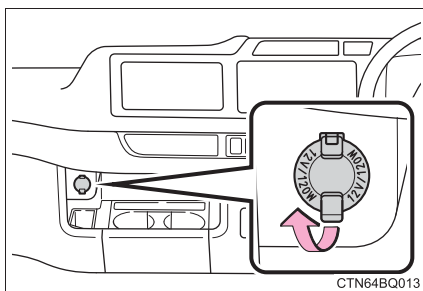
前方をさえぎるには、バイザーを下ろす



アクセサリースOCKET

DC12V / 10A (消費電力 120W) 未満の電気製品を使うときの電源としてお使いください。

フタを開ける



知識

■ 作動条件

エンジンスイッチが“ACC”または“ON”のとき

■ エンジンスイッチを”LOCK” (OFF) にするとき

モバイルバッテリーなどの、充電機能を備えた電気製品をはずしてください。

接続したままにしておくと、エンジンスイッチを正常に OFF することができなくなる場合があります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

⚠ 注意

■ ショートや故障を防ぐために

挿し込み口に異物が入ったり、飲料水などがこぼれたりしないように、使用しないときはフタを閉めておいてください。

■ ヒューズが切れるのを防ぐために

DC12V で最大電流 10A（最大消費電力 120W）以上の電気製品を使用しないでください。

■ バッテリーあがりを防ぐために

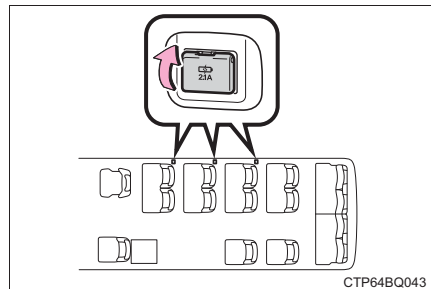
エンジンが停止した状態で、長時間使用しないでください。

充電用 USB 端子

DC5V/2.1A（消費電力 10.5W）の電源としてお使いください。この USB 端子は充電専用でありデータ転送などは行えません。また、使用する機器によっては、正常に充電できない場合があります。ご使用になる機器に付属の取扱説明書もお読みください。

■ 充電用 USB 端子を使用するには

フタを開けて使用する



📖 知識

■ 充電用 USB 端子の作動条件

エンジンスイッチが“ACC”または“ON”のとき

■ 充電用 USB 端子が正常に働かないおそれのある状況

- DC5V/2.1A（消費電力 10.5W）をこえる電力を要求する機器を接続したとき
- パソコンと通信を行う機器を接続したとき
- 接続機器の電源が OFF のとき（機器により異なります）
- 炎天下に駐車したあとなど、車室内の温度が高いとき

■使用する外部機器について

一部の機器では、充電中に充電がいったん停止後、再充電を開始する場合がありますが、故障ではありません。

注意

■充電用 USB 端子の損傷を防ぐために

- 端子部に異物を入れないでください。
- 水や液体をかけないでください。
- 充電用 USB 端子を使わないときはフタを必ず閉じてください。端子部に異物や液体が入ると故障やショートの原因になります。
- 強い力や衝撃を加えないでください。
- 分解や改造、取りはずしをしないでください。

■外部機器の損傷を防ぐために

- 機器を車室内に放置しないでください。車室内が高温となり、故障の原因となります。
- 機器が接続されているときに、外部機器や外部機器のケーブルを押し下げたり、不要な力を加えたりしないでください。

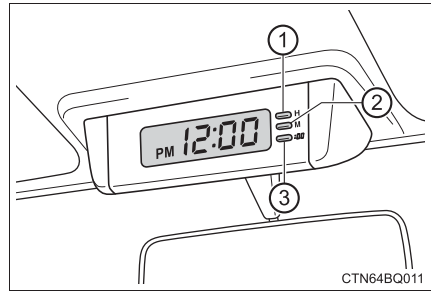
■バッテリーあがりを防ぐために

エンジンが停止した状態で、充電用 USB 端子を長時間使用しないでください。

時計

ボタンを押して時刻を調整することができます。

- ① “時” を調整する (H)
- ② “分” を調整する (M)
- ③ “分” を 00 にする ※ (:00)
※ (例) 1:00 ~ 1:29 → 1:00
1:30 ~ 1:59 → 2:00



知識

■時計表示について

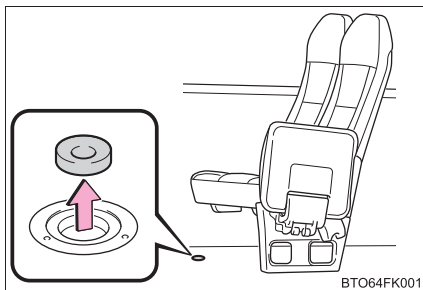
エンジンスイッチに関係なく表示されます。

夜間、エンジンスイッチが “LOCK” の位置では表示が見にくくなります。その場合はエンジンスイッチを “ACC” または “ON” にしてください。

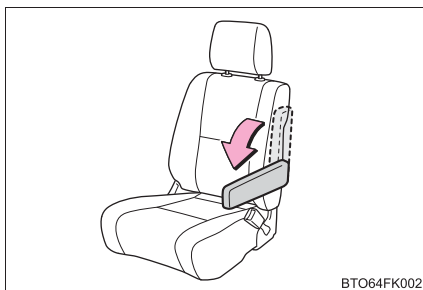
床洗い用水抜き穴★

二人掛けシートの前から3列目のシート下側にあります。

排水するときは、ゴムキャップをはずす

**アームレスト★**

手前に倒して使用する

**⚠ 注意**

アームレストの損傷を防ぐために、過度の負荷をかけないでください。

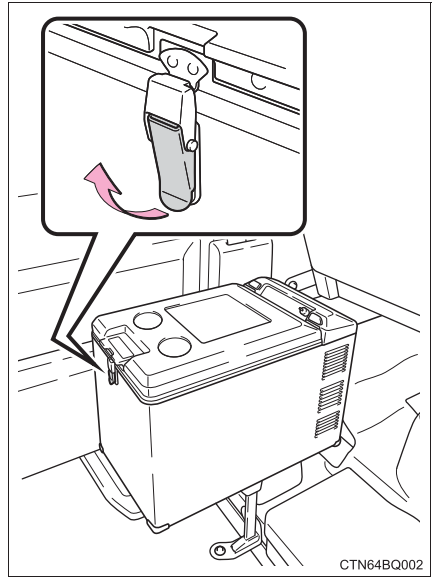
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

冷蔵庫★

■ 開閉のしかた

レバーを引き、金具をフックからはずして開ける

閉めるときは、金具をフックにかけ、レバーを押します。確実に固定されたことを確認してください。

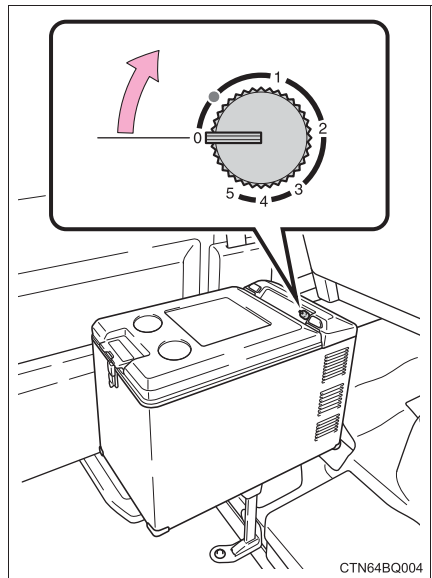


■ 電源の ON・OFF

温度調整ダイヤルをまわす

「0」以外の位置にすると、電源が ON になります。

「0」の位置にすると、電源が OFF になります。



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ 温度調整

温度調整ダイヤルをまわす

使用条件とダイヤルの位置は、冷蔵庫周囲の温度状態およびバッテリーの充電状態などにより異なりますが、一応の目安として次の表を参考にして使用してください。

ダイヤル位置	冷蔵室温度 (負荷がないとき)	使い方
1	約+ 3℃～+ 7℃	通常使用時
2	約 0℃～+ 4℃	
3	約- 2℃～+ 2℃	
4	約- 8℃～- 4℃	使用条件に合わせてダイヤルを選択してください
5	約- 12℃以下	
		冷凍食品を貯蔵するとき

□ 知識

■ 作動条件

エンジンスイッチが “ ON ” のとき

■ 冷蔵庫の温度調整について

- 長時間エンジンを停止していると、庫内の温度は上昇します。
- 冷蔵庫を効果的に使用していただくために次のような事項に注意して使用してください。
 - ・ 庫内に食料品を詰め込み過ぎない
 - ・ 温かい食料品は、冷ましてから貯蔵する
 - ・ 水気の多いもの、香りの強いものは包んでから貯蔵する
- ダイヤル4の位置での使用はできるだけ短時間にしてください。4の位置で長時間使用すると、庫内が冷えすぎて食料品が凍結したり、ビン類などが割れるおそれがあります。
- アイスクリームを貯蔵するときは庫内が常に- 15℃以下でないとやわらかくなる場合があります。

⚠ 注意

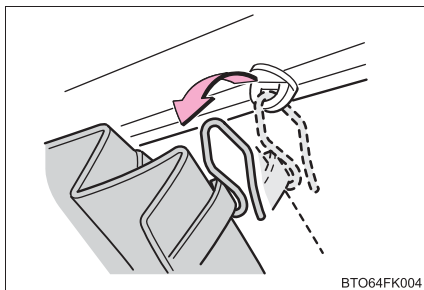
■ バッテリーあがりを防ぐために

エンジンが停止した状態で、長時間使用しないでください。

カーテン★

■ 取りはずし方

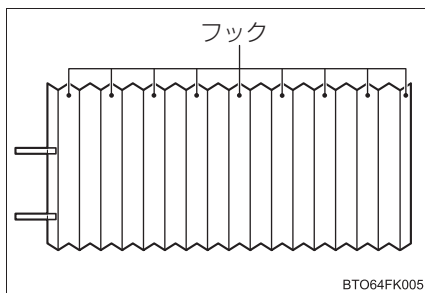
カーテンレールからフックをはずす



BTO64FK004

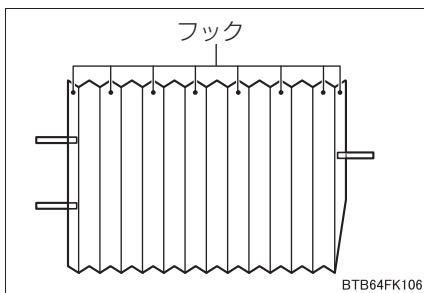
■ フックの取り付け位置

▶ リヤカーテン



BTO64FK005

▶ サイドカーテン



BTB64FK106

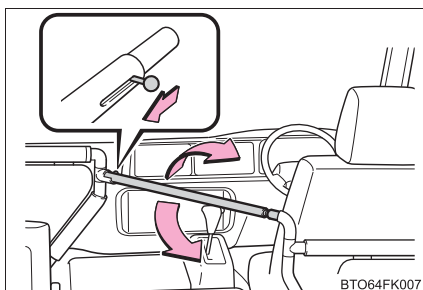
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

運転席ガード（幼児車）

幼児が運転者の操作をさまたげることのないように、運転者とリヤシートの間に取り付けられています。

ガード先端のストッパーを引いたまま操作する

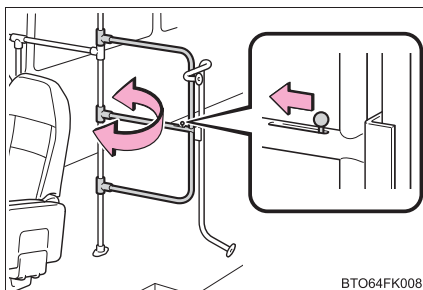
走行中は必ず固定してください。



セパレーターパイプ（バン）

ストッパーを引いたまま操作する

走行中は必ず固定してください。

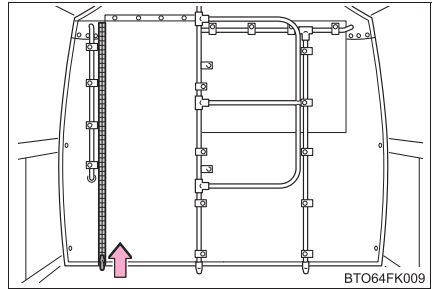


セパレーターカーテン★

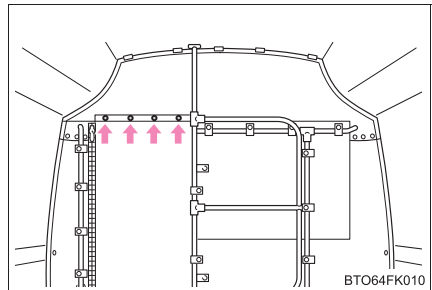
荷室を仕切り、エアコン・ヒーターの効果を高めます。

■ 開け方

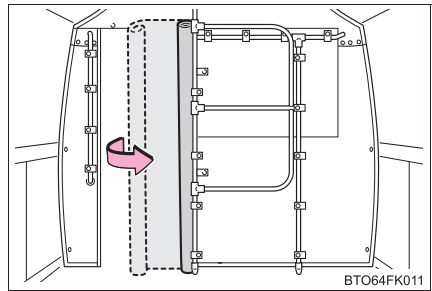
- 1 ファスナーをはずす



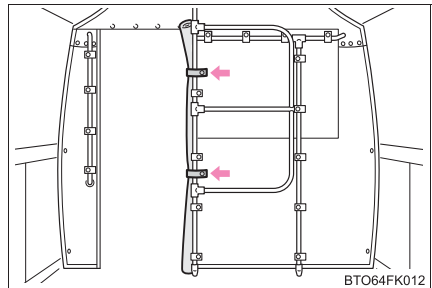
- 2 上部のボタン（4ヶ所）をはずす



- 3 カーテンを丸めながら開ける



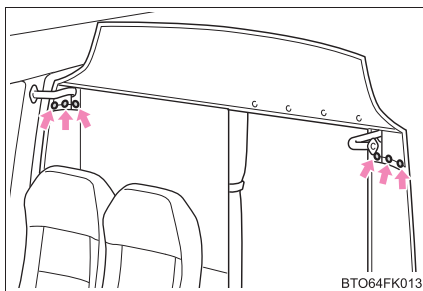
- 4 バンド（2ヶ所）で固定する



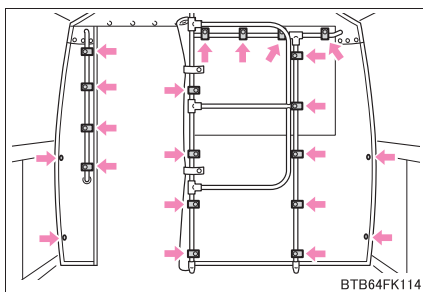
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ 取りはずし方

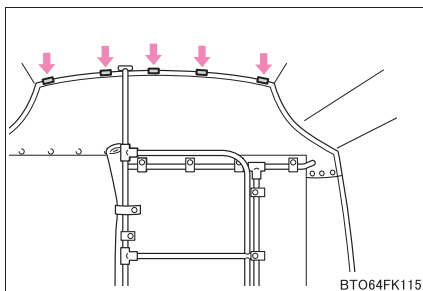
- 1 フロント側からボタン（左右3ヶ所ずつ）をははずす



- 2 リヤ側からセパレーターバーに取り付けられているボタン（左4ヶ所・中央4ヶ所・右5ヶ所・上部4ヶ所）とサイドボタン（左右4ヶ所）をははずす

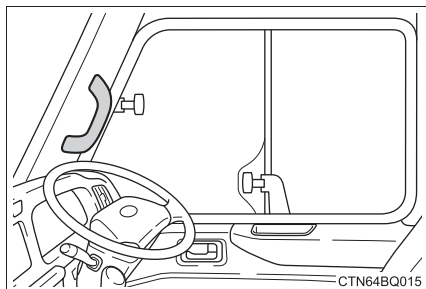


- 3 リヤ側からドライバーで天井に取り付けられているネジ（5ヶ所）をまわしてはずす



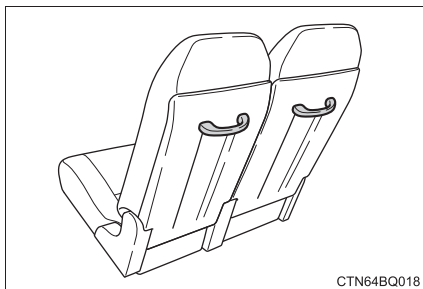
アシストグリップ

▶ フロント



乗降時にお使いください

▶ 後部座席（最後列を除く）★



走行中にシートに座っている状態で、体を支えるときにお使いください

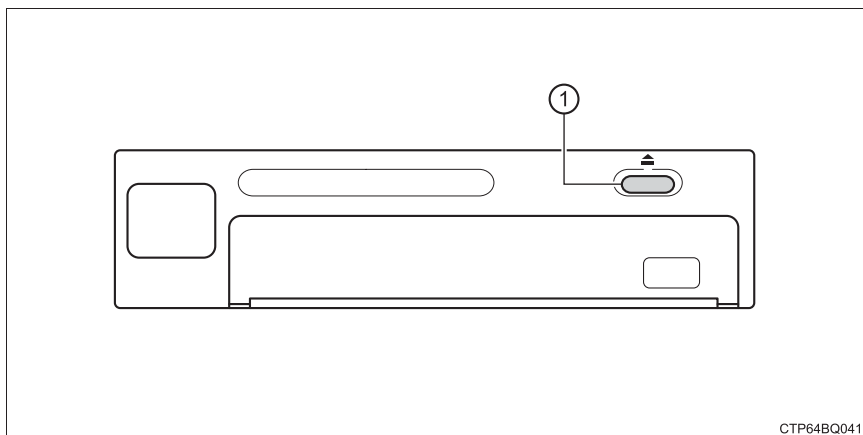
⚠ 注意

破損を防ぐために、アシストグリップに重いものをかけたり、過度の負荷をかけないでください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

タコグラフ★

タコグラフは、車両の速度・走行距離・運転手交替などをチャート紙に記録します。



CTP64BQ041

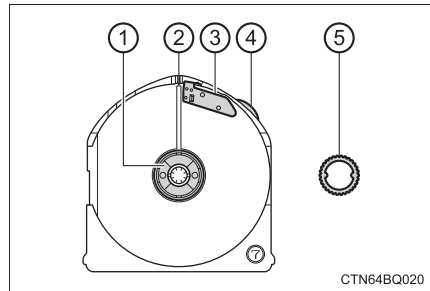
- ① カートリッジ取り出しボタン

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。



カートリッジ

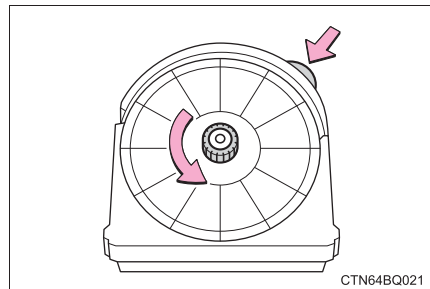
カートリッジは、7 日用のチャート紙を取り付けて、タコグラフ本体に挿入してセットする部品です。タコグラフ本体に挿入されたカートリッジは、本体内の時計体と歯車にて結合され、26 時間でチャート紙を 1 回転させます。

- ① チャート紙取付部
- ② 時刻セットマーク
- ③ 切断ナイフ
- ④ 時刻合わせノブ
- ⑤ 圧着リング



■ チャート紙の交換

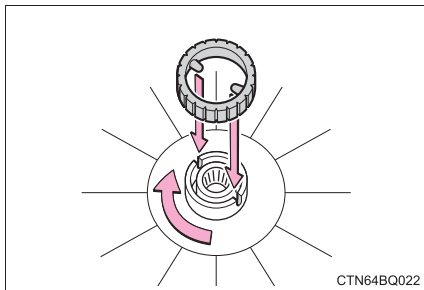
- 1  を押してカートリッジを取り出す
カートリッジは手前に真っ直ぐ引き抜いてください。
- 2  を押して開閉カバーを閉じる
- 3 時刻合わせノブを押さえたまま、圧着リング外周を左に回して上方向に取り外し、チャート紙を抜き取る




- 4 新しいチャート紙に、乗務員コード・車両コード・日付など必要事項を記入する
- 5 新しいチャート紙の外周部を切断ナイフの下側に入れ、チャート紙の中央孔部をカートリッジのチャート紙取付部にはめ込む
- 6 チャート紙の時刻目盛が、カートリッジの時刻セットマークの所で、現在時刻となるようチャート紙を回す
22 時 40 分から 24 時 00 分の時間帯に合わせる場合は、切断ナイフを必ず 1 枚目のチャート紙の下側に入れる

時刻の調整は、カートリッジをタコグラフに挿入する直前に実施ください。

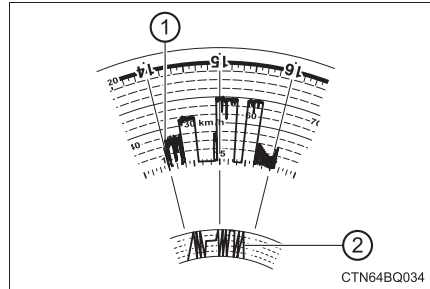
- 7 圧着リングの突部を下にして、チャート紙取付部の溝に合わせたあと、圧着リングを指で押さえて、右側に回し固定する



- 8  を押して開閉カバーを開く
- 9 カートリッジのチャート紙装着面を上にして、半円形状側からタコグラフ本体に挿入する
カチッと音がするまで押し込み、さらに押し込むとカートリッジは自動的に内部に取り込まれ、開閉カバーも閉じます。

チャート紙の記録の見方


- ① 速度記録
瞬間速度を記録します。
- ② 走行距離記録
走行距離を山形の線で記録します。
1山：10 km (6.2 miles)




知識

■ 作動条件

エンジンスイッチが“ON”※のとき

※ エンジンスイッチを“LOCK”または“ACC”にした時でも  を押せば、取り出し・挿入はできます。但し、作動電源は5分後に切れます。

■ 開閉カバーが開けられたままエンジンスイッチを“LOCK”または“ACC”にした場合は

必ず  を押して作動電源が入っている状態で、カートリッジを挿入してください。

カートリッジを無理に押し込んでしまった場合、走行してもチャート紙には何も記録されません。

警告

■ 安全にお使いいただくために

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 走行中に操作をしないでください。
- 7日用タコグラフのチャート紙を交換されるときは、切断ナイフの刃に手を触れないでください。
- カートリッジを机の上や座席に放置しないでください。誤って手をついたり、座った場合に切断ナイフ基部の突起でけがをされるおそれがあります。

 **注意****■ 部品の損傷や誤作動を防ぐために**

- 分解・改造をしないでください。
- チャート紙は、機種にあった純正品をご使用ください。
純正以外のチャート紙を使用しますとタコグラフの故障原因となるおそれがあります。また、精度の良い解析ができない場合があります。
- チャート紙を曲げたり、表面に傷をつけたり、水が掛からないようご注意ください。正常な記録がとれなくなります。
- タコグラフおよびカートリッジに水などをかけないでください。
- タコグラフ内部の記録針には、触らないでください。
- タコグラフの内部に、物や手を入れしないでください。
- 取り出したカートリッジは、直射日光の当たる場所や高温となる場所に置かないでください。
- 開閉カバーは、開けたまま放置しないでください。特にエンジンスイッチをOFFにする時には、開閉カバーが閉じていることを確認ください。
- カートリッジを勢いよく挿入したり、開閉カバーを手で開けてカートリッジを無理に押し込まないでください。
- 途中まで差し込んだカートリッジの上から無理な力を加えないでください。
- 7日用チャート紙は、必ず一番上のものから使い始めてください。2枚目以降のチャート紙から使い始めますと引っかかりが発生し故障の原因となります。
- 7日用チャート紙は、継ぎテープを切り、バラバラにして、一枚ずつ使用しないでください。
- 22時40分から24時00分の時間帯に7日用チャート紙の時刻合わせを行う場合、切断ナイフは必ず一枚目のチャート紙の下側にセットしてください。誤ってセットすると、引っかかりが発生し、時計故障の原因となります。また、正常な記録が取れなくなります。
- チャート紙に合った圧着リングをご使用ください。
- 圧着リングをチャート紙無しの状態、及び中途半端な状態でセットしないでください。本体内で圧着リングが脱落し、故障の原因となります。
- タコグラフ本体の汚れは、柔らかな乾いた布で乾拭きしてください。シンナーやベンジンなど揮発性のものを使用しないでください。

お手入れのしかた

7

7-1. お手入れのしかた

外装の手入れ.....	276
内装の手入れ.....	279

7-2. 簡単な点検・部品交換

エンジン点検口.....	282
AdBlue [®] （尿素水）の 補充	285
ウォッシャー液の補充	292
タイヤについて.....	294
タイヤ空気圧について	297
エアコンフィルターの 清掃	299
ヒューズの点検・交換	301
電球（バルブ）の交換	305
燃料・水分離器の排水	319

外装の手入れ

お手入れは、次の項目を実施してください。

- 水を十分かけながら、車体・足まわり・下まわりの順番に上から下へ汚れを洗い落とす
- 車体はスポンジやセーム皮のようなやわらかいもので洗う
- 汚れがひどいときはカーシャンプーを使用し、水で十分洗い流す
- 水をふき取る
- 水のはじきが悪くなったときは、ワックスがけを行う

ボデーの表面の汚れを落としても水が玉状にならないときは、車体の温度が冷えているときにワックスをかける（およそ体温以下を目安としてください）

なお、ボデーコート・ホイールコート・ガラスコートなど、トヨタケミカル商品を施工された場合は、お手入れ方法が異なります。詳しくはトヨタ販売店にお問い合わせください。

知識

■ 自動洗車機を使うときは

- アウターミラー・アンテナを格納し、車両前側から洗車してください。また、走行前は必ずアウターミラーを復帰状態にもどしてください。
- ブラシで車体などに傷が付き、塗装を損なうことがあります。

■ 高圧洗車機を使うときは

- 室内に水が入るおそれがあるため、ノズルの先端をドアやガラスの開閉部に近付けすぎたり、同じ場所に連続してあてたりしないでください。
- 駆動系部品（ディファレンシャルギヤなど）のベアリングやオイルシール部品に近付けすぎないでください。
近付けすぎると、水圧が高いため、内部への水入りやグリス流出により、性能が劣化するおそれがあります。

■ ホイール・ホイールキャップについて

- 中性洗剤を使用し、早めに汚れを落としてください。
- 洗剤を使用したあとは放置せずに水で十分洗い流してください。
- 塗装の損傷を防ぐため、次のことを必ずお守りください。
 - ・ 酸性・アルカリ性および研磨剤の入った洗剤を使用しない
 - ・ 硬いブラシを使用しない
 - ・ 夏場の走行後や駐車後でホイールが熱いときは、洗剤は使用しない

■ バンパーについて

研磨剤入りの洗剤でこすらないようにしてください。

■ メッキ部品のお手入れについて

メッキ部品の汚れが落ちにくい場合は、次の方法でお手入れをしてください。

- 中性洗剤を水で約5%に薄めてやわらかい布に含ませふき取る
- 乾いたやわらかい布で表面の水分をふき取る
- 油分を含んだ汚れはアルコール系ウェットティッシュなどで油を浮かせてからふき取る

警告

■ 洗車をするときは

エンジンルーム内に水をかけないでください。
電気部品などに水がかかると、車両火災につながるおそれがあり危険です。

■ 排気管について

排気管は排気ガスにより高温になります。洗車などでふれる場合は、十分に排気管が冷めてからにしてください。やけどをするおそれがあります。ディーゼル車は特に高温になりますのでご注意ください。

 **注意****■ 塗装の劣化や車体・部品（ホイールなど）の腐食を防ぐために**

- 次のような場合は、ただちに洗車してください。
 - ・ 海岸地帯を走行したあと
 - ・ 凍結防止剤を散布した道路を走行したあと
 - ・ コールタール・花粉・樹液・鳥のふん・虫の死がいなどが付着したとき
 - ・ ばい煙・油煙・粉じん・鉄粉・化学物質などの降下が多い場所を走行したあと
 - ・ ほこり・泥などで激しく汚れたとき
 - ・ 塗装にベンジンやガソリンなどの有機溶剤が付着したとき
- 塗装に傷が付いた場合は、早めに補修してください。
- ホイール保管時は、腐食を防ぐために汚れを落とし、湿気の少ない場所へ保管してください。

■ ランプの清掃

- 注意して洗ってください。有機溶剤や硬いブラシは使用しないでください。ランプを損傷させるおそれがあります。
- ランプにワックスがけを行わないでください。レンズを損傷するおそれがあります。

■ アンテナの損傷を防ぐために

→ P. 199

■ 高圧洗浄機を使用するときは

- ノズルの先端を、下記部品の結合部やブーツ類（ゴムまたは樹脂製のカバー）、コネクタ類に近付けすぎないでください。
高い水圧がかかることにより、部品が損傷するおそれがあります。
 - ・ 駆動系部品
 - ・ ステアリング部品
 - ・ サスペンション部品
 - ・ ブレーキ部品
- モール、バンパーなどの樹脂部分は変形、損傷するおそれがあるため、洗浄ノズルと車体との距離を 30cm 以上離してください。また、同じ場所へ連続して水をあてないでください。
- フロントウインドウガラス上部へ連続して水をあてないでください。エアコンの空気取り入れ口があり、エアコンが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 高圧洗浄機で車両の下まわりを洗浄しないでください。

内装の手入れ

お手入れは、次の要領で実施ください。

車内の手入れ

- 掃除機などでほこりを取り除き、水またはぬるま湯を含ませた布でふき取る
- 汚れが落ちない場合は、中性洗剤を水で約 1% に薄めてやわらかい布に含ませふき取る
水を浸した布を固くしぼり、表面に残った洗剤・水分をふき取る

合成皮革部分の手入れ

- 掃除機などでほこりを取り除く
- 中性洗剤を水で約 1% に薄めてやわらかい布に含ませふき取る
- 水を浸した布を固くしぼり、表面に残った洗剤・水分をふき取る

知識

■ カーペットの洗浄

カーペットは常に乾いた状態を保つことをおすすめします。洗浄には、市販の泡タイプクリーナーがご利用になれます。

スポンジまたはブラシを使用して泡をカーペットに広げ、円を描くように塗り込んでください。直接水をかけたりせず、ふき取ってから乾燥させてください。

■ シートベルト

刺激の少ない洗剤とぬるま湯で、布やスポンジを使って洗ってください。シートベルトのすり切れ・ほつれ・傷などを定期的に点検してください。

■ 冷蔵庫の手入れ（冷蔵庫装着車）

- フタ・内箱の手入れ：よく乾いたやわらかい布でから拭きする
・ 汚れがひどいときは、中性洗剤の溶かしたぬるま湯（約 50℃以下）を使用してふき取り、よく乾いたやわらかい布で水分をふき取ります。
- ガスケットの手入れ：よく乾いたやわらかい布に中性洗剤を含ませて汚れをふき取る
- バスケットの手入れ：石けん水で洗ったあと、水でよくすすぎ、乾いた布で水分をふき取る

■ 冷蔵庫の霜取り（冷蔵庫装着車）

庫内に 6mm 程度の厚さの霜が付いたら、霜取りを行ってください。

- 1 庫内の貯蔵品をすべて取り出す
- 2 電源を OFF にして、霜が溶けるまで待つ
- 3 庫内にたまった水はスポンジまたはフキンなどで取り除く

- 急いで霜を取るとき：約 50℃ 以下の温水（手が入られる程度の温度）を入れて霜を溶かします。

⚠ 警告**■ 車の故障や車両火災を防ぐために**

- 車内に水をかけたり液体をこぼしたりしないでください。電気部品などに水がかかると、故障や車両火災につながるおそれがあり危険です。
- 車内で可燃性のスプレー（洗剤・消臭剤・潤滑剤など）を使用する場合は、電気部品などにかからないようにしてください。故障や車両火災につながるおそれがあり危険です。
- SRS エアバッグの構成部品や配線などをめらさないでください。（→ P. 34）電気の不具合により、エアバッグが展開したり、正常に機能しなくなり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 内装の手入れをするときは（特にインストルメントパネル）

艶出しワックスや艶出しクリーナーを使用しないでください。インストルメントパネルがフロントウインドウガラスへ映り込み、運転者の視界をさまたげ思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 **注意****■ 清掃するとき使用する溶剤について**

- 変色・しみ・塗装はがれの原因になるため、次の溶剤は使用しないでください。
 - ・ シート以外の部分：ベンジン・ガソリンなどの有機溶剤や酸性またはアルカリ性の溶剤・染色剤・漂白剤
 - ・ シート部分：シンナー・ベンジン・アルコール・その他のアルカリ性や酸性の溶剤
- 艶出しワックスや艶出しクリーナーを使用しないでください。インストルメントパネルやその他内装の塗装のはがれ・溶解・変形の原因になるおそれがあります。

■ 床を清掃するときは（床洗い用水抜き穴非装着車）

水で洗わないでください。

オーディオ★やフロアカーペット下にある電気部品に水がかかると、車の故障の原因になったり、ボデーが錆びるおそれがあります。

■ フロントウインドウガラスの内側を掃除するときは（Toyota Safety Sense 装着車）

カメラセンサーのレンズに、ガラスクリーナーが付着しないようにしてください。

また、レンズにはふれないでください。（→ P. 157）

■ リヤウインドウガラスの内側を掃除するときは（リヤウインドウデフォグガー装着車）

- 熱線を損傷するおそれがあるため、ガラスクリーナーなどを使わず、熱線にそって水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふいでください。
- 熱線を引っかいたり、損傷させないように気を付けてください。

■ 冷蔵庫の手入れについて（冷蔵庫装着車）

- ブラシ・粉石けん・クレンザー・ベンジンなどは使用しないでください。冷蔵庫を傷付けたり、変色やしみの原因になります。
- 布に多量の水を含ませてふき取ると扉の内部に侵入して断熱効果が悪くなるおそれがあります。

■ 冷蔵庫の霜取りについて（冷蔵庫装着車）

- ナイフなどを使用して無理に霜を取らないでください。冷却器に傷が付き、冷蔵庫が損傷するおそれがあります。
- 約 50℃以上の温水を入れると内箱が変形するおそれがありますので、必ず約 50℃以下の温水を入れてください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

エンジン点検口

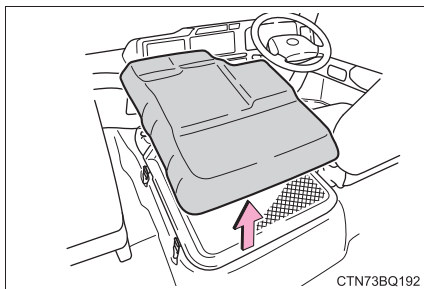
エンジンカバーをはずして、エンジンルームの点検などが行えます。

エンジン点検口の開け方

■ 前側点検口

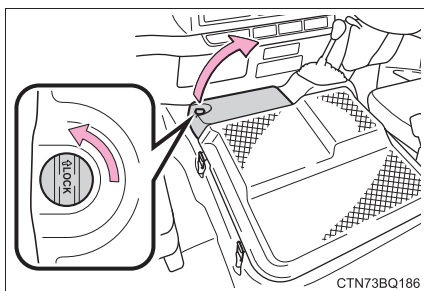
▶ 開けるとき

- 1 マット★をはずす



- 2 ノブを左にまわしてロックをはずし、エンジンカバーをはずす

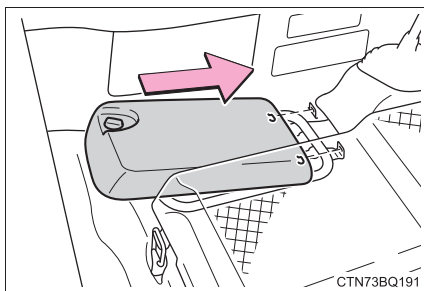
ノブがまわしにくいときは、カバーを押しながらノブをまわしてください。



▶ 閉めるとき

金具をフックにかけ、ノブを右にまわして確実に固定する

確実に固定されたことを確認してください。

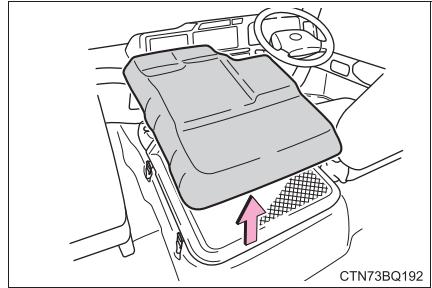


★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

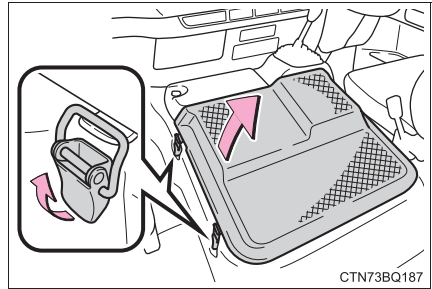
■ うしろ側点検口

▶ 開けるとき

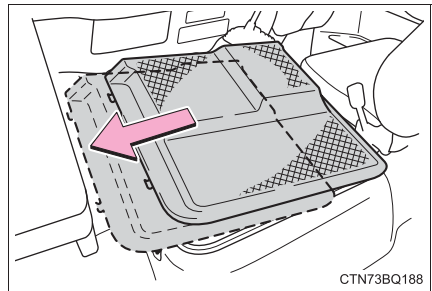
- 1 マット★をはずす



- 2 レバー（2ヶ所）を引いて、エンジンカバーを持ち上げる



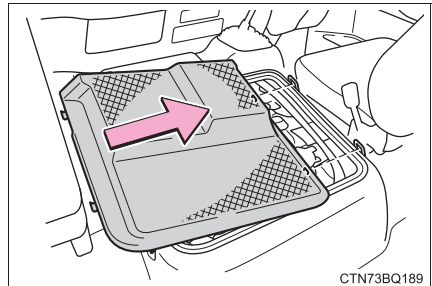
- 3 エンジンカバーを左に動かさず



▶ 閉めるとき

エンジンカバーの金具をフックにかかけ、レバー（2ヶ所）を押し確実に固定する

確実に固定されたことを確認してください。



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 **警告****■ 走行前の確認**

エンジンカバーがしっかりロックされていることを確認してください。
ロックせずに走行すると、走行中にカバーが突然動いて、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ エンジンカバーを開けるときは

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 走行中にエンジンカバーを開けない
- 平坦な場所でパーキングブレーキを確実にかけ、オートマチック車はシフトレバーをPに、マニュアル車はシフトレバーを1速[※]にする
- お子さまに操作させない

※ エンジンをつけたままエンジン点検口を開けると、または点検口を開けたあとエンジンの始動が必要な場合は、シフトレバーを必ずNにしてください。

■ エンジンルームを点検したあとは

エンジンルーム内に工具や布を置き忘れていないことを確認してください。
点検や清掃に使用した工具や布などをエンジンルーム内に置き忘れておくと、故障の原因になったり、また、エンジンルーム内は高温になるため車両火災につながるおそれがあり危険です。

■ エンジンカバーを閉めるときは

エンジンカバーを閉めるときは、手などを挟まないように注意してください。
重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

■ マルチインフォメーションディスプレイに AdBlue[®] に関する警告メッセージが表示されたとき

それぞれ、次のように対処してください。

警告メッセージ	対処方法
AdBlue 残量少	AdBlue [®] を補充してください。
AdBlue 残量少 補給してください※	ただちに AdBlue [®] を補充してください。 エンジンを停止させると、再始動できません。
不適切な AdBlue 検出※	AdBlue [®] の品質異常 速やかにトヨタ販売店で点検を受けてください。
不適切な AdBlue 検出 AdBlue を 交換してください※	AdBlue [®] の品質異常 速やかにトヨタ販売店で点検を受けてください。
不適切な AdBlue 検出 エンジン再始動不可 交換してください※	AdBlue [®] の品質異常 エンジンを停止させると、再始動できません。エ ンジンを停止せず、ただちにトヨタ販売店にご連 絡ください。
尿素 SCR システム異常※	尿素水噴射装置の故障 速やかにトヨタ販売店で点検を受けてください。
尿素 SCR システム異常 販売店で 点検してください※	尿素水噴射装置の故障 速やかにトヨタ販売店で点検を受けてください。

※ 警告メッセージに合わせてマスターウォーニングが点灯し、ブザーが鳴ります。

注意

■ AdBlue[®] の残量が少なくなったとき

AdBlue[®] の残量がなくなると、エンジンを始動できなくなります。
残量がなくなる前に AdBlue[®] を補充してください。

AdBlue[®] を補充するときは

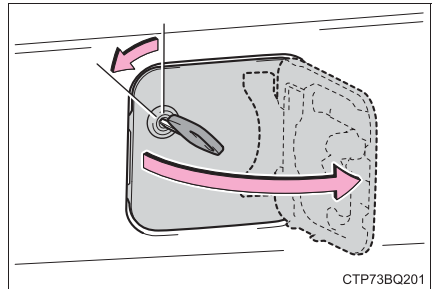
AdBlue[®] は AdBlue[®] 取り扱い給油所の補充装置で補充することができます。* また、市販の AdBlue[®] (ISO 22241-1 に準拠したもの) も使用することができます。次の手順で AdBlue[®] を補充してください。(AdBlue[®] タンク容量は 23.0 L です)

* トヨタ販売店でも補充することができます。

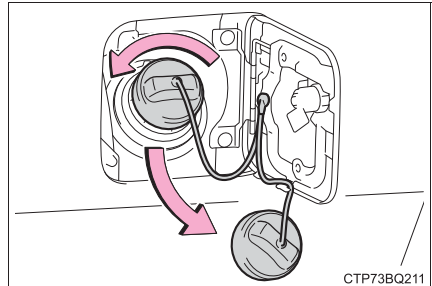
▶ AdBlue[®] 補充装置で補充するとき

1 平坦な場所に駐車してエンジンスイッチを “LOCK” にする

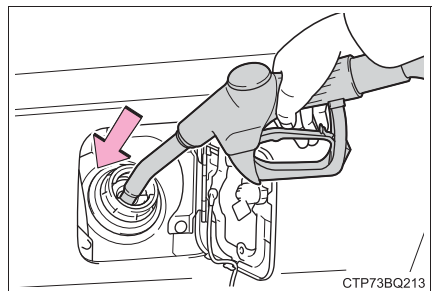
2 補給扉にキーを差し込み、反時計回りに回して解錠し、補給扉を開ける。



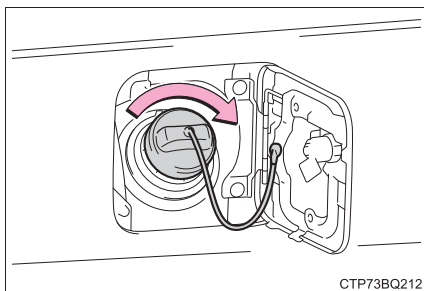
3 補給口のキャップを開け、キャップをハンガーにかける。



4 ノズルを挿入し AdBlue[®] を補充する

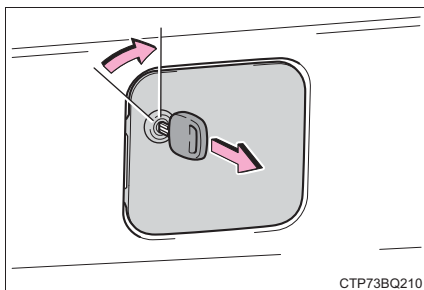


- 5 補給口のキャップを閉める
キャップが「カチッ」と鳴るまで閉めてください。



CTP73BQ212

- 6 補給扉を閉め、キーを時計回りに回して施錠し、キーを抜く。



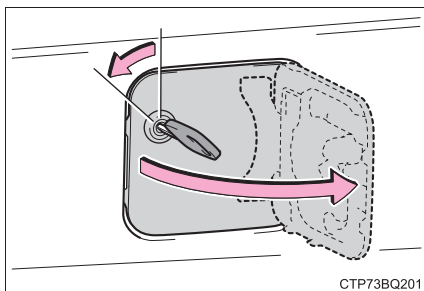
CTP73BQ210

- 7 エンジンが始動することを確認する。
警告灯・警告メッセージが消えたことを確認してください。

▶ 市販の AdBlue[®] を補充するとき

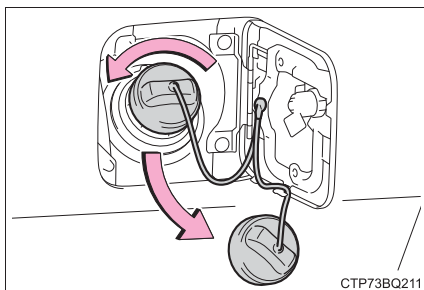
- 1 平坦な場所に駐車してエンジンスイッチを OFF にする。

- 2 補給扉にキーを差し込み、反時計回りに回して解錠し、補給扉を開ける。



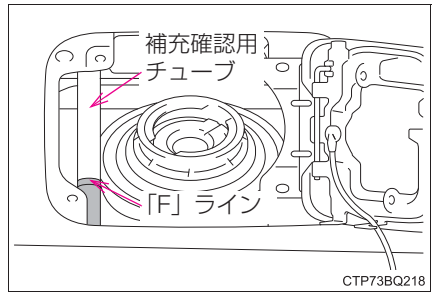
CTP73BQ211

- 3 補給口のキャップを開け、キャップをハンガーに掛ける。

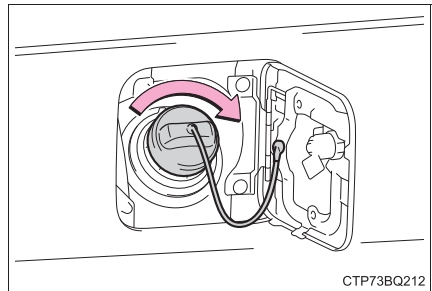


CTP73BQ211

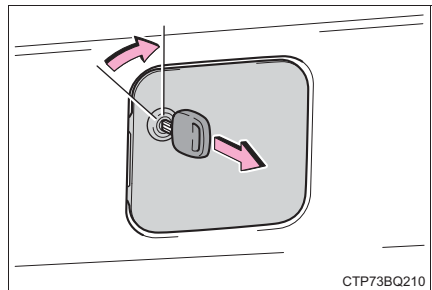
- 4 AdBlue[®] 補充の際は、補給口左側にある補充確認用チューブの「F」ラインを超えないように補充してください。



- 5 AdBlue[®] 補充後、補給口のキャップを閉める。
キャップが「カチッ」と鳴るまで閉めてください。



- 6 補給扉を閉め、キーを時計回りに回して施錠し、キーを抜く。



- 7 エンジンが始動することを確認する。
警告灯・警告メッセージが消えたことを確認してください。

 知識**■ AdBlue[®] の補充について**

AdBlue[®] (ISO 22241-1 に準拠したもの) を使用してください。

AdBlue[®] (アドブルー) はドイツ自動車工業会 (VDA) の登録商標です。

■ AdBlue[®] を補充するとき

- AdBlue[®] の残量がなくなってエンジンが始動できなくなってしまったときは、約 11.5L 以上の AdBlue[®] を補充することで、エンジンを始動することができます。
- AdBlue[®] の補充後は、エンジンが始動するまでの時間が通常よりも数秒、長くなる場合があります。

■ AdBlue[®] 残量計

AdBlue[®] 残量計 (→ P. 50) 内の AdBlue[®] マークは、エンジンスイッチを“ON” にすると青色で点灯します。

⚠ 注意

■ AdBlue[®] を補充するとき

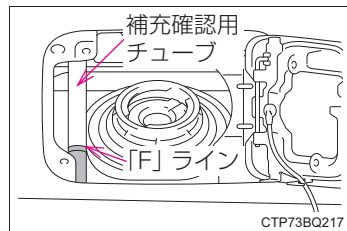
AdBlue[®] を補充するときは次のことをお守りください。お守りいただかないと車両の部品や塗装などの損傷につながるおそれがあります。

- AdBlue[®] 以外の尿素水を補充しない
- AdBlue[®] が車両の塗装部分に付着してしまった場合は、すぐに水で洗い流す

■ 補充装置で AdBlue[®] を補充するとき

AdBlue[®] タンクから AdBlue[®] があふれるのを防ぐため、次のことをお守りください。

- 補給口左側にある補充確認用チューブの「F」ラインを超えて補充しないでください。



- 継ぎ足し補充をしないでください。
- 補給口にノズルを確実に挿入してください。

■ AdBlue[®] の保管について

AdBlue[®] を保管するときは次のことをお守りください。お守りいただかないと車両の部品や塗装の損傷、また、AdBlue[®] の成分が変質し異臭の発生につながるおそれがあります。

- AdBlue[®] を車内に放置しない
- AdBlue[®] の容器を密閉し、直射日光の当たらない、換気の良い冷暗所に保管する

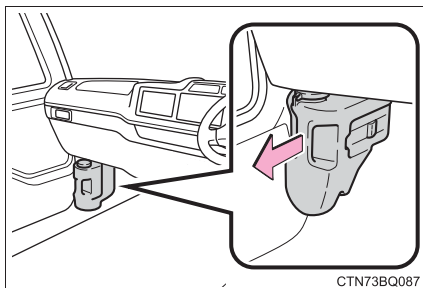
ウォッシャー液の補充

タンク側面から液量を確認し、不足しているときはウォッシャー液を補充する

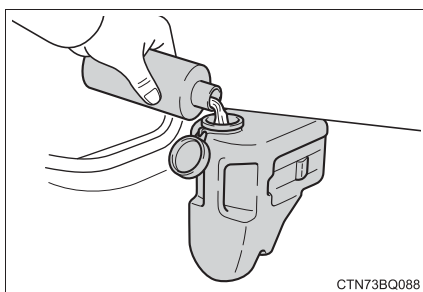
ウォッシャータンクの位置

▶ フロント用

- 1 レールに合わせて手前に引き出す



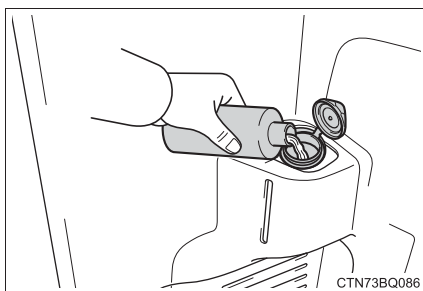
- 2 キャップを開けてウォッシャー液を補充する



▶ リヤ用★

キャップを開けてウォッシャー液を補充する

ラゲージルーム左側にあります



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 **注意****■ウォッシャー液について**

ウォッシャー液のかわりに、せっけん水やエンジン不凍液などを入れないでください。塗装にしみが付くことや、ポンプが故障してウォッシャー液が出なくなるおそれがあります。

■ウォッシャー液のうすめ方

必要に応じて水でうすめてください。水とウォッシャー液の割合は、ウォッシャー液の容器に表示してある凍結温度を参考にしてください。

タイヤについて

タイヤの点検は、法律で義務付けられています。日常点検として必ずタイヤを点検してください。

タイヤの摩耗を均等にし寿命をのばすために、タイヤローテーション(タイヤ位置交換)を5,000kmごとに行ってください。

タイヤの点検項目

タイヤは次の項目を点検してください。

点検方法は別冊「メンテナンスノート」を参照してください。

- タイヤ空気圧

空気圧の点検は、タイヤが冷えているときに行ってください。

- タイヤの亀裂・損傷の有無

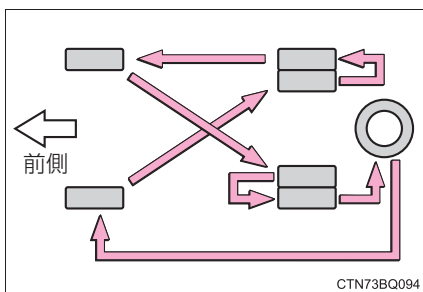
- タイヤの溝の深さ

- タイヤの異常摩耗(極端にタイヤの片側のみが摩耗していたり、摩耗程度が他のタイヤと著しく異なるなど)の有無

タイヤローテーションのしかた

図で示すようにタイヤのローテーションを行う

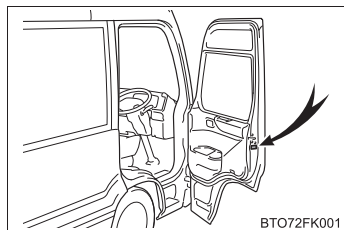
タイヤの摩耗状態を均一にし、寿命をのばすために、トヨタは定期点検ごとのタイヤローテーションをおすすめします。



 知識

■ タイヤ空気圧の数値

タイヤの指定空気圧は、運転席ドアに貼られているタイヤ空気圧ラベルで確認することができます。



■ タイヤローテーションをしたときは

約 50 ～ 100km 走行したあとに、再度ホイール取り付けナットおよびストップボルトを締め付け、ゆるみがないことを確認してください。

■ タイヤ関連の部品を交換するとき

タイヤ・ディスクホイール・ホイール取り付けナット・ストップボルトを交換するときは、トヨタ販売店にご相談ください。

■ アルミホイール装着車のタイヤローテーションについて

前後のホイールにそれぞれ専用の塗装が施されているため、前後のタイヤを入れかえてローテーションしないでください。

⚠ 警告

■ 点検・交換時の警告

必ず次のことをお守りください。

お守りいただかないと、駆動系部品の損傷や不安定な操縦特性により、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- タイヤはすべて同一メーカー・同一銘柄・同一トレッドパターンで、摩耗差のないタイヤを使用する
- メーカー指定サイズ以外のタイヤやホイールを使用しない
- ラジアルタイヤ・バイアスベルテッドタイヤ・バイアスプライタイヤを混在使用しない
- サマータイヤ・オールシーズンタイヤ・冬用タイヤを混在使用しない

 **警告****■異常があるタイヤの使用禁止**

異常があるタイヤをそのまま装着していると、走行時にハンドルをとられたり、異常な振動を感じる場合があります。また、次のような事態になり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- 破裂などの修理できない損傷を与える
- 車両が横すべりする
- 車両の本来の性能（燃費・車両の安定性・制動距離など）が発揮されない

■タイヤ交換時の注意

必ずナットのテーパー部を内側にして取り付けてください。（→ P. 356）
テーパー部を外側にして取り付けると、ホイールが破損しはずれてしまい、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■異常があるホイールの使用禁止

亀裂や変形などがあるホイールは使用しないでください。走行中にタイヤの空気が抜けて、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

 **注意****■走行中に空気もれが起こったら**

走行を続けしないでください。
タイヤまたはホイールが損傷することがあります。

■悪路走行に対する注意

段差や凹凸のある路上を走行するときは注意してください。
タイヤの空気が抜けて、タイヤのクッション作用が低下します。また、タイヤ・ホイール・車体などの部品も損傷するおそれがあります。

タイヤ空気圧について

タイヤの空気圧を適正に維持するために、タイヤの空気圧点検を月に1回以上実施してください。(→ P. 380)

知識

■ タイヤ空気圧が適正でない場合

適切に調整されていないタイヤ空気圧で走行すると、次のようなことが起こる場合があります。

- 燃費の悪化
- 乗り心地や操縦安定性の低下
- 摩耗によるタイヤ寿命の低下
- 安全性の低下

ひんぱんにタイヤ空気圧が低下する場合は、トヨタ販売店でタイヤの点検を受けてください。

■ タイヤ空気圧の点検のしかた

タイヤ空気圧の点検の際は、次のことをお守りください。

- タイヤが冷えているときに点検する
- タイヤ空気圧ゲージを必ず使用する
タイヤの外観だけでは空気圧が適正かどうか判断できません。
- 走行後はタイヤの発熱により空気圧が高くなります。異常ではありませんので減圧しないでください。
- 荷物を積んだり、多人数で乗車するときは荷重を不均等にかけないようにする

 **警告****■ タイヤの性能を発揮するために**

適正なタイヤ空気圧を維持してください。

タイヤ空気圧が適正に保たれていないと、次のようなことが起こるおそれがあり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 過度の摩耗
- 偏摩耗
- 操縦安定性の低下
- タイヤの過熱による破裂
- タイヤとホイールのあいだからの空気漏れ
- ホイールの変形、タイヤの損傷
- 走行時にタイヤが損傷する可能性の増大
(路上障害物、道路のつなぎ目や段差など)

 **注意****■ タイヤ空気圧の点検・調整をしたあとは**

タイヤのバルブキャップを確実に取り付けてください。

バルブキャップをはずしていると、ほこりや水分がバルブに入り空気が漏れ、タイヤの空気圧が低下するおそれがあります。

エアコンフィルターの清掃

ヒーター・クーラーを快適にお使いいただくために、エアコンフィルターを定期的に清掃してください。

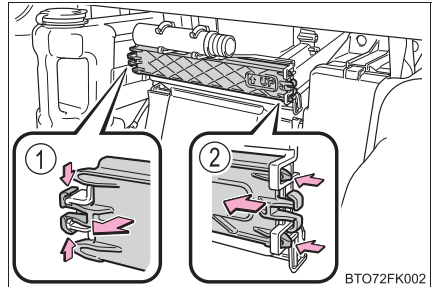
清掃のしかた

▶ ヒーター用

1 エンジンスイッチを “ LOCK ” にする

2 フィルターカバーを取りはずす

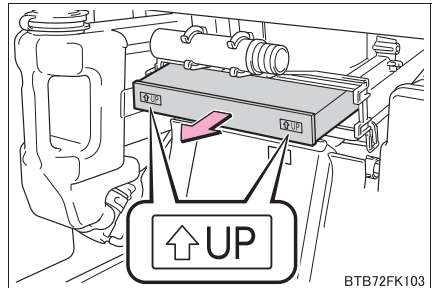
- ① フィルターカバーの固定を解除する
- ② フィルターカバーを矢印の方向にずらし、ツメからフィルターカバーを抜く



3 エアコンフィルターを取りはずして清掃する

水洗いするか、裏面からエアブローでほこりを取り除きます。

仕様によりフィルターの形状が異なります。



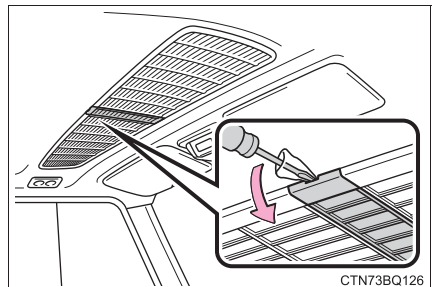
4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付け
「↑ UP」マークの矢印が上を向くように取り付けます。(寒冷地仕様車)

▶ クーラー用

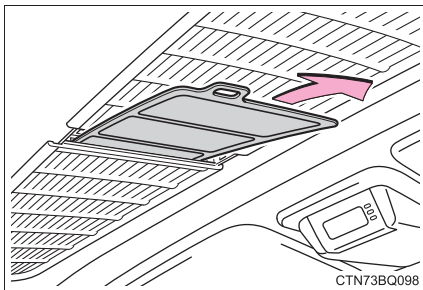
1 エンジンスイッチを “ LOCK ” にする

2 カバーをははずす

傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端に布などを巻いて保護してください



- 3 エアコンフィルターの端をもって取りはずす



- 4 水をかけてフィルターの汚れを洗い落とし、しっかり乾かす
- 5 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

知識

■ フィルターの清掃・交換について

ヒーター・クーラーを快適にお使いいただくために、フィルターを定期的に清掃、または交換してください。

● 清掃：10,000km [5,000km[※]] ごと

● 交換：30,000km ごと

※ 大都市や寒冷地など、交通量や粉じんの多い地区

■ ヒーター・クーラーの風量が減少したときは

フィルターの目づまりが考えられますので、フィルターを清掃してください。

⚠ 注意

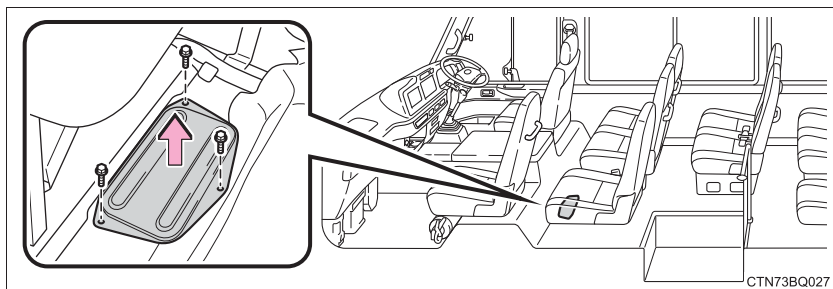
■ ヒーター・クーラーを使用するときの注意

- フィルターを装着せずにヒーター・クーラーを使用すると、故障の原因になることがあります。必ずフィルターを装着してください。
- フィルターは水洗いするか、エアブローを使って清掃してください。ブラシなどでこすると、フィルターが損傷するおそれがあります。

ヒューズの点検・交換

ランプがつかないときや電気系統の装置が働かないときは、ヒューズ切れが考えられます。ヒューズの点検を行ってください。

- 1 エンジンスイッチを “ LOCK ” にする
- 2 ヒューズボックスを開ける
 - ▶ フロアヒューズボックス A (助手席うしろ床面)

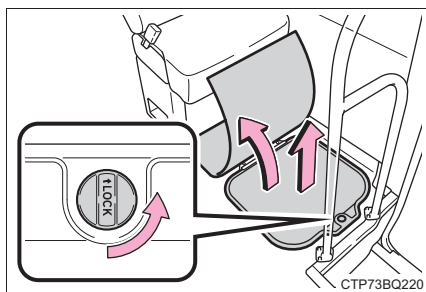


ネジ (3本) をはずし、カバーをはずす

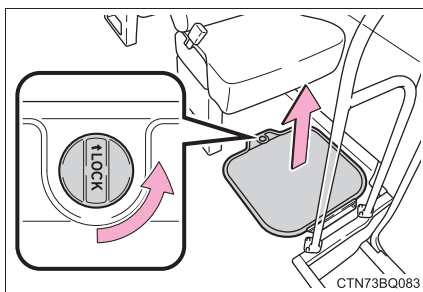
- ▶ フロアヒューズボックス B (センタードア後部)

- ① フロアカーペットをめくり (20、21 人乗りのみ)、ノブをまわして床面のカバーをはずす
ノブがまわしにくいときは、カバーを押しながらノブをまわしてください。

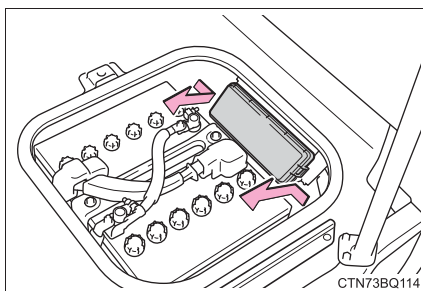
20、21 人乗り：



20、21 人乗りを除く：

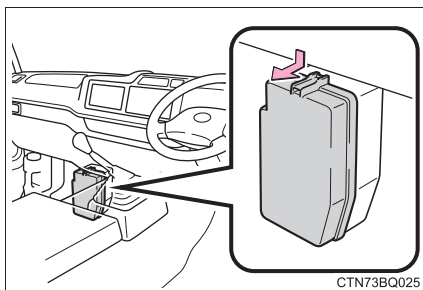


- ② ヒューズボックスカバーのツメを押しながらはずす



▶ 助手席足元

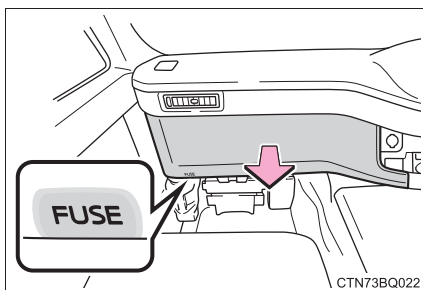
ツメを押しながら、カバーを手前に引く



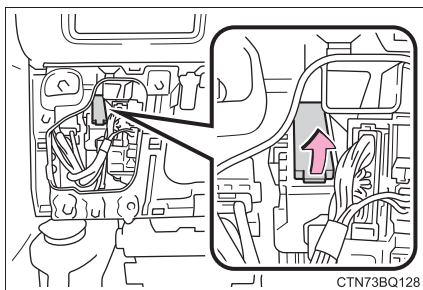
▶ 助手席インパネ内

- ① インパネカバーをはずす

インパネカバー左下の「FUSE」の下を持ち、カバーを手前に引いてはずします。



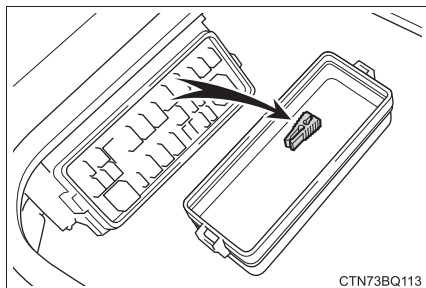
- ② ヒューズボックスカバーをはずす



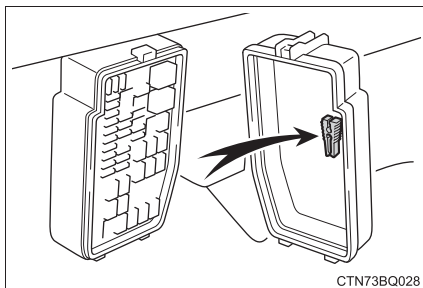
3 ヒューズはずしでヒューズを引き抜く

ヒューズはずしは、フロアヒューズボックス B（センタードア後部）・助手席足元ヒューズボックスのカバーに付いています。

▶ フロアヒューズボックス B
（センタードア後部）



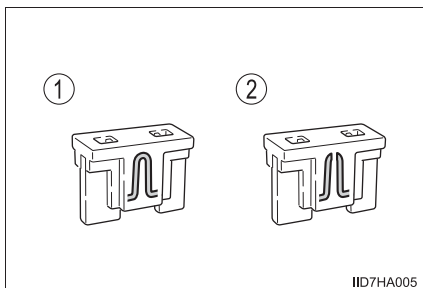
▶ 助手席足元



4 ヒューズが切れていないか点検する

- ① 正常
- ② ヒューズ切れ

ヒューズボックスの表示に従い、規定容量のヒューズに交換します。



 知識

■ ヒューズを交換したあと

- 交換してもランプ類が点灯しないときは、電球を交換してください。
(→ P. 305)
- 交換しても再度ヒューズが切れる場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

■ バッテリーからの回路に過剰な負荷がかかると

配線が損傷を受ける前にヒューズが切れるように設計されています。

 警告

■ 車の故障や、車両火災を防ぐために

次のことをお守りください。

お守りいただかないと、車の故障や火災、けがをするおそれがあります。

- 規定容量以外のヒューズ、またはヒューズ以外のものを使用しないでください。
- 必ずトヨタ純正ヒューズか同等品を使用してください。
- ヒューズやヒューズボックスを改造しないでください。

 注意

■ ヒューズを交換する前に

ヒューズが切れた原因が電気の過剰負荷だと判明したときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

電球（バルブ）の交換

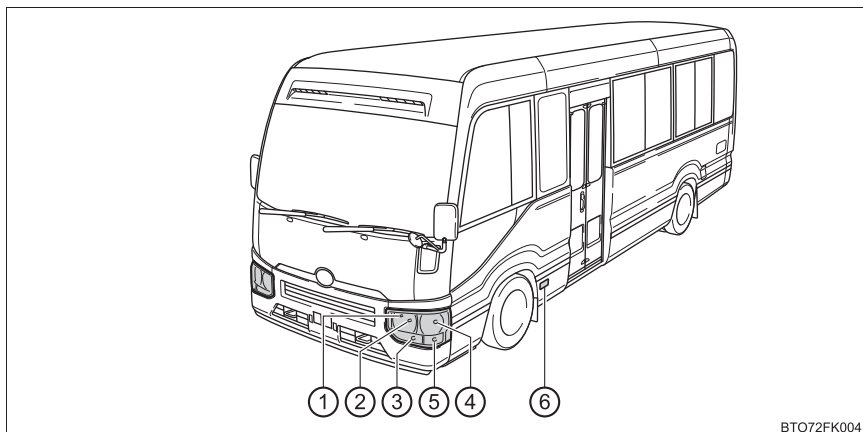
次に記載する電球は、ご自身で交換できます。電球交換の難易度は電球によって異なります。部品が破損するおそれがあるので、トヨタ販売店で交換することをおすすめします。

電球の用意

切れた電球の W（ワット）数を確認してください。（→ P. 381）

バルブ位置

■ フロント

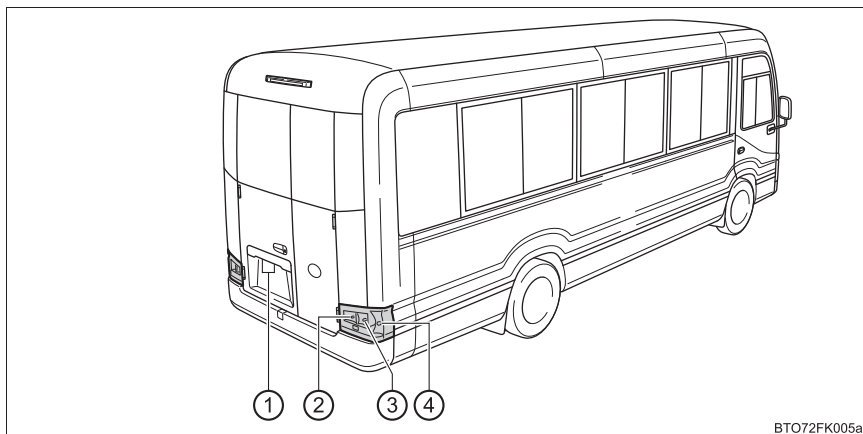


BT072FK004

- | | |
|-----------------------|------------------|
| ① 車幅灯 | ④ ヘッドランプ（ロービーム） |
| ② ヘッドランプ（ハイビーム） | ⑤ フロントフォグランプ |
| ③ フロント方向指示灯／
非常点滅灯 | ⑥ サイド方向指示灯／非常点滅灯 |

■ リヤ

▶ 観音扉ドア



BTO72FK005a

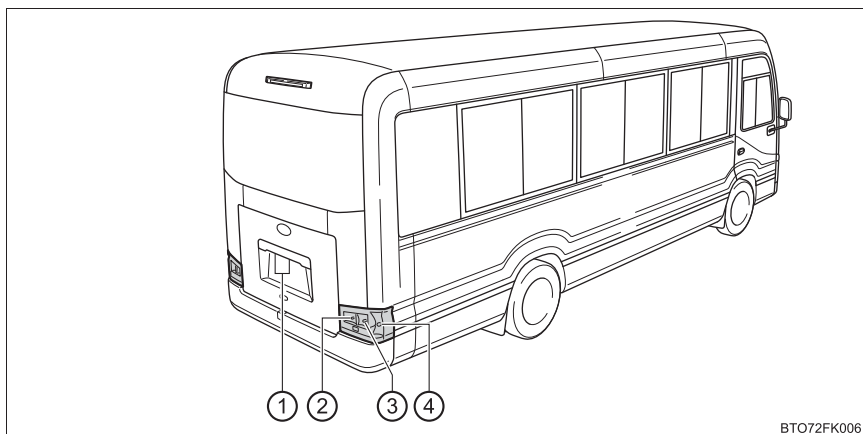
① 番号灯

③ リヤ方向指示灯／非常点滅灯

② 後退灯

④ 制動灯／尾灯

▶ トランク



BTO72FK006

① 番号灯

③ リヤ方向指示灯／非常点滅灯

② 後退灯

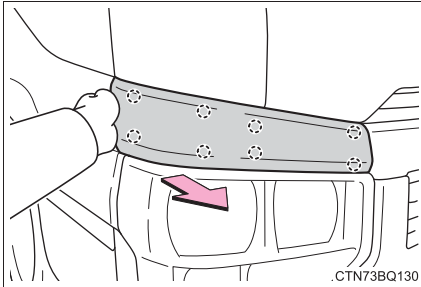
④ 制動灯／尾灯

電球交換のしかた

■ ヘッドランプ (ハイビーム)

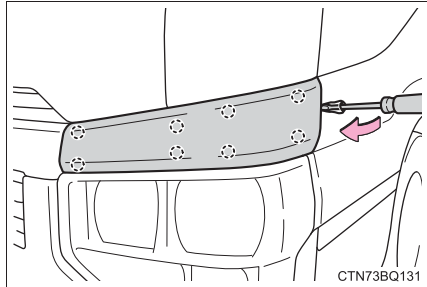
1 ランプ上部のカバーをはずす

▶ 運転席側



カバーと運転席ドアのすき間に手をかけ、カバーを手前に引いて取りはずす

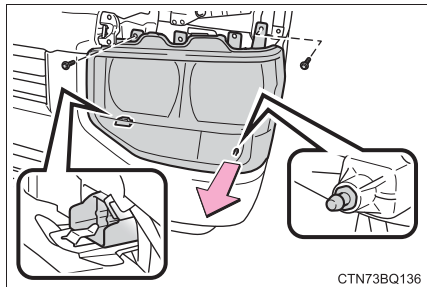
▶ 助手席側



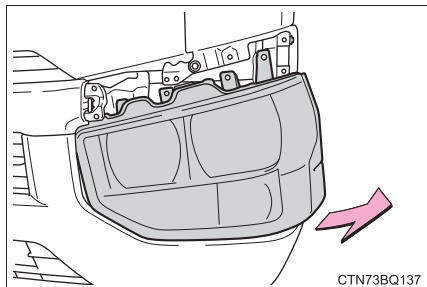
マイナスドライバーをカバーのすき間に入れ、マイナスドライバーを手前に引いてカバーを取りはずす

傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端にテープなどを巻いて保護してください。

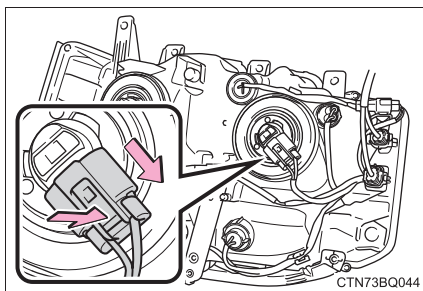
2 ボルト (2本) をはずし、ランプ本体を手前に引き出す



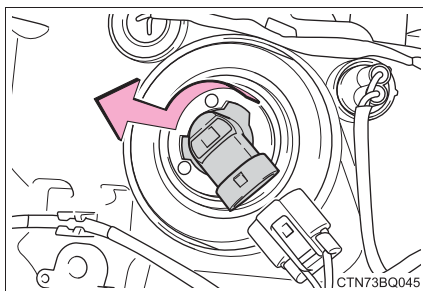
3 ランプ本体を矢印の方向へ動かしながら取りはずす



- 4 ツメを押し、コネクターを取りはずす

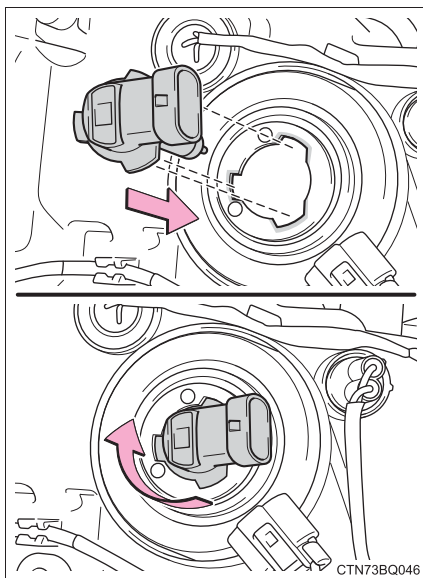


- 5 電球をまわして取りはずす



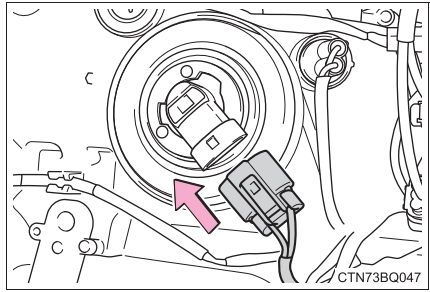
- 6 電球を交換し取り付ける

取付け部と電球のツメ（3ヶ所）を合わせて挿し込み、右にまわして固定します。



7 コネクターを取り付ける

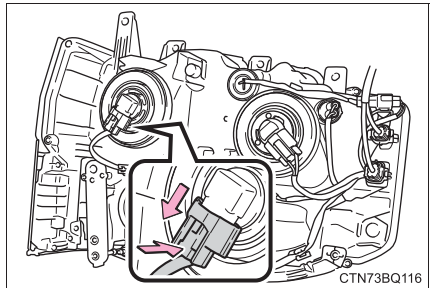
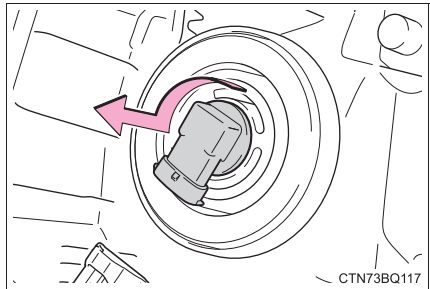
コネクターを軽くゆさぶってぐらつきがないことを確認し、いったん交換したヘッドランプ（ハイビーム）を点灯させ、ランプの取り付け部からランプの光がもれていないことを目視確認してください

**8** 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

ランプ本体の固定部が、確実に取りついていることを確認してからボルトを取り付けてください。

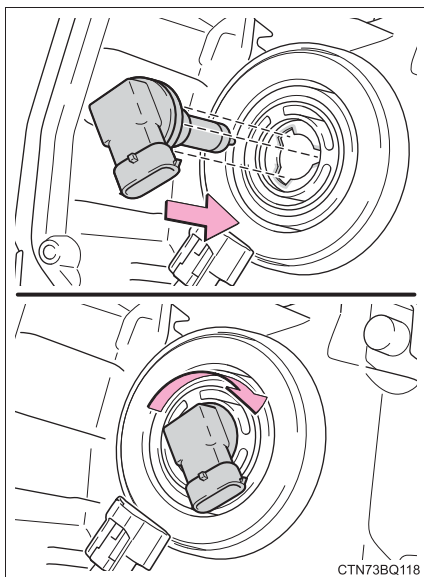
■ ヘッドランプ（ロービーム）**1** ランプ本体を取りはずす

ランプ本体の取りはずしかたは、ヘッドランプ（ハイビーム）の交換手順**1**～**3**をお読みください。（→P. 307）

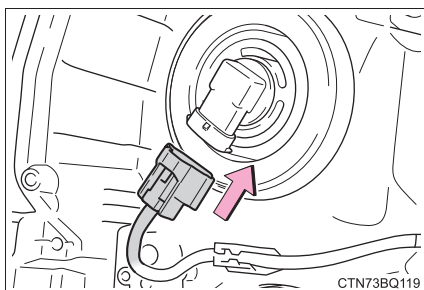
2 ツメを押し、コネクターを取りはずす**3** 電球をまわして取りはずす

4 電球を交換し取り付ける

取付け部と電球のツメ（3ヶ所）を合わせて挿し込み、右にまわして固定します。

**5** コネクターを取り付ける

コネクターを軽くゆさぶってぐらつきがないことを確認し、いったん交換したヘッドランプ（ロービーム）を点灯させ、ランプの取り付け部からランプの光がもれていないことを目視確認してください

**6** 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

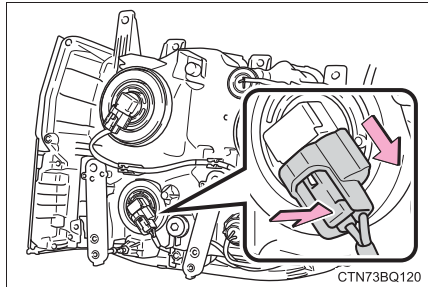
ランプ本体の固定部が、確実に取りついていることを確認してからボルトを取り付けてください。

■ フロントフォグランプ

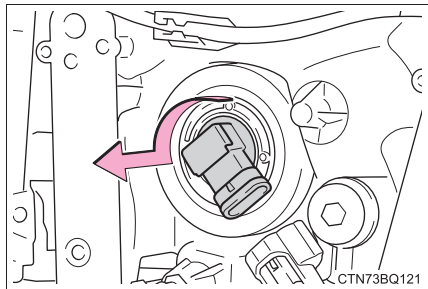
1 ランプ本体を取りはずす

ランプ本体の取りはずしかたは、ヘッドランプ（ハイビーム）の交換手順 **1**～**3**をお読みください。（→ P. 307）

2 ツメを押し、コネクターを取りはずす

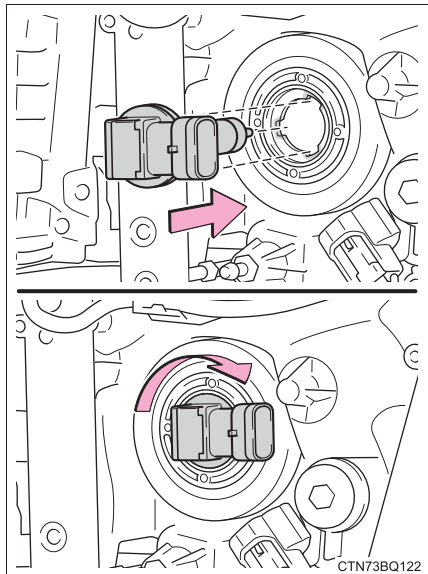


3 電球をまわして取りはずす



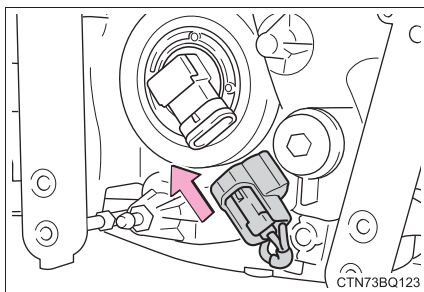
4 電球を交換し取り付ける

取付け部と電球のツメ（3ヶ所）を合わせて挿し込み、右にまわして固定します。



5 コネクターを取り付ける

コネクターを軽くゆさぶってぐらつきがないことを確認し、いったん交換したフロントフォグランプを点灯させ、ランプの取り付け部からランプの光がもれていないことを目視確認してください

**6** 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

ランプ本体の固定部が、確実に取りついていることを確認してからボルトを取り付けてください。

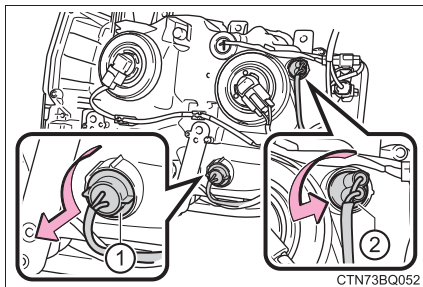
■ 車幅灯・フロント方向指示灯／非常点滅灯

1 ランプ本体を取りはずす

ランプ本体の取りはずしかたは、ヘッドランプ（ハイビーム）の交換手順 **1**～**3**をお読みください。（→ P. 307）

2 ソケットをまわして取りはずす

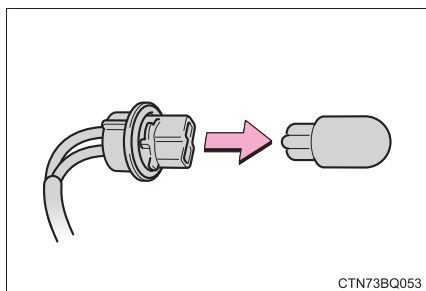
- ① フロント方向指示灯／非常点滅灯
- ② 車幅灯



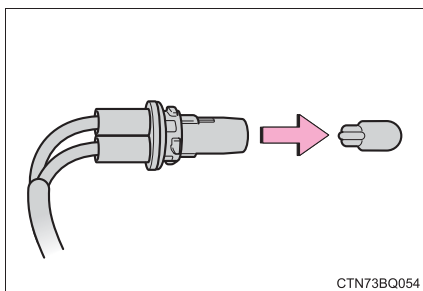
CTN73BQ052

3 電球を取りはずす

- ▶ フロント方向指示灯／非常点滅灯
- ▶ 車幅灯



CTN73BQ053



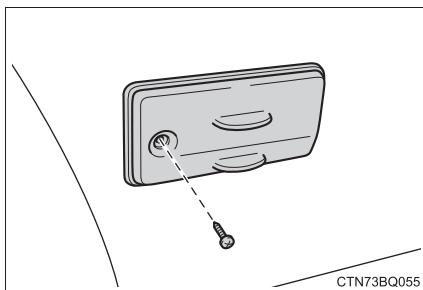
CTN73BQ054

4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

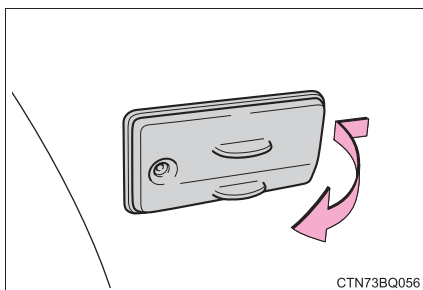
ランプ本体の固定部が、確実に取りついていることを確認してからボルトを取り付けてください。

■ サイド方向指示灯／非常点滅灯

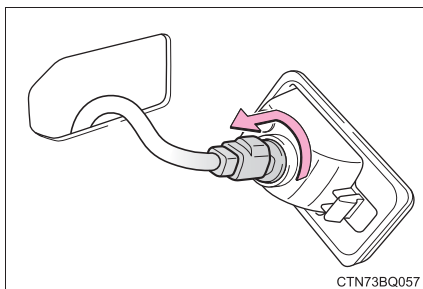
- 1 ネジ（1本）を取りはずす



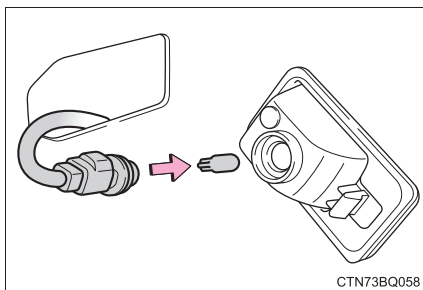
- 2 ランプ本体を車両前側に押し
ながら取りはずす



- 3 ソケットをまわして取りはずす



- 4 電球を取りはずす



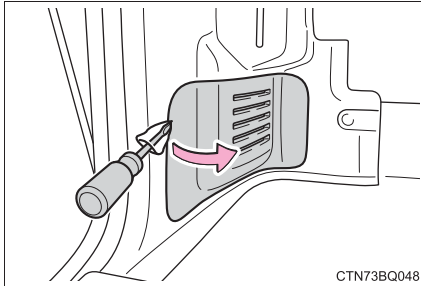
- 5 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

■ 後退灯・制動灯／尾灯・リヤ方向指示灯／非常点滅灯

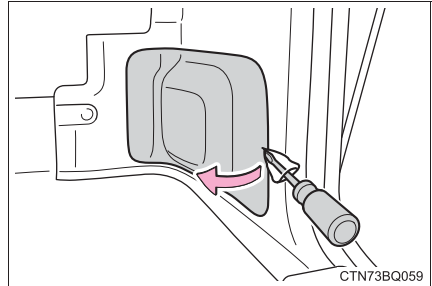
1 トランクまたは観音扉ドアを開けて、カバーを取りはずす

マイナスドライバーなどをカバーの切り欠きに挿し込み取りはずします。傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端にテープなどを巻いて保護してください。

▶ 助手席側

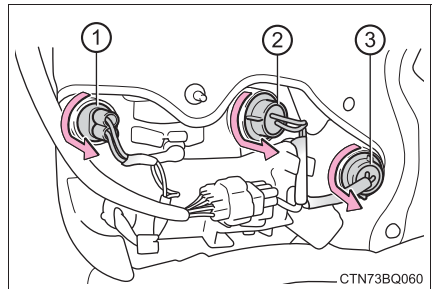


▶ 運転席側



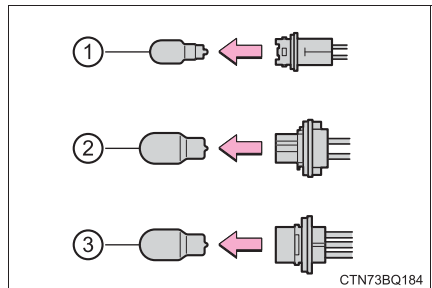
2 ソケットをまわして取りはずす

- ① 後退灯
- ② リヤ方向指示灯／非常点滅灯
- ③ 制動灯／尾灯



3 電球を取りはずす

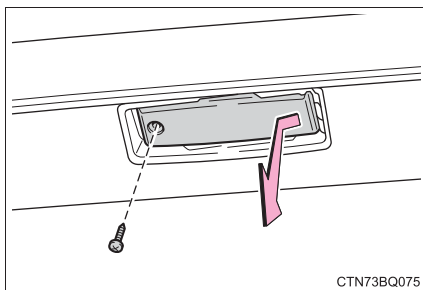
- ① 後退灯
- ② リヤ方向指示灯／非常点滅灯
- ③ 制動灯／尾灯



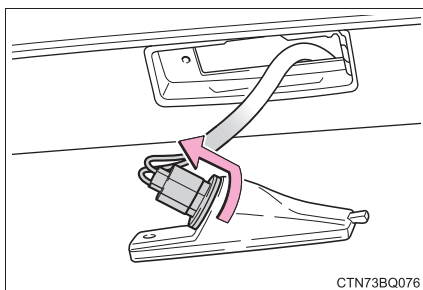
4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

■ 番号灯

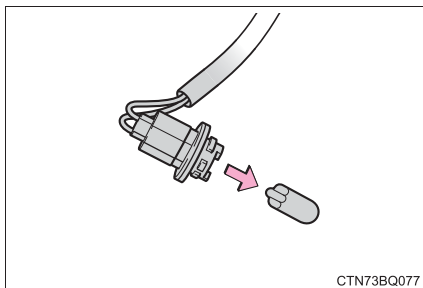
- 1 交換する側のネジ（1本）をは
ずし、ランプ本体を引き出す



- 2 ソケットを取りはずす



- 3 電球を取りはずす



- 4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける
ランプ本体のツメが確実にかかっていることを確認してください。

■ 次の電球を交換するには

次のランプが切れたときは、トヨタ販売店で交換してください。

- ハイマウントストップランプ
- リヤフォグランプ★

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 知識**■ LED ランプについて**

ハイマウントストップランプ・リヤフォグランプ★は、数個の LED で構成されています。もし、LED がひとつでも点灯しないときは、トヨタ販売店で交換してください。

■ レンズ内の水滴と曇り

レンズ内の一時的な曇りは、機能上問題ありません。ただし、次のようなときは、トヨタ販売店にご相談ください。

- レンズ内側に大粒の水滴が付いている
- ランプ内に水がたまっている

■ ヘッドランプ本体の固定をはずすときは

電球を交換したあとは、トヨタ販売店でヘッドランプの光軸の点検を受けてください。

■ 電球の交換について

電球の交換作業をするときに、部品などの破損が心配な方は、トヨタ販売店にご相談ください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 **警告****■電球を交換するときは**

- ランプは消灯してください。消灯直後は高温になっているため、交換しないでください。やけどをすることがあります。
- 運転席側ヘッドランプ上部のカバーを取りはずすときは、運転席ドアを開けないでください。カバーとドアのあいだに指を挟み、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 電球のガラス部を素手でふれないでください。
やむを得ずガラス部を持つ場合は、電球に油脂や水分を付着させないために、乾いた清潔な布などを介して持ってください。
また、電球を傷付けたり、落下させたりすると球切れや破裂することがあります。
- 電球や電球を固定するための部品はしっかり取り付けてください。
取り付けが不十分な場合、発熱や発火、またはヘッドランプ内部への浸水による故障や、レンズ内に曇りが発生することがあります。
- 電球・ソケット・電気回路・および構成部品を、修理または分解しないでください。感電により、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

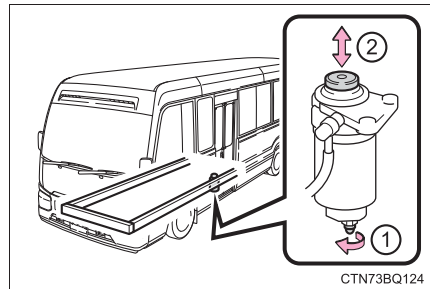
■お車の故障や火災を防ぐために

電球が正しい位置にしっかりと取り付けられていることを確認してください。

燃料・水分離器の排水

マルチインフォメーションディスプレイに「燃料フィルタの水抜きを実施ください」が表示されたときは、速やかに排水してください。排水作業が困難な場合は、トヨタ販売店で排水することをおすすめします。

- 1 エンジンを停止する
- 2 軽油が飛散しないように排水栓の下に受け皿などを置く
- 3 図のようにポンプを操作し、排水する
 - ① 排出栓を2回転ほどゆるめる
排水栓は、ゆるめすぎないようにしてください。
 - ② ポンプを押し、水を排出する
コップ半分くらいの水を排出します。
- 4 排水処理が終わったら、排出栓を確実に締め付ける
排出栓の締め付けは、手で行ってください。
- 5 ポンプが抵抗を感じるようになるまで数回押す



万一の場合には

8

8-1. まず初めに

故障したときは.....	322
非常点滅灯 (ハザードランプ)	323
発炎筒	324
消火器	326
車両を緊急停止するには	328
幼児車では	330

8-2. 緊急時の対処法

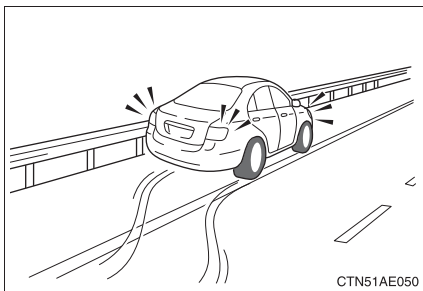
けん引について.....	332
警告灯がついたときは	337
警告メッセージが 表示されたときは	342
パンクしたときは.....	346
エンジンが かからないときは	362
バッテリーが あがったときは	363
オーバーヒートした ときは.....	366
スタックしたときは.....	369
エンストで始動できなく なったときは.....	371
電動格納式補助ステップが 格納できなくなった ときは.....	372

故障したときは

故障のときはすみやかに次の指示に従ってください。

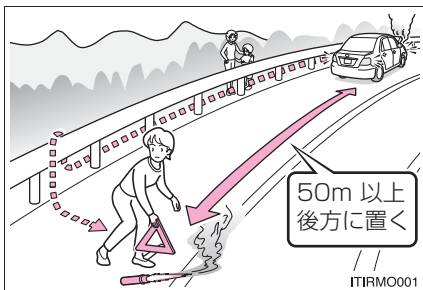
非常点滅灯（→ P. 323）を点滅させながら、車を路肩に寄せ停車します。

非常点滅灯は、故障などでやむを得ず路上駐車する場合、他車に知らせるため使用します。



高速道路や自動車専用道路では、次のことに従う

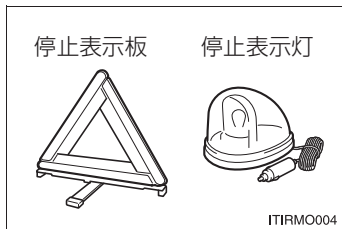
- 同乗者を避難させる
- 車両の 50m 以上後方に発炎筒（→ P. 324）と停止表示板を置くか、停止表示灯を使用する
 - ・ 見通しが悪い場合はさらに後方に置いてください。
 - ・ 発炎筒は、燃料もれの際やトンネル内では使用しないでください。
- その後、ガードレールの外側などに避難する



知識

■ 停止表示板・停止表示灯について

- 高速道路や自動車専用道路でやむを得ず駐停車する場合は、停止表示板または停止表示灯の表示が、法律で義務付けられています。
- 停止表示板・停止表示灯のご購入については、トヨタ販売店にお問い合わせください。

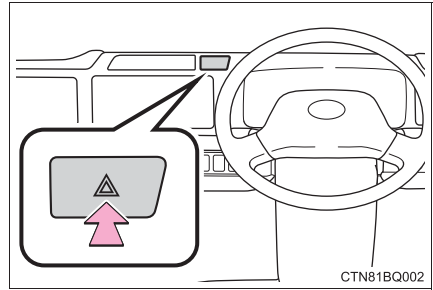


非常点滅灯（ハザードランプ）

故障などでやむを得ず路上駐車する場合、他車に知らせるために使用してください。

スイッチを押す

すべての方向指示灯が点滅します。
もう一度押すと消灯します。



知識

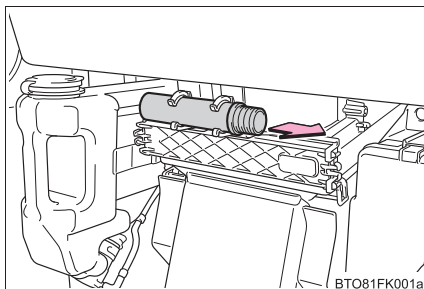
■非常点滅灯について

エンジン停止中に、非常点滅灯を長時間使用すると、バッテリーがあがるおそれがあります。

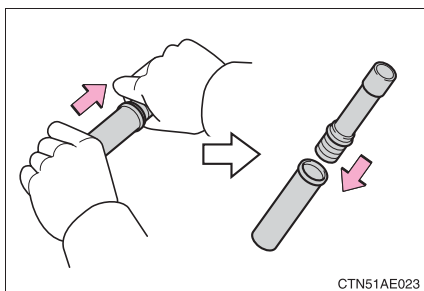
発炎筒

高速道路や踏切などでの故障・事故時に非常信号用として使用します。
 (トンネル内や可燃物の近くでは使用しないでください)
 発炎時間は約5分です。非常点滅灯と併用してください。

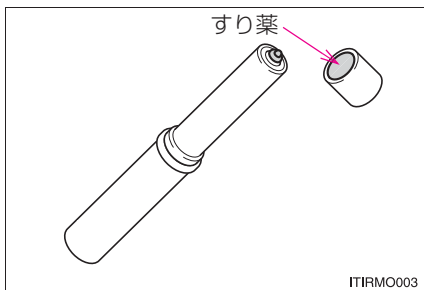
- 1 助手席足元の発炎筒を取り出す



- 2 本体をまわしながら抜き、本体を逆さにして挿し込む



- 3 先端のフタを取り、すり薬で発炎筒の先端をこすり、着火させる
 必ず車外で使用してください。
 着火させる際は、筒先を顔や体に向けてください。



知識

■ 発炎筒の有効期限

本体に表示してある有効期限が切れる前に、トヨタ販売店でお求めください。有効期限が切れると、着火しなかったり、炎が小さくなる場合があります。

 **警告****■ 発炎筒を使用してはいけない場所**

次の場所では、発炎筒を使用しないでください。
煙で視界が悪くなったり、引火するおそれがあるため危険です。

- トンネル内
- ガソリンなど可燃物の近く

■ 発炎筒の取り扱いについて

次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

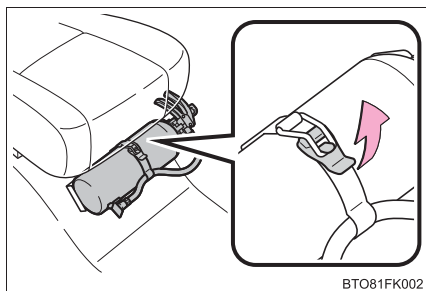
- 使用中は、発炎筒を顔や体に向けたり、近付けたりしない
- 発炎筒は、お子さまにさわらせない

消火器★

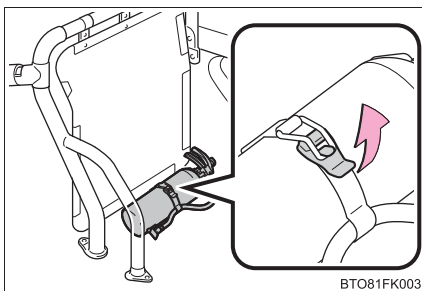
使用方法については、消火器本体に記載されている説明をよく読んで万
一に備えてください。

取り出し方

▶ バス（幼児車を除く）



▶ バス（幼児車）



レバーを引いて、金具をフックからはずす

格納のしかた

消火器のレバーをブラケットの穴に挿し込み、ベルトのフックをかけて
確実に固定する

知識

■有効期限について

消火器には有効期限があります。有効期限が切れる前に新品と交換してください。

⚠警告

■消火器の取り扱いについて

消火器は必ず所定の格納位置に格納してください。固定しないままフロアなど
に置いておくと、走行中や急ブレーキをかけたときなどに飛び出し、思わぬ事
故につながるおそれがあり危険です。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

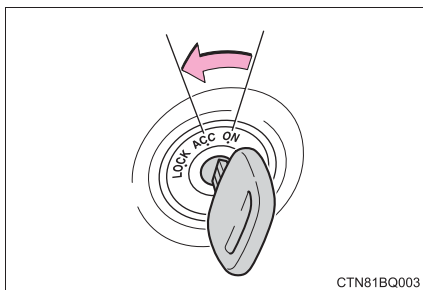
 **注意****■ 注意事項について**

消火器本体のラベルに記載されている注意事項を遵守し、正しくご使用ください。

車両を緊急停止するには

万一、車が止まらなくなったときの非常時のみ、次の手順で車両を停止させてください。

- 1 ブレーキペダルを両足でしっかりと踏み続ける
ブレーキペダルをくり返し踏まないでください。通常より強い力が必要となり、制動距離も長くなります。
- 2 シフトレバーを N に入れる
▶ シフトレバーが N に入った場合
- 3 減速後、車を安全な道路脇に停める
- 4 エンジンを停止する
▶ シフトレバーが N に入らない場合
- 3 ブレーキペダルを両足で踏み続け、可能な限り減速させる
- 4 エンジンスイッチを “ ACC ”
にして、エンジンを停止する



- 5 車を安全な道路脇に停める

 **警告****■ 走行中にやむを得ずエンジンを切るときは**

- ブレーキの効きが悪くなると共にハンドルが重くなるため、車のコントロールがしにくくなり危険です。エンジンを停止する前に、十分に減速するようにしてください。
- キーを抜くとハンドルがロックされるため、キーは絶対に抜かないでください。

幼児車では

非常ドア

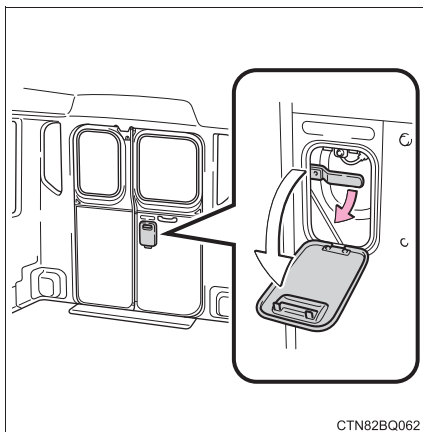
万一の場合は非常ドアを使用して、車内および車外へ出入りすることができます。

観音扉ドアの操作については、P. 85 をお読みください

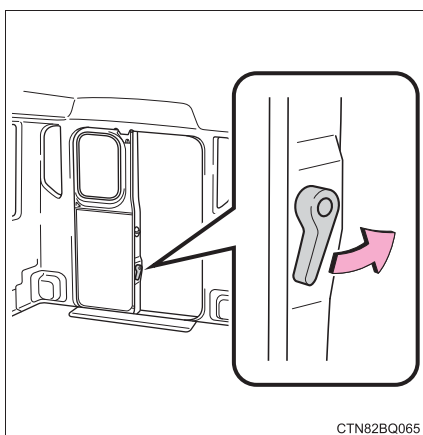
■ 車内からの開閉

- 1 カバーを手前に引いてはずし、レバーを下に動かし、助手席側ドアを開ける

エンジンスイッチが“ON” のとき、ブザーが鳴り非常ドア開放警告灯が点灯します。



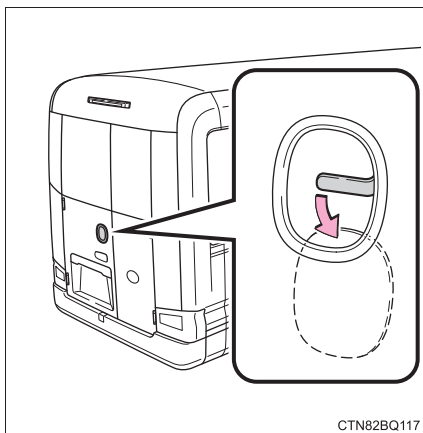
- 2 レバーを外側に動かし、運転席側ドアを開ける



■ 車外からの開閉

透明プラスチックの板をはずし、レバーを下に動かし、助手席側ドアを開ける

エンジンスイッチが“ON”のとき、ブザーが鳴り非常ドア開放警告灯が点灯します。



▲ 警告

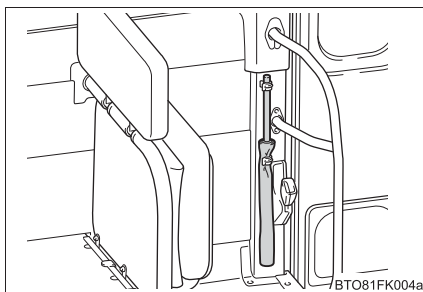
- お子さまを非常ドアから乗り降りさせるときは、必ず保護者の人が付き添ってください。乗り降りする位置が高いため、足を踏みはずし、けがをされるおそれがあります。
- 観音扉ドアの操作にあたって：→ P. 89

赤旗

緊急時や交通量が多い場所での幼児の乗り降りに使用します。

■ 搭載場所

センタードアのうしろ側



けん引について

けん引は、できるだけトヨタ販売店または専門業者にご依頼ください。
その場合は、レッカー車または、車両運搬車を使用することをおすすめします。

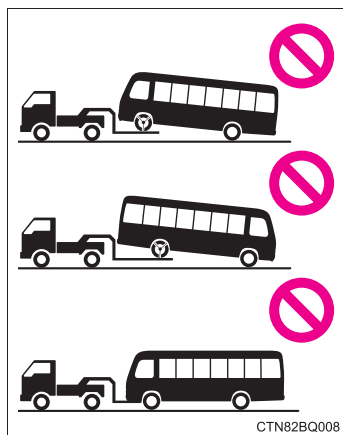
やむを得ず他車にロープでけん引してもらう場合は、車両積載車までの移動など、できるだけ短距離にとどめてください。

警告

次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ レッカー車でけん引するとき

必ず4輪とも持ち上げた状態で運搬してください。タイヤが地面に着いた状態でけん引すると、駆動系部品が破損したり、車の向きがかわり事故につながったりするおそれがあります。



■ 他車にけん引してもらうときの運転について

- けん引フックやロープに過剰な負荷をかける急発進などを避けてください。けん引フックやロープが破損し、その破片が周囲の人などにあたり、重大な傷害を与えるおそれがあります。
- エンジンスイッチを“LOCK”にしないでください。ハンドルがロックされ、ハンドル操作ができなくなるおそれがあります。

⚠ 注意

■ 車両の損傷を防ぐために

- 他車にけん引してもらうときは次のことを必ずお守りください。
 - ・ ワイヤロープは使用しない
 - ・ 速度 30km/h 以下、距離 80km 以内でけん引する
 - ・ 前進方向でけん引する
 - ・ サスペンション部などにロープをかけない
- この車両で他車やボート（トレーラー）などをけん引しないでください。

■ 長い下り坂でけん引するときは

レッカー車で 6 輪とも持ち上げた状態でけん引してください。レッカー車でけん引しないと、ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

■ 輸送用フックについて

輸送用フックで他車に引っ張り出してもらったり、他車をけん引したりしないでください。装置の変形や車両の損傷などにつながるおそれがあります。

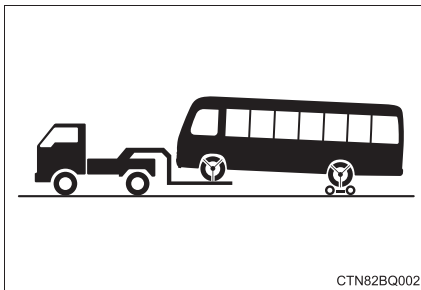
けん引の前に販売店への連絡が必要な状況

次の場合は、駆動系の故障が考えられるため、トヨタ販売店または専門業者へご連絡ください。

- エンジンがかかるが車が動かない
- 異常な音がする

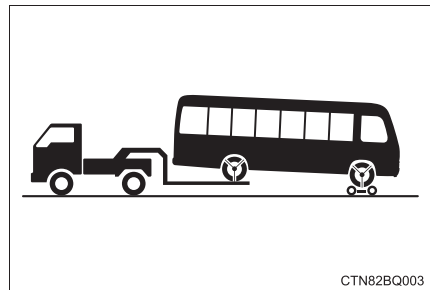
レッカー車でけん引するとき

▶ 前向きにけん引するときは



台車を使用して後輪を持ち上げる

▶ うしろ向きにけん引するときは

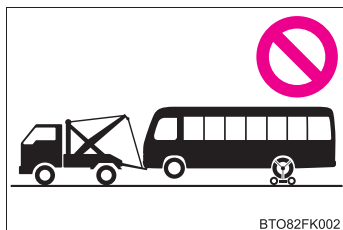


台車を使用して前輪を持ち上げる

 **注意**

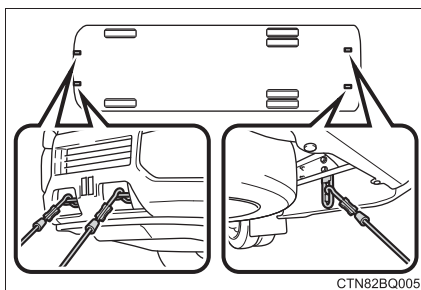
■ レッカー車でけん引するとき

車両の損傷を防ぐために図のようなレッカー車ではけん引しないでください。

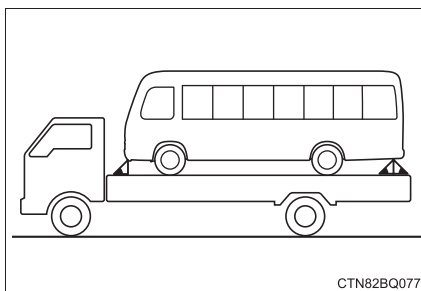


■ 車両運搬車を使用するとき

車両運搬車で輸送するときは、図の場所で固縛する



鎖やケーブルなどを使用して車両を固縛する場合は図に黒く示す角度が45°になるように固縛する



 **注意**

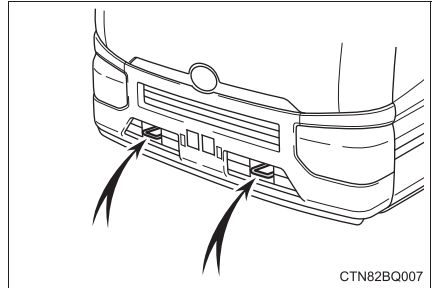
■ 車両運搬車に車を固縛するとき

ケーブル等を過度に締め付けすぎないでください。車両の損傷につながるおそれがあります。

他車にけん引してもらおうとき

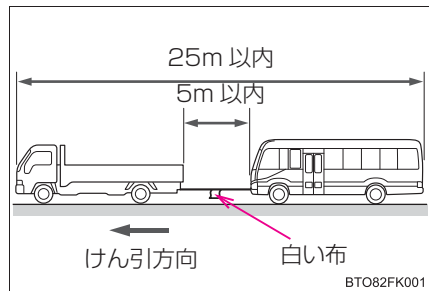
- 1 車体に傷が付かないようにロープをけん引フックにかける

車体に傷が付かないように注意してください。また、前進方向でけん引してください。



- 2 ロープの中央に白い布を付ける

布の大きさ：
0.3m 平方 (30cm×30cm) 以上



- 3 運転者はけん引される車両に乗り、エンジンを始動する

エンジンが始動しないときは、エンジンスイッチを“ON”にしてください。

- 4 けん引される車両のシフトレバーをNにしてから、パーキングブレーキを解除する

けん引中は、ロープがたるまないよう、減速時なども前の車の速度に合わせてください。

シフトレバーがシフトできないときは：→ P. 127

 知識

■けん引フックの使用目的

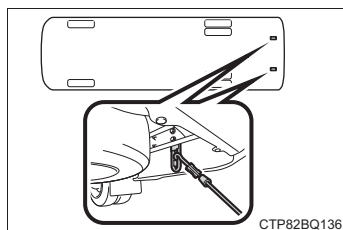
けん引フックはけん引してもらうときに使うものであり、他車をけん引するためのものではありません。

■他車にけん引してもらうときに

エンジンが停止しているとブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が通常より重くなったりします。

■輸送用フックについて

このフックは車両を輸送するときに固定するためのものです。他車に引っ張り出してもらったり、他車をけん引したりすることはできません。










CTP82BQ136









警告灯がついたときは

警告灯が点灯または点滅したままの場合は、落ち着いて次のように対処してください。点灯・点滅しても、その後消灯すれば異常ではありません。ただし、同じ現象が再度発生した場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。





警告灯・警告ブザー一覧

警告灯	警告灯名・警告内容・対処方法
	ブレーキ警告灯／バキューム警告灯（警告ブザー※ ¹ ） <ul style="list-style-type: none"> ・ ブレーキ液の不足 ・ ブレーキ系統の異常 →ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。走行を続けると危険です。
	充電警告灯 充電系統の異常 →ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。
	エンジン警告灯 <ul style="list-style-type: none"> ・ エンジン電子制御システムの異常 ・ 排出ガス浄化装置の異常 →ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。
	オーバードライブ OFF 表示灯★ オートマチックトランスミッション電子制御システムの異常★ →ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。
	SRS エアバッグ／プリテンショナー警告灯 <ul style="list-style-type: none"> ・ SRS エアバッグシステムの異常 ・ プリテンショナー付シートベルトシステムの異常 →ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。
	ABS 警告灯 <ul style="list-style-type: none"> ・ ABS の異常 ・ ブレーキアシストの異常 →ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。
	パーキングブレーキ未解除警告灯（警告ブザー※ ² ） パーキングブレーキがかかっている →パーキングブレーキを解除する

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告灯	警告灯名・警告内容・対処方法
	センタードア開放警告灯（警告ブザー※³） 運転席ドアまたはセンタードアが確実に閉まっていない → 全ドアを閉める
	非常ドア開放警告灯★（警告ブザー） エンジンスイッチが“ON”のとき、非常ドアのカバー、または非常ドアが開いた → 非常ドアのカバー、または非常ドアの状態を確認する
	燃料残量警告灯 燃料の残量が約 14.3L 以下になった → 燃料を補給する
	AdBlue[®] 残量警告灯 AdBlue [®] の残量不足 → AdBlue [®] を補充してください
	AdBlue[®] 品質異常警告灯 AdBlue [®] の品質異常 → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。
	AdBlue[®] 噴射異常警告灯 AdBlue [®] システム異常 → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。
	運転席シートベルト非着用警告灯(警告ブザー※⁴) 運転席シートベルトの非着用 → シートベルトを着用する
	排出ガス浄化装置警告灯 警告灯が点滅した場合： 排出ガス浄化装置に捕集したススの燃焼処理が必要です → 手でススの燃焼処理を行う。(→ P. 136)
	油圧警告灯（警告ブザー※⁵） エンジンオイルの圧力異常 → ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告灯	警告灯名・警告内容・対処方法
	<p>スリップ表示灯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ VSC の異常 ・ TRC の異常 ・ ヒルスタートアシストコントロールシステムの異常 <p>→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。 VSC・TRC システムの作動時は点滅します。 (→ P. 181)</p>
	<p>LDA 表示灯 (警告ブザー) ★</p> <p>LDA (レーンディパーチャーアラート) システムの異常または、一時的に使用不可時に黄色点灯し、マルチインフォメーションディスプレイ上に警告メッセージを表示します。</p> <p>LDA (レーンディパーチャーアラート) システムが OFF のときも黄色点灯します。</p> <p>→ マルチインフォメーションディスプレイに「LDA 現在利用できません」が表示された場合は、いったん LDA を OFF にして、しばらくしてから再度 LDA を ON にしてください。 それ以外のメッセージが表示された場合は、メッセージの指示に従ってください。(→ P. 178)</p>
 <p>(点滅または点灯)</p>	<p>PCS 警告灯★</p> <p>炎天下や極寒の環境、またはセンサーが汚れているなどの状況のため一時的に作動しない、またはプリクラッシュセーフティの異常 (→ P. 160, 342)</p> <p>→ マルチインフォメーションディスプレイに表示されているメッセージを確認してください。 (→ P. 160, 342)</p> <p>プリクラッシュセーフティが OFF、または VSC (ビークルスタビリティコントロール) システムが停止しているときも点灯します。</p> <p>→ P. 170</p>
	<p>マスターウォーニング★</p> <p>システムの異常時にブザーと共に点灯・点滅し、マルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージを表示します。</p> <p>→ P. 342</p>

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

- ※1 **ブレーキ警告ブザー：**
ブレーキ液が不足しているときに、車速が約 5km/h 以上になると、警告ブザーが鳴ります。
- ※2 **パーキングブレーキ未解除走行時警告ブザー：**
パーキングブレーキを解除しないまま車を発進させ、車速が約 5km/h 以上になると、警告ブザーが鳴ります。
警告ブザーが鳴ったときは、パーキングブレーキを解除してください。
- ※3 **センタードア開放走行時警告ブザー：**
運転席ドアまたはセンタードアが確実に閉まっていない状態で走行し、車速が約 5km/h 以上になると、警告ブザーが鳴ります。
- ※4 **運転席シートベルト非着用警告ブザー：**
運転席シートベルト非着用のまま車速が一定以上になると、警告ブザーが一定時間断続的になります。
- ※5 **油圧警告ブザー：**
エンジンオイルの圧力異常時に、車速が約 5km/h 以上になると、警告ブザーが鳴ります。

知識

■ 警告ブザーについて

状況によっては、外部の騒音やオーディオの音などにより、ブザー音が聞こえない場合があります。

警告

■ ABS 警告灯とブレーキ警告灯が同時に点灯したときは

ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店にご連絡ください。
ABS に異常が発生しているだけでなく、強めのブレーキの際に車両が不安定になるおそれがあり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 **注意****■ ブレーキ警告灯について**

ポンピングブレーキ※を行うと、一時的に点灯することがあります。この場合、ブレーキの効が悪くなり、制動距離が長くなるおそれがあります。効が悪くときは、ブレーキペダルを強く踏んでください。なお、その後消灯すれば異常ではありません。

※ ブレーキペダルを数回に分けて小刻みに踏むブレーキのかけ方

■ バキューム警告灯・ブザーについて

エンジン回転中、バキュームタンク内の負圧が低下すると警告灯が点灯し、警告ブザーが鳴ります。ただちに安全な場所に停車させ、エンジンをアイドル回転させて警告灯が消灯するまで、負圧を上昇させてください。

この場合、ブレーキの効が悪くなり、制動距離が長くなるおそれがあります。効が悪くときはブレーキペダルを強く踏み続けてください。

アイドル回転させても消灯しないときは、ただちにトヨタ販売店にご連絡ください。

警告メッセージが表示されたときは

マルチインフォメーションディスプレイには、システムの故障や誤った操作をしたときの警告、メンテナンスが必要であることをお知らせするメッセージが表示されます。メッセージが表示されたときは、メッセージの内容に従って対処してください。

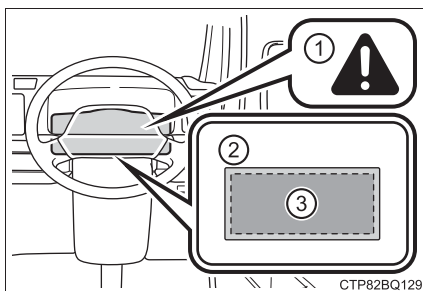
① マスターウォーニング

マルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージが表示されているとき、点灯・点滅します。

② マルチインフォメーションディスプレイ

③ 対処方法


マルチインフォメーションディスプレイのメッセージに従ってください。



処置後に再度メッセージが表示されたときは、トヨタ販売店へご連絡ください。

メッセージと警告作動

メッセージの内容によって警告灯や警告ブザーの作動が次のように切りかわります。販売店で点検をするように表示されたときは、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

	専用警告灯	警告ブザー※	警告内容
点灯	—	あり	走行にかかわるシステムの故障や、そのまま放置すると思わぬ危険を招くおそれがあるなどの重要なメッセージを意味します。
—	点灯または点滅	あり	表示されたシステムに故障のおそれがあるなどのメッセージを意味します。
点滅	—	あり	車両への損傷や、思わぬ危険を招くおそれがあるなどのメッセージを意味します。
点灯	—	なし	電装品の故障や状態、メンテナンスのお知らせなどのメッセージを意味します。
点滅	—	なし	車両を正しく操作していない場合や、操作方法のアドバイスなどを意味します。

上記の点灯状況、ブザーの吹鳴状況と異なる場合があります。その際は表示された内容に従ってすみやかに対応してください。

※ メッセージを最初に表示したときに作動します。

 知識**■ 警告メッセージについて**

文中の警告メッセージの表示は、使用状況や車両の仕様により実際の表示と異なる場合があります。

■ 燃料残量警告灯について

「給油してください」とメッセージが表示されたときは、マスターウォーニングが点灯・点滅しません。その場合は燃料残量警告灯が点灯します。(→ P. 338)

■ 取扱書の確認を指示する警告メッセージが表示されたとき

● 次のメッセージが表示されたときは、故障している可能性があります。
ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。走行を続けると危険です。

- ・ 「エンジン油圧不足」
- ・ 「燃料フィルタの水抜きを実施ください」

■ 「ヘッドランプシステム故障 販売店で点検してください」が表示されたとき

オートマチックハイビームに異常があるおそれがあります。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

■ 前方カメラの異常を示すメッセージが表示されたとき

次のシステムが一時的もしくは対処を行うまで使用できなくなります。(→ P. 160)

- PCS (プリクラッシュセーフティ)
- LDA (レーンディパーチャーアラート)
- オートマチックハイビーム

■「エンジンオイル不足」が表示されたとき

エンジンオイルが不足しているときにメッセージが表示されます。エンジンオイル量を点検し、オイルを補給してください。

また、傾斜路などに停車したときに表示される場合があります。水平な路面に移動し、メッセージが表示されるか確認してください。

■警告ブザーについて

状況によっては、外部の騒音やオーディオの音などにより、ブザー音が聞こえない場合があります。

パンクしたときは

パンクしたタイヤを、備え付けのスペアタイヤと交換してください。(タイヤについての詳しい説明は、P. 294 を参照してください)

警告

■ タイヤがパンクしたときは

パンクしたまま走行しないでください。

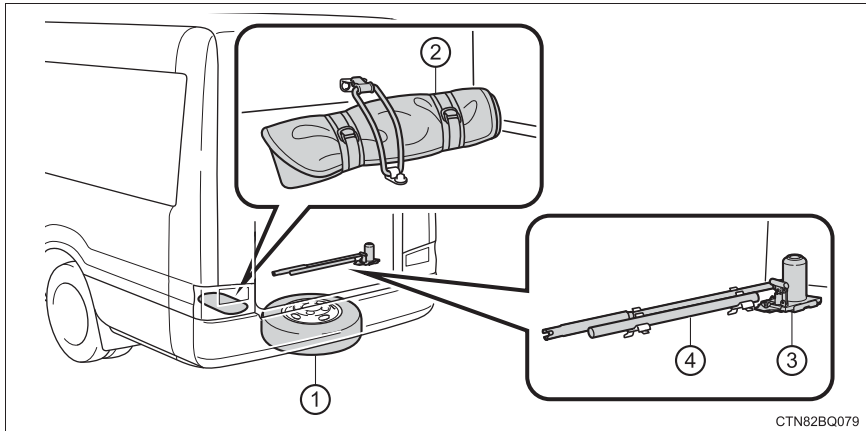
短い距離でも、タイヤとホイールが修理できないほど損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

ジャッキで車体を持ち上げる前に

- 地面が固く平らで安全な場所に移動する
- パーキングブレーキをかける
- オートマチック車はシフトレバーを P に入れる
- マニュアル車はシフトレバーを R に入れる
- エンジンを停止する
- 非常点滅灯を点滅させる (→ P. 323)

スペアタイヤ・工具・ジャッキの位置

▶ バス（幼児車を除く）Aタイプ



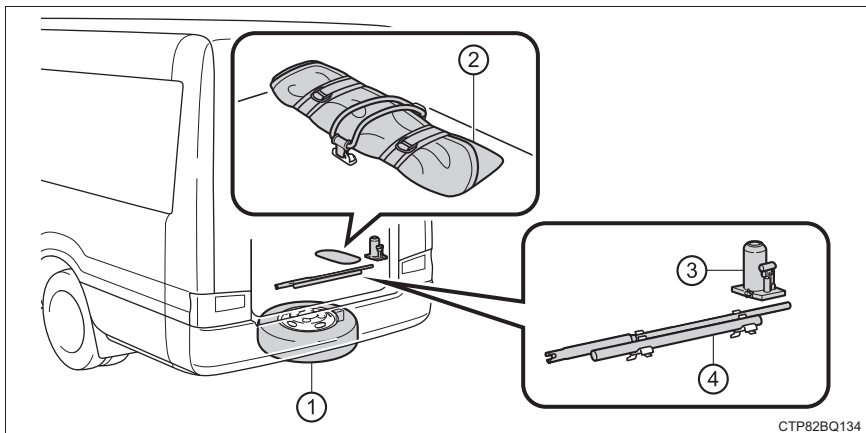
① スペアタイヤ

② 工具袋

③ ジャッキ

④ ジャッキハンドルバー・
ホイールナットレンチバー

▶ バス（幼児車を除く）Bタイプ



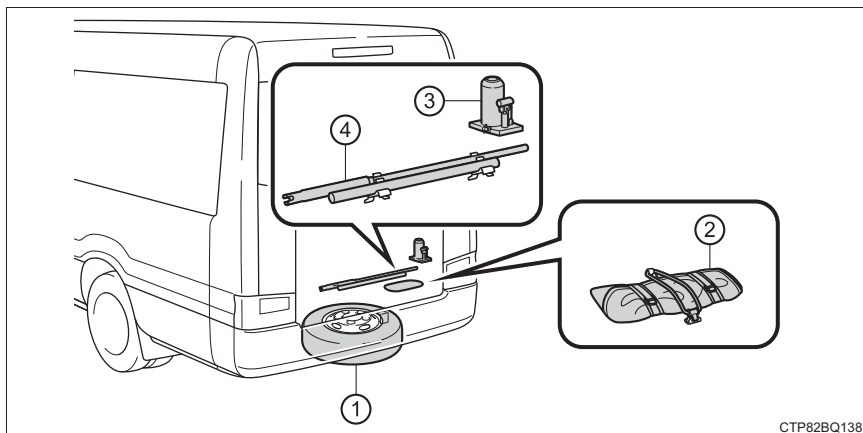
① スペアタイヤ

② 工具袋

③ ジャッキ

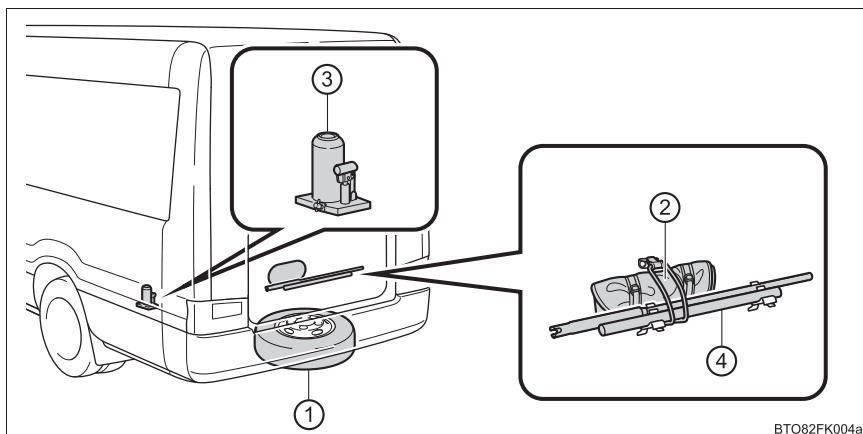
④ ジャッキハンドルバー・
ホイールナットレンチバー

▶ バス（幼児車を除く）Cタイプ



CTP82BQ138

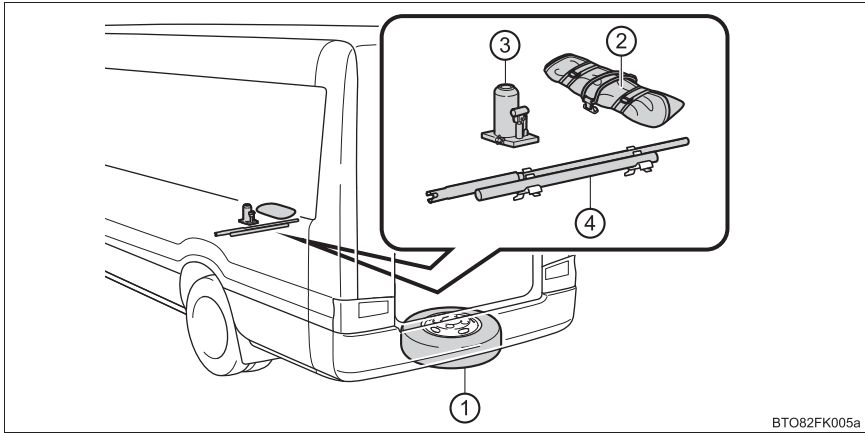
- ① スペアタイヤ
- ② 工具袋
- ③ ジャッキ
- ▶ 幼児車
- ④ ジャッキハンドルバー・ホイールナットレンチバー



BTO82FK004a

- ① スペアタイヤ
- ② 工具袋
- ③ ジャッキ
- ④ ジャッキハンドルバー・ホイールナットレンチバー

▶ バン



① スペアタイヤ

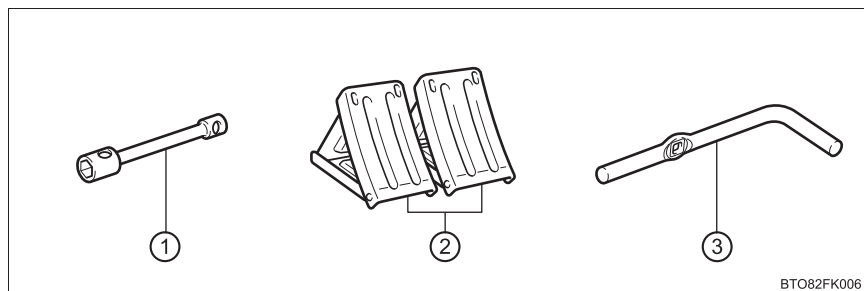
② 工具袋

③ ジャッキ

④ ジャッキハンドルバー・
ホイールナットレンチバー

工具

工具袋の中に収納されています。(工具袋の取り出し方：→ P. 351)



BTO82FK006

- ① ホイールナットレンチ ③ スペアタイヤ格納用ハンドル
② 輪止め

⚠ 警告

■ ジャッキの使用について

ジャッキの取り扱いを誤ると、車が落下して重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

次のことをお守りください。

- ジャッキはタイヤ交換・タイヤチェーン取り付け・取りはずし以外の目的で使用しない
- 備え付けのジャッキは、お客様の車にしか使うことができないため、他の車に使ったり、他の車のジャッキをお客様の車に使用したりしない
- ジャッキセット位置に正しくジャッキがかかっていることを確かめる
- ジャッキで支えられている車の下に体を入れない
- ジャッキで支えられている状態で、エンジンをかけたり走らせない
- 車内に人を乗せたまま車を持ち上げない
- 車を持ち上げるときは、ジャッキの上または下にものを載せない
- 車を持ち上げるときは、タイヤ交換できる高さ以上に上げない
- 車の下にもぐり込んで作業する場合は、ジャッキスタンドを使用する
車両を下げる際は特に、ご自身や周囲の人がけがをしないよう注意してください。

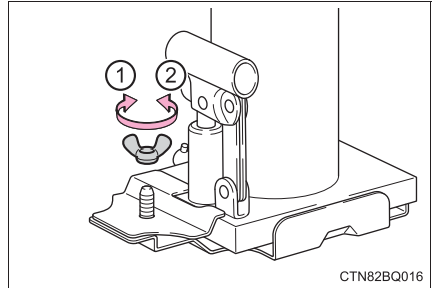
■ ジャッキハンドルバー・ホイールナットレンチバーを使用するときは

使用中、不意に分解しないように、工具が確実に挿し込まれていることを確認してください (→ P. 352)

ジャッキの取り出し方

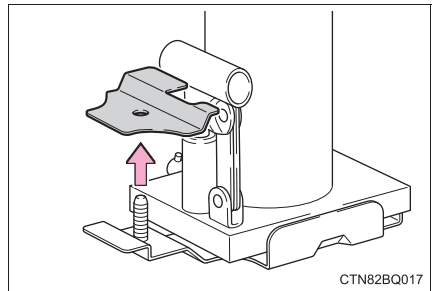
1 蝶ネジをゆるめる

- ① 締まる
- ② ゆるむ



2 プレートをはずしてジャッキを取り出す

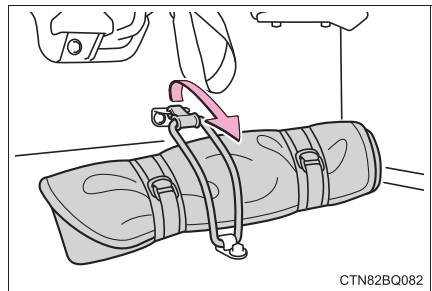
取り付けるときは、プレートにかみ合わせて蝶ネジを締めます。



工具袋の取り出し方

固定バンドをはずす

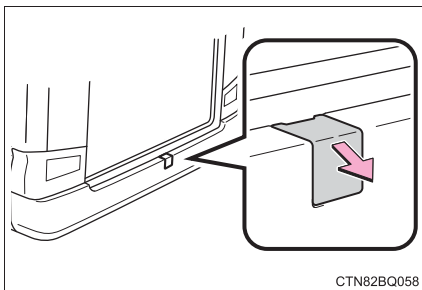
使用後はもとの位置にもどします。
固定バンドで確実に固定してください。



スペアタイヤの取り出し方

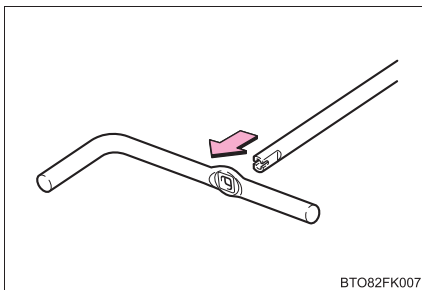
▶ 折りたたみ式バックステップ非装着車

- 1 観音扉ドアまたはトランクを開け、カバーをはずす

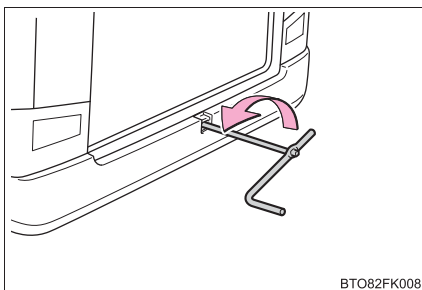


▶ 折りたたみ式バックステップ装着車

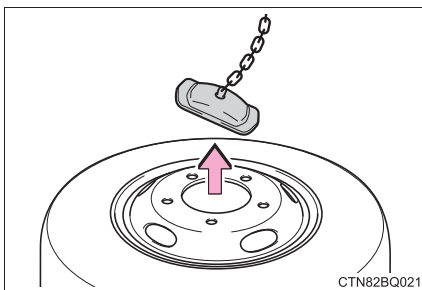
- 1 折りたたみ式バックステップを降ろす (→ P. 87)
- 2 ジャッキハンドルバーをスペアタイヤ格納用ハンドル穴部に確実に挿し込む



- 3 組み付けたジャッキハンドルバーをスペアタイヤ格納具の穴部に挿し込んでまわし、スペアタイヤを下げる

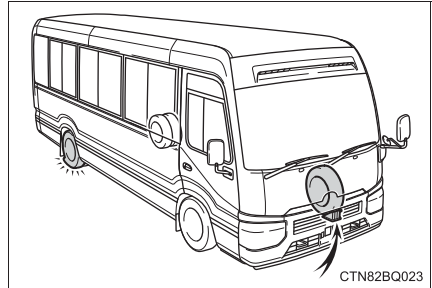


- 4 スペアタイヤが地面に着くまで下げたら、スペアタイヤを引き出し、アンカープレートを取りはずす



パンクしたタイヤの交換

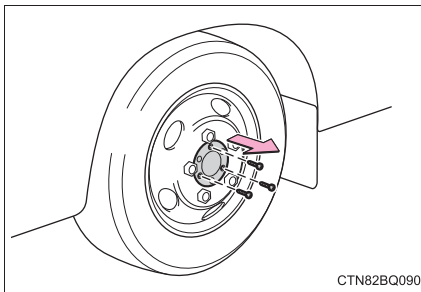
1 輪止めをする



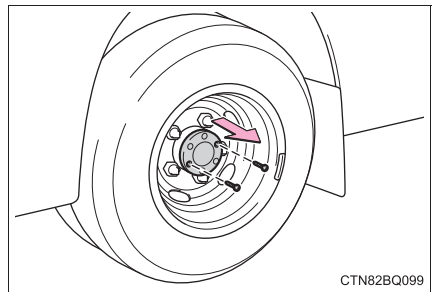
パンクしたタイヤ		輪止めの位置
前輪	左側	右側後輪の前後
	右側	左側後輪の前後
後輪	左側	右側前輪の前後
	右側	左側前輪の前後

2 ネジをはずし、センターオーナメントを取りはずす（センターオーナメント装着車）

▶ フロント



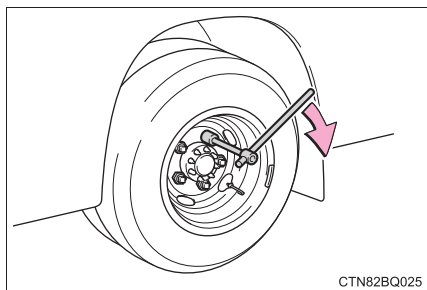
▶ リヤ



3 ナット、ストップボルトを少し（約1回転）ゆるめる

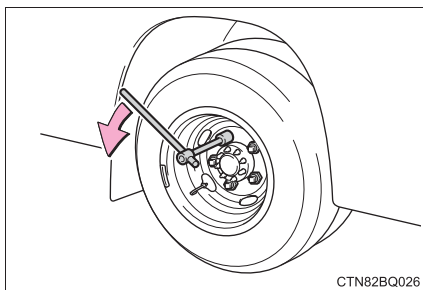
フロントタイヤ、リヤ外側タイヤを交換するときは六角側を、リヤ内側タイヤを交換するときは四角側を使用します。

▶ 左側タイヤ



ナット、ストップボルトを右にまわしてゆるめる

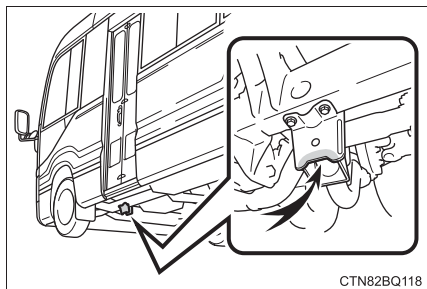
▶ 右側タイヤ



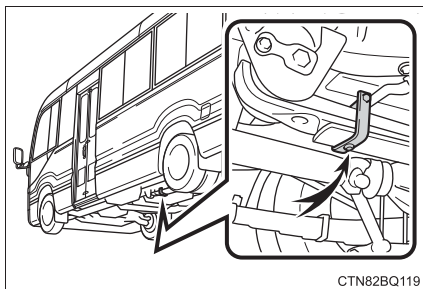
ナット、ストップボルトを左にまわしてゆるめる

4 ジャッキセット位置にジャッキをかける

▶ フロント



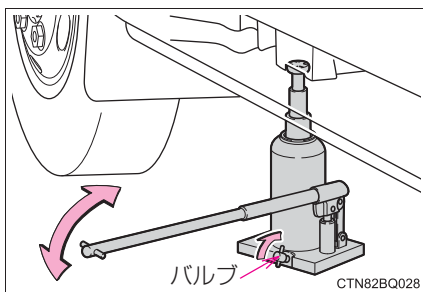
▶ リヤ



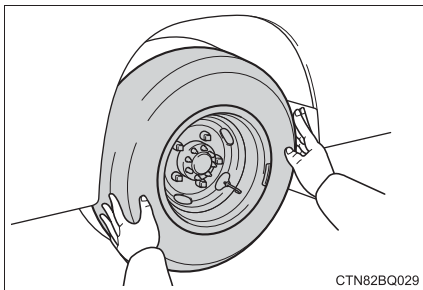
5 タイヤが地面から少し離れるまで、車体を上げる

ジャッキハンドルバーの柄を使用してバルブを右に締め付けます。ジャッキ頭部を手で左にまわして車体のジャッキセット位置まで上げます。ジャッキハンドルバーをジャッキの図の位置に挿し込み、上下に動かしてジャッキアップします。

- ・ ジャッキが確実に車体のジャッキセット位置にかかっていることを確認してください。



- 6 ナット、ストップボルトすべてを取りはずし、タイヤを取りはずす
タイヤを直接地面に置くときは、ホイールの意匠面に傷が付かないよう意匠面を上にしなす。



CTN82BQ029

警告

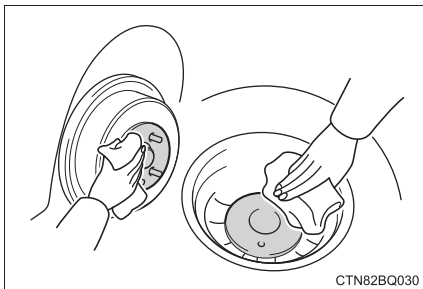
■タイヤ交換について

- 次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
 - ・ スペアタイヤは、ジャッキアップする前に格納具から取りはずしておく
 - ・ スペアタイヤ格納具を操作するときは、可動部分やスペアタイヤのあいだに手や足などを挟まないように注意する
 - ・ スペアタイヤ格納具を降ろす、または持ち上げるときは、足の上などに落とさないよう、手でしっかり支える
 - ・ スペアタイヤは完全に地面に降ろしてから取り出す
 - ・ センターオーナメントは直接手をかけて取らない
取り扱いには十分に注意してください。けがをするおそれがあります。
 - ・ 走行直後、ディスクホイールやブレーキまわりなどにはふれない
走行直後のディスクホイールやブレーキまわりは高温になっているためタイヤ交換などで手や足などがふれると、やけどをするおそれがあります。
- 次のことをお守りいただかないとナットがゆるみ、ホイールがはずれ落ち、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
 - ・ ホイールの交換後はすぐに $515 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($5250 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$) の力でナットを締める
 - ・ タイヤの取り付けには、使用しているホイール専用のナットを使用する
 - ・ ボルトやナットのねじ部や、ホイールのボルト穴につぶれや亀裂などの異常がある場合は、トヨタ販売店で点検を受ける
 - ・ 約 $50 \sim 100 \text{ km}$ 走行したあとに、再度ナットを締め付けてゆるみがないことを確認する
 - ・ ナットを取り付けるときは、必ずテーパ部を内側にして取り付ける
(→ P. 296)

タイヤの取り付け

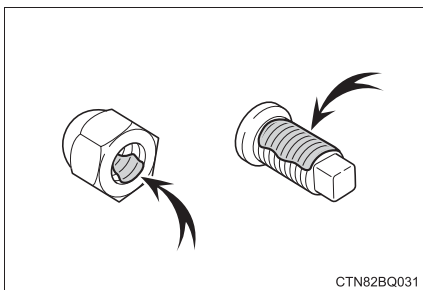
- 1 ホイール接触面の汚れをふき取る

ホイール接触面が汚れていると、走行中にナットがゆるみ、タイヤがはずれるおそれがあります。



ナット、ストップボルトのネジ部にエンジンオイルを塗布する

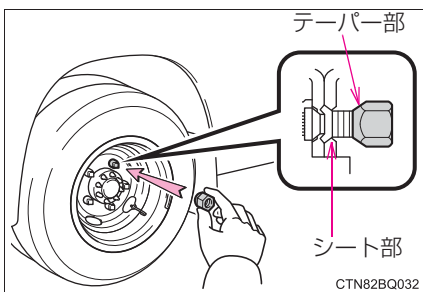
エンジンオイルはネジ部以外に付着すると、締め付けるときに工具がずれるなど作業性が悪くなります。



- 2 タイヤを取り付け、タイヤがたつかない程度まで手でナット、ストップボルトを仮締めする

ナット、ストップボルトのテーパ部分がホイールのシート部に軽くあたるまでまわす

リヤ外側タイヤは、リヤ内側タイヤのバルブが見える位置になるように取り付けます。

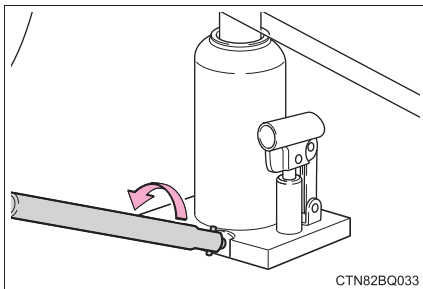


- 3 車体を下げる

ジャッキハンドルバーをジャッキの図の位置に挿し込み、バルブを左にいっぱいまでまわします。

ジャッキを車体の下からはずしたら、バルブを締め付ける。

ジャッキ頭部を手で右にまわしてねじ込んでから、手で押しおろします。

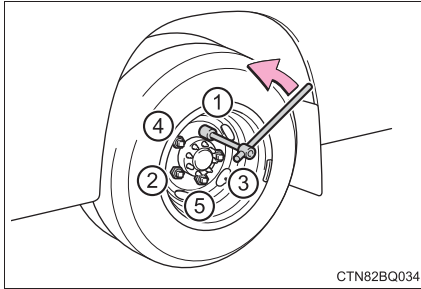


- 4 図の番号順でナット、ストップボルトを2、3度しっかり締め付ける
 フロントタイヤ、リヤ外側タイヤを締め付けるときは六角側を、リヤ内側タイヤを締め付けるときは四角側を使用します。

締め付けトルク：

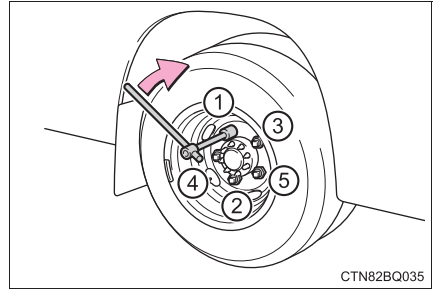
515 N・m (5250kgf・cm)

▶ 左側タイヤ



ナット、ストップボルトを左に
まわして締め付ける

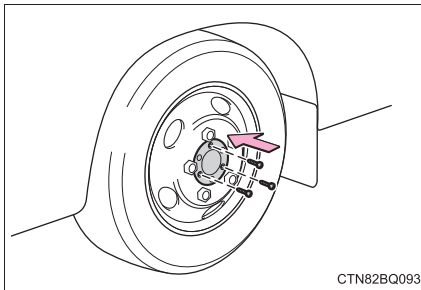
▶ 右側タイヤ



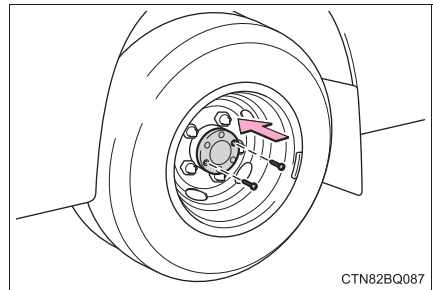
ナット、ストップボルトを右に
まわして締め付ける

- 5 センターオーナメントを取り付け、ネジを締め付ける（センターオーナメント装着車）

▶ フロント



▶ リヤ



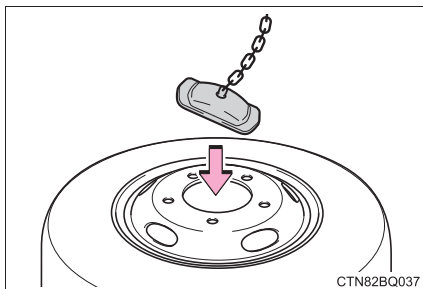
警告

■ スペアタイヤを格納するときは

スペアタイヤを格納するときは、次の格納手順を必ずお守りください。お守りいただかないと、スペアタイヤや格納具が損傷したり、スペアタイヤがはずれ落ち、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

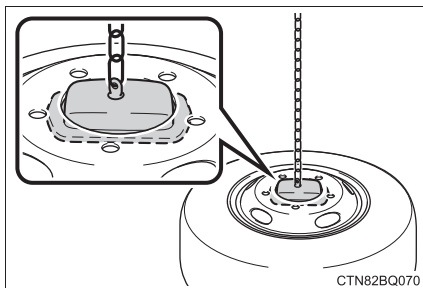
スペアタイヤ・工具・ジャッキの格納

- 1 バルブ面を上にし、アンカープレートスペアタイヤの穴部に取り付ける。
スペアタイヤ格納用ハンドルをスペアタイヤ格納具の穴部に挿し込み、チェーンのたるみがなくなるまでまわす。



CTN82BQ037

- 2 アンカープレートがスペアタイヤに確実に取りついていること、穴部の中心にあることを確認する。



CTN82BQ070

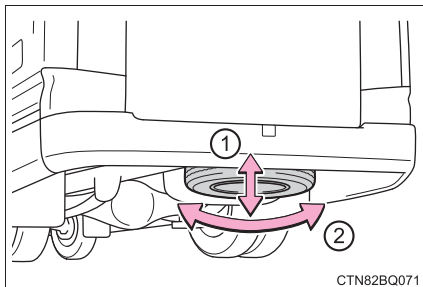
- 3 スペアタイヤの周囲に挟み込みがないことを確認しながら、スペアタイヤ格納用ハンドルを締め付ける。

締め付け時は、250 N (25.5 kgf) 以上の力で締め付けて下さい

- 4 締め付け後、格納したタイヤのゆるみがないことを確認する

- ① 上下に揺らす
- ② 左右に回転させる

タイヤのゆるみや周囲への接触がないことを確認してください。
ゆるみなどがあつたときは、再び手順①からやり直してください。



CTN82BQ071

- 5 手順④の確認を数回くりかえし、タイヤの格納状態を確認する

▶ 折りたたみ式バックステップ非装着車

6 観音扉ドアまたはトランクを開け、カバーを取り付ける

▶ 折りたたみ式バックステップ装着車

6 折りたたみ式バックステップを折りたたむ (→ P. 87)

7 すべての工具・ジャッキを格納する

知識

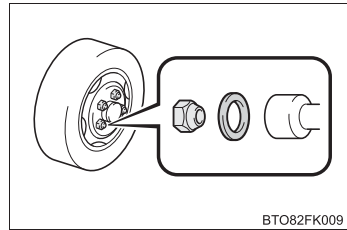
■ スペアタイヤについて

- 空気圧を必ず点検してください。(→ P. 380)
- アルミホイール装着車では、前後のタイヤそれぞれ専用の塗装が施されています。アルミホイール装着車には前輪用スペアタイヤが搭載されており、このタイヤを応急用として後輪に取り付けることはできますが、できるだけ早く正しいサイズのタイヤと交換してください。

■ フロントタイヤを交換するときは (アルミホイール装着車)

ナットをゆるめる、または締め付ける前に、傷付き防止用ゴムシートをナットに取り付けてください。

(運転席ドアポケットに収納されています)



BTO82FK009

■ ナット、ストップボルトについて

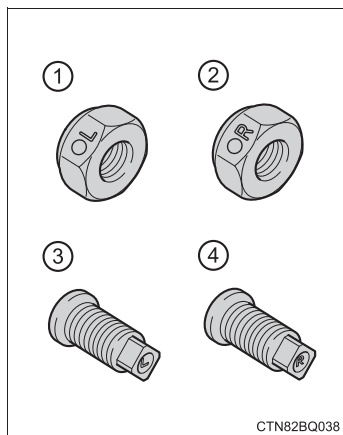
ナット、ストップボルトには右側用と左側用があります。間違えないように取り付けてください。

▶ フロントタイヤ

取りはずしたナットを間違えないように取り付けてください。

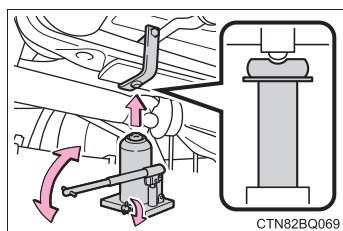
▶ リヤタイヤ

- ① 左側用ナット
- ② 右側用ナット
- ③ 左側用ストップボルト
- ④ 右側用ストップボルト



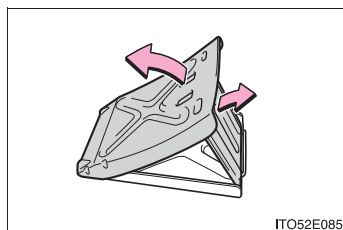
■ リヤ側のジャッキセット位置について

ジャッキ上部の溝を、図のように合わせてください。



■ 輪止めの使い方

図のように展開して使用します。



 **警告****■ 工具・ジャッキを使用したあとは**

走行前に必ず、指定の場所に確実に収納してください。車室内などに放置すると、急ブレーキ時などに工具類が飛び出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。危険です。

 **注意****■ スペアタイヤを格納するときは**

- タイヤと車両とのあいだにものが挟まっていないことを確認してください。
- タイヤを格納したあとは、確実に固定されていることを確認してください。固定されていないとタイヤががたつき、走行中にはずれるおそれがあります。

エンジンがかからないときは

正しいエンジンのかけ方（→ P. 120）に従っても、エンジンがかからないときは、次のことを確認してください。

スターターは正常にまわっているのにエンジンがかからない場合

次の原因が考えられます。

- 燃料が入っていない可能性があります。
給油してください。
- 燃料を吸い込みすぎている可能性があります。
再度、正しい手順（→ P. 120）に従って、エンジンをかけてください。
- エンジンイモビライザーシステムに異常がある可能性があります。
（→ P. 43）

スターターがゆっくりまわる／室内灯・ヘッドランプが暗い／ホーンの音が小さい、または鳴らない場合

次の原因が考えられます。

- バッテリーあがりの可能性があります。（→ P. 363）
- バッテリーのターミナルがゆるんでいる可能性があります。

スターターがまわらない／室内灯・ヘッドランプが点灯しない／ホーンが鳴らない場合

次の原因が考えられます。

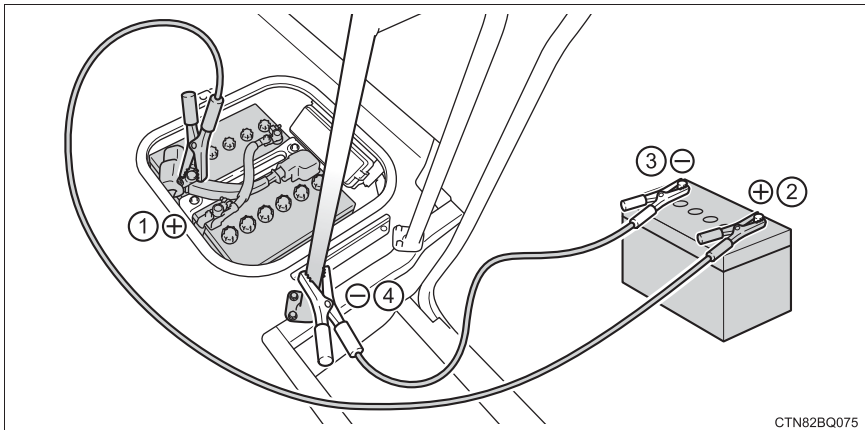
- バッテリーのターミナルがはずれている可能性があります。
- バッテリーあがりの可能性があります。（→ P. 363）
処置のしかたがわからないとき、あるいは処置をしてもエンジンがかからないときは、トヨタ販売店にご連絡ください。

バッテリーがあがったときは

バッテリーがあがった場合、次の手順でエンジンを始動することができます。

ブースターケーブルと 12V のバッテリー付き救援車があれば、次の手順に従って、エンジンを始動させることができます。

- 1 センタードア後部のカバーを開ける (→ P. 301)
- 2 バッテリーの+端子のカバーをはずし、ブースターケーブルを次の順につなぐ
 - ① 赤色のブースターケーブルを自車のバッテリーの+端子につなぐ
 - ② 赤色のブースターケーブルのもう一方の端を救援車のバッテリーの+端子につなぐ
 - ③ 黒色のブースターケーブルを救援車のバッテリーの-端子につなぐ
 - ④ 黒色のブースターケーブルのもう一方の端をバッテリーから離れた、未塗装の金属部 (図に示すような固定された部分) につなぐ



- 3 救援車のエンジンをかけ、回転を少し高めにして、約 5 分間自車のバッテリーを充電する
- 4 救援車のエンジン回転を維持したまま、自車のエンジンをかける
- 5 自車のエンジンが始動したら、ブースターケーブルをつないだときと逆の順ではずす

エンジンがかかっても、早めにトヨタ販売店で点検を受けてください。

 知識**■ バッテリーあがり時の始動について（オートマチック車）**

この車両は、押しがけによる始動はできません。

■ バッテリーあがりを防ぐために

- エンジンがかかっていないときは、ランプやエアコンの電源を切ってください。
- 渋滞などで長時間止まっているときは、不必要な電装品の電源を切ってください。

■ バッテリーについて

- バッテリーが2個ありますが、24Vではありません。
- バッテリーの交換は必ず2個同時に、同メーカー・同一型式のバッテリーを使用してください。

■ バッテリーの充電について

バッテリーの電力は、車両を使用していないあいだも、一部の電装品による消費や自然放電のために、少しずつ消費されています。そのため、車両を長期間放置すると、バッテリーがあがってエンジンを始動できなくなるおそれがあります。（バッテリーは走行中に自動で充電されます）

 **警告****■ バッテリーの引火または爆発を防ぐために**

バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険ですので、火や火花が発生しないよう、次のことをお守りください。

- ブースターケーブルは正しい端子または接続箇所以外に接続しない
- ブースターケーブルは + 側と - 側の端子を絶対に接触させない
- バッテリー付近では、喫煙したりマッチやライターなどで火を起こさない

■ バッテリーの取り扱いについて

バッテリー内には有毒で腐食性のある酸性の電解液が入っており、また関連部品には鉛または鉛の混合物を含んでいるので、取り扱いに関し、次のことを必ずお守りください。

- バッテリーを取り扱うときは保護メガネを着用し、液（酸）が皮膚・衣服・車体に付着しないようにする
- 必要以上、顔や頭などをバッテリーに近付けない
- 誤ってバッテリー液が体に付着したり目に入ったりした場合、ただちに大量の水で洗い、すぐに医師の診察を受ける
また、医師の診察を受けるまで、水を含ませたスポンジや布を患部にあてておく
- 誤ってバッテリー液を飲み込んだ場合、多量の水を飲んで、すぐに医師の診察を受ける
- バッテリーの支柱・ターミナル・その他の関連部品の取り扱い後は手を洗う
- お子さまをバッテリーに近付けない

オーバーヒートしたときは

次のような場合は、オーバーヒートの可能性があります。

- 水温計 (→ P. 50) の針がレッドゾーンに入りブザーが鳴ったり、エンジン出力が低下する (スピードが出ないなど)
- 車両下側から蒸気が出る

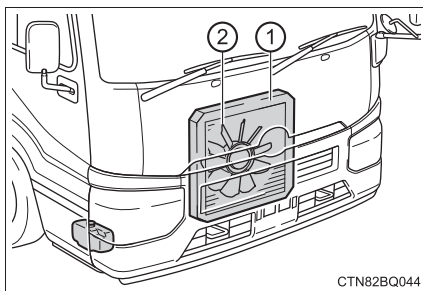
対処方法

- 1 安全な場所に停車し、エアコンを OFF にしてから、エンジンを停止する
- 2 蒸気が出ている場合：
蒸気が出なくなったことを確認してから、注意してエンジン点検口を開ける

蒸気が出ていない場合：
注意してエンジン点検口を開ける
- 3 エンジンが十分に冷えてから、ラジエーターコア部 (放熱部) やホースなどからの冷却水もれを点検する

- ① ラジエーター
- ② ファン

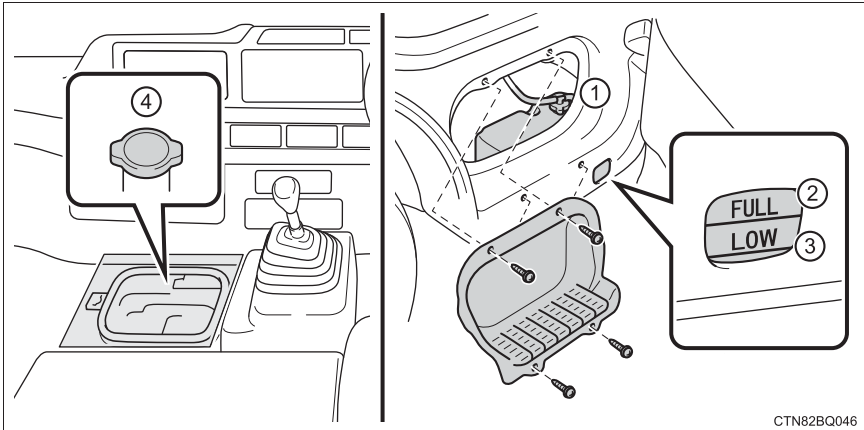
多量の冷却水もれがある場合は、ただちにトヨタ販売店に連絡してください。



CTN82BQ044

- 4 冷却水の量がリザーバータンクの“FULL”（上限）と“LOW”（下限）のあいだにあるかを点検する

リザーバータンクは、運転席ステップの内側にあります。

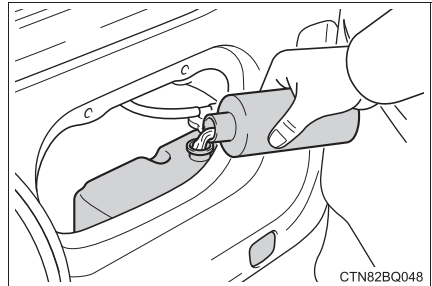


CTN82BQ046

- ① リザーバータンク
② “FULL”（上限）
③ “LOW”（下限）
④ ラジエーターキャップ

- 5 冷却水が不足している場合は、冷却水を補給する

冷却水がない場合は、応急措置として水を補給してください。



CTN82BQ048

- 6 エンジンを始動し、ラジエーター冷却用のファンが作動しているか、およびラジエーターコアやホースなどから冷却水もれがないことを再度確認する
- 7 ファンが作動していない場合：
すぐにエンジンを停止し、トヨタ販売店に連絡する
- ファンが作動している場合：
最寄りのトヨタ販売店で点検を受ける

 **警告****■ エンジンルームを点検するとき**

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 車両下側から蒸気が出ている場合は、蒸気が出なくなるまでエンジン点検口を開けないでください。エンジンルーム内が高温になっています。
- 手や着衣（特にネクタイ・スカーフ・マフラーなど）をファンやベルトから離してください。手や着衣が巻き込まれ、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- エンジン点検口（→ P. 282）の注意事項も併せてお読みください。
- エンジンおよびラジエーターが熱い場合は、冷却水リザーバータンクのキャップを開けないでください。
高温の蒸気や冷却水が圧力によって噴き出すおそれがあります。

 **注意****■ 冷却水を入れるとき**

エンジンが十分に冷えてからゆっくり入れてください。

エンジンが熱いときに急に冷たい冷却水を入れると、エンジンが損傷するおそれがあります。

■ 冷却システムの故障を防ぐために

次のことをお守りください。

- 異物（砂やほこりなど）を冷却水に混入させない
- 冷却水添加剤を使用しない

スタックしたときは

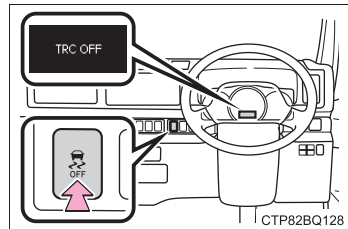
ぬかるみや砂地・雪道などでタイヤが空転したり、埋まり込んで動けなくなったときは、次の方法で脱出してください。

- 1 パーキングブレーキをかけ、シフトレバーをオートマチック車は P、マニュアル車は N にして、エンジンを停止する
- 2 タイヤ前後の土や雪を取り除く
- 3 タイヤの下に木や石などをあてがう
- 4 エンジンを再始動する
- 5 シフトレバーをオートマチック車は D または R、マニュアル車は 1 速または R に確実に入れ、パーキングブレーキを解除して注意しながらアクセルペダルを踏む

知識

■脱出しにくいとき

 を押して TRC を OFF にしてください。(→ P. 181)



 **警告****■ 脱出するときは**

前進と後退をくり返してスタックから脱出する場合、他の車・ものまたは人との衝突を避けるため周囲に何も無いことを確認してください。

スタックから脱出するとき、車が前方または後方に飛び出すおそれがありますので、特に注意してください。

■ シフトレバーを操作するときは

オートマチック車はアクセルペダルを踏み込んだまま操作しないように気を付けてください。

車が急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

 **注意****■ トランスミッションやその他の部品への損傷を避けるために**

● タイヤが空転するのを避け、必要以上にアクセルペダルを踏まないでください。

● 上記の方法で脱出できなかった場合、けん引による救援が必要です。

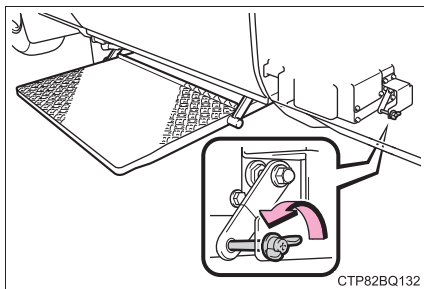
エンストで始動できなくなったときは

マニュアル車は、シフトレバーを 1（もしくは 2）または R の位置にして、クラッチペダルを踏まずにエンジンスイッチを “START” の位置で保持すれば、緊急避難的に車を動かすことができます。
オートマチック車ではできません。

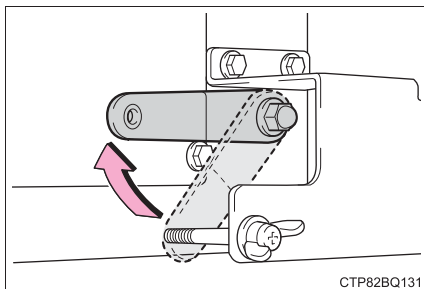
電動格納式補助ステップが格納できなくなったときは★

万一、ステップが出た状態のまま自動で格納することができないときは、手動で格納することができます。

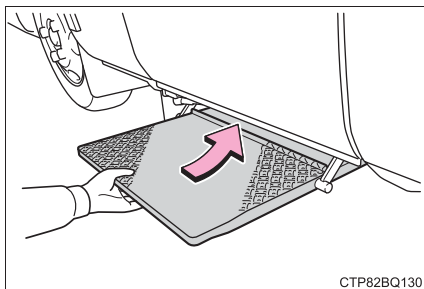
- 1 ステップ下側の格納装置の蝶ネジを緩め、ハンドル固定を解除する



- 2 ハンドルをまわして水平にする



- 3 格納位置までステップを手で押し上げ、そのまま保持する



- 4 ハンドルをもとの位置にもどし、ステップを固定する
- 5 蝶ネジを締めてハンドルを固定する

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

車両情報**9****9-1. 仕様一覧**

メンテナンスデータ
(指定燃料・
オイル量など)374

9-2. カスタマイズ機能

ユーザーカスタマイズ
機能一覧383

メンテナンスデータ（指定燃料・オイル量など）

使用するオイルの品質により、お車の寿命は著しく左右されます。トヨタ車には最も適したトヨタ純正オイル・液類（以下、「指定銘柄」といいます）のご使用をおすすめします。

指定銘柄以外を使用される場合は、指定銘柄に相当する品質のものをご使用ください。

燃料

指定燃料	容量 [L]（参考値）
超低硫黄軽油（S10ppm 以下）	95

エンジンオイル

指定銘柄	容量 [L]（参考値 ^{※1} ）	
	オイルのみ 交換	オイルと オイルフィル ター交換
トヨタ純正モーターオイル DH-2F 5W-30 ^{※2} —JASO DH-2F ガイドライン トヨタ純正ディーゼルオイル DH-2 10W-30 —JASO DH-2 ガイドライン	6.3	7.7

※1 エンジンオイルの容量は交換する際の目安です。オイル量の確認は、エンジンを暖機後に停止し、5分以上経過してからレベルゲージで行ってください。

※2 5W-30 は上記表の指定銘柄の中では、最も省燃費性に優れるオイルです。

■ 指定エンジンオイル

JASO 規格 DH-2F に合致したオイルをご使用ください。

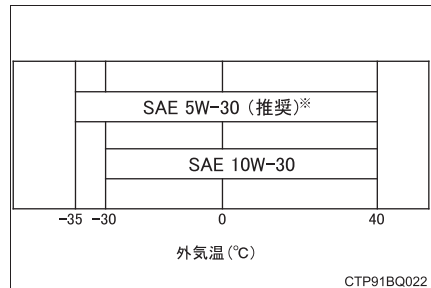
⚠ 注意

■ エンジンオイルの交換について

- エンジンオイルは必ず指定の規格に相当する品質のものをご使用ください。異なる品質のオイルを使用すると、排出ガス浄化装置の寿命短縮につながります。
- エンジンオイル・オイルフィルターは必ず約 15,000km ごと（ただし 6ヶ月をこえないこと）に交換してください。定められた期間でエンジンオイル・オイルフィルターを交換しないと、排出ガス浄化装置やターボ装置などの故障につながるおそれがあります。

■ エンジンオイル推奨粘度

下記図に基づき、外気温に適した粘度のものをご使用ください。



* 5W-30 は新車時に充填されており、上記図に示す中では、最も省燃費性に優れるオイルです。

オイル粘度について（例として 10W-30 で説明します）：

- ・ 10W-30 の 10W は、低温時のエンジン始動特性を示しています。Wの前の数値が小さいほど冬場や寒冷時のエンジン始動が容易になります。
- ・ 10W-30 の 30 は、高温時の粘度特性を示しています。粘度の高い（数値が大きい）オイルは、高速または重負荷走行に適しています。

ラジエーター

指定銘柄		容量 [L] (参考値)	
トヨタ純正スーパー ロングライフクーラント 凍結保証温度 濃度 30% - 12℃ 濃度 50% - 35℃	リヒート 機構なし	標準車	17.2
		寒冷地仕様車の パワーヒーター 非装着車	17.5
		寒冷地仕様車の パワーヒーター 装着車	22.0
	リヒート 機構付き	標準車	18.2
		寒冷地仕様車の パワーヒーター 非装着車	18.5
		寒冷地仕様車の パワーヒーター 装着車	23.0

オートマチックトランスミッション（オートマチック車）

指定銘柄	容量 [L] (参考値 [※])
トヨタ純正オートフルード タイプ T-IV	11.9

※ 交換が必要な際はトヨタ販売店にご相談ください。

⚠ 注意**■ トランスミッションフルードについて**

指定銘柄以外のフルードを使用すると、振動・異音の発生や、故障などの原因になるおそれがあります。

マニュアルトランスミッション（マニュアル車）

指定銘柄	容量 [L] (参考値)
トヨタ純正マニュアルトランスミッション ギヤオイル (API GL-3 SAE 75W-90) または同等品	3.0

リヤディファレンシャル

指定銘柄（推奨粘度）	容量 [L] (参考値)
トヨタ純正ハイポイドギヤオイル SX (API GL-5 SAE 85W-90)	3.8

⚠ 注意**■ リヤディファレンシャルフルードについて**

指定銘柄以外のフルードを使用すると、振動・異音の発生や、故障などの原因になるおそれがあります。

パワーステアリング

指定銘柄	容量 [L] (参考値)
トヨタ純正パワーステアリングフルード	1.7

ブレーキ

■ ブレーキフルード

指定銘柄
トヨタ純正ブレーキフルード 2500H-A

■ ブレーキペダル

項目	基準値 [mm]
遊び	1 ~ 6
踏み込んだときの床板とのすき間 [※]	45

※ エンジン回転時に 490 N (50kgf) の踏力をかけたときの床板（フロアパネル上面）とのすき間の最小値

■ パーキングブレーキ

項目	基準値 [回数]
引きしろ 操作力 245 N (25kgf) のときのノッチ [※] 数	6 ~ 8

※ ノッチとは、パーキングブレーキをかけるときの節度（“カチッ” という音）のことです。

クラッチ（マニュアル車）

■ クラッチフルード

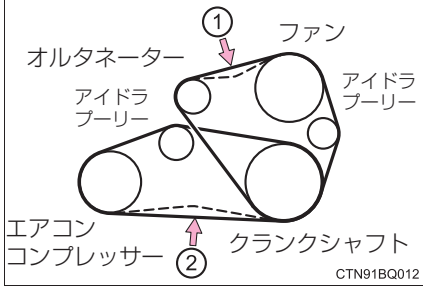
指定銘柄
トヨタ純正ブレーキフルード 2500H-A

■ クラッチペダル

項目	基準値 [mm]
遊び	5 ~ 20
クラッチが切れたときの床板とのすき間 [※]	25 以上

※ クラッチが切れた位置からクラッチペダルを床いっぱいまで踏み込んだ位置までの動き量

Vリブドベルト

項目	基準値 [mm]	
たわみ量 押力 (98N (10kgf) (冷間時))	① オルタネーター	12 ~ 13
	② エアコン コンプレッサー	10.7 ~ 12.1

ウォッシャータンク

項目	容量 [L] (参考値)
フロント	2.7
リヤ★	1.3

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

タイヤ・ホイール

車種		タイヤサイズ	ホイール サイズ	タイヤが冷えている ときの空気圧 kPa (kg/cm ²)		
				前輪	後輪	
バス	シ ョ ー ト フ レ ー ム 車	幼児車を 除く	215/70R17.5 118/116N LT	17.5×6.00	500 (5.00)	300 (3.00)
		幼児車			600 (6.00)	325 (3.25)
		ロング フレーム車 超ロング フレーム車				
		バン				

電球（バルブ）※

電球		W（ワット）数
車外	ヘッドランプ ・ ロービーム （バルブタイプ：H11） ・ ハイビーム （バルブタイプ：HB3）	55 60
	フロントフォグランプ （バルブタイプ：H8）	35
	車幅灯	5
	フロント方向指示灯／非常点滅灯	21
	サイド方向指示灯／非常点滅灯	21
	リヤ方向指示灯／非常点滅灯	21
	制動灯／尾灯	21 / 5
	後退灯	16
	番号灯	5
	リヤホイール灯	10
	車内	フロントパーソナルランプ★
ルームランプ（フロント／リヤ）★		10
トランク灯★		5
ドアカーテシランプ★		5
ステップランプ		5

※ 表に記載のないランプは LED を採用しています。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

車両仕様

型式	車両形状	エンジン	駆動方式
XZB60	バス (ショートフレーム車) (幼児車を除く)	NO4C-WA	FR (後輪駆動)
XZB70	バス (ロングフレーム車) (幼児車を除く)		
XZB80	バス (超ロングフレーム車)		
XZB70	バス (ロングフレーム車) (幼児車を除く)	NO4C-WB	
XZB80	バス (超ロングフレーム車)		
XZB60	バス (ショートフレーム車) (幼児車)	NO4C-WA	
XZB70	バス (ロングフレーム車) (幼児車)		
XZB60V	バン (ショートフレーム車)		
XZB70V	バン (ロングフレーム車)		

ユーザーカスタマイズ機能一覧

お車には、設定を変更することが可能な装備が付いています。

設定変更は、マルチインフォメーションディスプレイのメーターカスタマイズ機能、またはトヨタ販売店で行うことが可能です。

機能によっては、他の機能と連動して設定が変わるものもあります。詳しくはトヨタ販売店へお問い合わせください。

カスタマイズ設定をする（オブティロンメーター装着車）

安全に操作することができる場所に停車し、パーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPにします。

■ マルチインフォメーションディスプレイで設定するには

- 1 DISP ボタンを押して「設定」画面を表示し、DISP ボタンを押し続けてカスタマイズモード画面を表示する
- 2 DISP ボタンを押して変更する項目を選択し、DISP ボタンを押し続ける
- 3 DISP ボタンを押して設定したい項目を選択し、DISP ボタンを押し続ける

設定を終了する場合は、DISP ボタンを押して「戻る」を選択し、DISP ボタンを押し続けます。

車両カスタマイズ設定一覧

- ① メーターカスタマイズ機能による設定
 ② トヨタ販売店で設定変更可能

■ ランプ自動点灯・消灯システム★ (→ P. 138)

機能の内容	初期設定	変更後	①	②
ライトセンサーの感度	標準	レベル -2~+2	—	○

■ LDA (レーンディパーチャーアラート) ★ (→ P. 171)

機能の内容	初期設定	変更後	①	②
警報ブザーが吹鳴する感度 (警報感度)	普通	高い	○	—
ふらつき検知機能	あり	なし	○	—
ふらつき検知機能の感度調節	普通	低い	○	—
		高い		

■ マルチインフォメーションディスプレイ (→ P. 53)

機能の内容	初期設定	変更後	①	②
言語	日本語	英語	○	—
単位	km/L	L/100km	○	—

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

さくいん

こんなときは (症状別さくいん).....	386
車から音が鳴ったときは (音さくいん)	388
アルファベット順さくいん.....	389
五十音順さくいん.....	390

こんなときは（症状別さくいん）

お困りの際は、トヨタ販売店にご連絡いただく前にまず次のことを確認してください。

施錠／解錠／ドアの開閉ができない



キーをなくした

- キーをなくした場合、トヨタ販売店でトヨタ純正の新しいキーを作ることができます。（→ P. 59）

故障かな？と思ったら



エンジンがかからない

- オートマチック車
シフトレバーはPになっていますか？（→ P. 120）
- ステアリングロックされていませんか？（→ P. 122）
- バッテリーがあがっていませんか？（→ P. 363）



ブレーキペダルを踏んでもシフトレバーがPから動かない (オートマチック車)

- エンジンスイッチの位置が“ON”になっていますか？
エンジンスイッチの位置が“ON”でブレーキを踏んでも解除できないとき（→ P. 127）



エンジンを停止したあとにハンドルがまわせなくなった

- 盗難防止のため、キーをエンジンスイッチから抜くとロックされます。（→ P. 121）



警告音が鳴りだした

- 警告音が鳴りだしたときは、「車から音が鳴ったときは（音さくいん）」（→ P. 388）をご確認ください。

**警告灯や警告メッセージが表示されたとき**

- 警告灯や警告メッセージが表示されたときは、P. 337、342 をご確認ください。

トラブルが発生した**タイヤがパンクした**

- 車を安全な場所に止め、パンクしたタイヤをスペアタイヤに交換してください。（→ P. 346）

**立ち往生した**

- めかるみ・砂地・雪道などで動けなくなったときの脱出方法を試してください。（→ P. 369）

車から音が鳴ったときは（音さくいん）

次の状況のとき、車の状態や誤操作などをお知らせするために警告音が鳴ります。

車に乗るとき／降りるとき

状況	原因	詳細
ドアを開閉したとき	エンジンスイッチにキーが挿してある	P. 122
	車幅灯・ヘッドランプが点灯している	P. 141

走行しているとき

状況	原因	詳細
走り出したとき	いずれかのドアが確実に閉まっていない	P. 340
	パーキングブレーキが解除されていない	P. 340
	運転席のシートベルトを着用していない	P. 340
ブレーキペダルを踏んだとき（きしみやひっかき音）	ブレーキパッドが摩耗しているおそれがある	P. 112

アルファベット順さくいん

ABS	
(アンチロックブレーキシステム)	180, 337
EDR	
(イベントデータレコーダー)	8
FR	
(フロントエンジンリヤドライブ)	382
LDA	
(レーンディパーチャーアラート)	171
PCS	
(プリクラッシュセーフティ)	161
SRS	
(サブリメンタルレストRAINTシステム)	34, 337
TRC	
(トラクションコントロール)	180, 339
VSC	
(ビークルスタビリティコントロール)	180, 339

五十音順さくいん

あ

アイドルアップ.....	248
アースポイント（バッテリー あがりの処置）.....	363
アームレスト.....	262
アウターミラー（ドアミラー）.....	99
操作.....	99
格納のしかた.....	100
ミラーヒーター.....	230, 241
赤旗.....	331
アクセサリースocket.....	258
アクセルインターロック	
折戸式ドア.....	76
グライド式ドア.....	66
電動格納式補助ステップ.....	72
アシストグリップ.....	269
AdBlue [®]	285
AdBlue [®] 残量警告灯.....	338
AdBlue [®] 品質異常警告灯.....	338
AdBlue [®] 噴射異常警告灯.....	338
補充.....	287
容量.....	287
アンダーミラー.....	102
アンチロックブレーキ	
システム（ABS）.....	180
アンテナ	
ラジオ.....	199

い

イグニッションスイッチ （エンジンスイッチ）.....	120
位置の切りかえ.....	121
エンジンのかけ方.....	120
位置交換	
（タイヤローテーション）.....	294
1 速固定スイッチ.....	126
イベントデータレコーダー （EDR）.....	8
イモビライザーシステム.....	43
インジケーター（表示灯）.....	48
インナーミラー.....	97

う

ウインカー（方向指示灯）.....	130
電球（バルブ）	
の交換.....	313, 314, 315
方向指示レバー.....	130
ワット数.....	381
ウインドウ.....	104
ウォッシャー.....	148, 150
リヤウインドウ	
デフォッガー.....	230, 241
ウォーニングランプ （警告灯）.....	47, 337
ウォッシャー.....	148, 150
液の補充.....	292
スイッチ.....	148, 150
タンク容量.....	379
冬の前の準備・点検.....	186
動けなくなったときは （スタック）.....	369

運転.....	106
雨の日の運転.....	108
運転を補助する装置.....	180
寒冷時の運転.....	186
正しい運転姿勢.....	28
手順.....	106
運転席ガード.....	266
運転席シートベルト	
非着用警告灯.....	338

え

エアコン	
オートエアコン.....	239
クーラー	
(マニュアルエアコン).....	234
曇り取り	
(フロントガラス).....	229, 241
フィルターの清掃.....	299
フロントヒーター	
(マニュアルエアコン).....	228
リヤヒーター	
(マニュアルエアコン).....	237
エアバッグ.....	34
SRS エアバッグ警告灯.....	337
お子さまのための注意.....	35
改造・廃棄.....	38
作動条件.....	39
正しい姿勢.....	28
配置.....	34
LDA (レーンディパーチャー	
アラート).....	171
警告メッセージ.....	342
操作.....	171

エンジン

エンジンイモビライザー	
システム.....	43
エンジンがかからない	
(エンジンが始動	
できない).....	362
エンジン警告灯.....	337
エンジンスイッチ.....	120
エンジンの始動方法.....	120
エンジンを停止する前に.....	108
オーバーヒート.....	366
緊急時の停止方法.....	328
点検口.....	282
エンジンイモビライザーシステム	
(盗難防止システム).....	43
エンジンオイル.....	374
冬の前の準備・点検.....	186
メンテナンスデータ.....	374
容量.....	374
エンジンスイッチ.....	120
位置の切りかえ.....	121
エンジンのかけ方.....	120
エンジン点検口.....	282
開け方.....	282

お

- オイル (エンジンオイル) 374
- 応急用タイヤ (スペアタイヤ) ... 346
 - 空気圧 380
 - 交換方法 346
- オーディオ 192
 - iPod 208
 - アンテナ 198, 199
 - AUX 端子 / USB 端子 194
 - MP3 / WMA ディスク 200
 - オーディオの種類 192
 - 音質調整 196
 - 外部入力端子 220
 - 後席ディスプレイ 222
 - CD プレーヤー 200
 - マイク / マイクアンプ 221
 - USB メモリー 214
 - ラジオ 197
- オートエアコン 239
- オートドア
 - 折戸式ドア 75
 - グライド式ドア 65
- オートマチックトランス
 - ミッション 124
 - シフトレバーがシフト
できない 127
- オートマチックハイビーム 142
- オーバードライブスイッチ 125
- オーバーヒート 366
- オープナー
 - 給油扉 153
- お客様表示板 258
- お子さまを乗せるとき 41
 - エアバッグ 35
 - エンジンカバー 284
 - お子さまの安全のために 41
 - 観音扉ドアに関する警告 88
 - シートベルトの着用 31
 - スライド式サイドガラスに
関する警告 104
 - センタードアに関する
警告 67, 77
 - チャイルドシートの取り付け ... 33
 - トランクに関する警告 82
 - 発炎筒の取り扱いに関する
警告 325
 - バッテリーに関する警告 365
- オドメーター
 - 機能 51
 - 表示の切りかえ・
リセットボタン 51
- 折りたたみ式バックステップ 87
- 折戸式ドア 74

か

カーテン	265
カードホルダー	255
カーペット	
洗浄	279
フロアマットの取り付け方	26
外気温度表示	53
外装の電球 (バルブ)	305
交換要領	305
ワット数	381
ガソリンスタンドでの情報	404
型式	382
カップホルダー	252
ガラスの曇り取り (リヤウインドウ デフォッガー)	230, 241
換気扇	242
冠水路走行	117
観音扉ドア	85
非常ドア	330
寒冷時の運転	186

き

キー	58
キーナンバプレート	58
キーの構成	58
キーをなくした	59
きしみやひっかき音が聞こえる (プレーキパッドウェア インジケーター)	112
給油	152
給油のしかた	152
メンテナンスデータ	374
緊急時シートベルト固定機構	31
緊急時の対処	
エンジンが始動できない	362
エンストで 始動できなくなった	371
オーバーヒートした	366
キーをなくした	59
警告灯がついた	337
警告メッセージが 表示された	342
けん引	332
故障したときは	322
車両を緊急停止する	328
スタックした	369
電動格納式補助ステップが 格納できなくなった	372
発炎筒	324
バッテリーがあがった	363
パンクした	346
幼児車では	330

く

空気圧 (タイヤ).....	380
クーラー	
オートエアコン.....	239
クーラー (マニュアルエアコン).....	234
区間距離計 (トリップメーター)	
機能.....	51
切りかえ・リセットボタン.....	51
曇り取り	
フロントガラス.....	229, 241
リヤウインドウ デフォッガー.....	230, 241
グライド式ドア.....	62
クラクション (ホーン).....	95
クリアランスランプ (車幅灯) ...	138
スイッチ.....	138
電球 (バルブ) の交換.....	313
ワット数.....	381
クリップ	
フロアマット.....	26

け

警告器 (ホーン).....	95
計器類 (メーター).....	50
警告灯/表示灯.....	46
マルチインフォメーション ディスプレイ.....	53
メーター.....	50
警告灯.....	47, 337
ABS.....	337
AdBlue [®] 残量.....	338
AdBlue [®] 品質異常.....	338
AdBlue [®] 噴射異常.....	338

SRS エアバッグ.....	337
LDA 表示灯.....	339
エンジン.....	337
オーバードライブ OFF.....	337
シートベルト非着用.....	338
充電.....	337
スリップ表示灯.....	339
センタードア開放.....	338
燃料残量.....	338
パーキングブレーキ未解除 ...	337
排出ガス浄化装置.....	338
バキューム.....	337
非常ドア開放.....	338
PCS.....	339
プリテンショナー.....	337
ブレーキ.....	337
油圧.....	338
マスターウォーニング.....	339

警告ブザー

シートベルト非着用.....	338
車線逸脱警報 (LDA).....	171
衝突警報 (PCS).....	161
センタードア開放.....	338
パーキングブレーキ未解除 走行時.....	337
ふらつき警報 (LDA).....	172
ブレーキ.....	337
油圧.....	338
リバース.....	126
冷却水.....	366
けん引.....	332
けん引のしかた.....	332
フック.....	335

こ

交換	
タイヤ.....	346
電球 (バルブ).....	305
ヒューズ.....	301
工具 (ツール).....	350
後席ディスプレイ.....	222
航続可能距離.....	54
後退灯 (バックアップランプ)	
電球 (バルブ) の交換.....	315
ワット数.....	381
小物入れ.....	254

さ

サイド方向指示灯.....	130
電球 (バルブ) の交換.....	314
方向指示レバー.....	130
ワット数.....	381
サイドミラー (ドアミラー).....	99
操作.....	99
サンバイザー.....	258

し

シート.....	90
助手席/リヤシート.....	91
正しい運転姿勢.....	28
調整.....	90
手入れ.....	279
ヘッドレスト.....	93
保護者用シート.....	92
補助シート.....	91
シートアンダートレイ.....	254

シートベルト.....	30
お子さまの着用.....	31
緊急時シートベルト	
固定機構.....	31
シートベルト非着用警告灯.....	338
正しく着用するには.....	30
着け方・はずし方.....	30
手入れ.....	279
妊娠中の方の着用.....	32
シートベルト非着用警告灯.....	338
シートベルトプリテンショナー.....	31
機能.....	31
プリテンショナー警告灯.....	337
室内灯.....	249
始動後走行時間.....	54
始動後平均車速.....	54
始動のしかた.....	120
シフトポジション.....	125
シフトポジション表示.....	51
シフトレバー.....	124, 129
シフトロックシステム	
(解除ボタン).....	127
操作.....	124, 129
リバース警告ブザー.....	126
シフトレバーがシフト	
できないときは.....	127
シフトロックシステム.....	126
締め付けトルク	
ホイール.....	357
スペアタイヤ格納.....	358
ジャッキ	
車載ジャッキ.....	350
ジャッキハンドル.....	350

車幅灯	138
電球（バルブ）の交換	313
ランプスイッチ	138
ワット数	381
車両型式	382
車両仕様（スペック）	374
車両データの記録	7
車両を緊急停止するには	328
手動光軸調整ダイヤル	140
仕様（車両仕様）	382
消火器	326

す

水温計	51
スイッチ	
アイドルアップ	248
アウターミラー	99
イグニッション	120
1速固定	126
インナーミラー	97
ウォッシャー	148, 150
LDA（レーンディパーチャー アラート）	174
エンジンスイッチ	120
オートドア操作	65, 75
オートマチックハイビーム	142
オーバードライブ	125
換気扇	242
給油口オープナー	153
電動格納式補助ステップ	72
ドアロック	60
排気ブレーキ	132
排出ガス浄化装置	136
ハザードランプ	323
パワーヒーター	247

非常点滅灯 （ハザードランプ）	323
PCS（プリクラッシュ セーフティ）	164
VSC OFF	181
フォグラмп	146
方向指示レバー	130
ホーン（警音器）	95
メーター表示切りかえ	51
ランプ	138
リヤウインドウ デフォグガー	230, 241
ルームランプ	250
ワイパー	148, 150
スターター	
エンジンの始動	120
スターターがまわらない	362
スタック	369
ステアリングホイール（ハンドル） 位置調整	95
ステアリングロック 解除できないとき	122
ステップランプ	67, 77
ワット数	381
ストップランプ（制動灯） 電球（バルブ）の交換	315
ワット数	381
スノータイヤ（冬用タイヤ）	186
スピードメーター	50
スペアタイヤ	346
スペック（車両仕様）	382
スモールランプ（車幅灯）	138
電球（バルブ）の交換	313
ランプスイッチ	138
ワット数	381
スライド式サイドガラス	104

せ

清掃	276, 279
外装	276
シートベルト	279
内装	279
ホイール・ ホイールキャップ	277
制動灯	
電球（バルブ）の交換	315
ワット数	381
積算距離計（オドメーター）	
機能	51
表示の切りかえ・リセット ボタン	51
セキュリティインジケーター	43
セパレーターカーテン	267
セパレーターパイプ	266
センサー	
カメラセンサー	157
ライトセンサー	141
レーダーセンサー	157
洗車	276
前照灯（ヘッドランプ）	138
手動光軸調整ダイヤル	140
電球（バルブ）の 交換	307, 309
ランプ消し忘れ防止機能	141
ランプスイッチ	138
センタードア	
オートドア作動の 切りかえ	65, 76
オートドア 操作スイッチ	65, 75
折戸式ドア	74
グライド式ドア	62

そ

速度計 （スピードメーター）	50
-------------------------	----

た

ターンシグナルランプ （方向指示灯）	130
電球（バルブ） の交換	313, 314, 315
方向指示レバー	130
ワット数	381
タイヤ	294
空気圧	297, 380
交換	346
締め付けトルク	357
スペアタイヤ	347
チェーン	186
点検	294
パンクしたときは	346
冬用タイヤ	186
ホイールサイズ	380
ローテーション （位置交換）	294
タイヤが空まわりする （スタックした）	369
タイヤチェーン	186
タコグラフ	270
タコメーター	50

ち

チェーン (タイヤチェーン)	186
駐車ブレーキ	
(パーキングブレーキ)	131
操作	131
未解除走行時警告ブザー	340
メンテナンスデータ	378

つ

ツール (工具).....	350
---------------	-----

て

ディファレンシャル.....	377
手入れ.....	276, 279
外装	276
シートベルト	279
内装	279
ホイール・	
ホイールキャップ.....	277
レーダーセンサー	157
テールランプ (尾灯).....	138
電球 (バルブ) の交換.....	315
ランプスイッチ	138
ワット数.....	381
デフォッガー	
(リヤウインドウ	
デフォッガー).....	230, 241
電球 (バルブ)	
交換要領 (外装バルブ).....	305
ワット数.....	381
点検基準値	
(メンテナンスデータ)	374
電動格納式補助ステップ	72
電動リモコンミラー.....	97, 99

と

ドア	
折戸式ドア	74
観音扉ドア	85
グライド式ドア.....	62
センタードア開放警告灯	338
ドアカーテシランプ	249
ドアガラス	104
ドアロックスイッチ	60
非常ドア	330
非常ドア開放警告灯	338
フロントドア	60
ロックボタン	63
ロックレバー	60, 85
ドアミラー (アウターミラー)	
操作	99
格納のしかた	100
ミラーヒーター.....	230, 241
盗難防止装置	
エンジンイモビライザー	
システム	43
時計	
時刻を設定する.....	261
表示.....	261
Toyota Safety Sense.....	156
LDA (レーンディパーチャー	
アラート).....	171
オートマチックハイビーム	142
PCS (プリクラッシュ	
セーフティ).....	161
トラクションコントロール	
(TRC)	180
トランク.....	81
トランクリンプ.....	81

トランスミッション

オートマチック

トランスミッション..... 124

マニュアル

トランスミッション..... 129

メンテナンスデータ 377

トリップメーター

機能 51

切りかえ・リセットボタン 51

な

内装

収納装備..... 251

手入れ..... 279

に

2 段インナーミラー..... 102

荷物

積むときの注意 118

ぬ

ぬかるみにはまった

(スタック)..... 369

ね

燃料..... 374

ガソリンスタンドでの情報 404

給油 152

種類 374

燃料・水分離器の排水..... 319

燃料残量警告灯 338

容量 374

燃料・水分離器

燃料・水分離器の排水..... 319

燃料計 50

は

パーキングブレーキ 131

操作 131

冬季の注意 187

ブレーキ警告灯..... 337

未解除走行時警告ブザー 340

メンテナンスデータ 378

パーソナルランプ 250

排気ガス..... 42

排気ブレーキ 132

排出ガス浄化装置 133

排出ガス浄化装置堆積

モニター 135

ハイビーム (ヘッドランプ)..... 138

オートマチックハイビーム 142

電球 (バルブ) の交換 307

ランプスイッチ 138

ワット数 381

ハイマウントストップランプ

電球 (バルブ) の交換 316

バキューム警告灯 337

ハザードランプ

(非常点滅灯) 323

スイッチ 323

電球 (バルブ)

の交換 313, 314, 315

ワット数 381

発炎筒..... 324

バックアップランプ (後退灯)

電球 (バルブ) の交換 315

ワット数 381

バックドア (観音扉ドア)..... 85

折りたたみ式バックステップ .. 87

バックドアハンドル 86

非常ドア 330

バッテリー	
搭載位置.....	363
バッテリーがあがった.....	363
バルブ（電球）	
交換要領（外装のバルブ）.....	305
ワット数.....	381
パワーステアリング	
パワーステアリング	
フルード.....	377
パンクした.....	346
番号灯（ライセンスプレート	
ランプ）.....	138
電球（バルブ）の交換.....	316
ランプスイッチ.....	138
ワット数.....	381
ハンドル	
（ステアリングホイール）.....	95
位置調整.....	95

ひ

ビークルスタビリティ	
コントロール（VSC）.....	180
ヒーター	
オートエアコン.....	239
パワーヒーター.....	247
フロントヒーター	
（マニュアルエアコン）.....	228
ミラーヒーター.....	230, 241
リヤヒーター.....	237
非常点滅灯	
（ハザードランプ）.....	323
スイッチ.....	323
電球（バルブ）	
の交換.....	313, 314, 315
ワット数.....	381

非常ドア.....	330
尾灯（テールランプ）.....	138
電球（バルブ）の交換.....	315
ランプスイッチ.....	138
ワット数.....	381
ヒューズ.....	301
表示灯.....	48

ふ

Vリブドベルト	
メンテナンスデータ.....	379
ブースターケーブルの	
つなぎ方.....	363
フォグラмп.....	146
スイッチ.....	146
電球（バルブ）の交換.....	311
ワット数.....	381
ブザー	
シートベルト非着用警告.....	338
車線逸脱警報（LDA）.....	171
衝突警報（PCS）.....	161
パーキングブレーキ未解除	
走行時警告.....	337
センタードア開放警告.....	338
ふらつき警報（LDA）.....	172
ブレーキ警告.....	337
油圧警告.....	338
リバース警告.....	126
フック	
けん引フック.....	335
フロアマット固定フック.....	26
ロープフック.....	256
フューエルメーター（燃料計）.....	50
フューエルリッド（給油口）.....	152
給油のしかた.....	152

冬の前の準備（寒冷時の運転）...	186
冬用タイヤ	186
ブリクラッシュセーフティ （PCS）	161
PCS 警告灯	339
ブレーキ	
パーキングブレーキ	131
排気ブレーキ	132
ブレーキ警告灯	337
メンテナンスデータ	378
ブレーキアシスト	180
ABS 警告灯	337
ブレーキ付近から	
キーキー音が聞こえる	112
ブレーキフルード	378
フロアマット	26
フロントアンダーミラー	102
フロントルームランプ	250
フロントシート	90
正しい運転姿勢	28
調整	90
手入れ	279
ヘッドレスト	93
フロント方向指示灯	130
電球（バルブ）の交換	313
方向指示レバー	130
ワット数	381

へ

平均燃費	54
ヘッドランプ	138
オートマチックハイビーム ...	142
手動光軸調整ダイヤル	140
電球（バルブ）の 交換	307, 309
ランプ消し忘れ防止機能	141
ランプスイッチ	138
ヘッドレスト	93

ほ

ホイール	
交換（タイヤ）	346
メンテナンスデータ	380
ホイールナットレンチ	350
方向指示灯	130
電球（バルブ） の交換	313, 314, 315
方向指示レバー	130
ワット数	381
ホーン（警音器）	95
保護者用シート	92
保証	9
補助シート	91
補助ミラー	102
ボトルホルダー	253

ま

マイク/アイクアンプ	221
マニュアルエアコン	
クーラー	234
フロントヒーター	228
リヤヒーター	237

マニュアルトランス

ミッション..... 129

メンテナンスデータ 377

マルチインフォメーション

ディスプレイ 53

LDA (レーンディパーチャー
アラート) 175

警告メッセージ 342

トリップインフォメーション... 51

PCS プリクラッシュ

セーフティ) 161

み

ミラー

アウターミラー 99

インナーミラー 97

ドアミラー 99

補助ミラー 102

ミラーヒーター 230, 241

め

メーター (計器類) 50

警告灯 47, 337

警告メッセージ 342

照度調整 51, 54

表示切りかえ

ボタン 51, 53

表示灯 48

マルチ

インフォメーション

ディスプレイ 53

メーター 50

メーター照度調整 51, 54

メンテナンスデータ 374

ゆ

ユーザーカスタマイズ機能 383

床洗い用水抜き穴 262

雪道ですべて動けない

(スタックした) 369

油脂類 374

よ

予熱表示灯 120

ら

ライセンスプレートランプ

(番号灯)

電球 (バルブ) の交換 316

ランプスイッチ 138

ワット数 381

ラゲージルームセパレーター 257

ラジエーター

オーバーヒート 366

メンテナンスデータ 376

ランプ

室内灯 249

ステップランプ 67, 77

電球 (バルブ) の交換 305

パーソナルランプ 250

非常点滅灯

(ハザードランプ) 323

フォグラмп 146

ヘッドランプ (前照灯) 138

方向指示灯 (ターンシグナル

ランプ/ウインカー) 130

ライトセンサー 141

ランプ消し忘れ防止機能 141

ルームランプ 250

ワット数 381

ランプ消し忘れ防止機能 141

り

リヤアンダーミラー	102
リヤウインドウ	
デフォッガースイッチ ..	230, 241
リヤクーラー	234
リヤシート	91
リヤヒーター	237
リヤフォグランプ	147
スイッチ	147
電球 (バルブ) の交換	316
リヤ方向指示灯	130
電球 (バルブ) の交換	315
方向指示レバー	130
ワット数	381

る

ルームミラー	
(インナーミラー)	97
ルームランプ	250

れ

レーンディパーチャー	
アラート (LDA)	171
車線逸脱警報機能	171
スイッチ	174
ふらつき警報機能	172
メーター表示	175
冷却水	376
水温計	51
冬の前の準備	186
メンテナンスデータ	376

冷却装置 (ラジエーター)	376
オーバーヒート	366
メンテナンスデータ	376
冷蔵庫	263
霜取り	280
手入れ	279
レバー	
シフト	124, 129
方向指示	130
ロック (ドア)	60, 85

ろ

ローブフック	256
ロック	
折戸式ドア	74
観音扉ドア	85
グライド式ドア	62
シフトロック	126
バックドア	85
フロントドア	60

わ

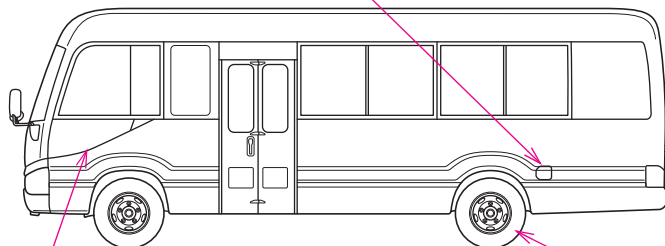
ワイパー & ウォッシャー	
ウォッシャー液の補充	292
フロント	148
リヤ	150
ワックス	276
ワット数	381
輪止め	350

ガソリンスタンドでの情報

給油や交換などの際に必要な項目をまとめてあります。

給油口

P. 153



CTNPIBQ028

給油扉オープナー

P. 153

タイヤ空気圧

P. 380

燃料の容量 (参考値)	95L	
燃料の種類	超低硫黄軽油 (S10ppm 以下)	P. 152, 374
タイヤが冷えているときの空気圧		P. 380
エンジンオイル容量 (参考値)	▶ オイルのみ交換時 ・ 6.3L ▶ オイルとフィルター交換時 ・ 7.7L	
エンジンオイルの種類	トヨタ純正モーターオイル ・ DH-2F 5W-30 (JASO DH-2F ガイドライン) トヨタ純正ディーゼルオイル ・ DH-2 10W-30 (JASO DH-2 ガイドライン)	

お問い合わせ、ご相談は
下記へお願いいたします。

トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター
全国共通・フリーコール

 **0800-700-7700**

オープン時間 365日 9:00～18:00

所在地 〒450-8711 名古屋市中村区名駅4丁目7番1号

ご愛用車のお問い合わせは、自動車検査証（車検証）を
ご用意頂くとスムーズな対応が可能です。

「個人情報保護方針」については、
<http://www.toyota.co.jp> にて掲載しております。

「リコール等情報」については、
<http://toyota.jp/recall/index.html> にて掲載して
おります。

トヨタ自動車株式会社
<http://toyota.jp>



M 36749
01999-36749
NAC-2020年 5月12日
2020年 5月19日 初版
コースター